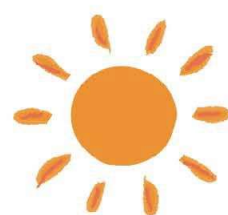


みえの 
子ども白書

2024 (案)



三重県

はじめに

～「みえの子ども白書2024」刊行にあたって～

「子どもは、一人ひとりかけがえのない存在である。」

この一文で始まる三重県子ども条例（平成23年4月1日施行、以下「条例」といいます。）は、「子どもが豊かに育つことができる地域社会づくり」に向けて、地域のさまざまな主体がともに連携して取り組むために必要な事項を規定したものです。

条例の前文では、

「全ての子どもには自ら育つ力と多くの可能性があり、子どもは自分が受け止められ、認められていると実感することで自己肯定感を高めることができる。また、子どもは、家庭や学校を始めとする地域社会での経験を通して、人との様々な関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる。そして、次の世代を大切に育てることのできる大人へと育てていく。そのために、人と人との強い絆で結ばれた地域社会を形成し、子ども一人ひとりが力を発揮して育つことができる社会へと向かうことが求められている。」としています。

条例第14条では、その推進にあたり、「知事は、子どもの生活に関する意識、実態その他のこの条例に基づき県が行う施策の推進に必要な事項を調査し、その結果を公表するものとする。」としています。

この白書は、同条に基づいて県が令和5年度に実施したアンケート調査（子ども調査、保護者調査、県民調査）の結果を中心に、子どもの生活実態や意識等についてまとめています。

「三重県子ども条例に基づく調査」の概要

- ・調査時期：令和5年8月～9月
- ・調査対象、有効回収数

調査名	対象者	対象者数 (※)	有効回収 数	回収率 (※)
子ども調査	小学5年生 市町立小学校を市町ごとに各1校計29校、 県立特別支援学校3校、 私立小学校1校の対象学年の児童	1,549件	1,286件	83.0%
	中学2年生 市町立中学校を市町ごとに各1校計29校、 県立特別支援学校3校、 私立中学校1校の対象学年の生徒	2,163件	1,943件	89.8%
	高校2年生 県立高等学校11校（学科別）、 県立特別支援学校3校、 私立高等学校1校の対象学年の生徒	1,364件	1,128件	82.7%
保護者調査	上記の小学5年生の保護者	1,549件	1,234件	79.7%
	上記の中学2年生の保護者	2,163件	1,697件	78.5%
	上記の高校2年生の保護者	1,364件	897件	65.8%
県民調査	29市町の選挙人名簿に基づき 無作為抽出	3,000件	1,390件	46.3%

※子ども調査、保護者調査については、令和5年5月1日現在の在籍児童生徒数を対象者数として、回収率を算出しています。

・調査方法

子ども調査は、学校を通じて調査票を配布。学校を通じて調査票を回収。

保護者調査は、学校を通じて調査票を配布。学校を通じて調査票を回収、またはWEB調査画面から回答。

県民調査は、調査票を郵送。調査票を返送、またはWEB調査画面から回答。

・調査主体：三重県 子ども・福祉部 少子化対策課

・調査委託機関：株式会社 百五総合研究所

・報告書の見方

(1) 令和5年調査では、一部で保護者調査と子ども調査を紐づけた集計分析を行っています。具体的には、保護者調査における世帯年収、ならびに家族の人数から等価世帯収入を算出し、等価世帯収入の水準別に、子ども調査の回答の集計分析を行いました。

(2) 一部の図表に記載のある(n=○○)は、その設問における回答者数を表しています。

(3) 本書の図表において、「無回答」の数値については記載を省略しています。また、比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の比率は、各選択肢の回答数を当該設問における総回答者数で割った比率であり、比率の合計は通常100%を超えます。

(4) 地域別補正について

県民調査について、平成23年度調査では5地域(北勢、伊賀、中南勢、伊勢志摩、東紀州)ごとに2ないし3市町を選定し、調査対象者を抽出しましたが、平成27年度以降の調査では、選挙人名簿登録者数の比率に基づいて、すべての市町から調査対象者を抽出しています。

また、すべての市町ごとに1校ずつ選定して実施した市町立小中学校の児童生徒及びその保護者を対象とする調査について、平成23年度調査では1校あたり70人を基本として調査対象者を抽出しましたが、平成27年度以降の調査では、各市町の児童生徒数を基本として抽出しています。

このため、調査結果の比較を行うにあたり、平成23年度の県民調査や小学生、中学生及びその保護者を対象とする調査の結果について地域別の補正を行っています。なお、高校生を対象とする調査については、平成23年度調査と調査対象者の抽出について大きな違いがないことから、地域別の補正は行っていません。

「みえの子ども白書2024」の全体像

三重県子ども条例に基づく調査

子ども調査

小・中・高 計4,357件
(特別支援学校含む)

【主な調査内容】

- 生活の状況や生活満足度
- 自己肯定感
- 子どもの意見表明
- 幼少期の体験機会
- 子どもの居場所
- ヤングケアラー
- コロナ禍の影響

子ども調査と保護者調査を紐づけた集計分析の実施

保護者調査

小・中・高保護者 計3,828件
(特別支援学校含む)

【主な調査内容】

- 子どもの意見の尊重
- 子どもとの関わり方
- 子どもについての不安や悩み
- 子育てにおける地域の支援
- 頼れる人や支援制度の利用

県民調査

18歳以上の県民 計1,390件
(選挙人名簿から無作為抽出)

【主な調査内容】

- 近所の子どもの関わり
- 子どもの育ちへの応援
- 子どもの貧困への理解
- 地域における子育てに関する活動への参加

全国学力・ 学習状況調査

平成19年度から小・中学生を対象に文部科学省が実施している調査

既存の統計調査から不登校、いじめ、児童虐待、ヤングケアラーなど支援が必要な状況にある子どもたちの状況を把握

NPO等子どもの支援に取り組む団体へのヒアリングから、困難な状況にある子どもの現状や、必要な支援の内容を把握

調査結果の概要

- 自分のことが好きな子どもの割合（自己肯定感）が高まっています。自分のことが好きと答えた子どもは、好きではないと答えた子どもより、生活満足度の平均値も高くなっています。
- 普段生活している中で大切にされている、親（保護者）などの大人が自分のことを決めるときに意見を聞いてくれると答えた子どもの割合が高くなっています。また、意見を聞いてくれると答えた子どもは、聞いてくれないと答えた子どもより自分のことが好きな割合が高くなっています。
- ほっとする場所がある子どもは、特にない子どもより、自分のことが好きな割合が高くなっています。
- コロナ禍による自粛等の影響もあり、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験や学校行事への参加機会が減少しました。また、地域で取り組んでみたいこと、新しいことにチャレンジすることについて、特に小学生で意欲の低下がみられます。

白書の構成

第1章 「子どもの生活と気持ち」

- ◆第1節「基本的生活習慣」
- ◆第2節「自己肯定感」
- ◆第3節「大人との関わり」
- ◆第4節「地域との関わり」

子どもの生活習慣や自己肯定感、大人との関わり、地域との関わりなど、子どもの現状を把握します。

第2章 「困難を抱える子どもたち」

- ◆第1節「貧困が子どもたちの生活に与える影響」
- ◆第2節「ヤングケアラーに関する状況」
- ◆第3節「不登校やその他困難な状況にある子どもたち」

貧困が子どもの学習や進学、体験機会等に与える影響やヤングケアラーの実態を把握します。また、既存の統計調査の結果から、不登校、いじめ、児童虐待など困難を抱える子どもたちの状況について把握します。

第3章 「コロナ禍の影響」

コロナ禍を経て、子どもの体験機会や心身の状況がどのように変化したのかを把握します。

- 貧困線未満の世帯の子どもは、勉強時間が少なく、授業が分かる割合も低くなっています。また、希望する進路について、大学以上を希望する割合が子ども、保護者ともに低くなっています。
- 子どもを支援する団体からは、子ども食堂などの取組が広がっているものの、地域の中に子どもの居場所が少ないことが課題との声が聞かれます。

- 子どもが学校に行きたくないと感じるときは「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」が最も多くなっています。



第1章

子どもの生活と気持ち

第1章「子どもの生活と気持ち」では、「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）の結果や「三重県子ども条例に基づく調査」の結果から、子どもの生活習慣や自己肯定感、大人との関わり、地域との関わりなど、子どもの現状を把握します。

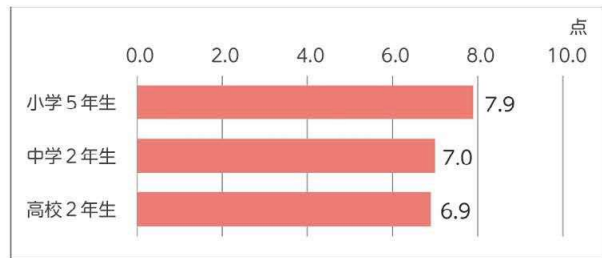
第1章の概要



■ 生活満足度

最近の生活満足度の平均値は小学生で7.9点、中学生で7.0点、高校生で6.9点となり、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、低くなっています。

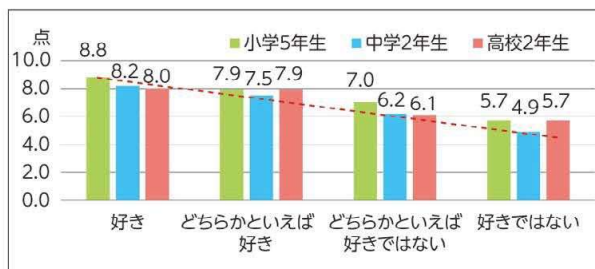
【最近の生活満足度の平均値】



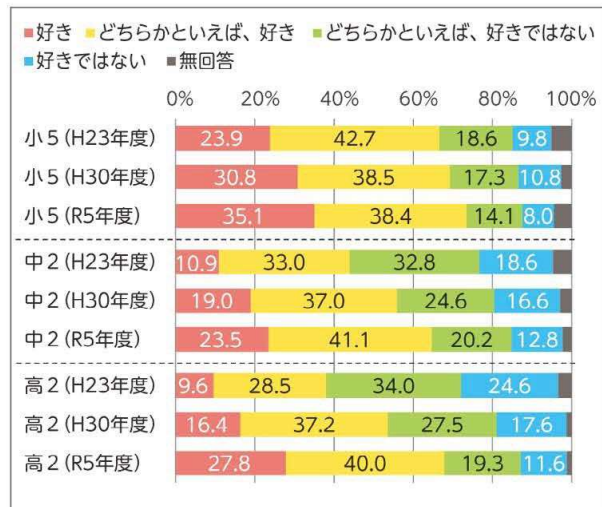
■ 自己肯定感

自分のことが好きな子どもの割合は、小学生で73.5%、中学生で64.6%、高校生で67.8%となり、平成23年度以降増加しています。また、自分のことが好きな子どもほど生活満足度の平均値が高くなっています。

【「自分のことが好き」と「生活満足度の平均値」の関係】



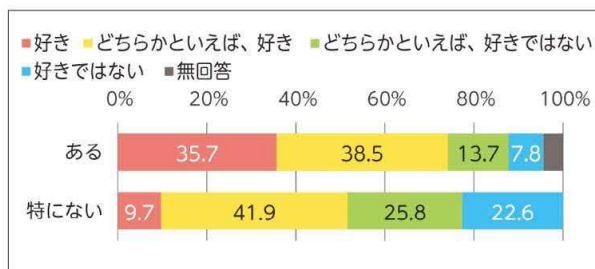
【自分のことが好きか】



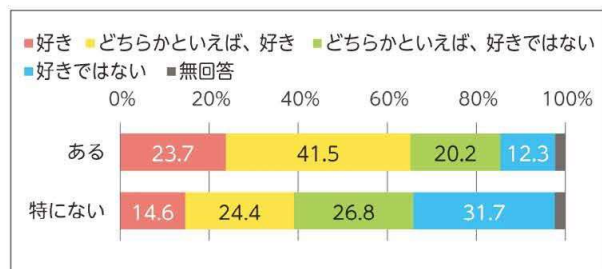
■ 子どもの居場所

ほっとする場所がある子どもは、特にない子どもより、自分のことが好きな割合が高く、特に小学生や中学生でその傾向がみられます。

【「ほっとする場所の有無」と「自分のことが好き」の関係 (小学生)】



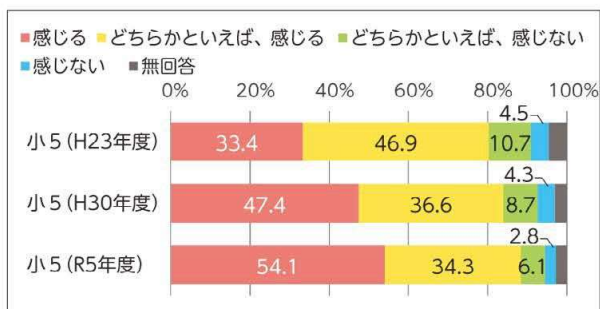
【「ほっとする場所の有無」と「自分のことが好き」の関係 (中学生)】



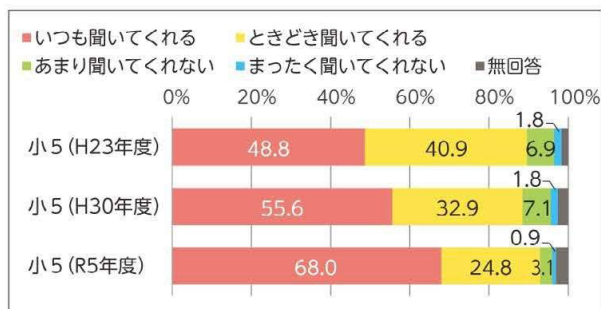
■ 大人との関わり

「家庭や地域、学校などふだん生活している中で大切にされている」と感じる子どもや「親などの大人は自分のことを決めるとき意見を聞いてくれる」と答えた子どもの割合は、平成23年度以降増加傾向です。「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、「親などの大人が自分のことをわかってくれていると思う」割合が高くなっており、また、「わかってくれていると思う」と答えた子どもは、自分のことが好きな割合が高くなっています。いずれも中学生、高校生についても同様の傾向がみられます。

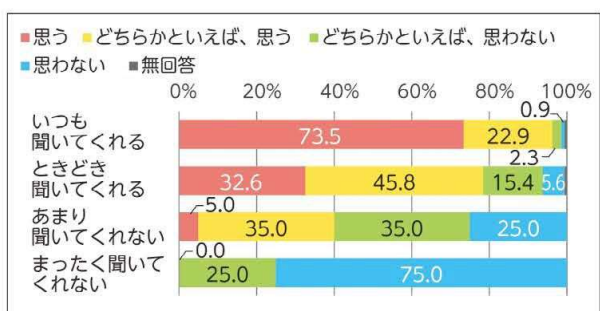
【ふだん生活している中で大切にされていると感じるか(小学生)】



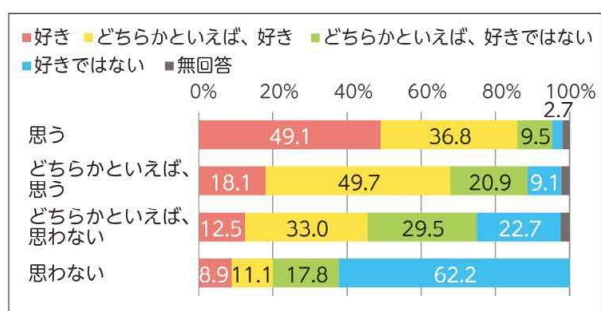
【親などの大人は自分のことを決めるとき意見を聞いてくれるか(小学生)】



【「親などの大人は自分のことを決めるとき意見を聞いてくれるか」と「親など大人は自分のことをわかってくれていると思うか」の関係(小学生)】



【「親などの大人は自分のことをわかってくれていると思うか」と「自分のことが好き」の関係(小学生)】

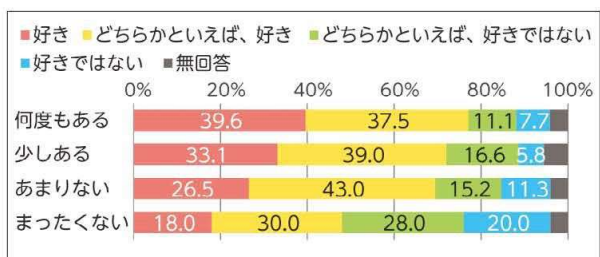


■ 幼少期の体験機会

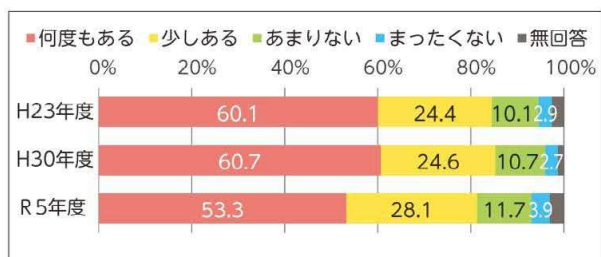
家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が多い小学生は、自分のことが好きな割合が高くなっていますが、コロナ禍を境に参加したことがある小学生は減少しています。

また、新しいことにチャレンジすることが好きな小学生もコロナ禍を境に減少しており、住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、「特にしたいことはない」と答えた小学生の割合が増加しています。

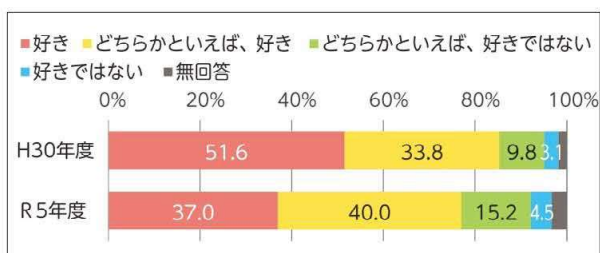
【「家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「自分のことが好き」との関係(小学生)】



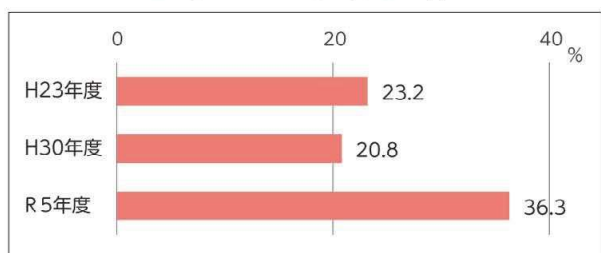
【家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがあるか(小学生)】



【新しいことにチャレンジすることが好きか(小学生)】



【住んでいる地域で取り組んでみたいことについて「特にしたいことはない」と答えた割合(小学生)】



※<第1章の概要>に掲載の図表は、「三重県子ども条例に基づく調査<子ども調査>」より作成



1

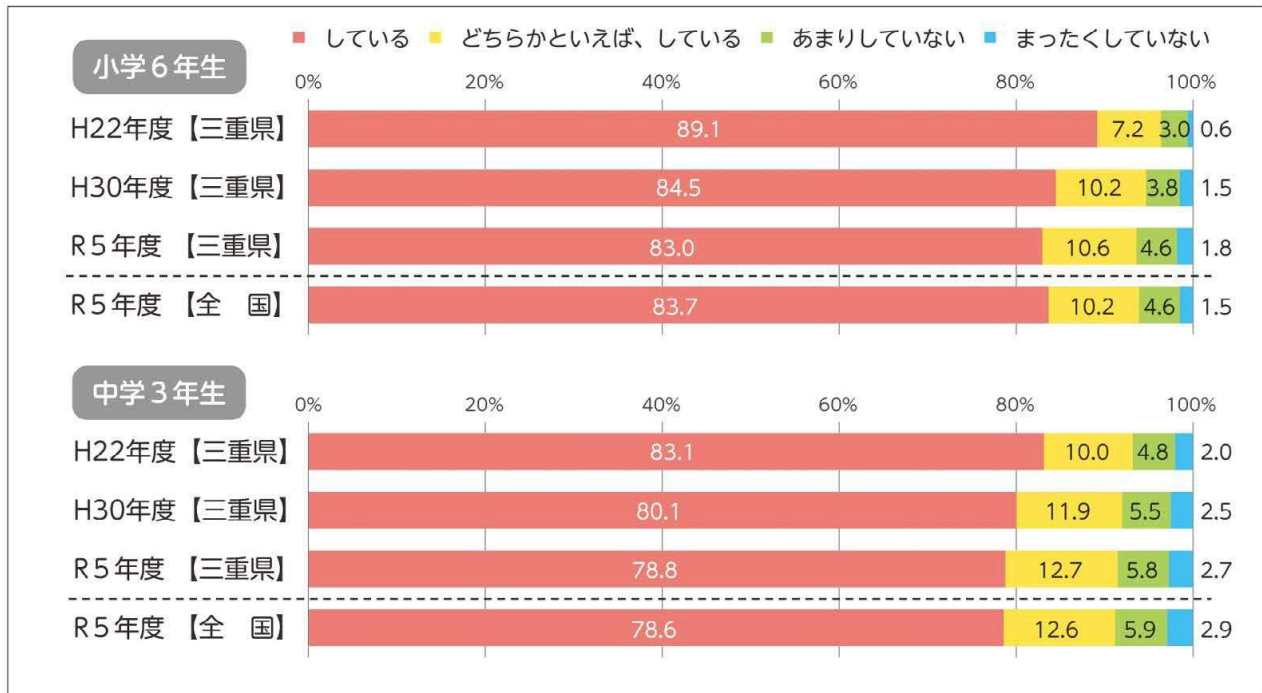
基本的な生活習慣

朝食を毎日食べている子どもは約9割

朝食を毎日「食べている」または「どちらかといえば、食べている」と肯定的に答えた小学生は93.6%、中学生は91.5%となっており、全国とほぼ同じ状況です。朝食を毎日食べている子どもの割合はやや減少しています。

※わかりやすくするため、調査上の選択肢とは異なる表現で説明文を記載しています。

■図表1 朝食を毎日食べていますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

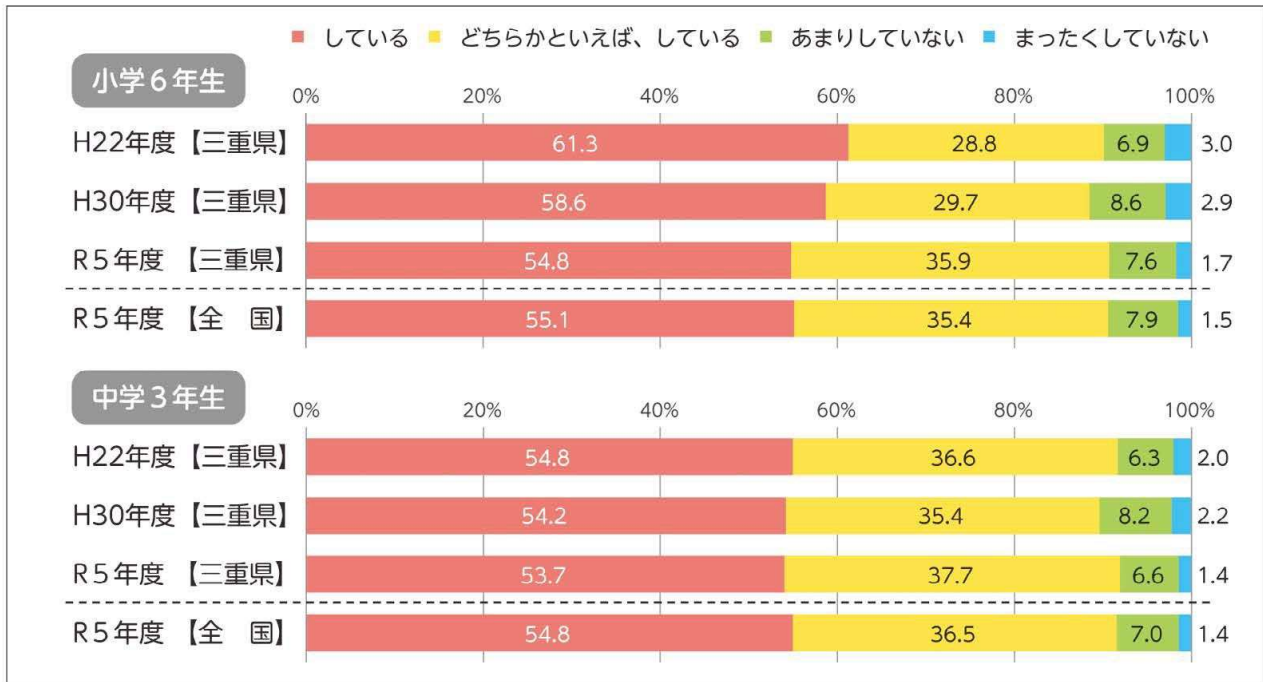
毎日同じくらいの時刻に起きている子どもは約9割、寝ている子どもは約8割

毎日同じくらいの時刻に「起きている」または「どちらかといえば、起きている」と肯定的に答えた小学生は90.7%、中学生は91.4%となっており、全国とほぼ同じ状況です。

毎日同じくらいの時刻に「寝ている」または「どちらかといえば、寝ている」と肯定的に答えた小学生は80.1%、中学生は78.3%となっており、全国とほぼ同じ状況です。中学生は、毎日同じくらいの時刻に寝ている割合が増加傾向です。

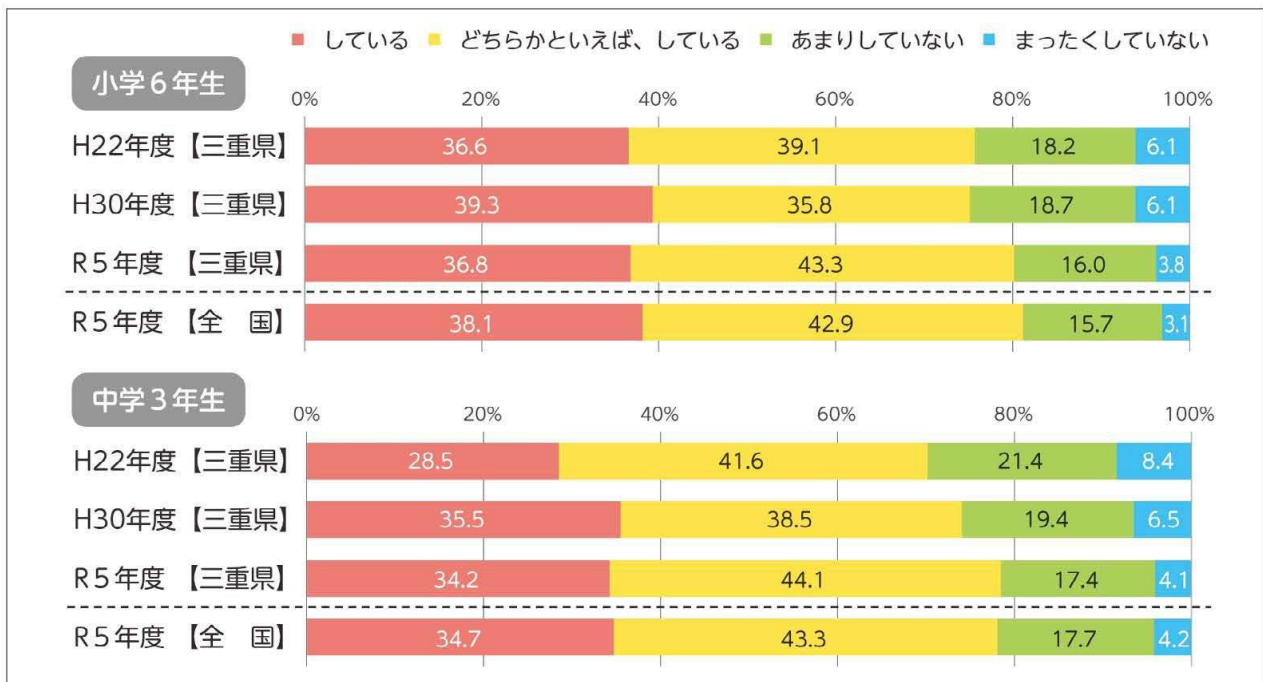
※わかりやすくするため、調査上の選択肢とは異なる表現で説明文を記載しています。

■ 図表2 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 図表3 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

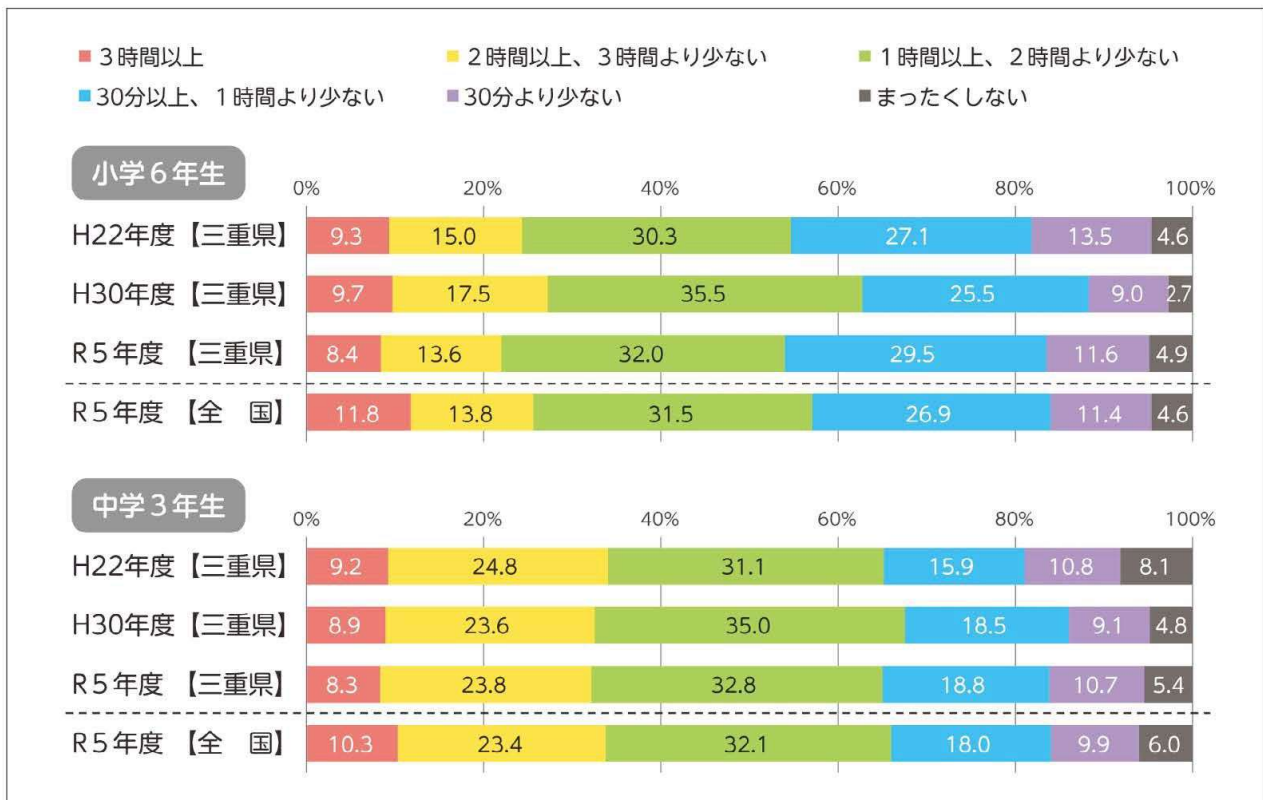


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

平日に学校の授業時間以外に1時間以上勉強している割合は、小学生で約5割、中学生で約6割

学校の授業時間以外の平日1日当たりの勉強時間について、1時間以上の割合は、小学生で54.0%、中学生で64.9%となっており、全国より低くなっています。また、平成30年度と比較すると、小学生は8.7ポイント、中学生は2.6ポイント低くなっています。

■図表4 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

※平成22年度の設問は「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

平成30年度の設問は「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

●学習支援について

私たちが運営している学習支援「かな塾」は、みんなで宿題に取り組むことで学習習慣をつけることを目的に始めました。対象者を限定することなく、誰もが来ることができる居場所としていますが、通ってくる子どもの家庭の中には、保護者が仕事や他のきょうだいの子育てで多忙であり、十分に時間をかけて子どもと向き合うことが難しいケースも少なくありません。

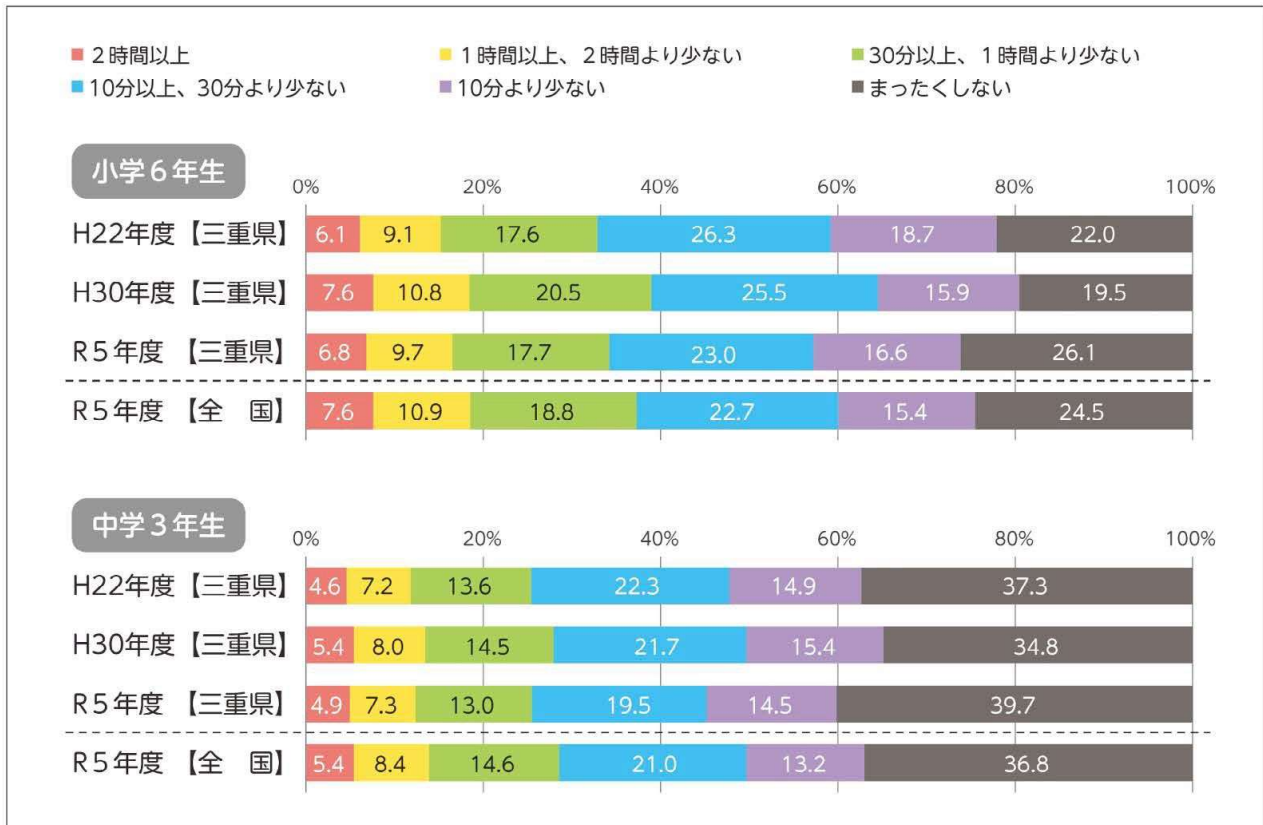
「自分のことを見てほしい」、「向き合ってほしい」というサインを送っているように感じる子どもが多いです。また、最近は発達に課題のある子どもが増え、その特性も多様になっています。集団では、気持ちをうまく表現できず、望ましくない言動をする子どもも増えているように感じます。また、発達の課題を問わず、支援を必要としている子どもと、そうでない子どもの差が広がっているように思います。子どもの声を聞き、一人ひとりに寄り添いながら、学んだり、遊んだりできるように、以前よりスタッフの人数を増やして対応しています。

(NPO法人 玉絆)

平日に学校の授業時間以外に読書をまったくしない割合は、小学生で約3割、中学生で約4割

学校の授業時間以外の平日1日当たりの読書時間について、「まったくしない」と答えた割合は、小学生で26.1%、中学生で39.7%となっており、全国より高くなっています。また、平成30年度と比較すると、小学生は6.6ポイント、中学生は4.9ポイント高くなっています。

■ 図表5 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

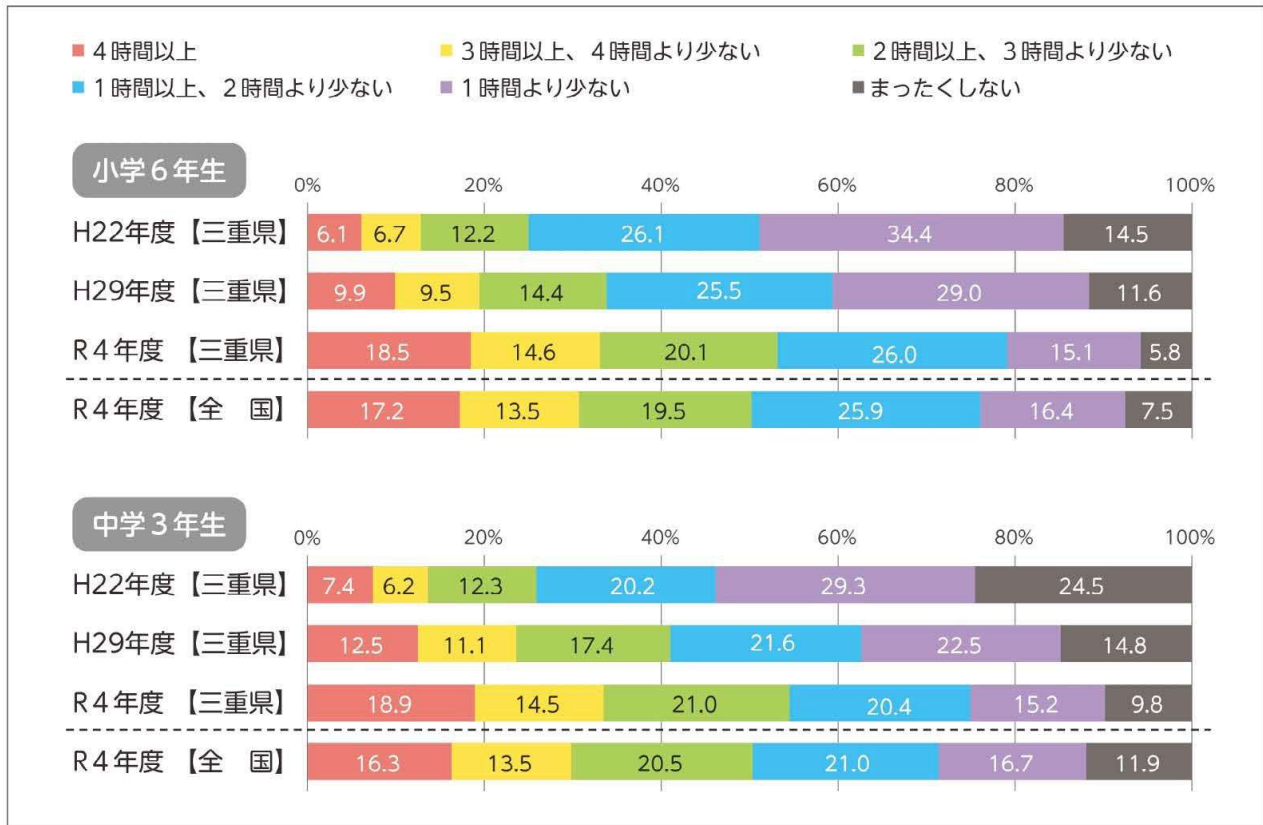
※平成22年度の設問は「家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか」

平成30年度の設問は「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」

平日にテレビゲームを3時間以上している子どもの割合は、約3割で増加している

平日1日当たりのテレビゲームをする時間について、3時間以上の割合は、小学生で33.1%、中学生で33.4%となっており、全国より高くなっています。また、平成29年度と比較すると、小学生は13.7ポイント、中学生は9.8ポイント高くなっています。

■ 図表6 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

※平成22年度の設問は「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」

放課後や週末の過ごし方は、小学生、中学生ともに、「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」の割合が最も高い

放課後や週末の過ごし方について、小学生は「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」の割合が83.2%と最も高く、次いで「家族と過ごしている」が73.7%、「友達と遊んでいる」が60.3%となっています。中学生も「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」の割合が89.7%と最も高く、次いで「学校の部活動に参加している」が80.2%、「家族と過ごしている」が67.2%となっています。小学生、中学生ともに、全国とほぼ同じ状況です。

■ 図表7 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか(複数回答)

項目	小学6年生		項目	中学3年生	
	R4年度【三重県】	R4年度【全国】		R4年度【三重県】	R4年度【全国】
家で勉強や読書をしている	48.2	52.2	家で勉強や読書をしている	46.5	47.9
放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している	5.6	4.7	学校の部活動に参加している	② 80.2	② 73.9
地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	3.3	3.4	地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	2.0	1.8
学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	22.5	24.1	学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	38.0	36.8
習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	39.7	36.3	習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	22.6	19.8
スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	43.3	42.7	スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	29.0	27.3
家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	① 83.2	① 82.1	家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	① 89.7	① 88.0
家族と過ごしている	② 73.7	② 72.5	家族と過ごしている	③ 67.2	③ 63.4
友達と遊んでいる	③ 60.3	③ 61.6	友達と遊んでいる	58.8	54.6
その他	0.1	0.1	その他	0.0	0.0
無回答	0.2	0.2	無回答	0.2	0.1

資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

2

自己肯定感

最近の生活満足度の平均値は、小学生は7.9点、中学生は7.0点、高校生は6.9点

最近の生活満足度について、小学生の平均値は7.9点となり、中学生、高校生より約1点高くなっています。また、点数別にみると「10点」の割合が31.3%と最も高くなっています。

中学生は平均値が7.0点となり、点数別にみると「8点」の割合が18.9%と最も高くなっています。高校生は平均値が6.9点となり、点数別にみると「7点」の割合が21.3%と最も高くなっています。

小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、「10点」及び「9点」の割合が低下しています。

■ 図表8 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか



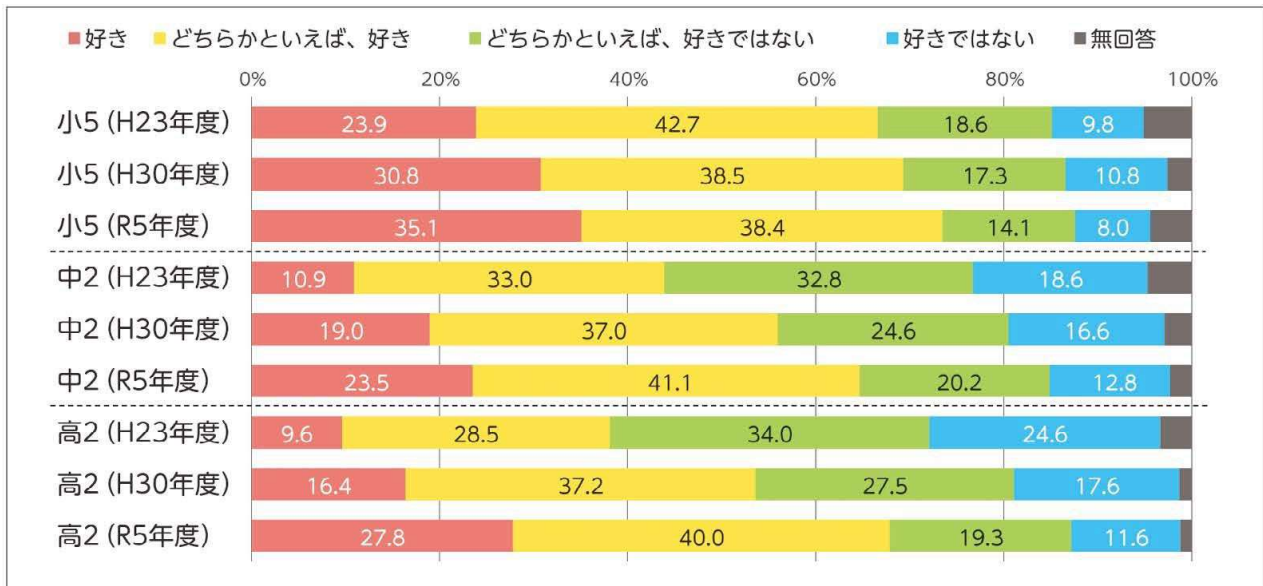
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※ □ で囲んだ数字は、最近の生活満足度の平均値を表しています。

自分のことが好きな小学生は約7割、中学生は約6割、高校生は約7割で増加している

自分のことが好きかについて、「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた小学生は73.5%、中学生は64.6%、高校生は67.8%となっています。小学生、中学生、高校生ともに、「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合は増加傾向にあり、平成23年度と比較すると、小学生は6.9ポイント、中学生は20.7ポイント、高校生は29.7ポイント高くなっています。

■ 図表9 あなたは、自分のことが好きですか

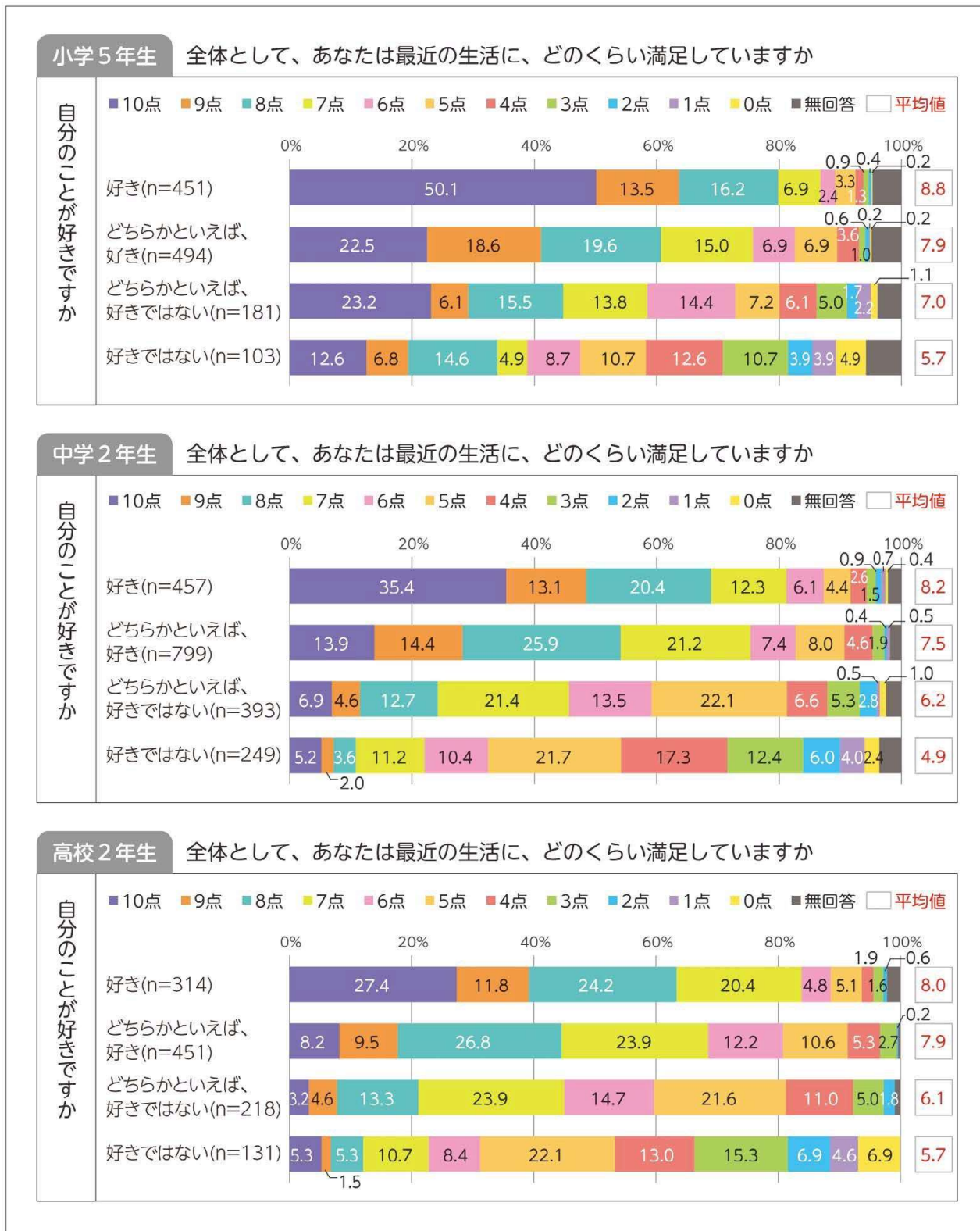


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことが好きな子どもは、最近の生活満足度の平均値が高い

「自分のことが好き」と「最近の生活満足度」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、自分のことが「好き」と答えた子どもは、「好きではない」と答えた子どもより、最近の生活満足度の平均値が高くなっており、その差は小学生、中学生では3点以上となっています。特に、自分のことが「好き」と答えた小学生は、最近の生活満足度が「10点」の割合が50.1%と過半数を占めています。

■ 図表10 「自分のことが好き」と「最近の生活満足度」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」
 ※ □ で囲んだ数字は、最近の生活満足度の平均値を表しています。

ほっとする場所について、小学生は「自分の家で、家族と過ごす場所」、中学生、高校生は「自分の家で、一人で過ごせる場所」の割合が最も高い

ほっとする場所について、小学生は「自分の家で、家族と過ごす場所」、中学生、高校生は「自分の家で、一人で過ごせる場所」の割合が最も高くなっています。小学生、中学生、高校生ともに、「自分の家で、一人で過ごせる場所」、「自分の家で、家族と過ごす場所」、「おじいさんやおばあさんの家」が上位となっています。また、ほっとする場所が「特にない」と答えた子どもの割合は、小学生で2.4%、中学生で2.1%、高校生で1.8%となり、平成30年度と比較するとやや低くなっています。

■図表11 あなたがほっとする場所はどんなところですか(複数回答)

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度
自分の家で、一人で過ごせる場所 ※1	—	② 54.9	② 55.8	—	① 80.7	① 83.1	—	① 88.1	① 88.7
自分の家で、家族と過ごす場所 ※2	—	① 64.1	① 69.3	—	② 48.4	② 52.1	—	② 41.6	② 49.8
自分の家 ※3	① 83.7	—	—	① 85.9	—	—	① 84.6	—	—
学校	17.2	22.0	25.3	② 18.8	22.5	21.5	③ 14.0	11.9	13.2
友だちの家	③ 19.7	25.4	26.8	③ 17.5	23.8	26.8	② 17.5	③ 15.8	14.5
おじいさんやおばあさんの家	② 35.1	③ 38.8	③ 37.4	③ 17.5	③ 24.1	③ 27.5	12.0	13.4	③ 15.0
図書館	13.1	26.9	18.9	7.8	17.3	14.5	5.9	6.5	9.0
公園	6.3	11.5	14.4	3.3	7.8	10.5	3.3	4.2	5.7
学習塾 ※4	2.2	5.3	5.6	1.8	5.2	4.8	0.8	2.4	3.1
児童館、公民館 ※5	1.0	4.4	3.8	0.0	1.2	1.1	0.1	0.2	0.3
子ども食堂、勉強を無料でみてる場所 ※6	—	—	1.5	—	—	0.4	—	—	0.3
習い事の教室、スポーツクラブ	8.5	14.2	13.9	3.8	7.3	7.7	2.5	2.4	1.8
フリースクール ※7	0.0	1.1	0.4	0.2	1.3	0.3	0.3	0.6	0.1
コンビニエンスストア	1.5	6.2	5.1	2.2	5.6	7.3	1.6	3.1	2.7
ゲームセンター、カラオケボックス	8.6	15.9	13.6	7.1	12.1	13.8	6.6	9.7	8.1
ファストフードの店、ファミリーレストラン	2.8	7.1	6.9	2.1	4.0	8.4	2.4	2.4	4.3
その他	5.4	5.9	4.2	5.4	4.1	3.6	6.5	3.2	2.0
特にない	1.9	2.7	2.4	2.6	2.4	2.1	2.4	2.1	1.8
無回答	5.5	0.6	1.4	4.7	0.6	1.2	4.6	0.2	0.4

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

※平成23年度は、回答の選択を3つまでとしていたため、比較する際には注意が必要です。

※1 平成23年度にこの選択肢はありません。

※2 平成23年度にこの選択肢はありません。

※3 平成30年度、令和5年度にこの選択肢はありません。

※4 平成23年度、平成30年度は「塾」

※5 平成23年度、平成30年度は「児童館」

※6 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

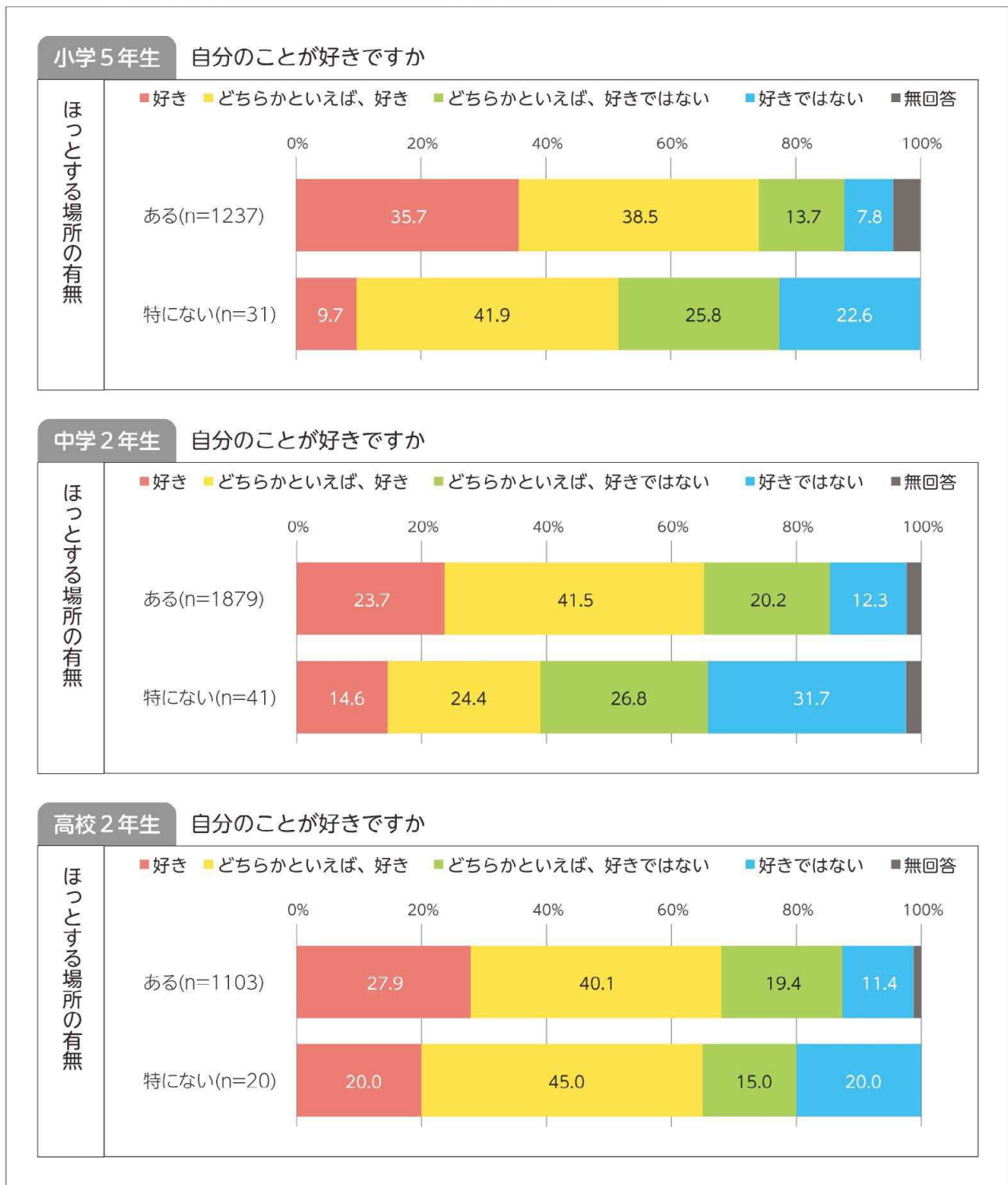
※7 平成23年度、平成30年度は「フリースクール、フリースペース」

ほっとする場所がある子どもは、特にない子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「ほっとする場所の有無」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生ともに、ほっとする場所がある子どもは、「特にない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が20ポイント以上高くなっています。

※「特にない」は、「あなたがほっとする場所はどこなところですか」の選択肢のうち、「特にない」と回答した人を表しています。「ある」は、同設問について、「特にない」と回答した人と無回答の人を除く全回答者を表しています。

■ 図表12 「ほっとする場所の有無」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

つらい気持ちになるときは、小学生は「友だちと仲良くできないとき」、中学生、高校生は「テストの点や成績が悪いとき」の割合が最も高い

つらい気持ちになるときについて、小学生は「友だちと仲良くできないとき」、中学生、高校生は「テストの点や成績が悪いとき」の割合が最も高くなっています。小学生、中学生、高校生ともに、「友だちと仲良くできないとき」の割合が、平成30年度と比較して10ポイント以上低くなっています。また、小学生は「授業がよく分からないとき」「テストの点や成績が悪いとき」「自分の意見を聞いてもらえないとき」「いじめられたとき」の割合が平成30年度と比較してそれぞれ10ポイント以上低くなっている一方、「つらい気持ちになったことはない」の割合が9.9ポイント高くなっています。

なお、中学生、高校生についても「つらい気持ちになったことはない」の割合が上昇傾向にあります。

■図表13 あなたがつらい気持ちになるのはどんなときですか(複数回答)

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度
自分と家族との関係がうまくいっていないとき ※1	—	—	22.0	—	—	27.1	—	—	30.1
親(保護者)同士の関係がうまくいっていないとき ※2	—	—	11.3	—	—	14.9	—	—	16.9
[上の2つ以外で] 家族内の関係がうまくいっていないとき ※3	—	—	5.2	—	—	6.1	—	—	5.9
家の人と仲良くできないとき ※4	③ 39.3	③ 38.2	—	28.4	30.9	—	31.9	27.3	—
友だちと仲良くできないとき	① 64.8	① 58.1	① 40.6	② 62.9	② 59.4	② 44.8	① 61.4	② 58.0	② 47.3
授業がよく分からないとき	34.5	34.7	③ 22.3	③ 34.4	③ 33.2	③ 31.2	27.1	33.6	33.2
テストの点や成績が悪いとき	② 55.5	② 52.0	② 37.9	① 65.9	① 68.0	① 57.6	② 50.2	① 60.1	① 57.1
受験や進路のことでうまくいかないとき	11.3	14.4	6.3	27.6	20.0	21.4	③ 40.7	③ 36.3	③ 39.2
自分の意見を聞いてもらえないとき	32.1	31.9	21.2	22.8	25.8	23.2	28.1	22.6	23.3
クラブ活動(部活動)の練習などが厳しいとき	13.3	13.5	6.1	27.2	30.7	21.3	19.4	25.7	19.9
勉強やクラブ活動(部活動)に必要なものを買ってもらえないとき ※5	—	—	2.4	—	—	3.9	—	—	3.0
自分の容姿(外見)のことで悩むとき ※6	—	15.4	14.5	—	23.9	26.9	—	29.0	31.1
いじめられたとき ※7	—	36.6	21.8	—	22.4	15.1	—	15.5	10.8
その他	8.2	5.8	5.1	2.8	5.3	3.9	6.3	4.5	2.2
つらい気持ちになったことはない	4.0	7.5	17.4	2.9	5.0	10.2	3.4	4.2	9.2
無回答	2.8	0.8	5.5	2.6	0.9	4.5	3.6	1.1	1.6

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

※1 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※2 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※3 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※4 令和5年度にこの選択肢はありません。

※5 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※6 平成23年度にこの選択肢はありません。

※7 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※8 令和5年度にこの選択肢はありません。

※9 平成23年度にこの選択肢はありません。

困ったことや悩みがあるときの相談相手は、小学生は「親（保護者）」、中学生、高校生は「友だち」の割合が最も高い

困ったことや悩みがあるときの相談相手について、小学生は「親（保護者）」の割合が72.1%で最も高く、次いで「友だち」（51.2%）、「学校の先生」（32.0%）となっています。中学生は「友だち」の割合が62.5%で最も高く、次いで「親（保護者）」（58.3%）、「学校の先生」（26.0%）となっています。高校生は「友だち」の割合が72.1%で最も高く、次いで「親（保護者）」（61.3%）、「兄弟姉妹」（22.4%）となっています。平成23年度と比較すると、小学生、中学生は「学校の先生」、高校生は「親（保護者）」の割合がそれぞれ10ポイント以上高くなっています。また、「誰にも相談しない」の割合は、平成30年度と比較して、小学生で2.2ポイント低くなっています。

■図表14 あなたは、困ったことや悩みがあるとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いませんか（複数回答）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度
親（保護者）	① 70.8	① 70.4	① 72.1	② 55.8	② 57.9	② 58.3	② 50.2	② 55.7	② 61.3
兄弟姉妹	③ 22.9	22.9	19.7	③ 18.7	16.8	20.4	③ 20.0	③ 17.6	③ 22.4
おじいさん、おばあさん	18.3	16.4	12.7	6.6	9.0	9.6	4.9	4.2	5.4
親せき ※1	—	6.2	4.7	—	3.6	4.7	—	2.1	2.2
友だち	② 58.9	② 53.7	② 51.2	① 67.0	① 68.6	① 62.5	① 70.2	① 74.0	① 72.1
学校の先生	19.1	③ 24.1	③ 32.0	12.7	③ 21.6	③ 26.0	12.7	12.3	16.6
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー ※2	—	—	3.0	—	—	3.5	—	—	2.5
児童福祉施設の先生・スタッフ	0.1	1.7	0.7	0.4	0.4	0.7	0.3	0.2	0.3
フリースクールのスタッフ	0.0	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.0
塾や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ	4.7	3.6	3.0	4.6	5.1	4.3	2.9	3.4	4.3
近所の知り合いの人	1.0	2.0	1.8	0.7	0.5	0.9	1.1	0.2	0.4
専門の相談機関（病院や児童相談所など）	0.8	1.1	1.3	0.6	0.5	1.0	0.6	0.6	0.9
電話やメールでの相談 ※3	—	2.7	2.4	—	3.7	3.1	—	1.8	1.3
インターネット（掲示板など）での相談	1.6	1.1	1.3	3.8	3.0	3.9	4.7	2.9	3.0
学童保育や児童館のスタッフ ※4	0.3	—	—	0.4	—	—	0.3	—	—
電話での相談 ※5	0.7	—	—	1.0	—	—	1.0	—	—
その他	1.9	1.8	1.4	1.5	1.7	0.9	3.2	1.4	0.7
誰にも相談しない	11.9	11.1	8.9	11.8	12.9	13.1	10.6	11.0	11.2
無回答	1.5	0.8	6.0	2.2	0.7	5.0	2.2	0.2	2.8

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

※1 平成23年度にこの選択肢はありません。

※2 平成23年度、平成30年度にこの選択肢はありません。

※3 平成23年度にこの選択肢はありません。

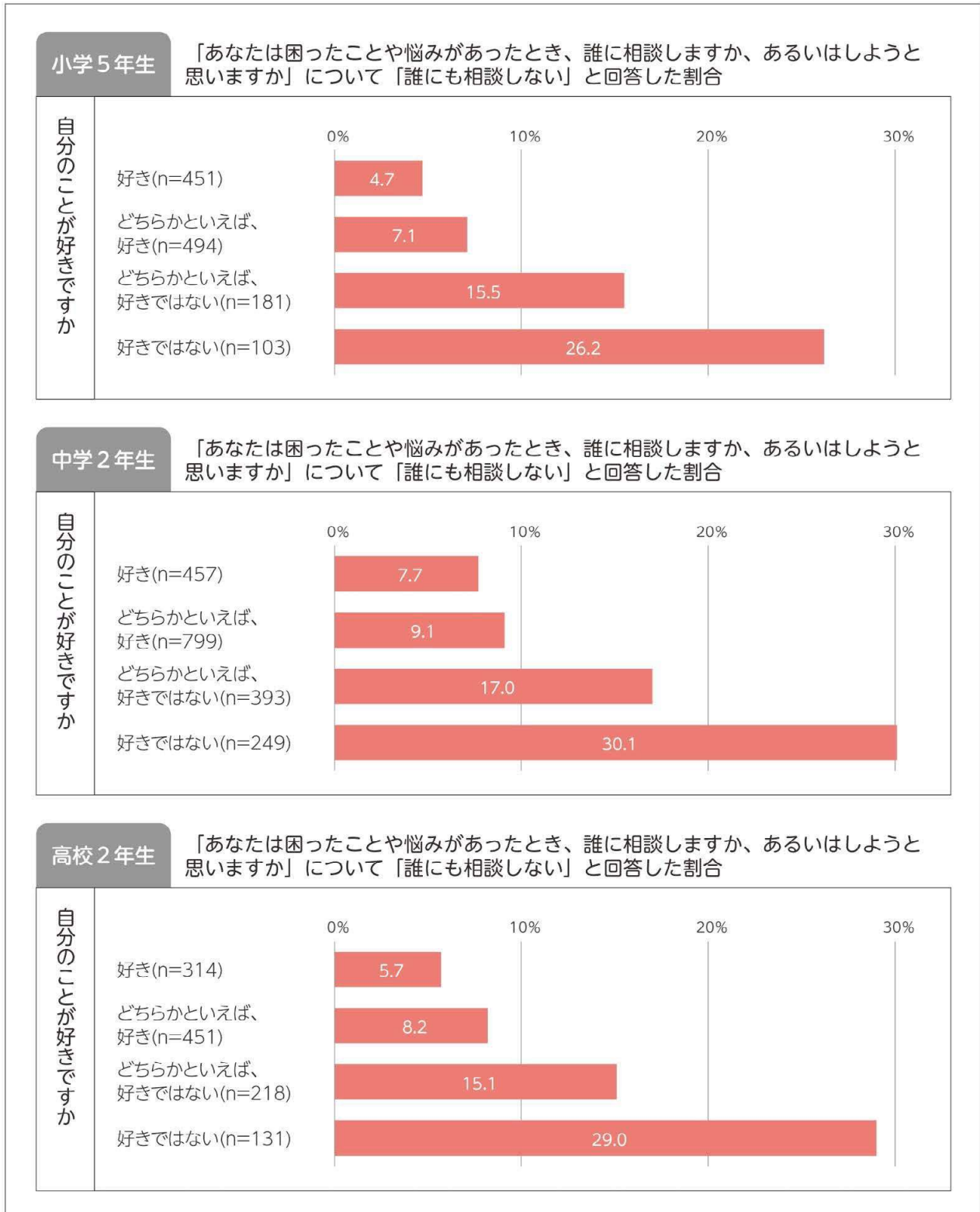
※4 平成30年度、令和5年度にこの選択肢はありません。

※5 平成30年度、令和5年度にこの選択肢はありません。

自分のことが好きではない子どもは、好きな子どもより、困ったことや悩みがあったときに誰にも相談しない割合が高い

「自分のことが好き」と「困ったことや悩みがあったときの相談相手」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、「自分のことが好きではない」と答えた子どもは、「好き」と答えた子どもより、「誰にも相談しない」の割合が20ポイント以上高くなっています。

■図表15 「自分のことが好き」と「困ったことや悩みがあったときの相談相手」の関係

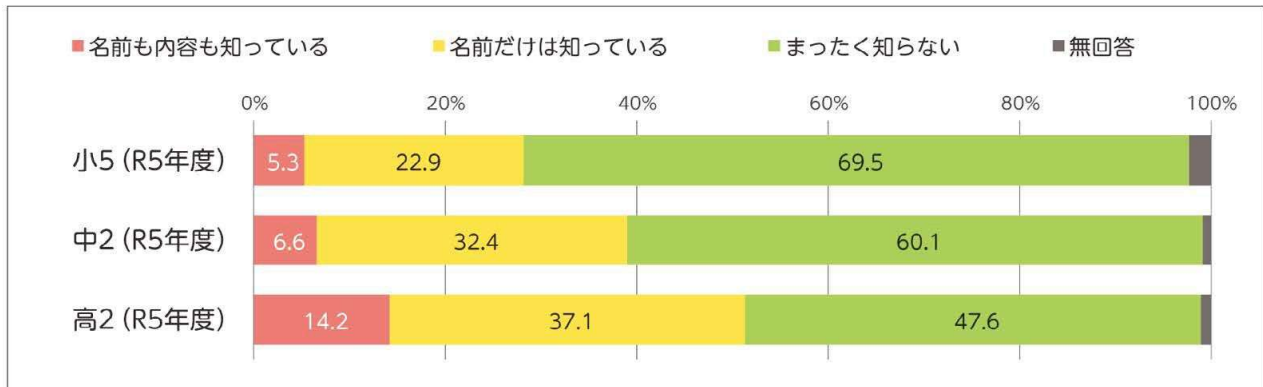


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

子どもの権利の認知度は、小学生で約3割、中学生で約4割、高校生で約5割

子どもの4つの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）について、「名前も内容も知っている」または「名前だけは知っている」と肯定的に答えた小学生は28.2%、中学生は39.0%、高校生は51.3%となっています。小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、認知度が高くなっています。

■ 図表16 あなたは子どもの4つの権利(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)について知っていますか

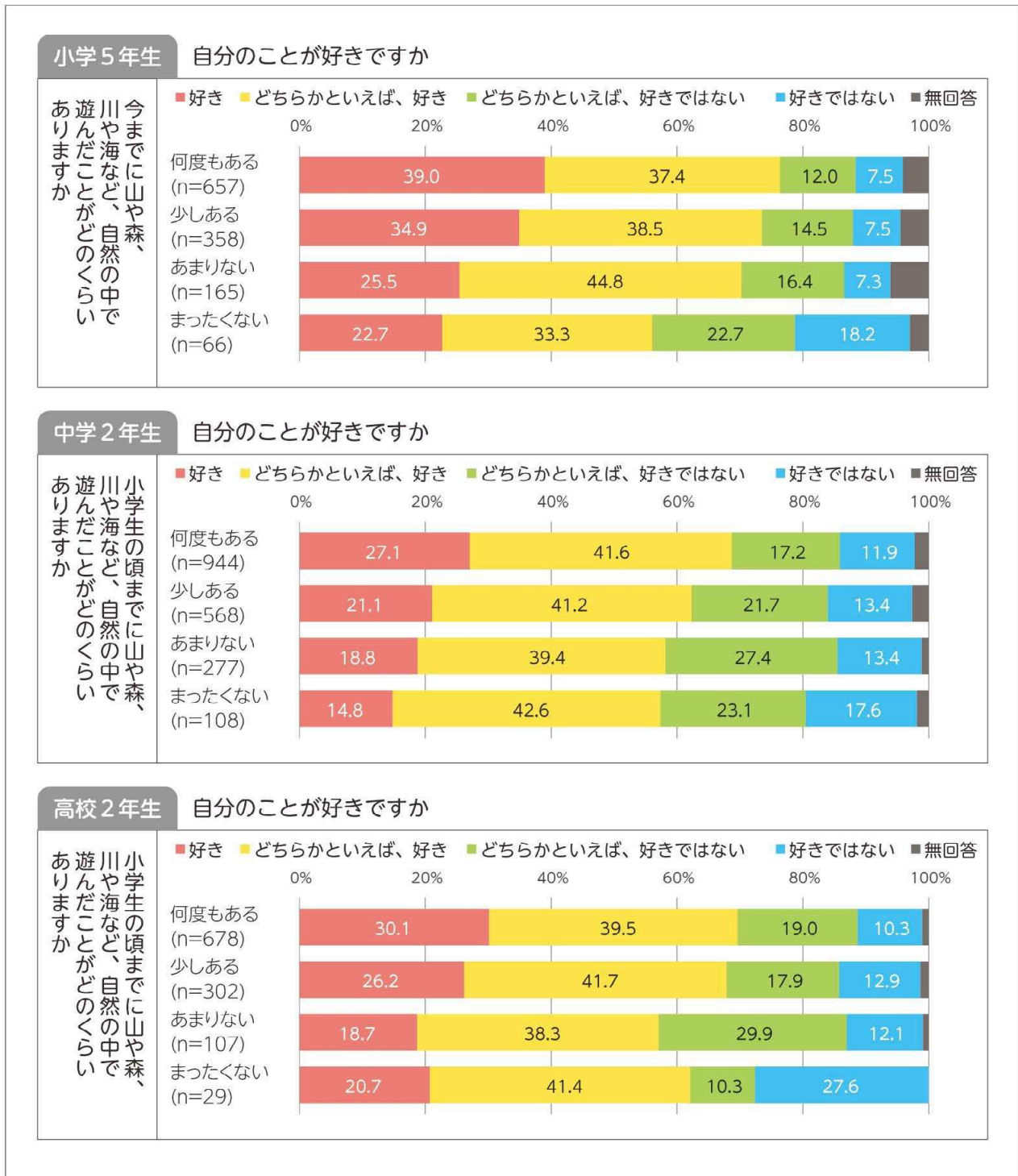


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

小さい頃に、自然の中で遊んだ経験が多い子どもは、少ない子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「小学生の頃までに自然の中で遊んだこと」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、自然の中で遊んだ経験が「何度もある」と答えた子どもは、「まったくない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が高くなっており、その差は小学生で20.4ポイント、中学生で11.3ポイント、高校生で7.5ポイントとなっています。

■ 図表17-1 「小学生の頃までに自然の中で遊んだこと」と「自分のことが好き」の関係

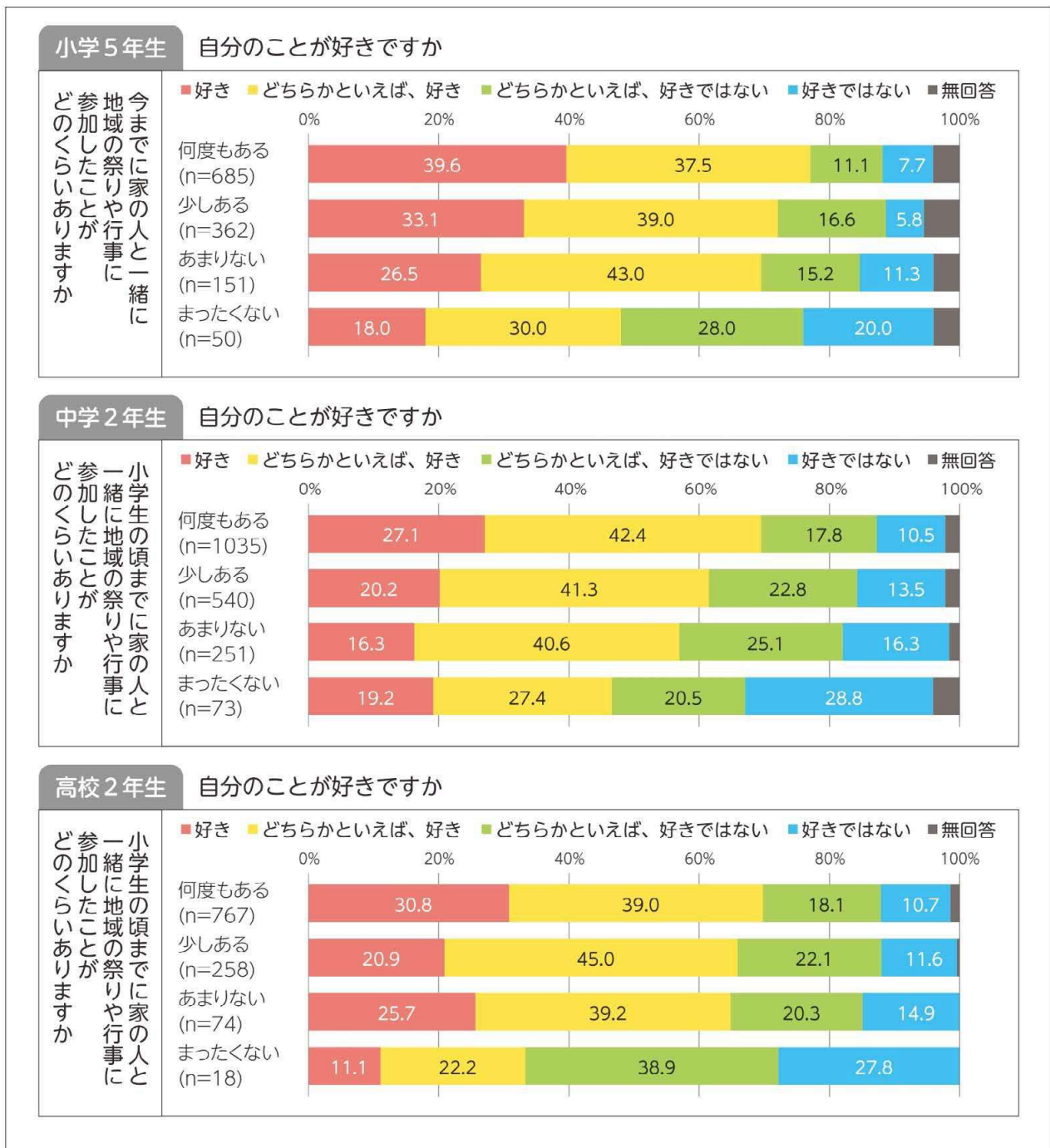


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

小さい頃に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が多い子どもは、少ない子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「小学生の頃までに家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が「何度もある」と答えた子どもは、「まったくない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が高くなっており、その差は小学生で29.1ポイント、中学生で22.9ポイント、高校生で36.5ポイントとなっています。また、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が「まったくない」と答えた子どもは、「何度もある」と答えた子どもより、自分のことが「好きではない」の割合が10ポイント以上高くなっています。

■ 図表17-2 「小学生の頃までに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「自分のことが好き」の関係

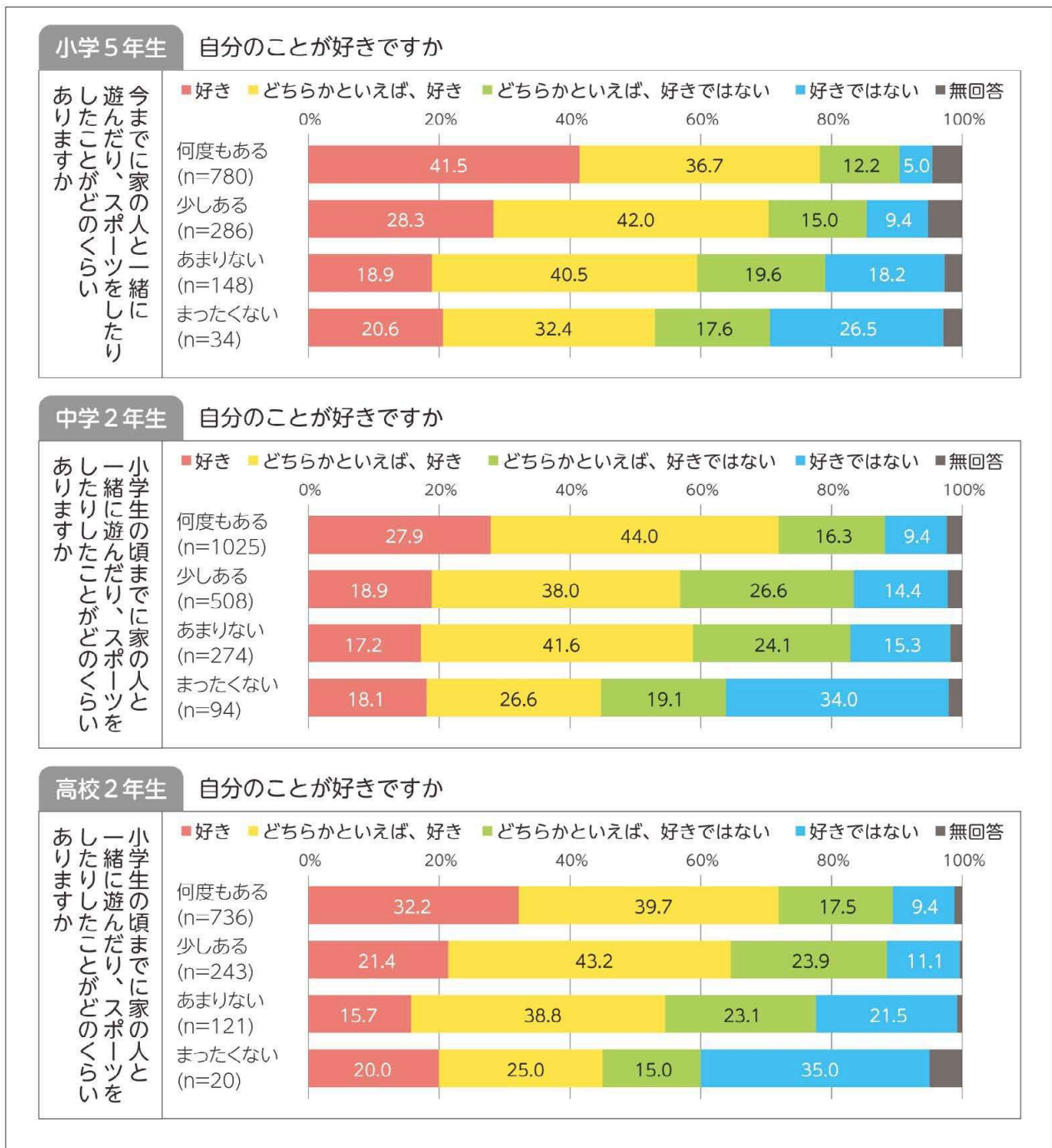


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

小さい頃に、家の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりした経験が多い子どもは、少ない子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「小学生の頃までに家の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりしたこと」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、家の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりした経験が「何度もある」と答えた子どもは、「まったくない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が20ポイント以上高くなっています。また、家の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりした経験が「まったくない」と答えた子どもは、「何度もある」と答えた子どもより、自分のことが「好きではない」の割合が20ポイント以上高くなっています。

■ 図表17-3 「小学生の頃までに、家の人と一緒に遊んだりスポーツをしたりしたこと」と「自分のことが好き」の関係

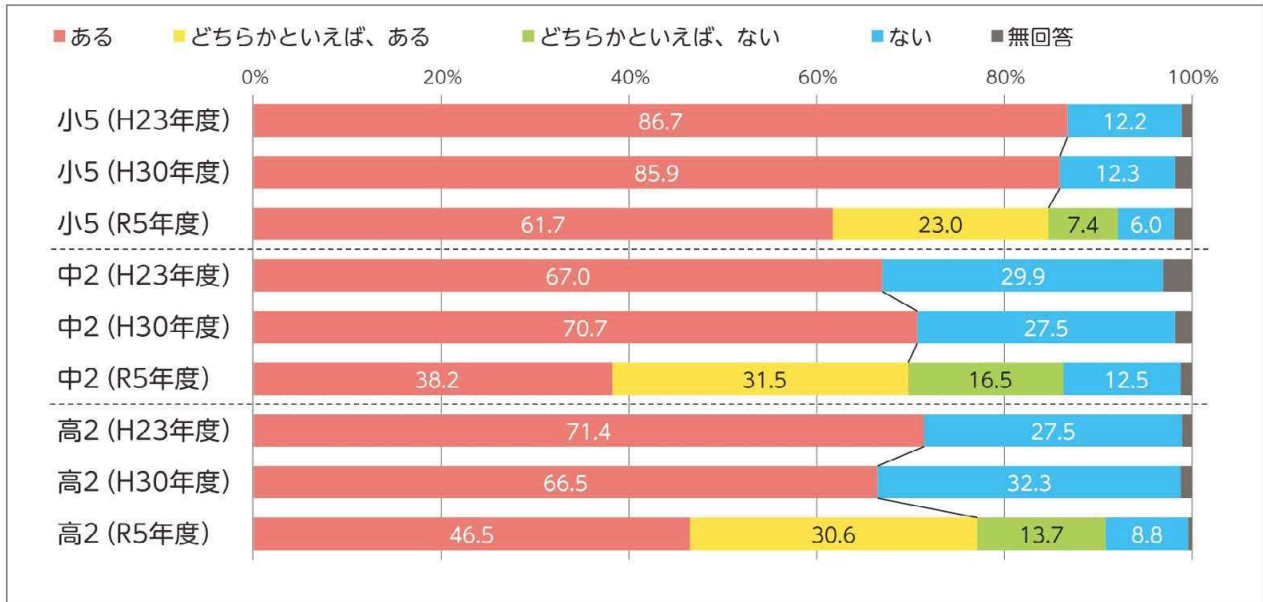


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

夢や将来の希望があると答えた小学生は約8割、中学生は約7割、高校生は約8割

夢や将来の希望について、「ある」または「どちらかといえば、ある」と肯定的に答えた小学生は84.7%、中学生は69.7%、高校生は77.1%となっています。平成30年度と比較すると、小学生、中学生はそれぞれ1.2ポイント、1.0ポイント低くなっている一方、高校生は10.6ポイント高くなっています。

■図表18 あなたには、夢や将来の希望がありますか



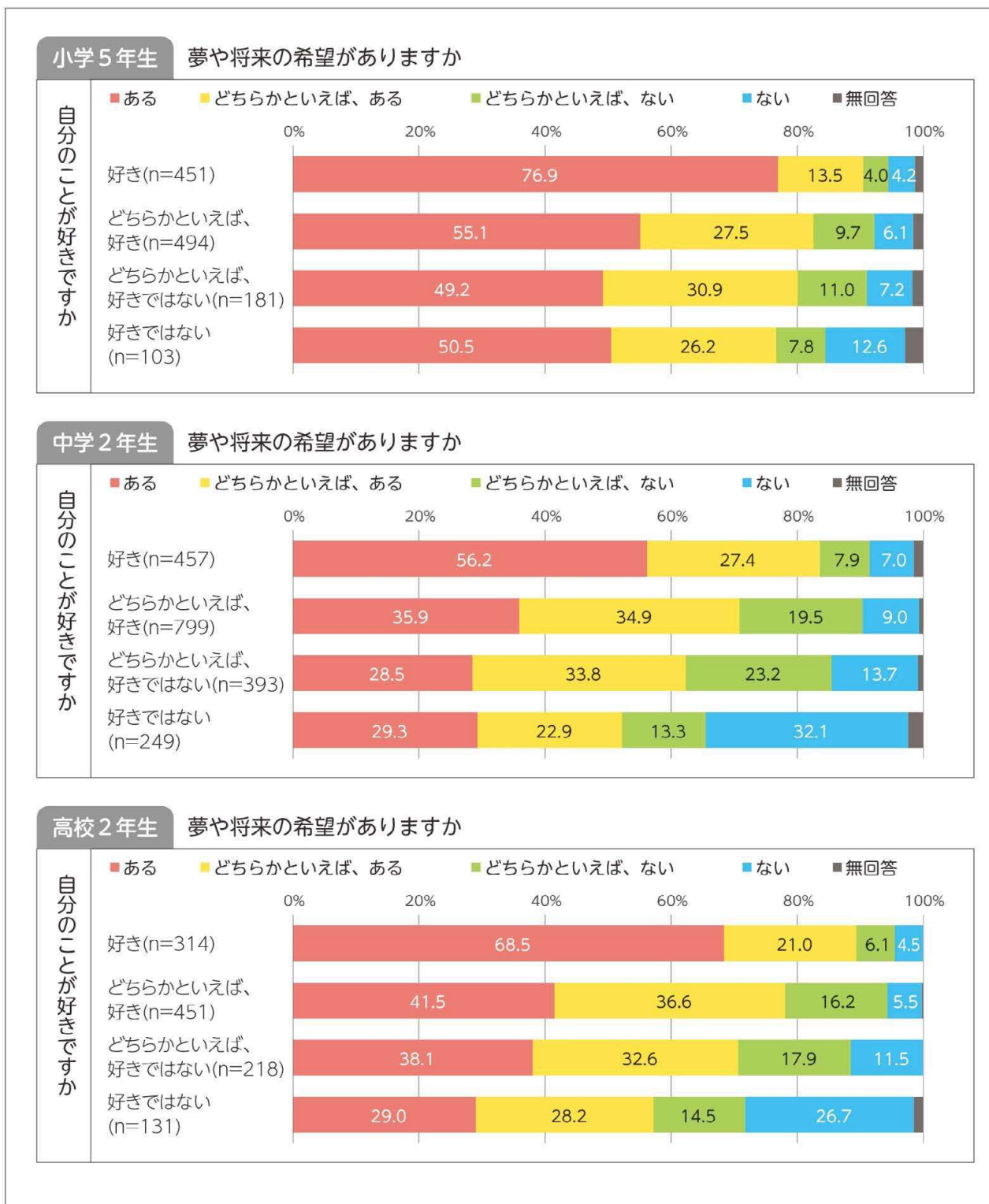
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※平成23年度、平成30年度は、選択肢を「ある」「ない」の2択としていたため、比較するには注意が必要です。

自分のことが好きな子どもは、好きではない子どもより、夢や将来の希望がある割合が高い

「自分のことが好き」と「夢や将来の希望」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、自分のことが「好き」と答えた子どもは、「好きではない」と答えた子どもより、夢や将来の希望が「ある」または「どちらかといえば、ある」と肯定的に答えた割合が高くなっており、小学生で13.7ポイント、中学生で31.4ポイント、高校生で32.3ポイント高くなっています。また、中学生、高校生では、自分のことが「好きではない」と答えた子どもは、「好き」と答えた子どもより、夢や将来の希望が「ない」の割合がそれぞれ20ポイント以上高くなっています。

■図表19 「自分のことが好き」と「夢や将来の希望」の関係

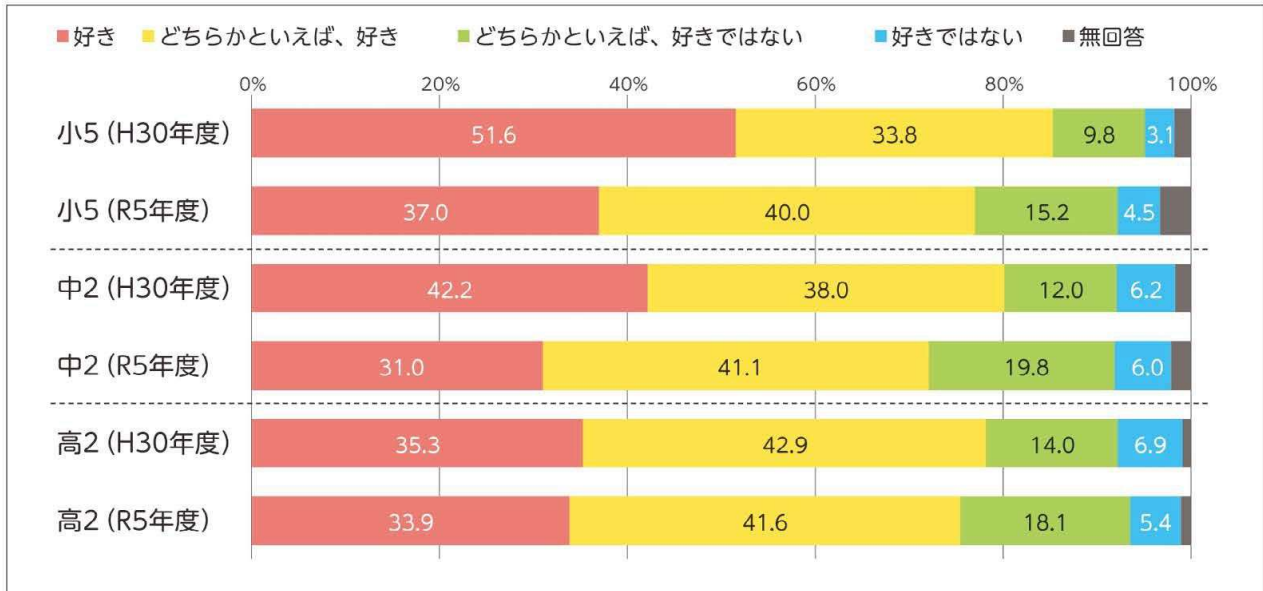


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

新しいことにチャレンジすることが好きな小学生は約8割、中学生は約7割、高校生は約8割で減少している

新しいことにチャレンジすることについて、「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた小学生は77.0%、中学生は72.1%、高校生は75.5%となっており、いずれも平成30年度より低くなっています。特に「好き」と答えた子どもの割合は、小学生で37.0%、中学生で31.0%となっており、それぞれ10ポイント以上低くなっています。

■ 図表20 あなたは、新しいことにチャレンジすることが好きですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

● チャレンジ精神が低下していることについて

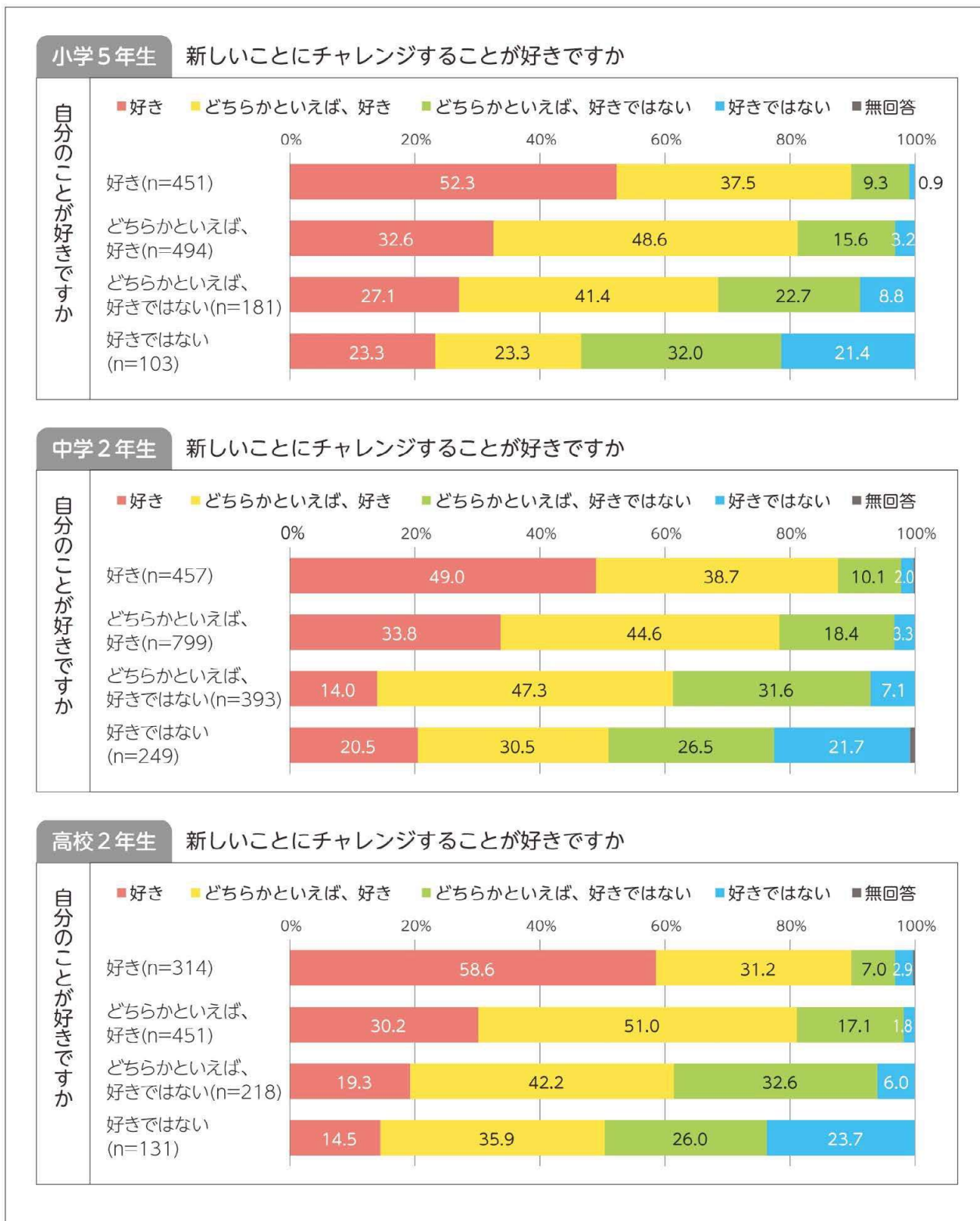
「新しいことにチャレンジすることが好き」な子どもの割合が下がっていることは課題だと思えます。自分から「〇〇をやりたい」と言える子どもは少なく、「やってもいいよ」と言われないとチャレンジしにくい子どもが増えていると感じています。特にコロナ禍において、感染症対策のもとで禁止されたり、行動を制限されたりすることが多かったこともあり、指示待ちの子どもや、やってもいいか、どのようにすればよいか、大人の反応を伺う子どもが以前より多くなっていると感じます。体験の機会が大切と考え、私たちが運営する学習支援「かな塾」では、子どもたちが主体的にやりたいことや好きなことができる環境づくりをすることで、いろいろなことに挑戦できています。

(NPO 法人 玉絆)

自分のことが好きな子どもは、好きではない子どもより、新しいことにチャレンジすることが好きな割合が高い

「自分のことが好き」と「新しいことにチャレンジすること」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、自分のことが「好き」と答えた子どもは、「好きではない」と答えた子どもより、新しいことにチャレンジすることが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が30ポイント以上高くなっています。

■図表21 「自分のことが好き」と「新しいことにチャレンジすること」の関係

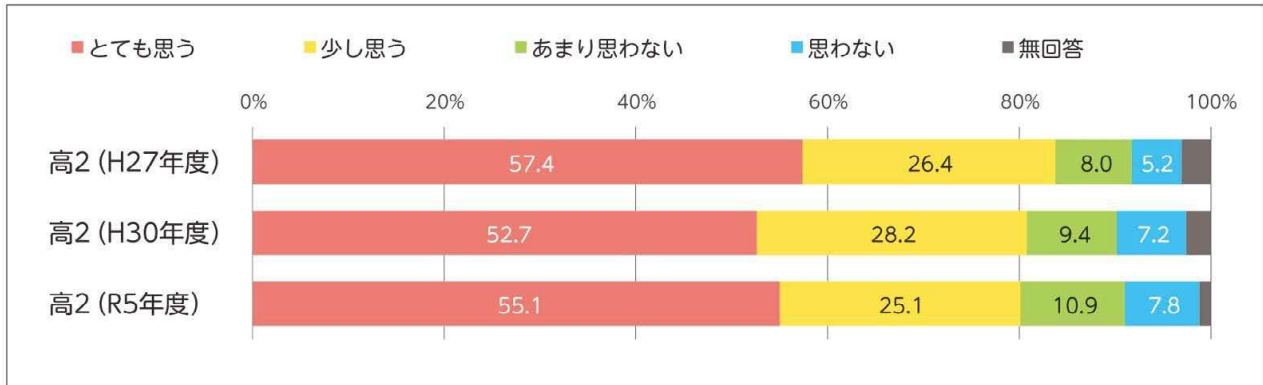


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

将来、結婚したいと思う高校生は約8割

将来、結婚したいと思うかについて、「とても思う」または「少し思う」と肯定的に答えた高校生は80.2%となっています。

■ 図表22-1 あなたは、自分の将来について、いつかは結婚したいと思いますか

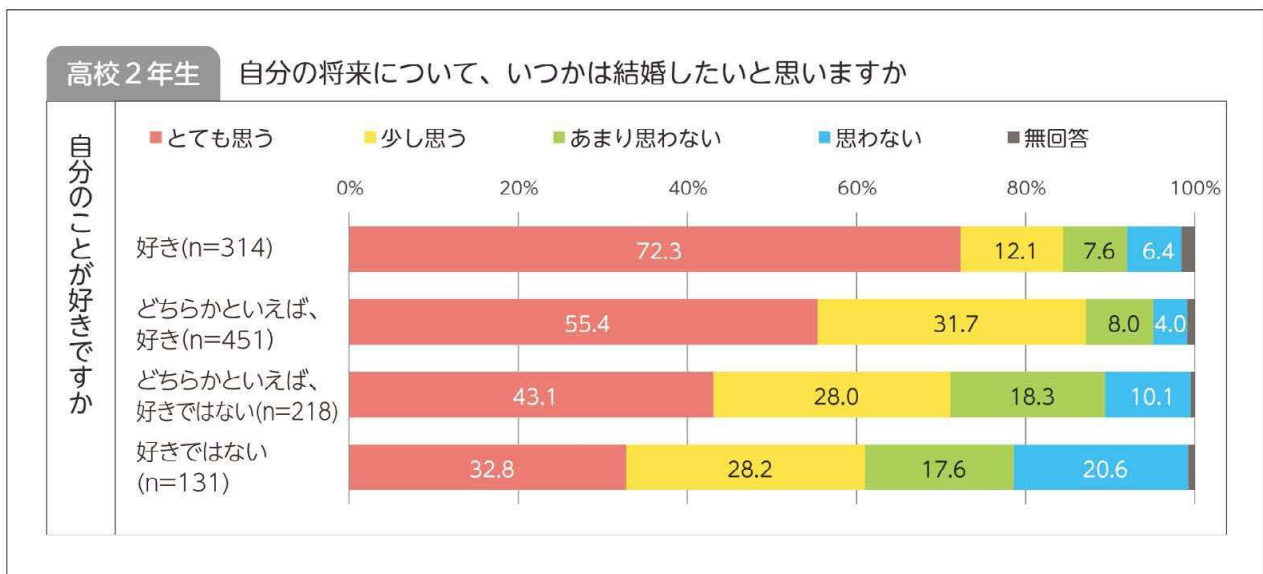


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことが好きな高校生は、好きではない高校生より、将来結婚したいと思う割合が高い

「自分のことが好き」と「将来、結婚したいと思う」の関係について、自分のことが「好き」と答えた高校生は、「好きではない」と答えた高校生より、将来結婚したいと「とても思う」または「少し思う」と肯定的に答えた割合が23.4ポイント高くなっています。

■ 図表23-1 「自分のことが好き」と「将来、結婚したいと思う」の関係

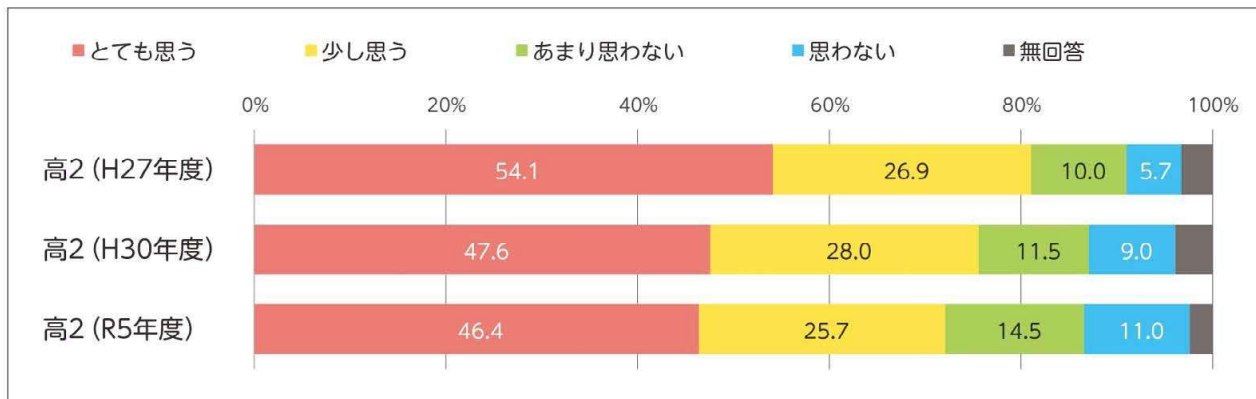


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

将来、子どもを持ちたいと思う高校生は約7割で減少している

将来、子どもをほしいと思うかについて、「とても思う」または「少し思う」と肯定的に答えた高校生は72.1%となり、減少傾向です。一方、「思わない」または「あまり思わない」と否定的に答えた高校生は25.5%で、約4人に1人となっています。

■図表22-2 あなたは、自分の将来について、いつかは子どもがほしいと思いますか

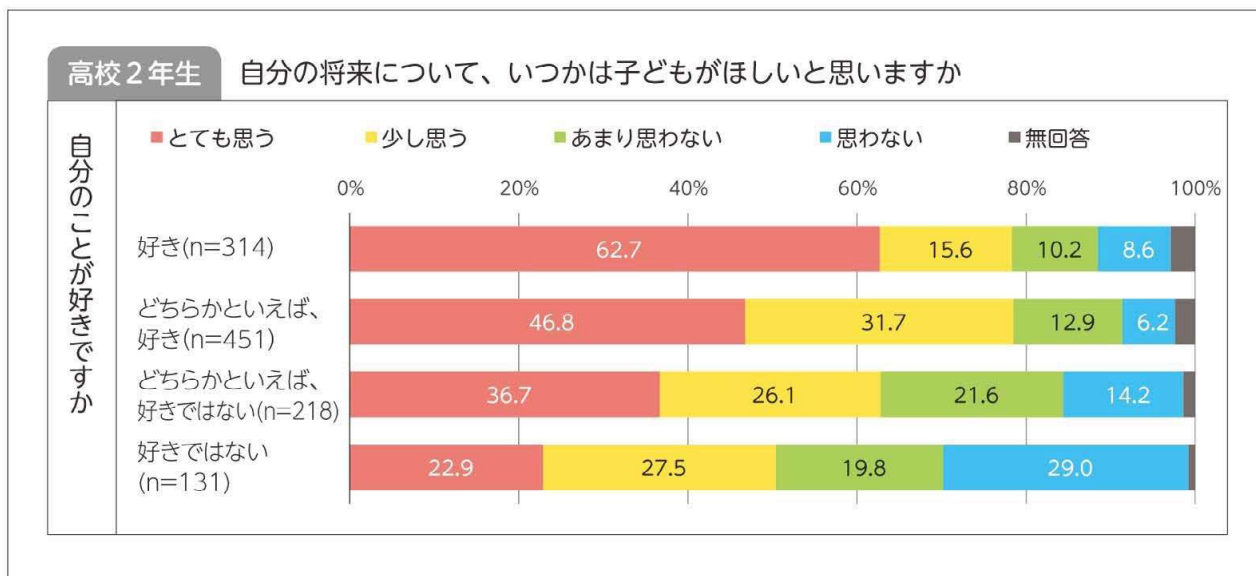


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことが好きな高校生は、好きではない高校生より、将来子どもを持ちたいと思う割合が高い

「自分のことが好き」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係について、自分のことが「好き」と答えた高校生は、「好きではない」と答えた高校生より、将来子どもがほしいと「とても思う」または「少し思う」と肯定的に答えた割合が27.9ポイント高くなっています。

■図表23-2 「自分のことが好き」と「将来、子どもがほしいと思う」の関係



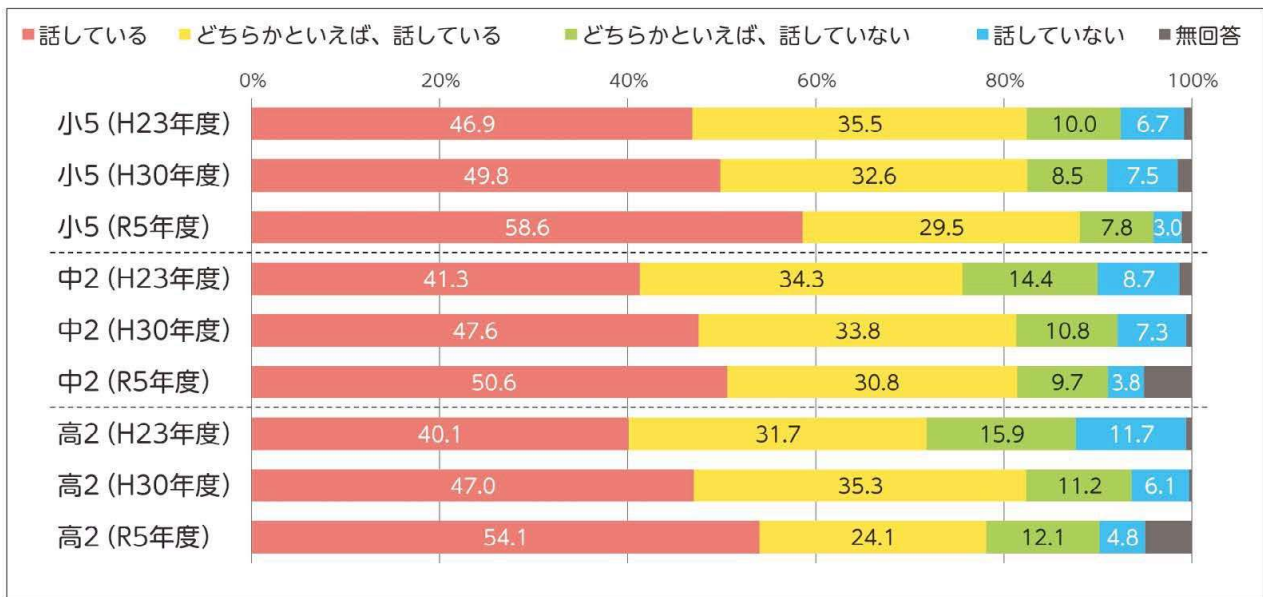
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

3 大人との関わり

家の人と学校などでの出来事について話をしている小学生は約9割、中学生、高校生は約8割

家の人と学校などでの出来事について話をしているかについて、「話している」または「どちらかといえば、話している」と肯定的に答えた小学生は88.1%、中学生は81.4%、高校生は78.2%となっています。小学生、中学生、高校生ともに、「話している」の割合が増加傾向にあり、特に、小学生、高校生は平成23年度よりそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

■ 図表24 あなたは、家の人(兄弟姉妹は含みません)と学校などでの出来事について話をしていますか

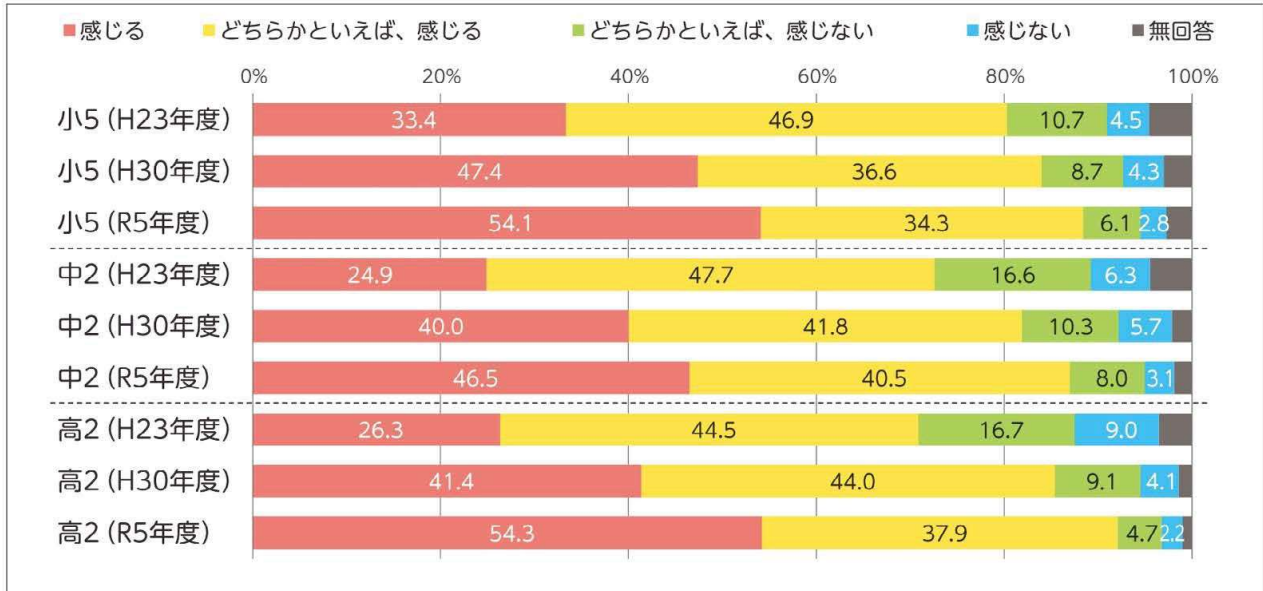


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

ふだん生活している中で、大切にされていると感じる子どもは約9割で増加している

家庭や地域、学校などふだん生活している中で、「大切にされている」と感じるかについて、「感じる」または「どちらかといえば、感じる」と肯定的に答えた子どもの割合は増加傾向にあり、小学生は88.4%、中学生は87.0%、高校生は92.2%となっています。特に、小学生、中学生、高校生ともに、「感じる」の割合が増加しており、平成23年度より20ポイント以上高くなっています。

■ 図表25 あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活している中で、「大切にされている」と感じますか

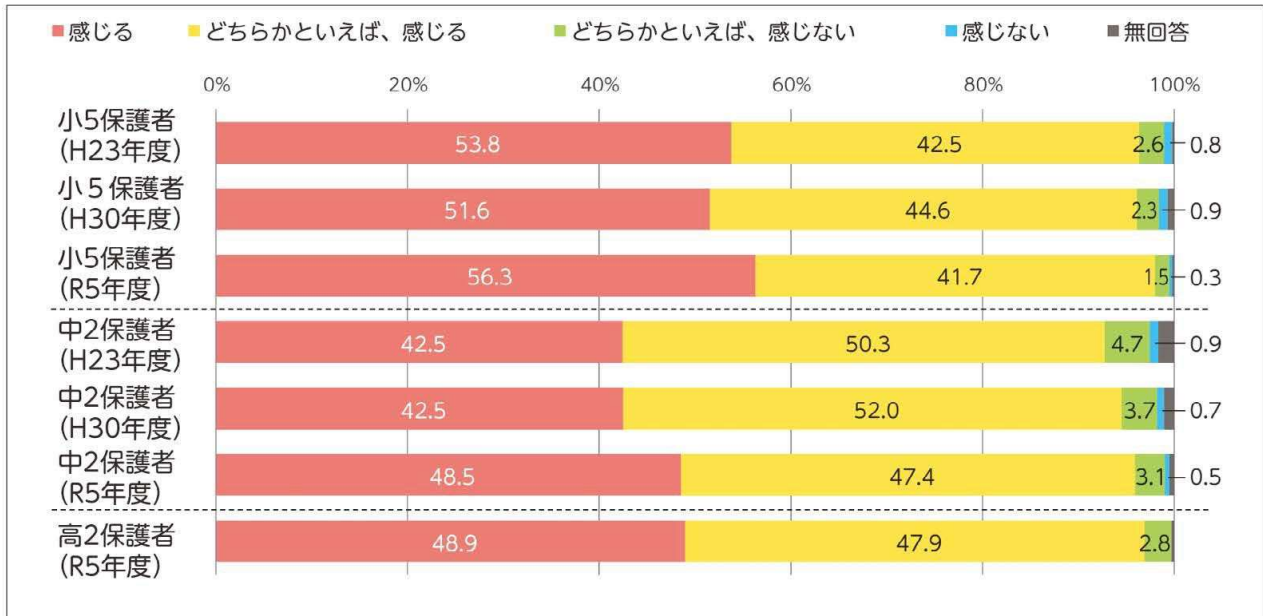


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

ほとんどの保護者は、自分の子どもが、ふだん生活している中で大切にされていると感じている

自分の子どもが家庭や地域、学校などふだん生活している中で、「大切にされている」と感じるかについて、「感じる」または「どちらかといえば、感じる」と肯定的に答えた保護者は、小学生で98.0%、中学生で95.9%、高校生で96.8%となっています。

■ 図表26 あなたは、お子さまが、家庭や地域、学校など、ふだん生活している中で、「大切にされている」と感じますか



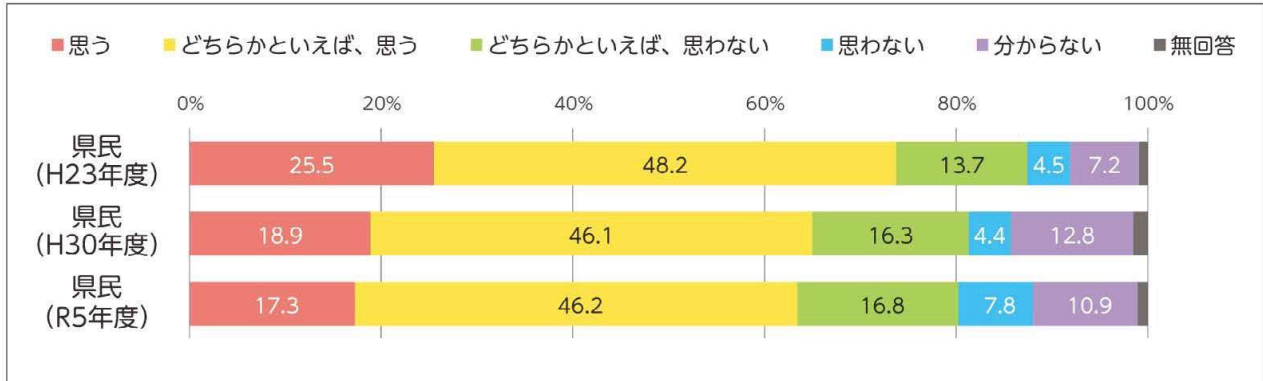
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」

※高校生の保護者に対する調査は、平成23年度、平成30年度は実施していません。

今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思う県民は約6割で減少している

今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思うかについて、「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた県民は63.5%となっており、平成23年度より10.2ポイント低くなっています。

■ 図表27 あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか

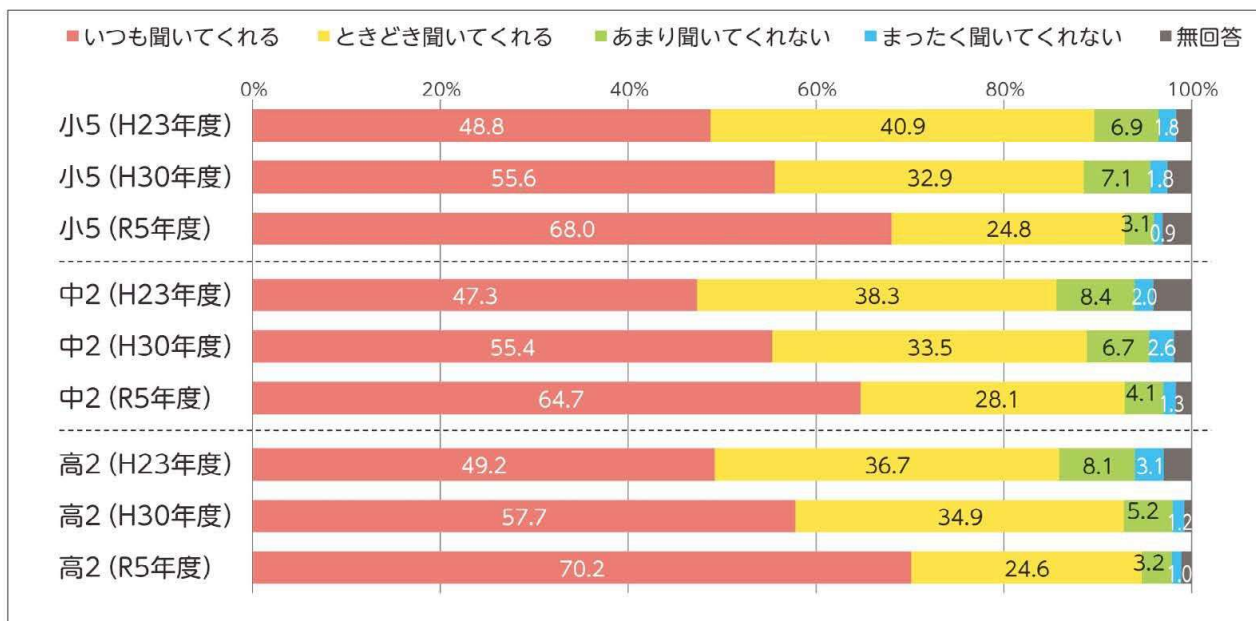


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈県民調査〉」

親などの大人は意見を聞いてくれると感じている子どもは9割以上で増加している

親などの大人は意見を聞いてくれるかについて、「いつも聞いてくれる」または「ときどき聞いてくれる」と肯定的に答えた小学生は92.8%、中学生は92.8%、高校生は94.8%となっています。特に、小学生、中学生、高校生ともに、「いつも聞いてくれる」の割合が増加しており、平成23年度と比較すると、小学生で19.2ポイント、中学生で17.4ポイント、高校生で21.0ポイント増加しています。

■ 図表28 あなたが自分のことを決めるとき、親(保護者)などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか

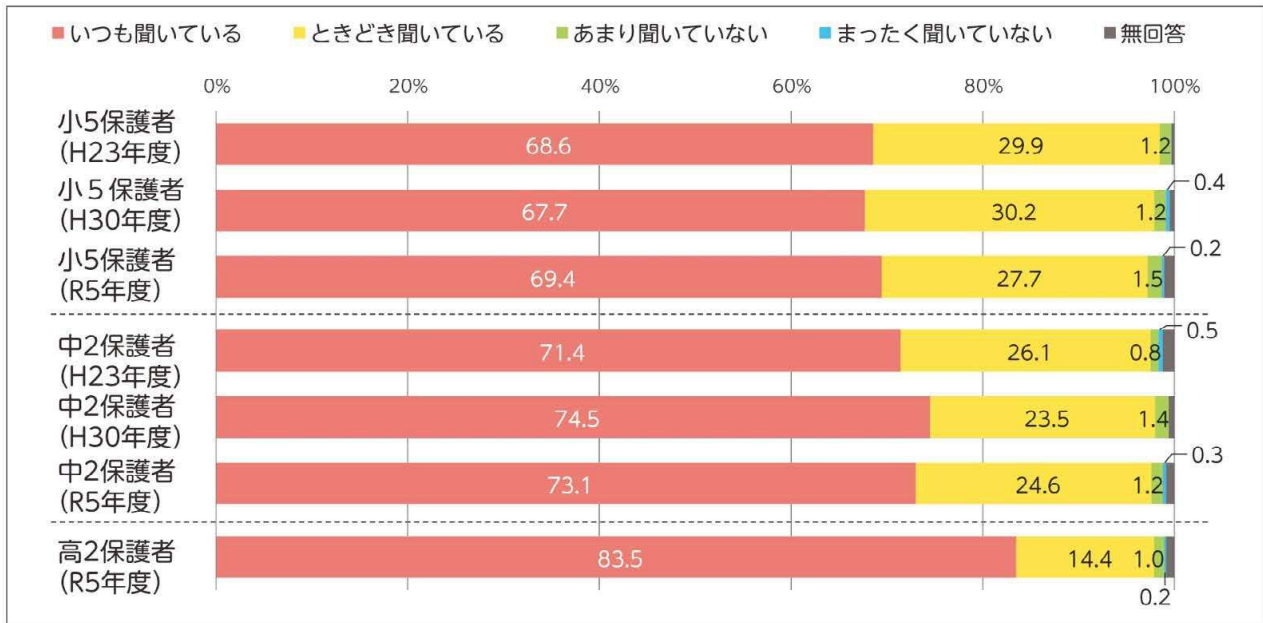


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

ほとんどの保護者は、子どもの意見を聞いていると答えている

子どものことを決めるとき、子どもの意見を聞いているかについて、「いつも聞いている」または「ときどき聞いている」と肯定的に答えた保護者は、小学生で97.1%、中学生で97.7%、高校生で97.9%となっています。特に、「いつも聞いている」と答えた保護者は、小学生で69.4%、中学生で73.1%、高校生で83.5%となっており、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、割合が高くなっています。

■ 図表29 あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか



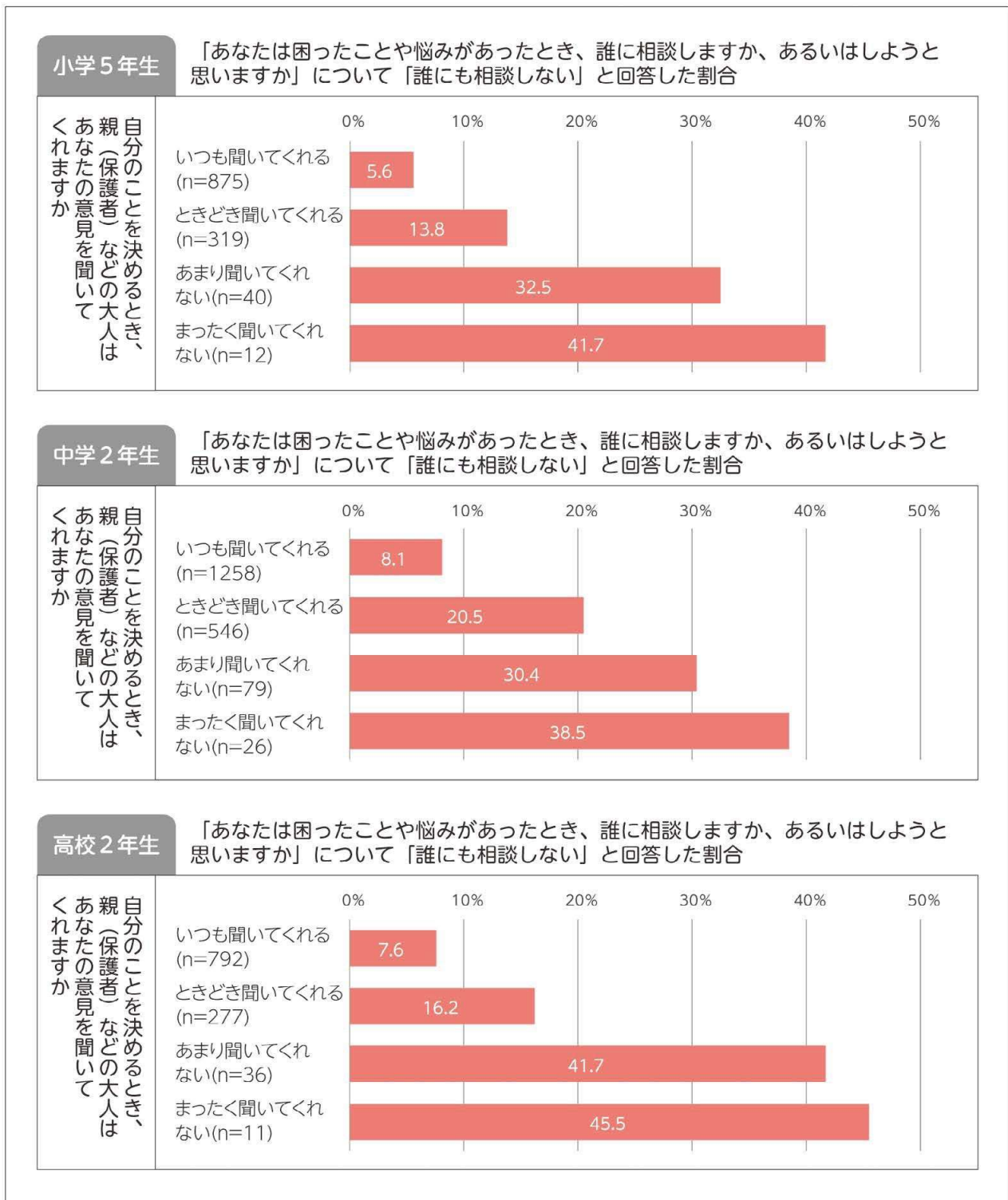
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」

※高校生の保護者に対する調査は、平成23年度、平成30年度は実施していません。

自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれないと答えた子どもは、聞いてくれると答えた子どもより、困ったことや悩みがあったときに誰にも相談しない割合が高い

「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「困ったことや悩みがあったときの相談相手の有無」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、親(保護者)などの大人が意見を「まったく聞いてくれない」と答えた子どもは、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもより、困ったことや悩みがあったときの相談相手の有無について「誰にも相談しない」の割合が30ポイント以上高くなっています。

■ 図表30 「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「困ったことや悩みがあったときの相談相手の有無」の関係

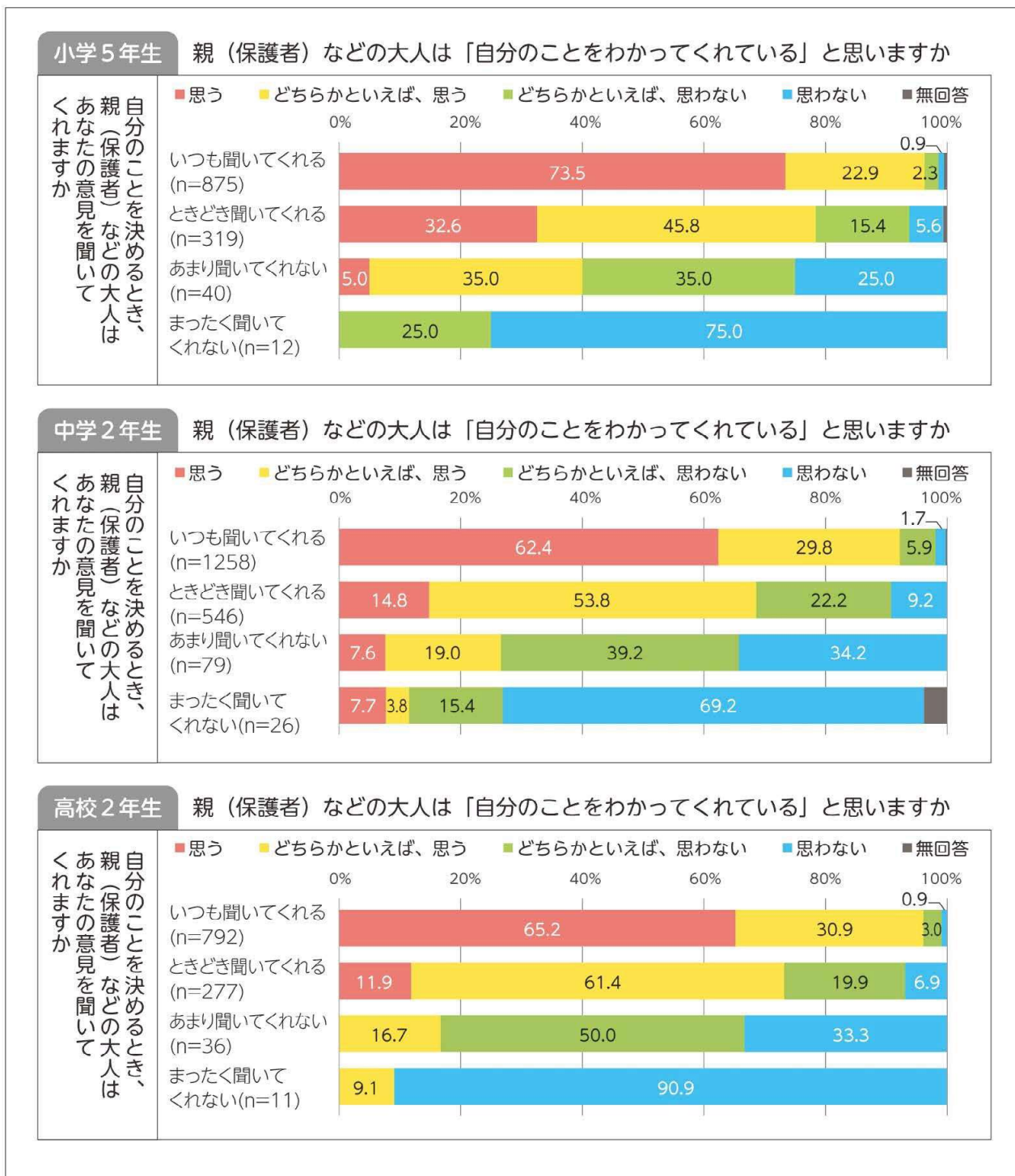


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれると答えた子どもは、聞いてくれないと答えた子どもより、大人が自分のことをわかってくれていると思う割合が高い

「親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「親（保護者）などの大人が自分のことをわかってくれている」の関係について、親（保護者）などの大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、親（保護者）などの大人が自分のことをわかってくれていると「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた割合が小学生で96.4%、中学生で92.2%、高校生で96.1%となっています。また、小学生、中学生、高校生ともに、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、それ以外の子どもより、親（保護者）などの大人が自分のことをわかってくれていると「思う」の割合が40ポイント以上高くなっています。

■図表31 「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「親(保護者)などの大人が自分をわかってくれている」の関係

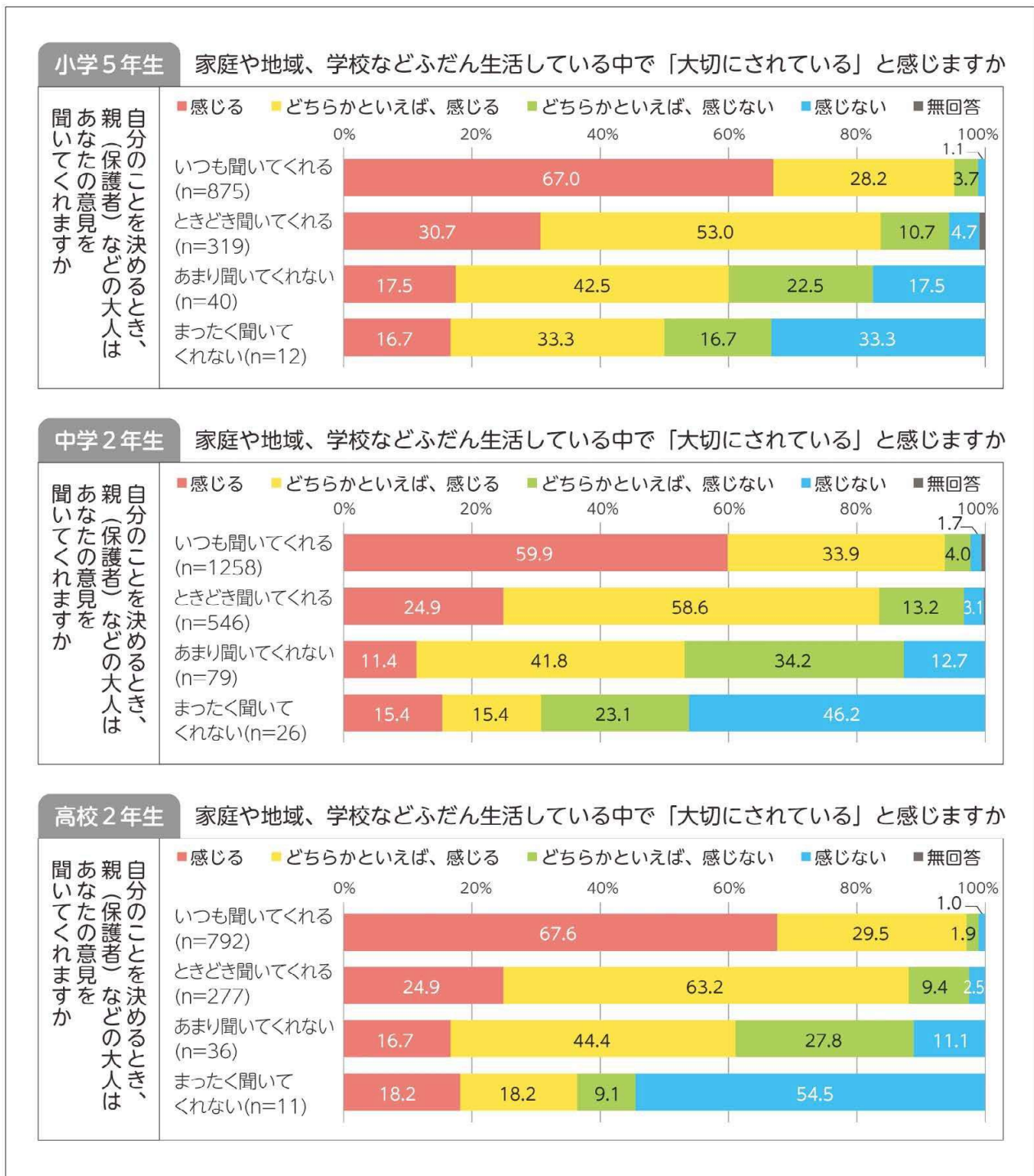


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれると答えた子どもは、聞いてくれないと答えた子どもより、大切にされていると思う割合が高い

「親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「ふだん生活している中で大切にされていると感じる」の関係について、親（保護者）などの大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、ふだん生活している中で大切にされていると感じる」または「どちらかといえば、感じる」と肯定的に答えた割合が小学生で95.2%、中学生で93.8%、高校生で97.1%となっています。また、小学生、中学生、高校生ともに、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、それ以外の子どもより、ふだん生活している中で大切にされていると感じる」の割合が30ポイント以上高くなっています。

■図表32 「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「ふだん生活している中で大切にされていると感じる」の関係

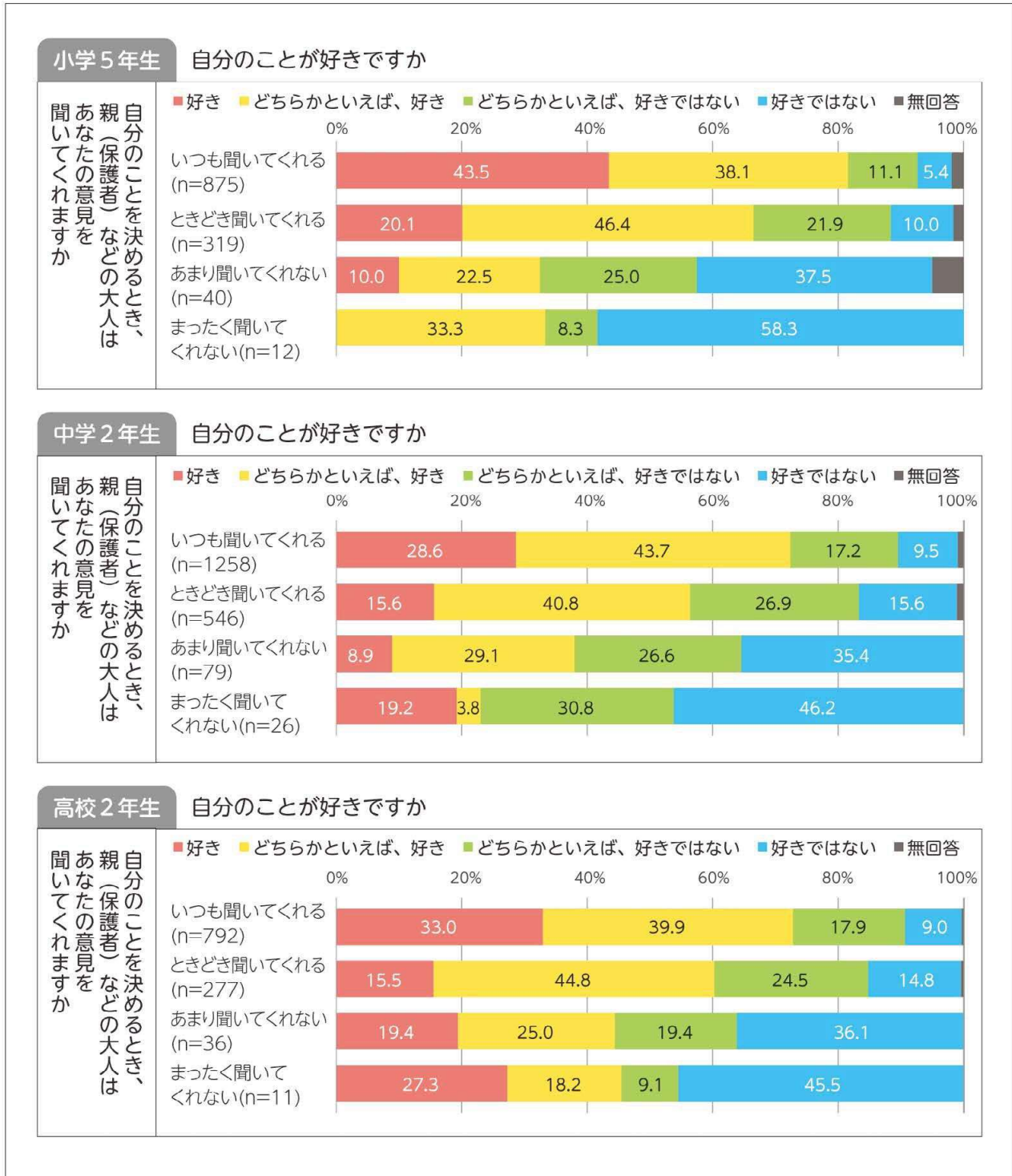


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれると答えた子どもは、聞いてくれないと答えた子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係について、親（保護者）などの大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が、小学生で81.6%、中学生で72.3%、高校生で72.9%となっています。また、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもは、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもより、自分のことが「好きではない」の割合が高くなっており、その差は小学生で52.9ポイント、中学生で36.7ポイント、高校生で36.5ポイントとなっています。

■ 図表33 「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係

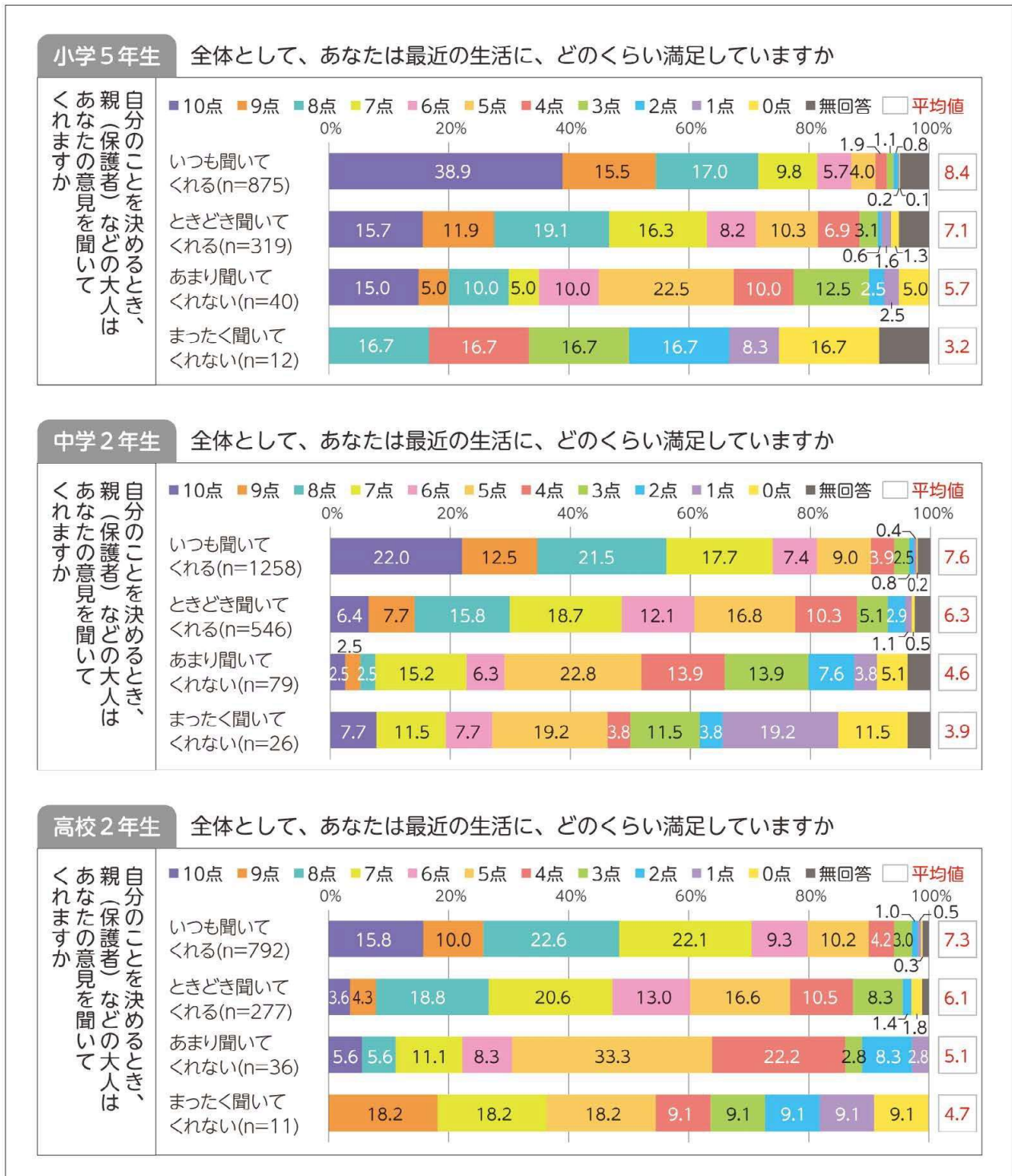


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれると答えた子どもは、聞いてくれないと答えた子どもより、最近の生活満足度が高い

「親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「最近の生活満足度」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、親（保護者）などの大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもより、最近の生活満足度の平均値が高くなっています。また、小学生では「いつも聞いてくれる」と答えた子どもの最近の生活満足度の平均値は8.4点、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもの最近の生活満足度の平均値は3.2点で、その差は5.2点となっており、中学生、高校生より差が大きくなっています。

■ 図表34 「親(保護者)などの大人が意見を聞いてくれる」と「最近の生活満足度」



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」
 ※ □ で囲んだ数字は、最近の生活満足度の平均値を表しています。

自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思うことは、小学生は「テレビ、ゲーム」、中学生は「服そう」、高校生は「進学したい学校」の割合が最も高い

自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思うことについて、小学生は「テレビ、ゲーム」の割合が39.3%で最も高く、次いで「服そう」(36.2%)、「習い事」(34.4%)となっています。中学生は「服そう」の割合が50.1%で最も高く、次いで「テレビ、ゲーム」(47.2%)、「趣味の活動」(46.7%)となっています。高校生は「進学したい学校」の割合が59.0%で最も高く、次いで「服そう」(57.1%)、「付き合い友だち」(52.9%)となっています。また、「自分で決めたいと思うことはない」と答えた小学生は13.9%、中学生は7.1%、高校生は5.3%となっており、いずれも増加傾向です。

■ 図表35 あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか(複数回答)

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度
服そう	32.9	① 44.1	② 36.2	① 45.8	② 49.3	① 50.1	② 47.1	① 52.0	② 57.1
習い事	② 37.3	① 44.1	③ 34.4	18.8	30.5	28.6	11.3	19.9	21.9
学習塾 ※1	13.6	14.2	13.0	16.5	20.5	19.4	8.8	15.6	18.7
家に帰る時間	18.8	25.5	17.7	25.4	31.3	31.9	33.2	37.3	41.0
テレビ、ゲーム	① 38.8	③ 42.0	① 39.3	34.0	① 49.9	② 47.2	28.8	40.5	39.5
寝る時間	③ 35.6	32.5	26.5	③ 38.2	③ 46.7	42.2	38.8	44.6	44.1
進学したい学校	19.2	26.3	18.3	36.1	42.0	45.2	36.1	② 50.9	① 59.0
クラブ活動(部活動) ※2	20.4	24.2	13.6	37.2	42.1	36.1	26.9	39.2	37.9
アルバイト	11.8	11.4	12.8	16.7	18.3	25.5	26.4	28.9	33.2
就職先	19.6	18.1	13.5	22.6	24.6	29.2	28.1	36.2	38.7
付き合い友だち	30.7	29.5	22.3	② 42.0	44.3	43.5	① 50.2	47.3	③ 52.9
携帯電話・スマートフォン ※3	27.7	33.4	25.7	30.7	40.9	46.2	25.6	35.3	43.0
趣味の活動	22.5	26.9	22.7	30.7	42.0	③ 46.7	③ 40.3	③ 48.3	49.9
学校の決まり	10.6	10.4	8.1	10.5	10.8	15.6	12.8	12.5	16.2
祭りなどの地域の行事	11.9	19.5	16.0	8.7	21.9	19.2	7.7	15.5	14.9
地域の児童館や公園などの施設の使い方 ※4	2.8	—	—	2.0	—	—	2.4	—	—
子どもにかかわる社会の決まり(ルールなど) ※5	3.7	7.6	4.8	2.7	6.9	9.1	3.8	7.9	10.1
その他	3.2	2.3	2.2	1.3	1.8	1.2	2.8	1.6	0.4
自分で決めたいと思うことはない	5.0	6.2	13.9	4.3	5.2	7.1	2.7	4.8	5.3
無回答	3.7	3.1	5.1	4.7	2.2	3.6	5.9	1.8	2.3

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

※1 平成23年度、平成30年度は「塾」

※2 平成23年度、平成30年度は「部活動」

※3 平成23年度、平成30年度は「携帯電話・スマートフォンを持つこと」

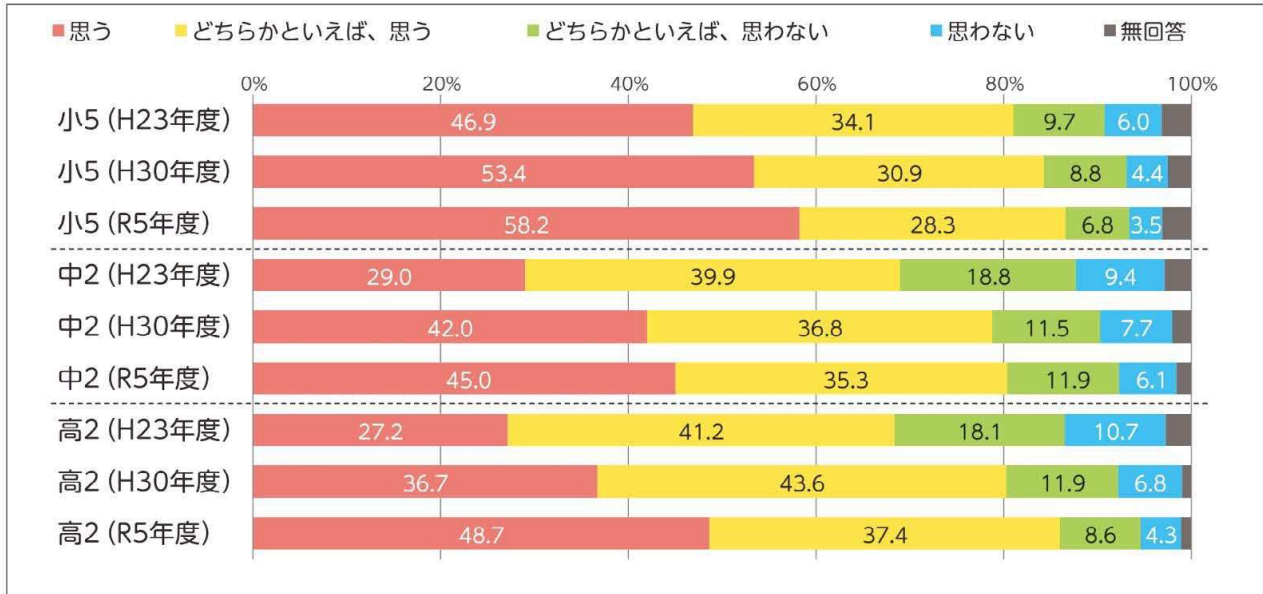
※4 平成30年度、令和5年度にこの選択肢はありません。

※5 平成23年度は「子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと」

親などの大人が自分のことをわかってくれていると思う子どもは8割以上で増加している

親などの大人が自分のことをわかってくれていると思うかについて、「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた小学生は86.5%、中学生は80.3%、高校生は86.1%となっており、いずれも増加傾向です。小学生、中学生、高校生ともに、「思う」の割合が増加しており、平成23年度と比較すると、小学生で11.3ポイント、中学生で16.0ポイント、高校生で21.5ポイント増加しています。

■ 図表36 あなたは、親(保護者)などの大人は、「自分のことをわかってくれている」と思いますか

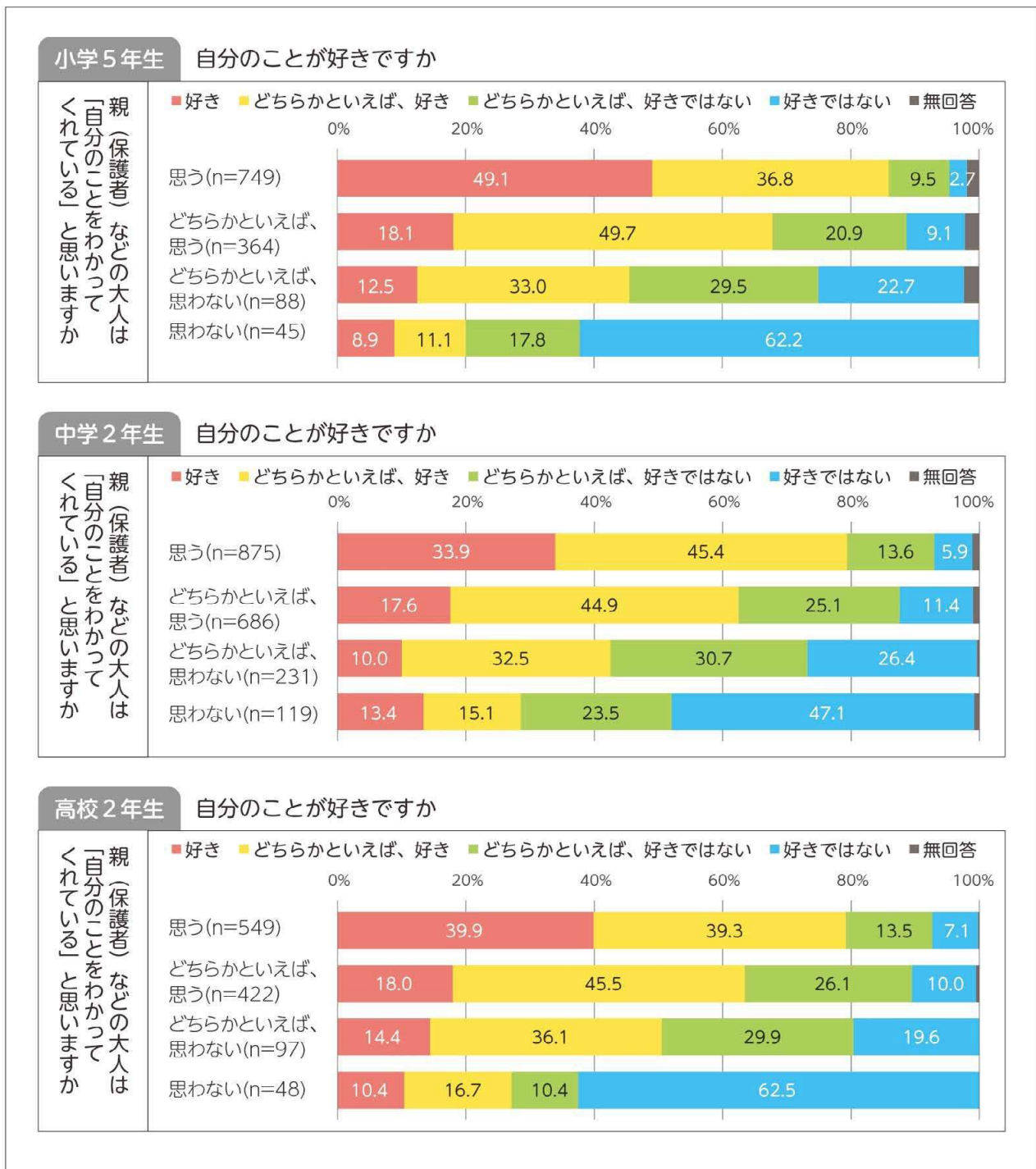


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

親などの大人が自分のことをわかってくれていると思う子どもは、思わない子どもより、自分のことが好きな割合が高い

「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思う」と答えた子どもは、「思わない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合が高くなっており、その差は小学生で65.9ポイント、中学生で50.8ポイント、高校生で52.1ポイントとなっています。また、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思わない」と答えた小学生、高校生は、自分のことが「好きではない」と答えた割合が6割を超えています。

■ 図表37 「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係

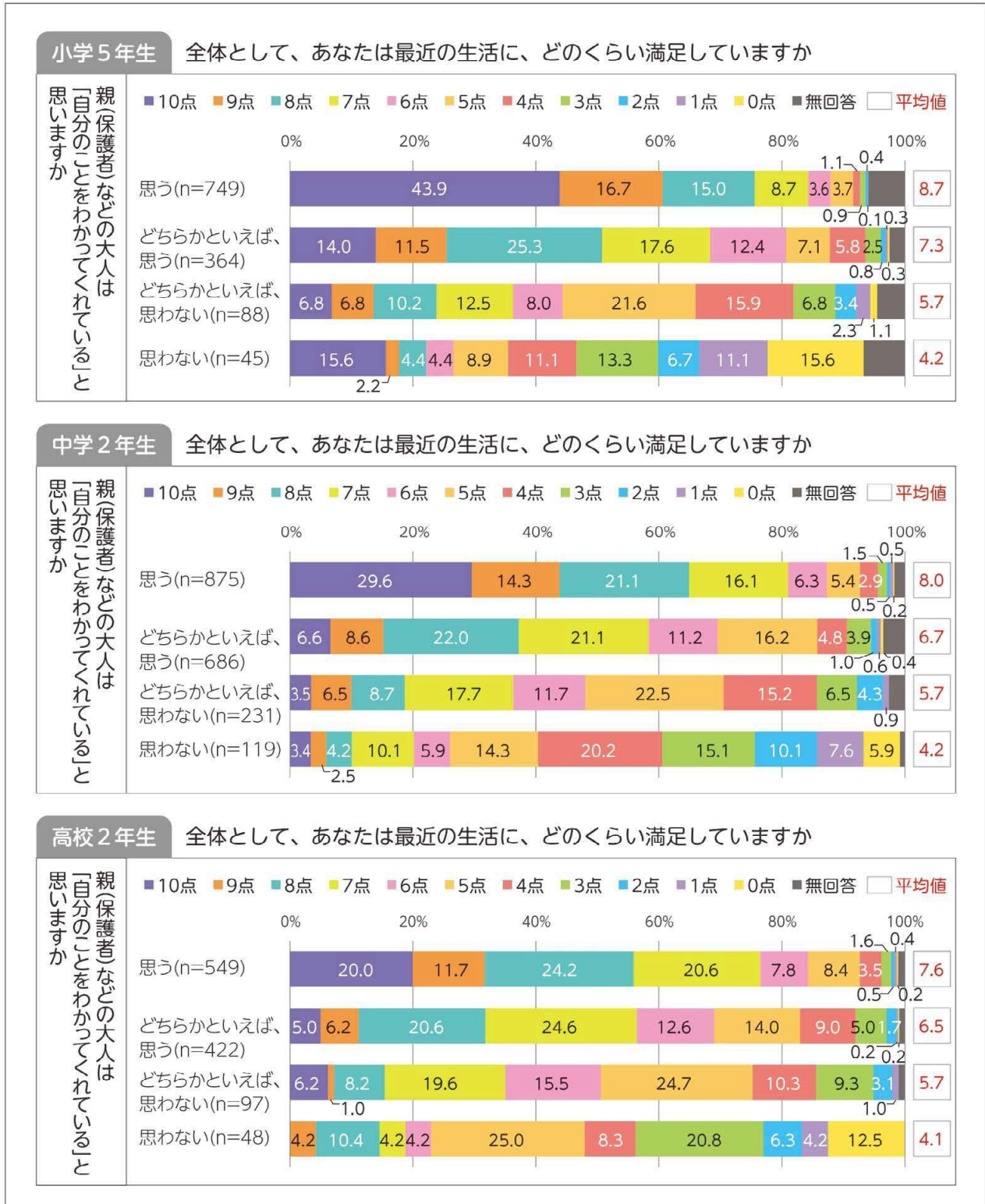


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

親などの大人が自分のことをわかってくれていると思う子どもは、思わない子どもより、最近の生活満足度が高い

「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「最近の生活満足度」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思う」と答えた子どもは、「思わない」と答えた子どもより、最近の生活満足度の平均値が高くなっています。

■ 図表38 「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「最近の生活満足度」の関係



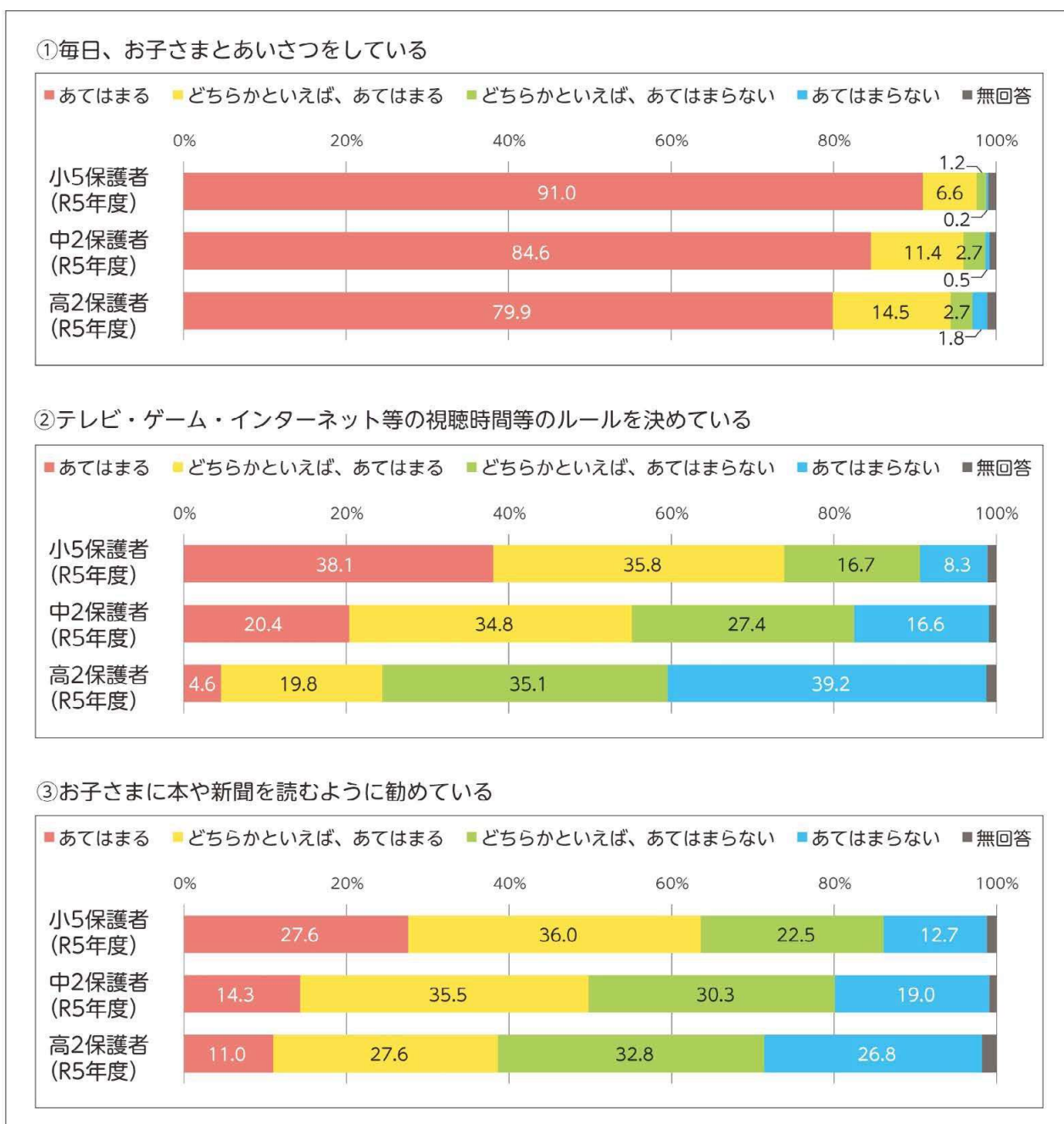
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」
 ※ □ で囲んだ数字は、最近の生活満足度の平均値を表しています。

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」、「お子さまに本や新聞を読むように勧めている」と答えた保護者の割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低下

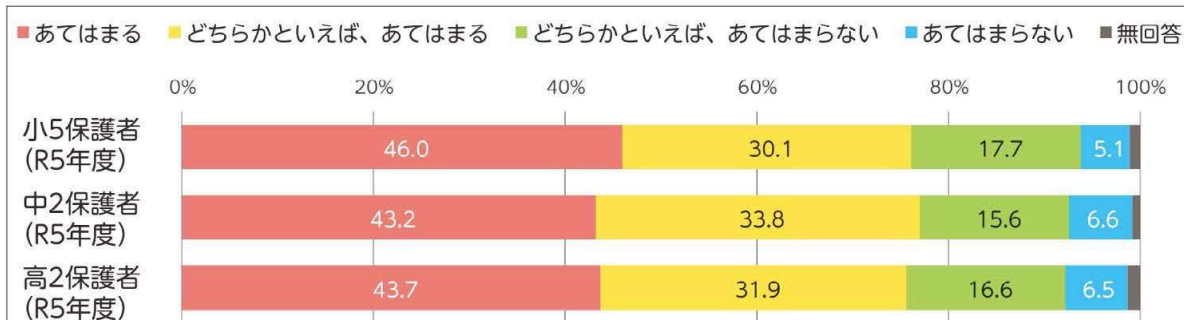
子どもとの関わり方について、「①毎日、お子さまとあいさつをしている」、「②テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」、「③お子さまに本や新聞を読むように勧めている」に、「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と肯定的に答えた保護者の割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。特に「②テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」については小学生の保護者と高校生の保護者で49.5ポイント、「③お子さまに本や新聞を読むように勧めている」については25.0ポイントの差となっています。

「④お子さまが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」については、小学生、中学生、高校生の保護者でほとんど差はみられません。また、「⑤お子さまから勉強や成績のことについて話をしてくれる」については、中学生の保護者で肯定的に答えた割合がやや低くなっています。

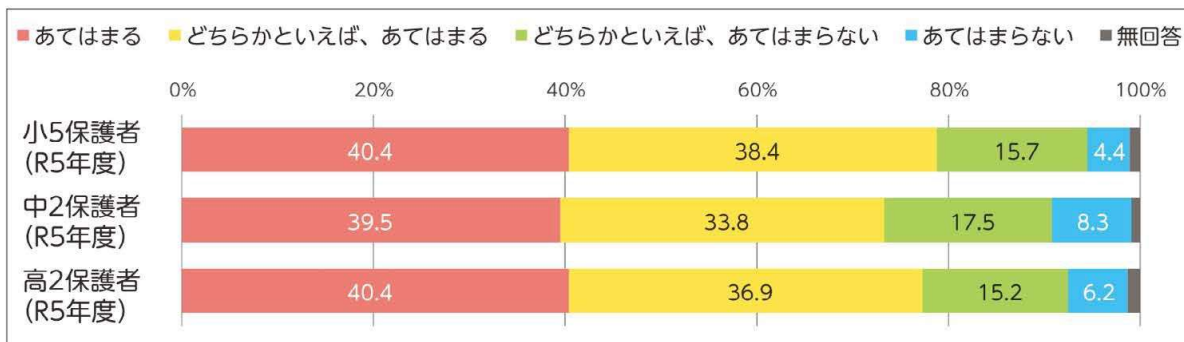
■図表39 あなたとお子さまとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか



④お子さまが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた



⑤お子さまから勉強や成績のことについて話をしてくれる



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」

子どもを支援する取組を行っている NPO の方にお聞きしました。

●子どもとの関わり方について

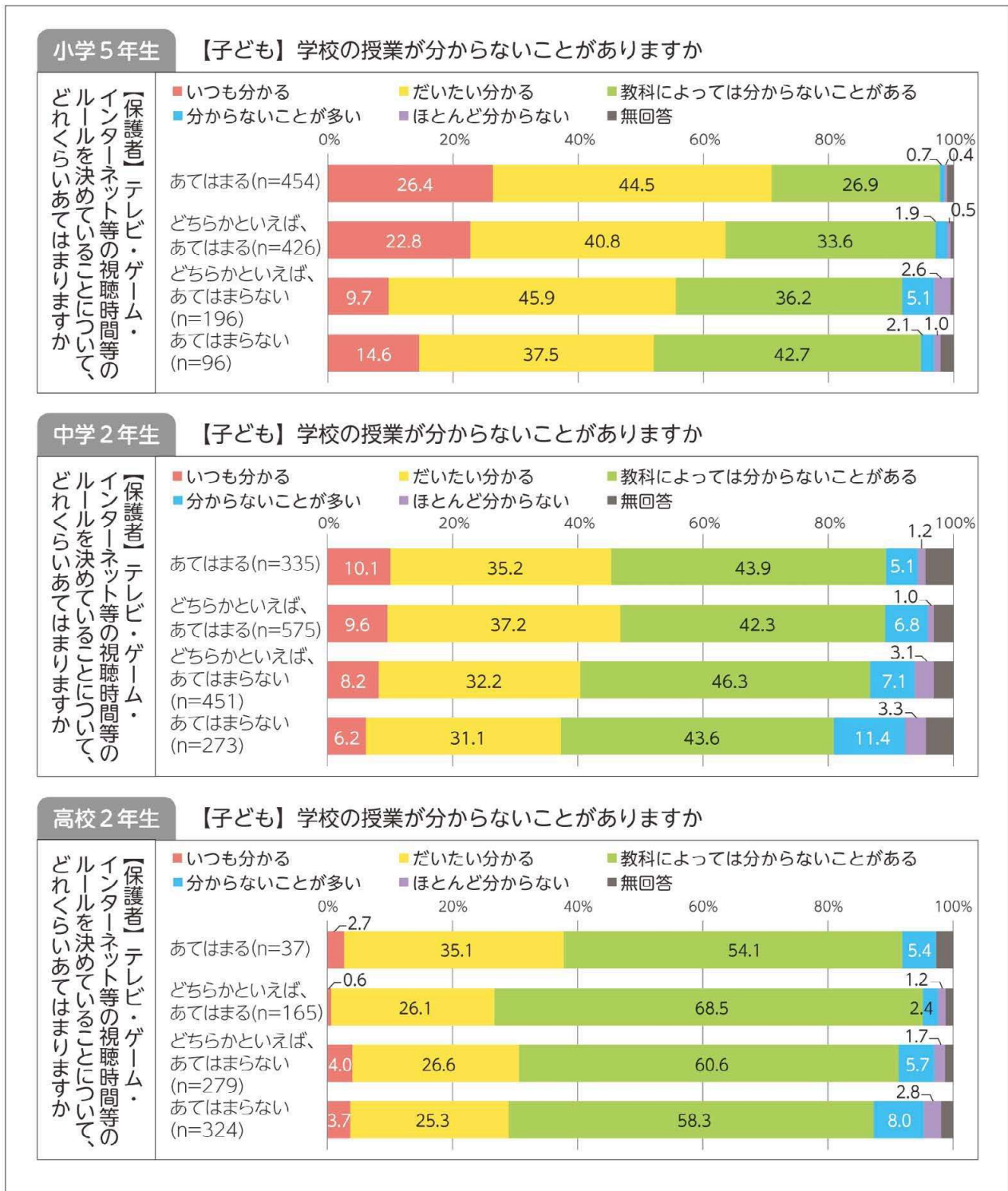
子どもは元々、意欲的で、いろいろなことに興味を持っていますが、最初からさまざまなことを教えられ過ぎている子どもが多いように感じます。大人の言うことに従っているだけでは主体性（自分の意志で責任を持って行動すること）を高めることはできません。大人が子どもにも「〇〇しなさい」と言うのではなく、「どう思う？」「どうしたい？」と問いかけることで、子どもの主体性が高まり、意欲も高まります。意欲がある子どもは、頭の中にいろいろな疑問が浮かんできて、学びの意欲にもつながっていきます。

(NPO 法人 三重県子ども NPO サポートセンター)

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている家庭の子どもは、学校の授業が分かる割合が高い

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係について、テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めていることに「あてはまる」と答えた家庭の子どもは、「あてはまらない」と答えた家庭の子どもより、学校の授業が「いつも分かる」または「だいたい分かる」と答えた割合が高くなっており、その差は小学生で18.8ポイント、中学生で8.0ポイント、高校生で8.8ポイントとなっています。

■ 図表40-1 「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係

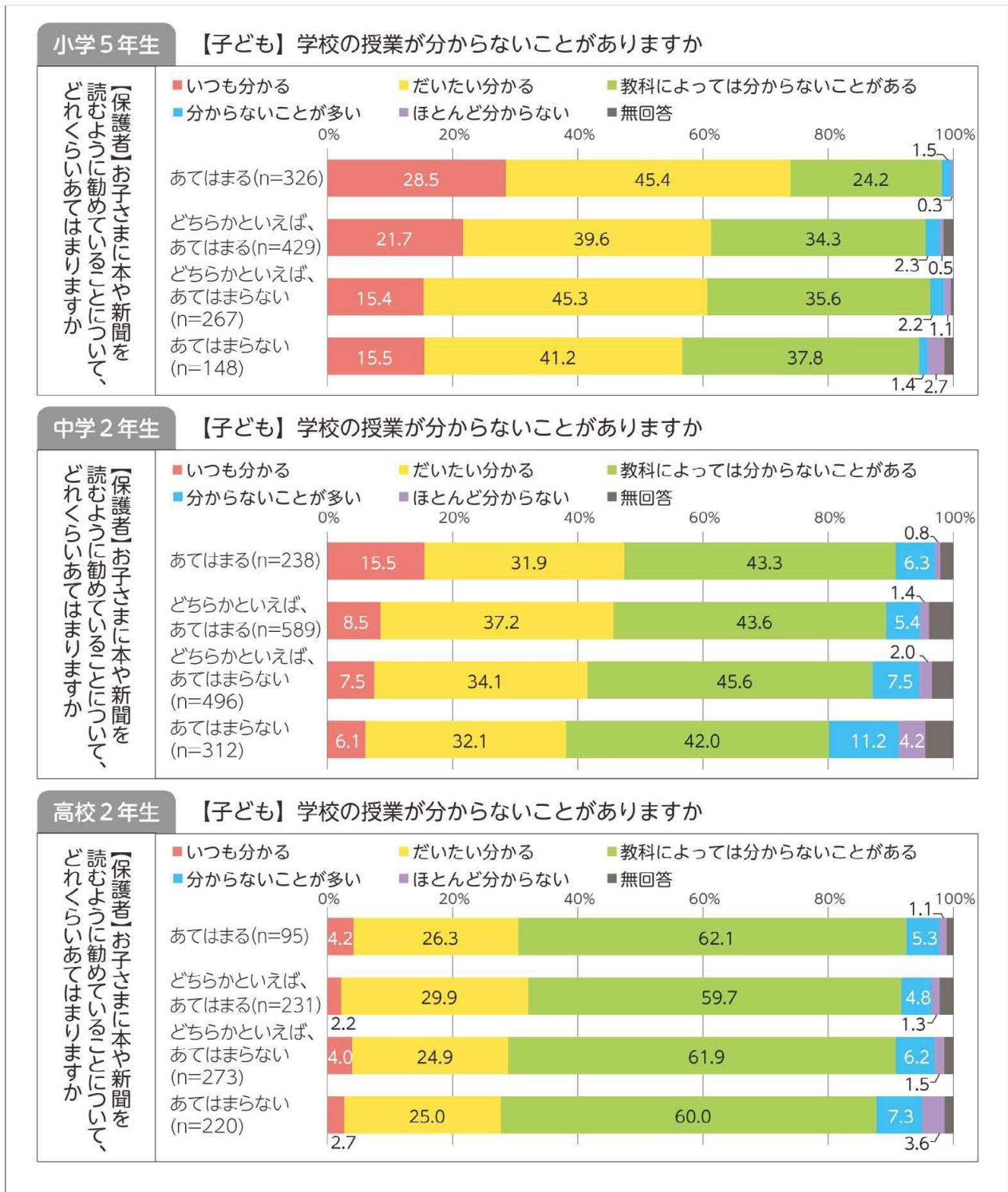


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査・保護者調査〉」

保護者が子どもに本や新聞を読むように勧めている家庭の子どもは、学校の授業が分かる割合が高い

「保護者が子どもに本や新聞を読むように勧めている」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係について、保護者が子どもに本や新聞を読むように勧めていることに「あてはまる」と答えた家庭の子どもは「あてはまらない」と答えた家庭の子どもより、学校の授業が「いつも分かる」または「だいたい分かる」と答えた割合が高くなっており、その差は小学生で17.2ポイント、中学生で9.2ポイント、高校生で2.8ポイントとなっています。

■ 図表40-2 「保護者が子どもに本や新聞を読むように勧めている」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係

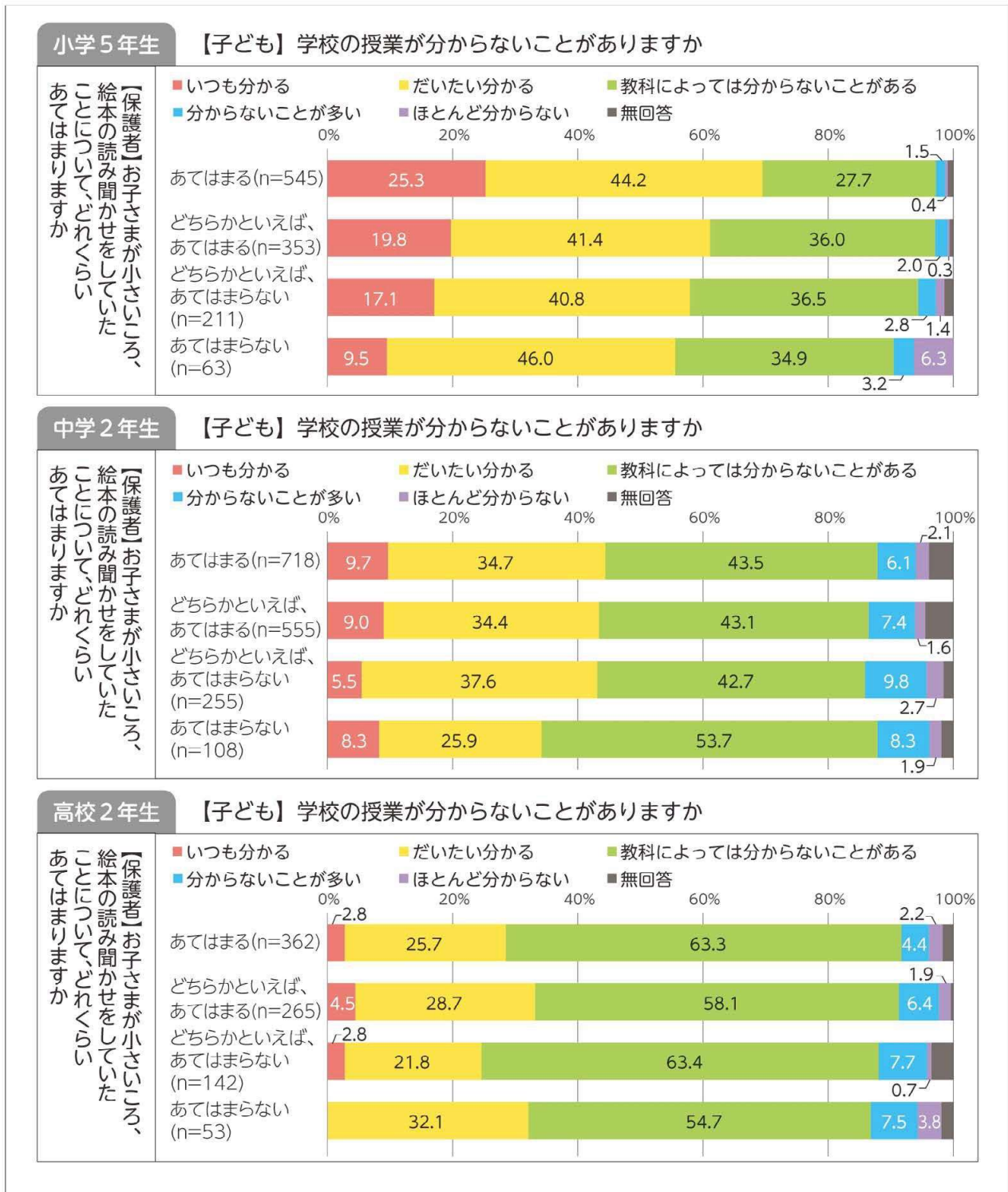


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（子ども調査・保護者調査）」

子どもが小さいころ、保護者が絵本の読み聞かせをしていた家庭の小学生、中学生は、学校の授業が分かる割合が高い

「子どもが小さいころ、保護者が絵本の読み聞かせをしていた」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係について、小学生、中学生では、絵本の読み聞かせをしていたことに「あてはまる」と答えた家庭の子どもは、「あてはまらない」と答えた家庭の子どもより、学校の授業が「いつも分かる」または「だいたい分かる」と答えた割合が高くなっており、その差は小学生で14.0ポイント、中学生で10.2ポイントとなっています。

■ 図表40-3 「子どもが小さいころ、保護者が絵本の読み聞かせをしていた」と「子どもが学校の授業が分からないことがある」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査（子ども調査・保護者調査）」

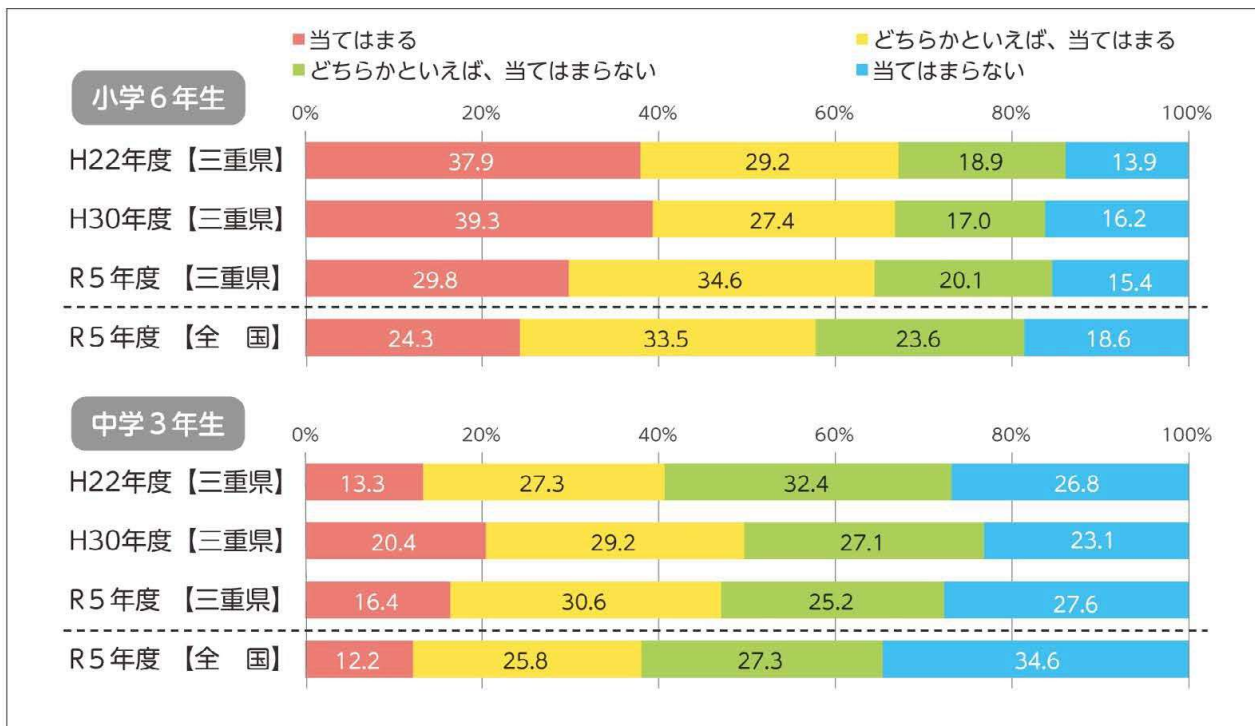
4 地域との関わり

今住んでいる地域の行事に参加している小学生は約6割、中学生は約5割

今住んでいる地域の行事に参加しているかについて、「参加している」または「どちらかといえば、参加している」と肯定的に答えた小学生は64.4%、中学生は47.0%となり、平成30年度より、やや低くなっています。特に、「参加している」と答えた小学生は、9.5ポイント低くなっています。

※わかりやすくするため、調査上の選択肢とは異なる表現で説明文を記載しています。

■図表41 今住んでいる地域の行事に参加していますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、小学生、中学生、高校生ともに、「特にしたいことはない」が約4割で最も高い

住んでいる地域でどんなことに取り組んでみたいと思うかについて、小学生、中学生、高校生ともに、「特にしたいことはない」がそれぞれ36.3%、42.6%、38.2%と最も高くなっています。次いで、小学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」(22.2%)、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」(17.5%)、中学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」(21.2%)、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」(16.2%)、高校生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」(23.1%)、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」(18.7%)となっています。

小学生は、平成30年度と比較すると、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」、「お年寄りや昔遊びなどで交流する」、「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」、「いろいろな国の人と交流する」の割合がそれぞれ10ポイント以上低くなっている一方、「特にしたいことはない」の割合が平成30年度より15.5ポイント高くなっています。

■ 図表42 あなたは、住んでいる地域で、どんなことに取り組んでみたいと思いますか(複数回答)

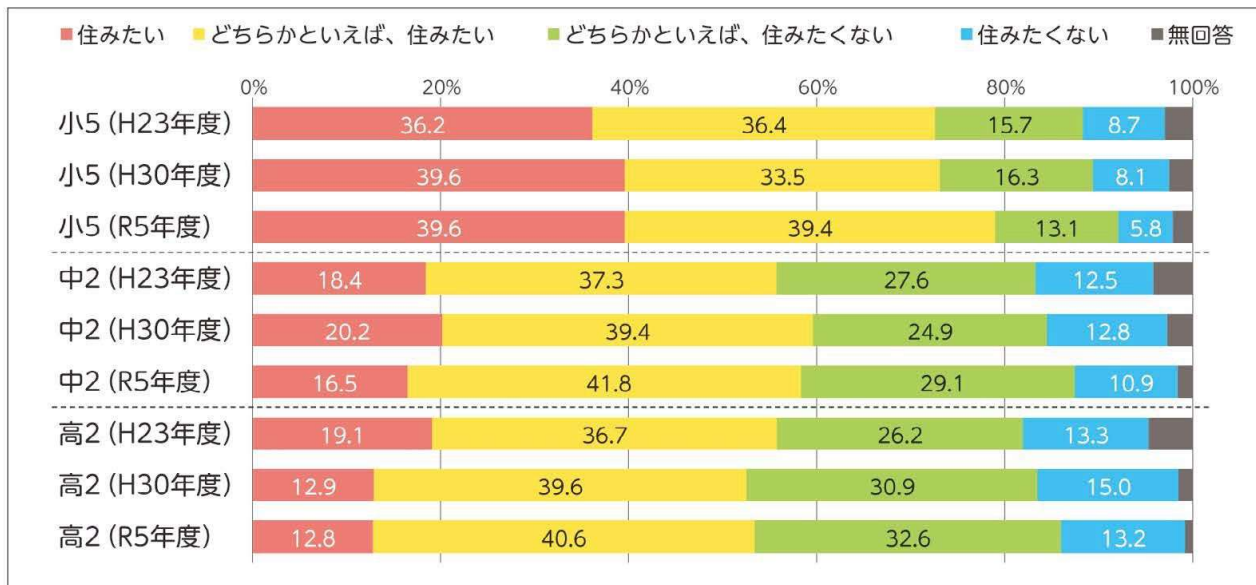
	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度	H23年度	H30年度	R5年度
地域の歴史や文化について勉強する	16.0	③ 25.8	16.9	12.3	14.8	13.7	8.2	9.2	12.5
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	② 24.0	② 29.4	③ 17.5	11.6	16.5	13.7	7.1	9.2	12.9
地域の大人と意見交換などをする	4.9	6.7	4.2	3.1	6.1	4.9	4.8	5.3	6.7
地域の行事を計画する	14.1	20.1	12.8	7.6	18.0	13.3	7.3	11.0	14.9
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	21.3	③ 25.8	13.9	② 16.5	③ 22.2	③ 16.2	② 19.1	② 21.6	③ 18.7
お年寄りや昔遊びなどで交流する	22.4	22.9	12.0	6.0	10.6	8.3	7.5	6.2	6.6
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	① 30.3	① 36.7	② 22.2	③ 15.3	② 26.5	② 21.2	③ 15.0	③ 18.7	② 23.1
町の美化活動をする	9.4	19.4	15.9	9.2	14.9	13.6	10.4	14.5	15.2
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	14.4	20.0	13.5	6.3	12.3	9.0	4.7	8.9	9.9
いろいろな国の人と交流する	18.2	24.4	13.8	8.8	17.3	10.7	9.4	11.3	14.5
その他	1.3	3.4	1.2	1.2	1.3	0.8	1.1	1.4	0.8
特にしたいことはない	③ 23.2	20.8	① 36.3	① 43.0	① 37.2	① 42.6	① 41.7	① 39.8	① 38.2
無回答	6.7	2.3	3.4	8.2	3.0	3.3	9.1	2.8	1.8

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

将来、自分が育った地域で住みたいと思う小学生は約8割、中学生は約6割、高校生は約5割

将来、自分が育った地域で住みたいと思うかについて、「住みたい」または「どちらかといえば、住みたい」と肯定的に答えた小学生は79.0%、中学生は58.3%、高校生は53.4%となっています。小学生は平成30年度より5.9ポイント高くなっています。

■ 図表43 あなたは、将来、自分が育った地域で住みたいと思いますか

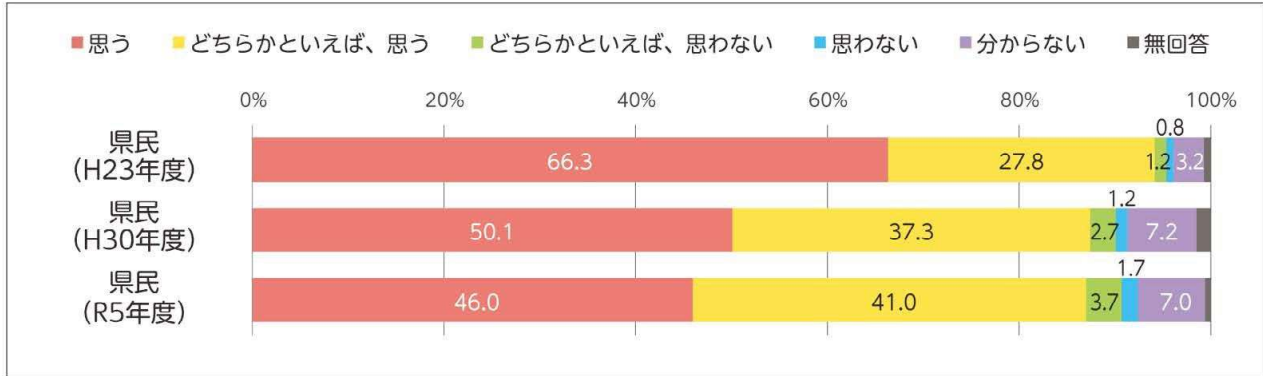


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思う県民は約9割

子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うかについて、「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた県民の割合は87.0%となっています。「思う」の割合は減少傾向にあり、平成23年度より20.3ポイント減少しています。

■ 図表44 あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈県民調査〉」

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

●子どもの居場所について

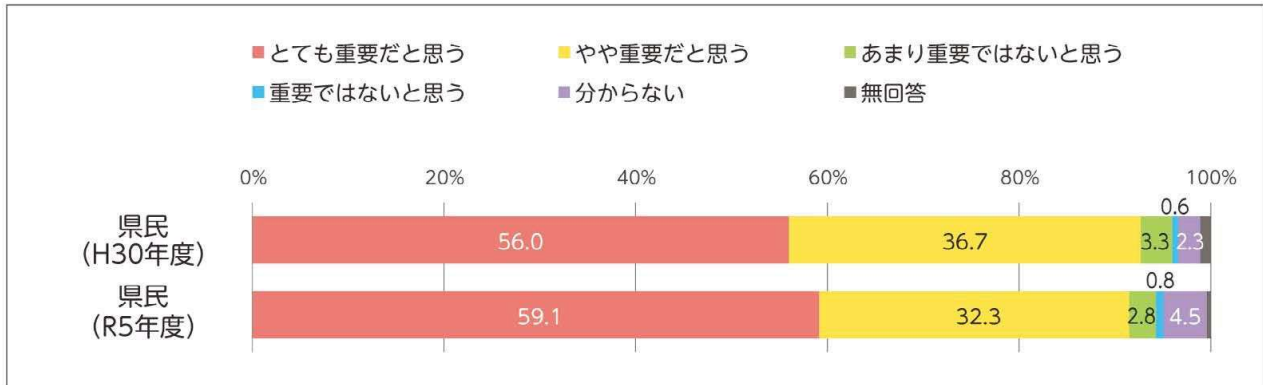
三重県は、中学生や高校生の居場所が少ないことが課題だと思います。行動範囲が学校やアルバイト先のみで、ユースセンターや児童館など地域とつながることができる居場所が少ないのが現状です。親が仕事で忙しく、一人きりで家の中（ネットの中）で過ごしがちになる子どもも多いのではないのでしょうか。表面化していないだけで、知らない間にネットの中で危険に巻き込まれている子どもがいるのではないかと危惧しています。身近な地域の中に信頼できる大人がいることを示して、大人が見守る安全な、子どもにとって安心して過ごせる居場所を提供したいと思います。また、子どもとの相性もあるため、子ども自身が選択できるように多様な居場所が数多くあることが望ましいと考えます。

(NPO 法人 太陽の家)

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思う県民は約9割

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思うかについて、「とても重要だと思う」または「やや重要だと思う」と肯定的に答えた県民は91.4%となっています。

■ 図表45 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか

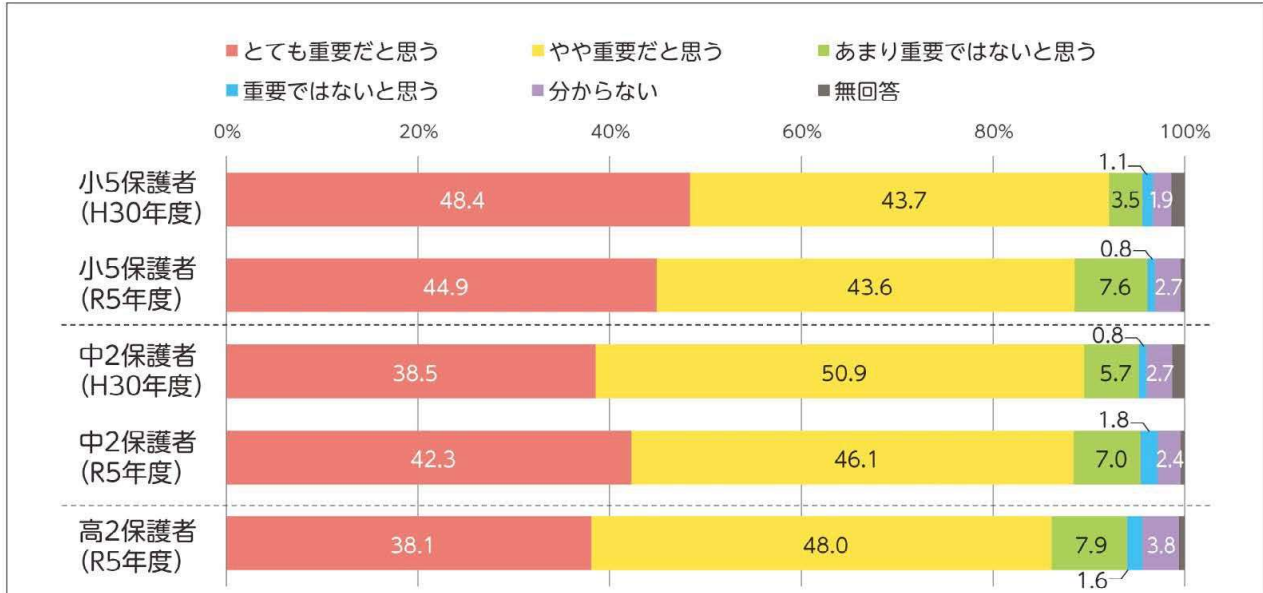


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈県民調査〉」

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思う保護者は約9割

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思うかについて、「とても重要だと思う」または「やや重要だと思う」と肯定的に答えた保護者は、小学生で88.5%、中学生で88.4%、高校生で86.1%となっています。

■ 図表46 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」
 ※高校生の保護者に対する調査は、平成30年度は実施していません。

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

● 保護者への支援について

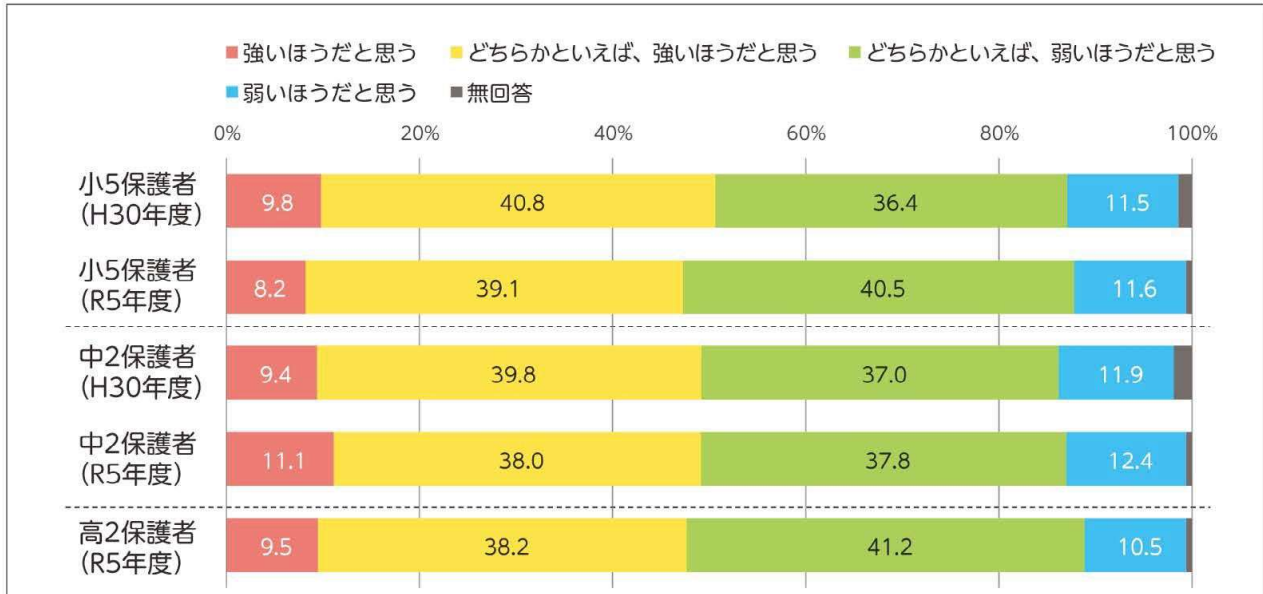
外国人への支援活動を通じて、自身が大切にされた経験がなく保護者になった人の話を聞くことがあります。派遣会社によっては、仕事を少しでも休むとすぐに仕事を辞めさせられるようなことがあったため、働きづらくして子どもの学校行事にも参加できないケースが多くありました。その頃に、家庭内でのコミュニケーションが不足したり、大切にされた経験が少なかったりした子どもが、今の親世代になっています。今定住している20代、30代で高校に行けないまま親になった人もいます。外国人に限ったことではありませんが、子どもを支援するには、保護者に寄り添うことが大切です。保護者も含めて支援しない限り、問題は解決しないと考えます。

(NPO 法人 愛伝舎)

地域の人たちとの関係やつながりが強いと思う保護者は約5割

地域の人たちとの関係やつながりは強いほうかについて、「強いほうだと思う」または「どちらかといえば、強いほうだと思う」と肯定的に答えた小学生の保護者は47.3%、中学生の保護者は49.1%、高校生の保護者は47.7%となっています。子育てをする上で、近所・地域の支えは重要との認識は約9割（p●）と高いものの、自身と地域の人たちの関係やつながりが強いと思う保護者は約5割にとどまっています。

■ 図表47 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」
 ※高校生の保護者に対する調査は、平成30年度は実施していません。

第2章

困難を抱える子どもたち

第2章「困難を抱える子どもたち」では、「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、貧困が子どもの学習や進学、体験機会等に与える影響やヤングケアラーの実態を把握します。また、既存の統計調査の結果から、不登校、いじめ、児童虐待など困難を抱える子どもたちの状況について把握します。

第2章の概要



■ 等価世帯収入の水準

本調査における「貧困線」（等価世帯収入の中央値の2分の1）は、小学生で162.5万円、中学生、高校生で153.1万円となっています。

また、本調査における「相対的貧困率」は、小学生、中学生で10.6%、高校生で11.4%となっています。

【本調査における等価世帯収入の水準と相対的貧困率】

	等価世帯収入の中央値(万円)	貧困線(万円)	相対的貧困率(%)
小学生	325.0	162.5	10.6
中学生	306.2	153.1	10.6
高校生	306.2	153.1	11.4
全体	317.5	158.8	10.8

<本調査における等価世帯収入による分類>

- ・ 保護者調査における年間収入に関する回答の各選択肢の階級値（階級の真ん中の値）をその世帯の収入の値とする。（例えば、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- ・ 上記の値を、保護者調査で把握した家族の人数の平方根で除す。
- ・ 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1を「貧困線」とし、「中央値以上」、「貧困線以上、中央値未満」「貧困線未満」の3つの層に分類している。

<本調査における「相対的貧困率」の算出>

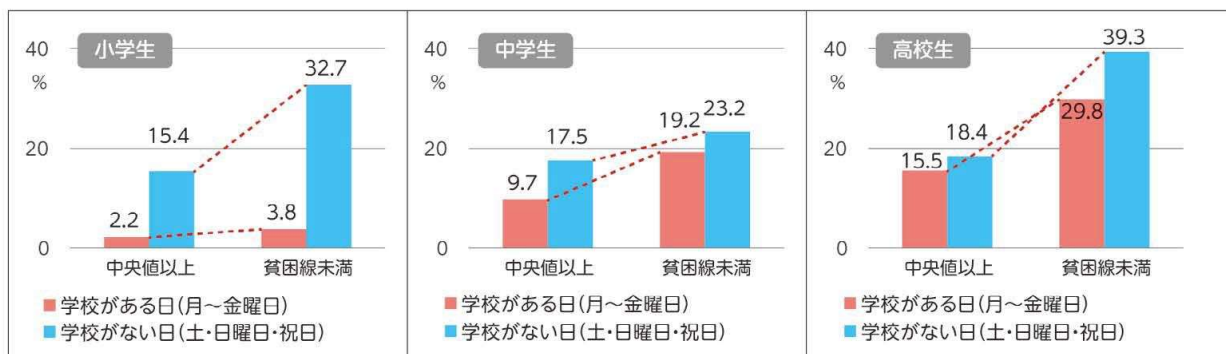
- ・ 上記で算出した貧困線未満の家族の人数を、すべての家族の人数で除して算出

※世帯全体の年間収入及び家族の人数のいずれにも回答があった調査票を対象に算出

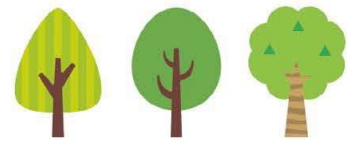
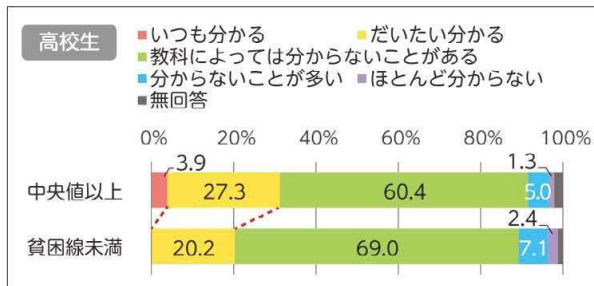
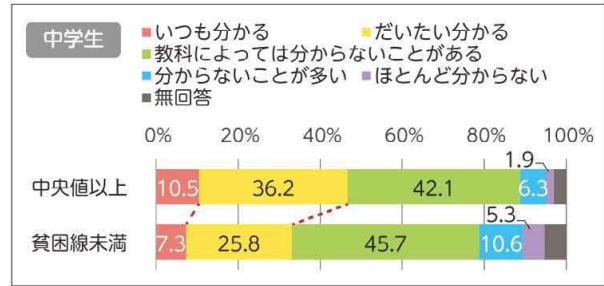
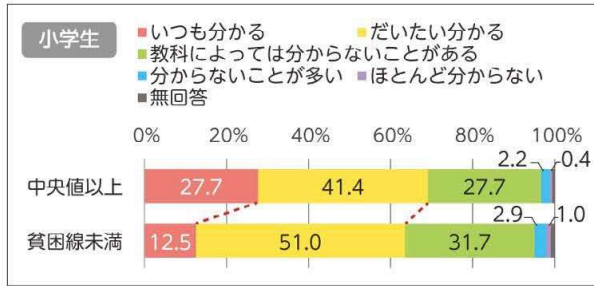
■ 等価世帯収入の水準による学習や進学への影響

等価世帯収入の水準別で顕著な差がみられた項目として、学校の授業以外の1日あたりの勉強時間や将来の進学希望があげられます。貧困線未満の世帯の子どもは、中央値以上の世帯と比べて、1日あたりの勉強時間について「まったくしない」の割合が高くなっており、学校の授業が分かる割合は低くなっています。また、将来の進学希望については、貧困線未満の世帯の高校生、保護者ともに「大学またはそれ以上」を希望する割合が低く、子どもの進学に影響が出ています。

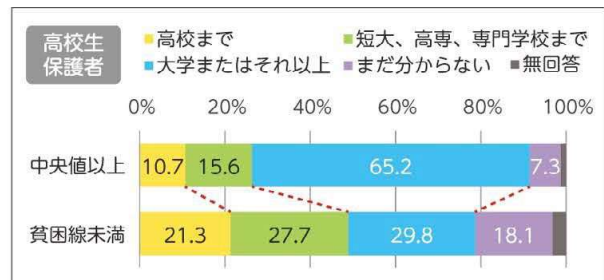
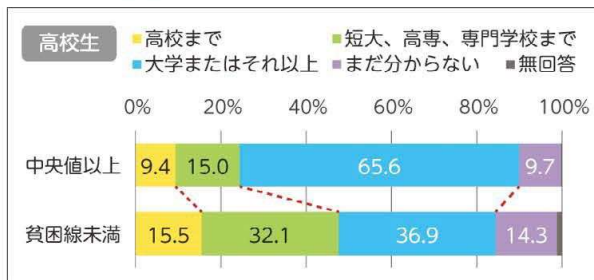
【学校の授業以外の1日あたりの勉強時間について「まったくしない」と答えた割合】



【学校の授業の理解度】



【将来、どの段階まで進学したいか】

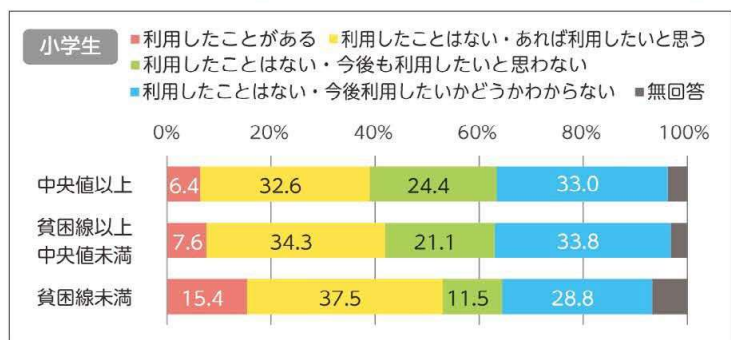


■ 子ども食堂などの利用状況

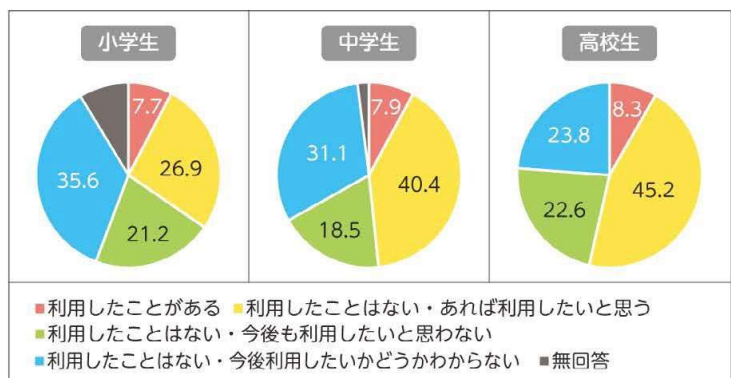
夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）を「利用したことがある」小学生の割合は、貧困線未満の世帯では15.4%となっており、他の世帯より高くなっています。また、「利用したことはない・あれば利用したいと思う」の割合は、等価世帯収入の水準に関わらず3割以上となっています。

貧困線未満の世帯の子どもについて、勉強を無料でみてくれる場所を「利用したことがある」または「利用したことはない・あれば利用したいと思う」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっており、高校生では過半数を占めています。

【夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況(小学生)】



【勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】(貧困線未満の世帯)

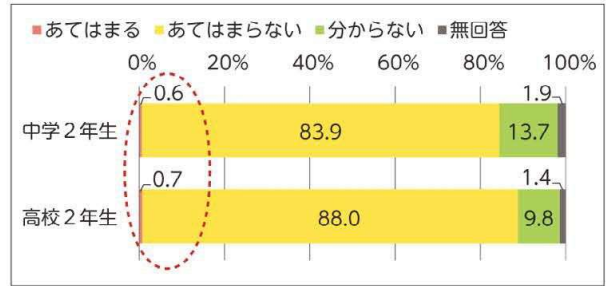


■ ヤングケアラーの状況

自身をヤングケアラーにあてはまると思う割合は、中学生、高校生ともに1%未満となっています。



【ヤングケアラーにあてはまると思うか】

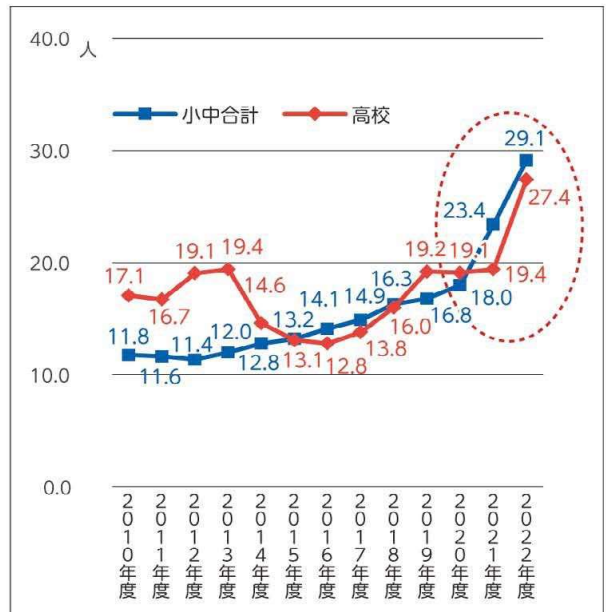


■ 不登校

2022年度の児童生徒1,000人あたりの不登校児童生徒数は、小中学校で29.1人であり、10年連続で増加しています。また、高校では27.4人であり、2019年度から2021年度にかけてはほぼ横ばいでしたが、2022年度は大幅に増加しています。

子どもたちが学校に行きたくないと感じるときは、「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」が最も高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて、その割合が高くなっています。

【1,000人あたりの不登校児童生徒数(三重県)】



資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」（2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」（旧調査名））

【学校に行きたくないと感じるとき(上位3つ)】

	小学5年生	中学2年生	高校2年生
1位	何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき 25.7	何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき 39.3	何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき 45.0
2位	友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき 10.4	「友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき」以外の理由で友人関係に不安があるとき 16.3	「友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき」以外の理由で友人関係に不安があるとき 16.9
3位	授業が分からないとき 9.6	授業が分からないとき 11.9	授業が分からないとき 12.8
	学校に行きたくないと感じることはない 45.7	学校に行きたくないと感じることはない 34.3	学校に行きたくないと感じることはない 29.4

※<第2章の概要>に掲載の図表は、特に記載がない限り「三重県子ども条例に基づく調査<子ども調査>」「三重県子ども条例に基づく調査<保護者調査>」より作成



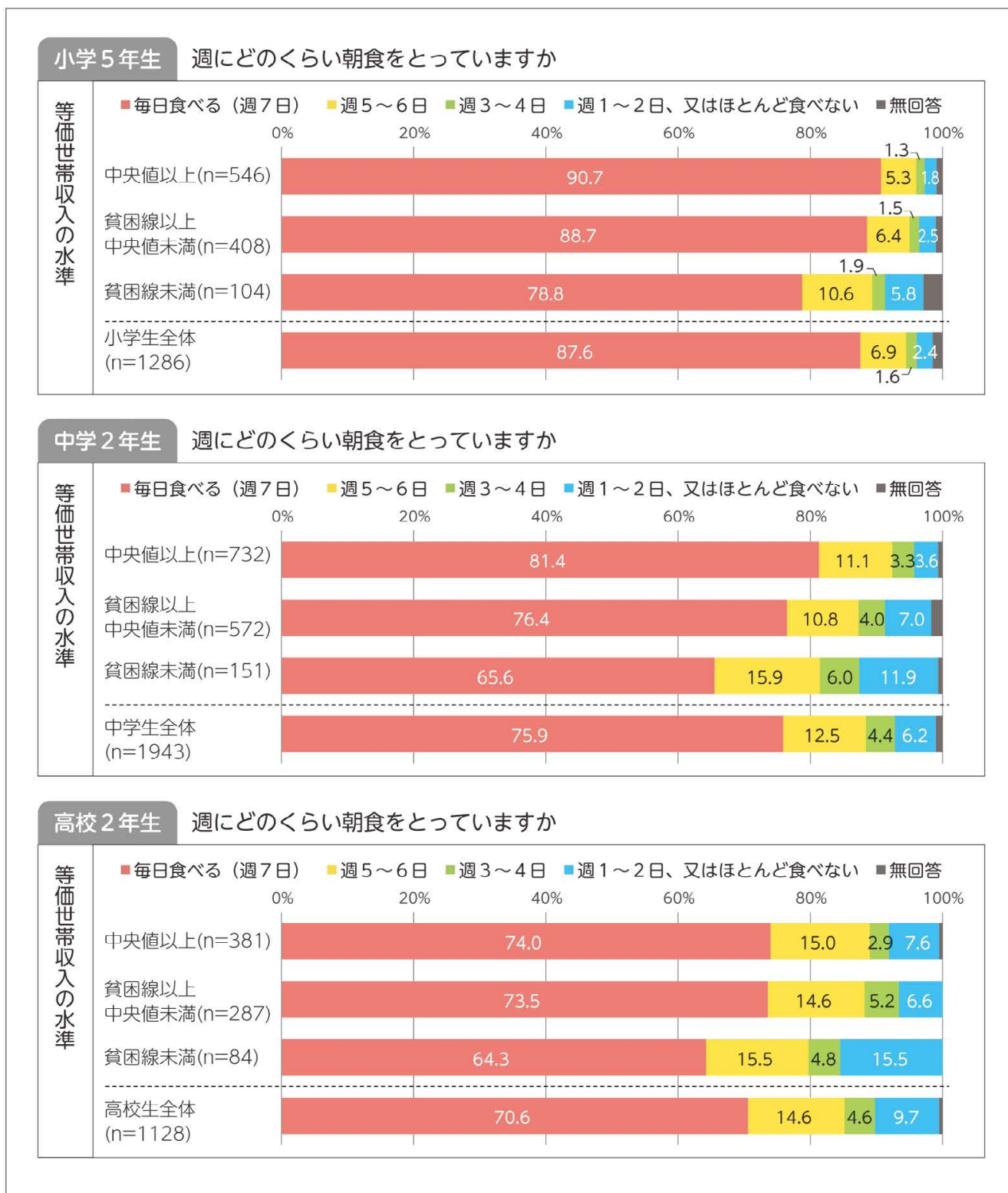
1

貧困が子どもたちの生活に与える影響

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、朝食を毎日食べる割合が低い

「等価世帯収入の水準」と「朝食をとる頻度」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、朝食を「毎日食べる」の割合が低くなっています。特に中学生は、「毎日食べる」の割合が65.6%となり、他の世帯より10ポイント以上低くなっています。また、中学生、高校生は「週1～2日、又はほとんど食べない」の割合が1割を超えています。

■ 図表48 「等価世帯収入の水準」と「朝食をとる頻度」の関係

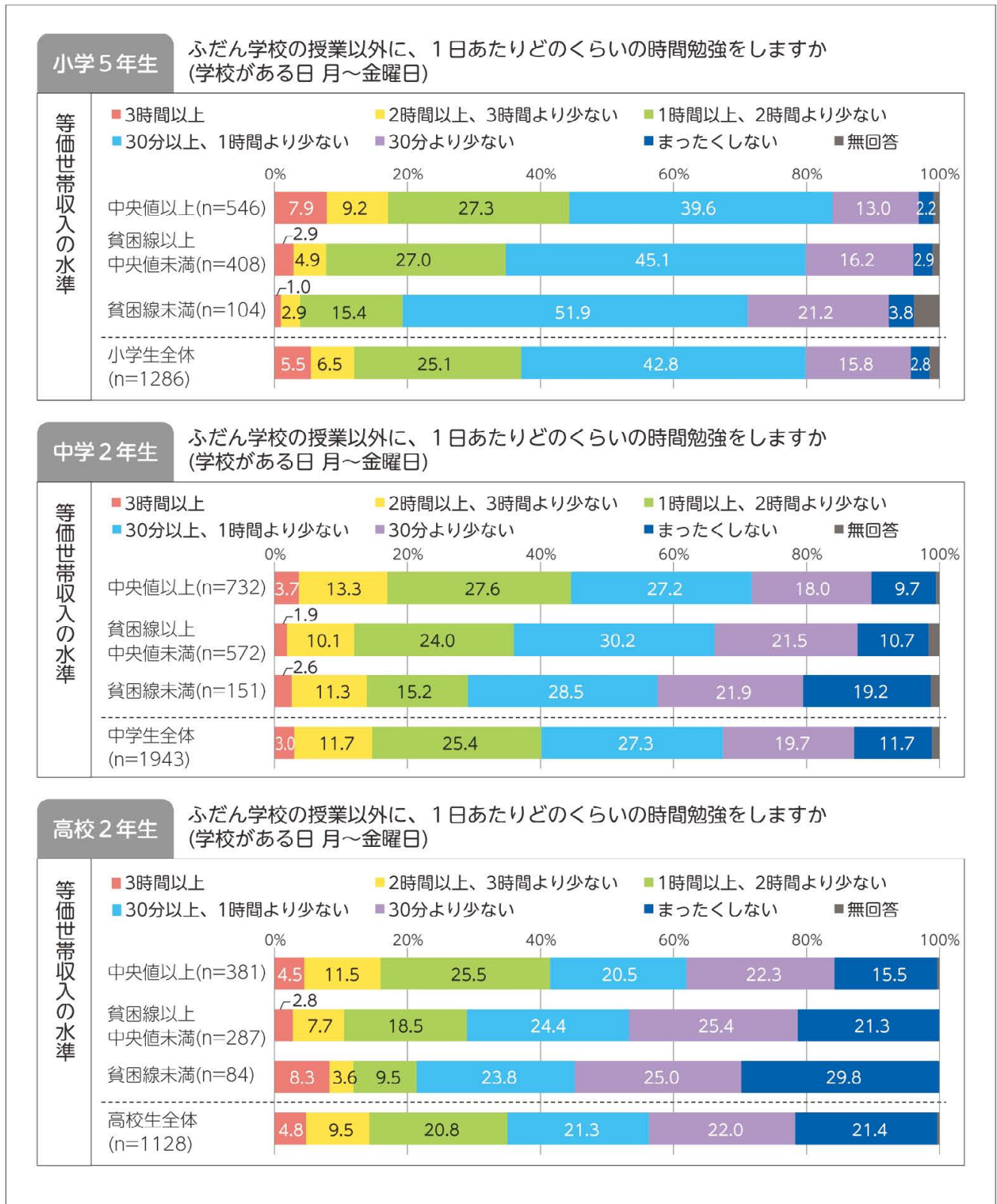


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、平日の1日あたりの勉強時間が少ない割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「ふだん学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日 月～金曜日）」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、1日あたりの勉強時間が1時間より少ない割合が高くなっています。また、貧困線未満の世帯の高校生は、「まったくしない」の割合が29.8%で他の世帯より高くなっています。

■ 図表49-1 「等価世帯収入の水準」と「ふだん学校の授業以外の1日あたりの勉強時間(学校がある日 月～金曜日)」の関係

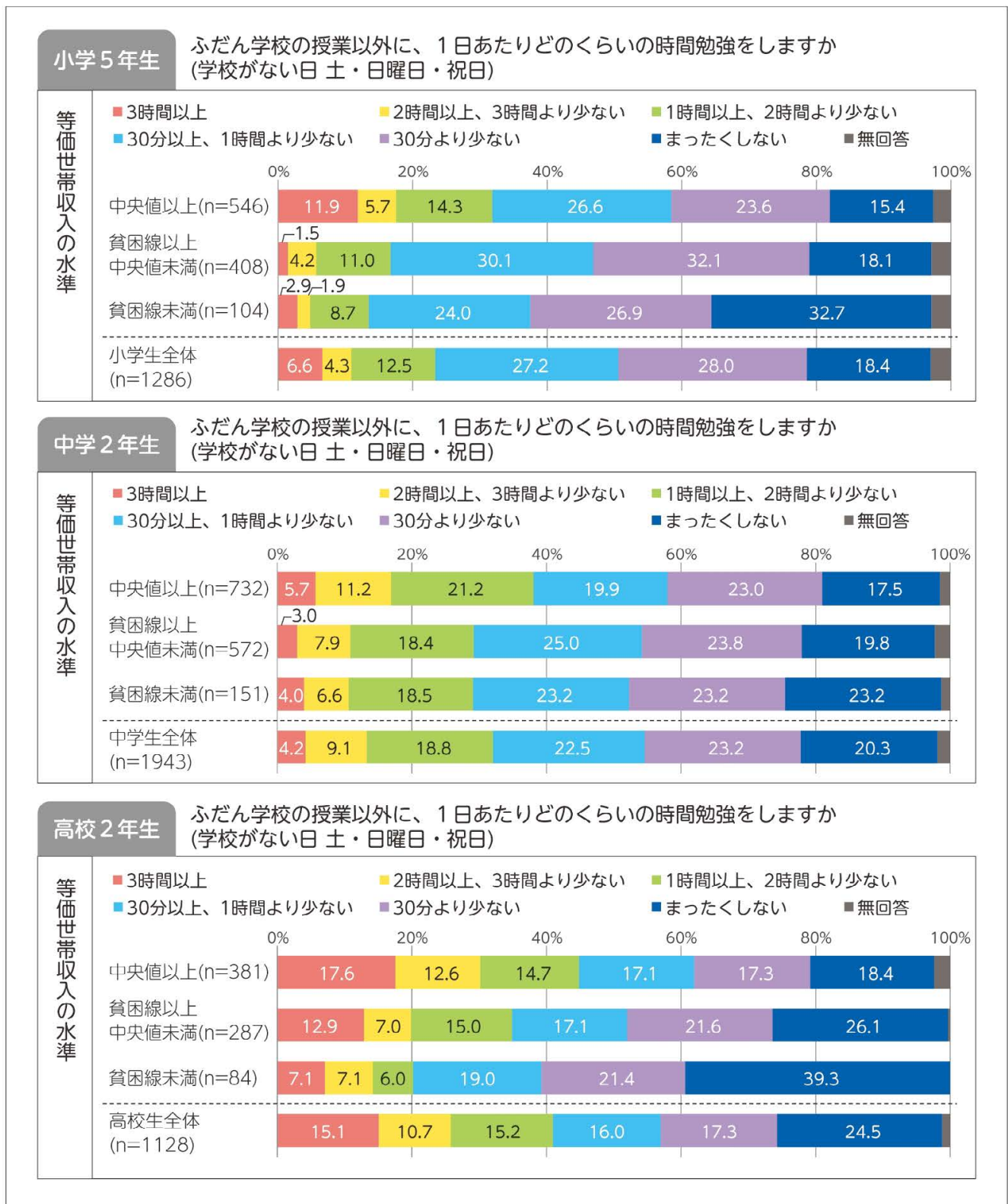


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、休日の1日あたりの勉強時間が少ない割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「ふだん学校の授業以外の1日あたりの勉強時間(学校がない日 土・日曜日・祝日)」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、1日あたりの勉強時間が1時間より少ない割合が高くなっています。また、貧困線未満の世帯の小学生、高校生は、「まったくしない」の割合がそれぞれ32.7%、39.3%となっており、他の世帯より10ポイント以上高くなっています。

■ 図表49-2 「等価世帯収入の水準」と「ふだん学校の授業以外の1日あたりの勉強時間(学校がない日 土・日曜日・祝日)」の関係

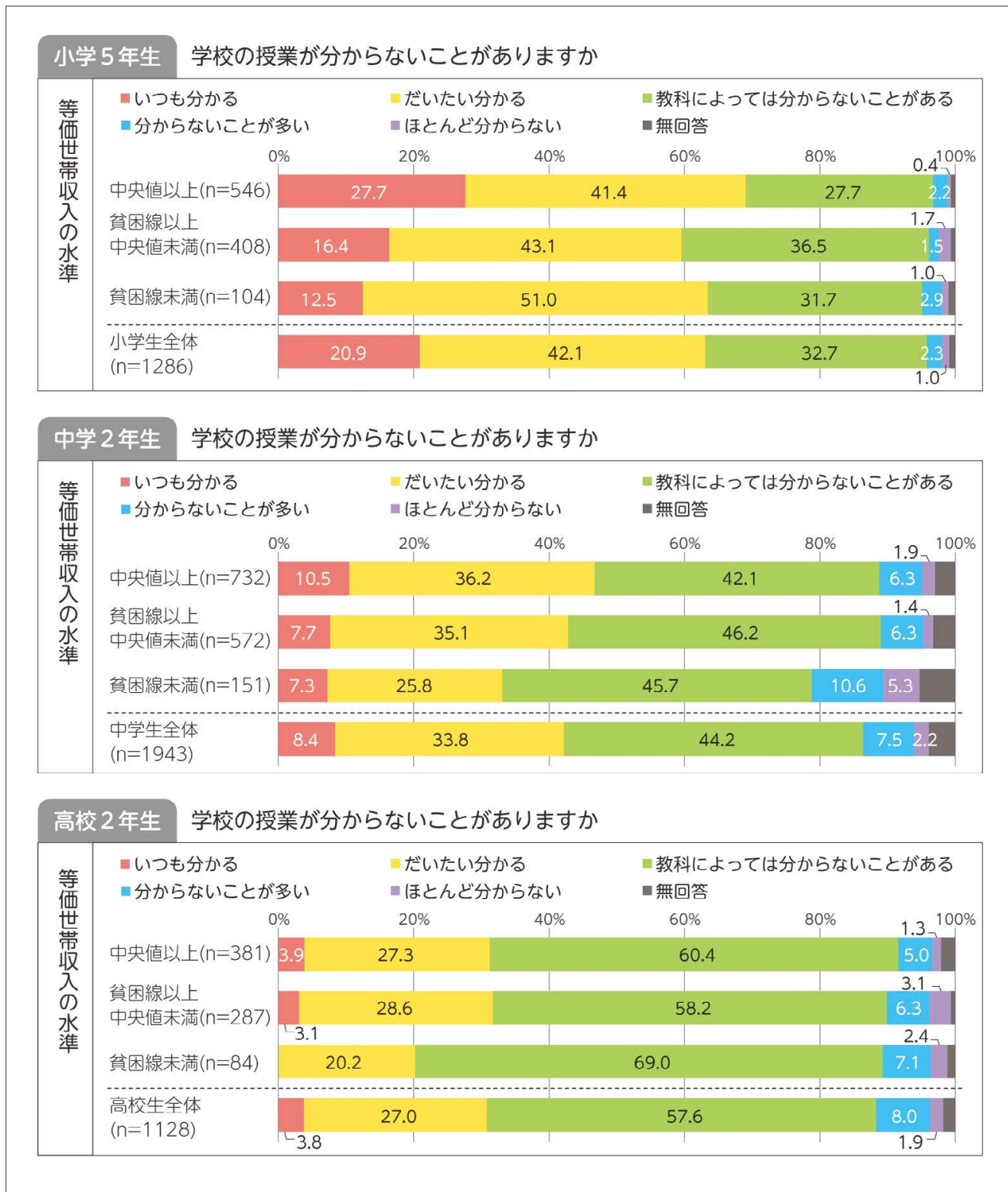


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、学校の授業がいつも分かる割合が低い

「等価世帯収入の水準」と「学校の授業が分からないこと」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、「いつも分かる」の割合が低くなっています。特に、貧困線未満の世帯の小学生は、「いつも分かる」の割合が12.5%となり、中央値以上の世帯より15.2ポイント低くなっています。また、貧困線未満の世帯の中学生、高校生は「いつも分かる」または「だいたい分かる」と答えた割合が、それぞれ33.1%、20.2%となり、他の世帯より低くなっています。

■ 図表50 「等価世帯収入の水準」と「学校の授業が分からないこと」の関係

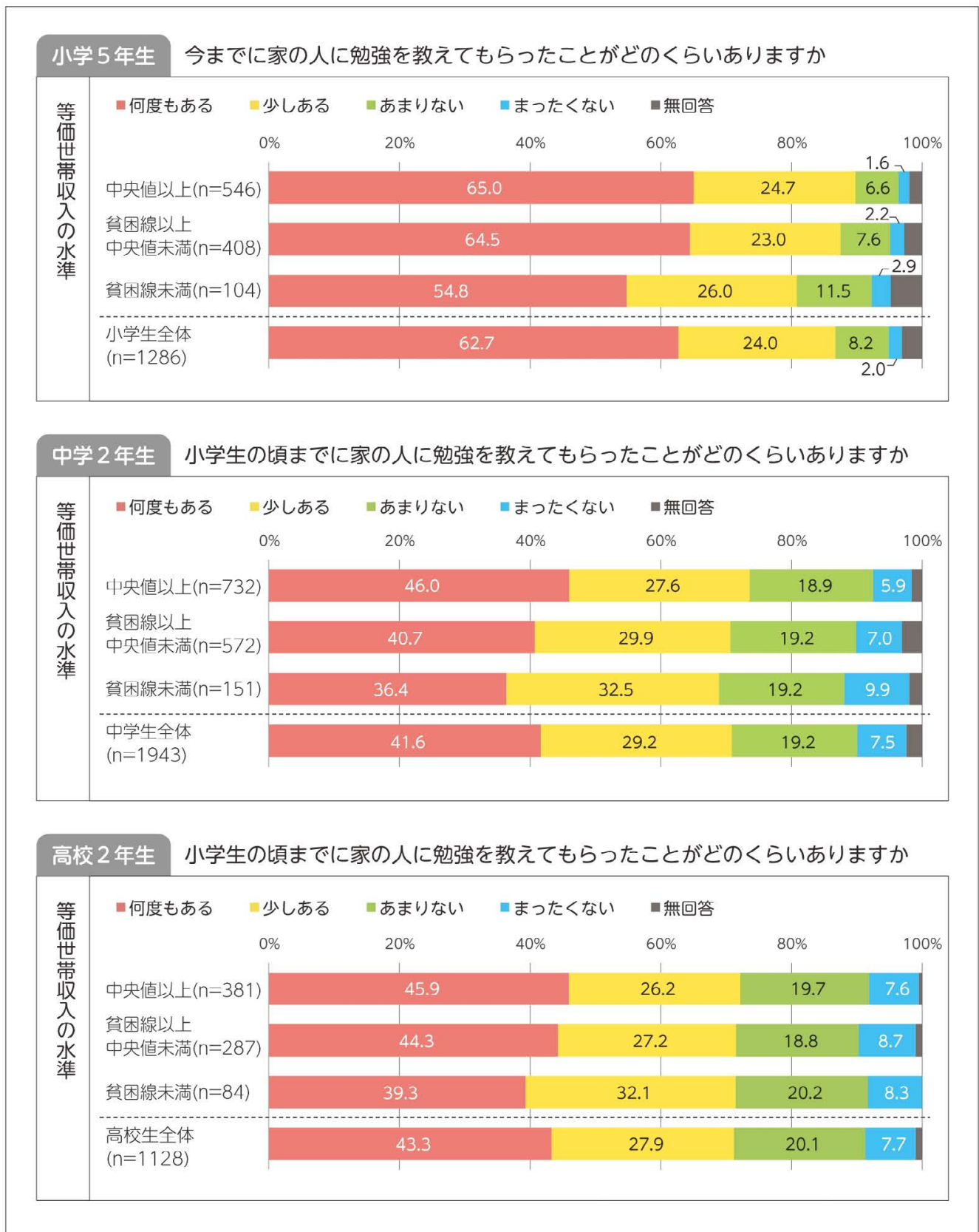


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、家の人に勉強を教えてもらったことが少ない割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「小学生の頃までに家の人に勉強を教えてもらったこと」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、家の人に勉強を教えてもらったことが「何度もある」の割合が低くなっています。

■ 図表51 「等価世帯収入の水準」と「小学生の頃までに家の人に勉強を教えてもらったこと」の関係

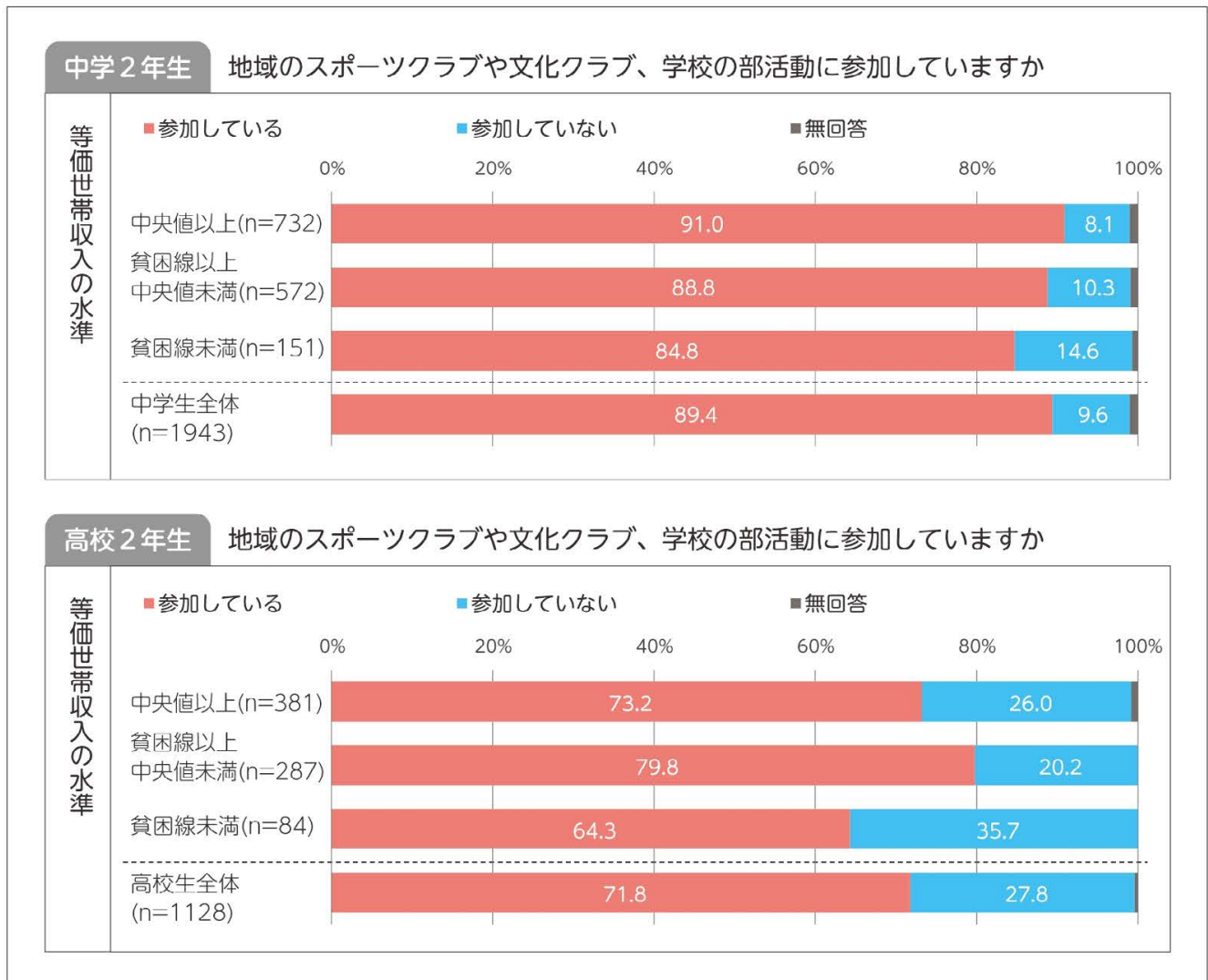


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、地域のクラブや学校の部活動に参加している割合が低い

「等価世帯収入の水準」と「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加」の関係について、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に「参加している」の割合が低くなっています。

■ 図表52 「等価世帯収入の水準」と「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

● 体験機会について

子ども食堂に来る子どもたちの中には、コミュニケーションをとることが苦手な子どもが少なくないため、体験活動を通じて人との交流機会を増やすことを目的に、月に1回以上の体験イベントを開催しています。体験イベントは、子どもたちが失敗してもよい場だと考えています。失敗しても再チャレンジし、失敗から学ぶことで自信を持ってほしいと考えています。

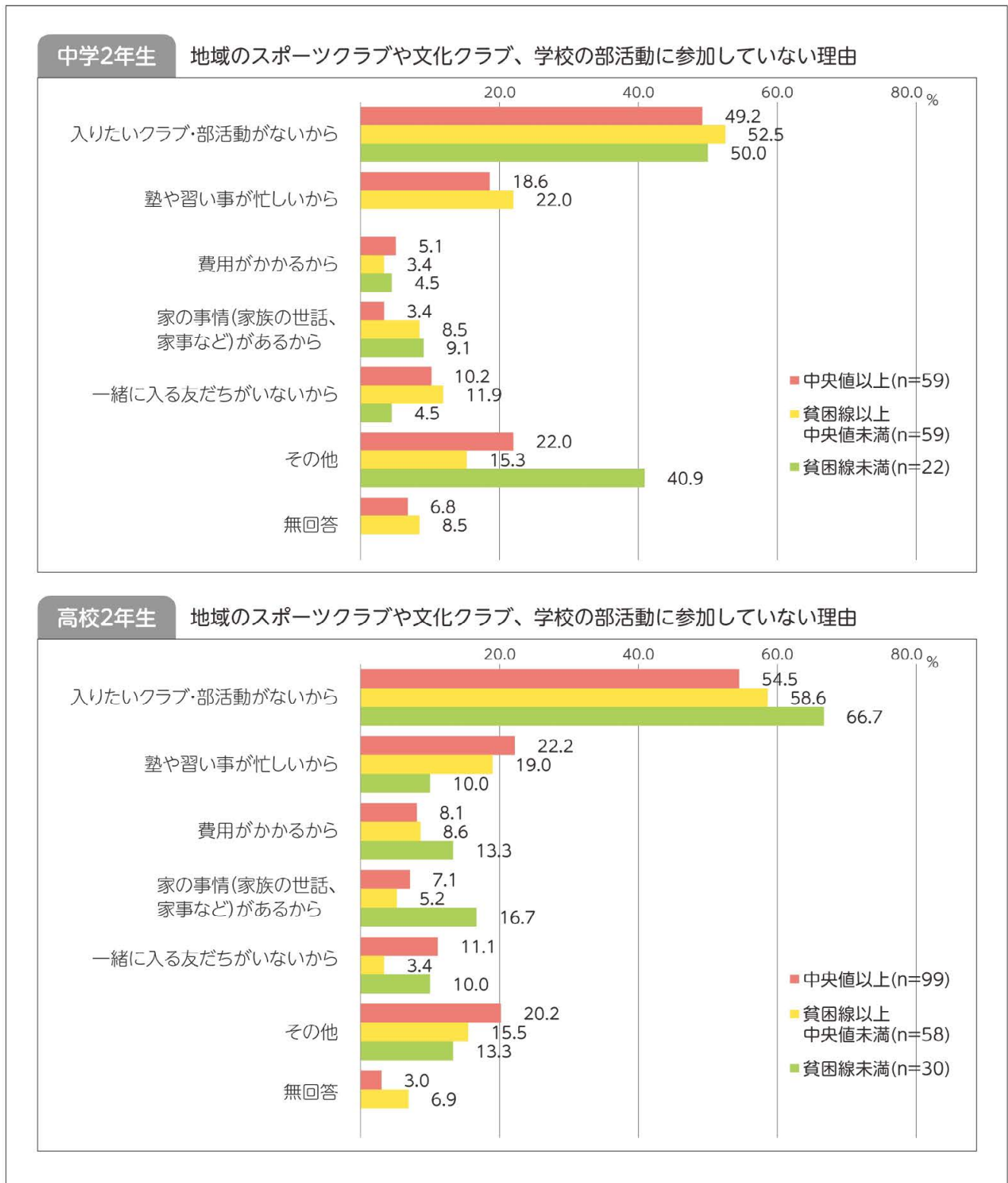
また、親子キャンプなどは、キャンプ道具の費用などがかかるため、家庭の経済事情による体験格差が生まれてしまいます。特にひとり親家庭の場合、周囲に迷惑をかけてはいけないとの意識が強く、子どもがしたいことに制限をかけていることが多いように感じます。どのような境遇の子どもであっても、学びや遊びの機会は平等であってほしいと思います。

(NPO 法人 shining)

貧困線未満の世帯の高校生は、他の世帯より、家の事情や費用の問題で地域のスポーツクラブ等に参加していない割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由」の関係について、貧困線未満の世帯の高校生は「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」の割合が16.7%、「費用がかかるから」の割合が13.3%となり、他の世帯より高くなっています。一方、貧困線未満の世帯の高校生は、「塾や習い事が忙しいから」の割合が10.0%となり、他の世帯より低くなっています。

■ 図表53 「等価世帯収入の水準」と「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由」の関係(複数回答)

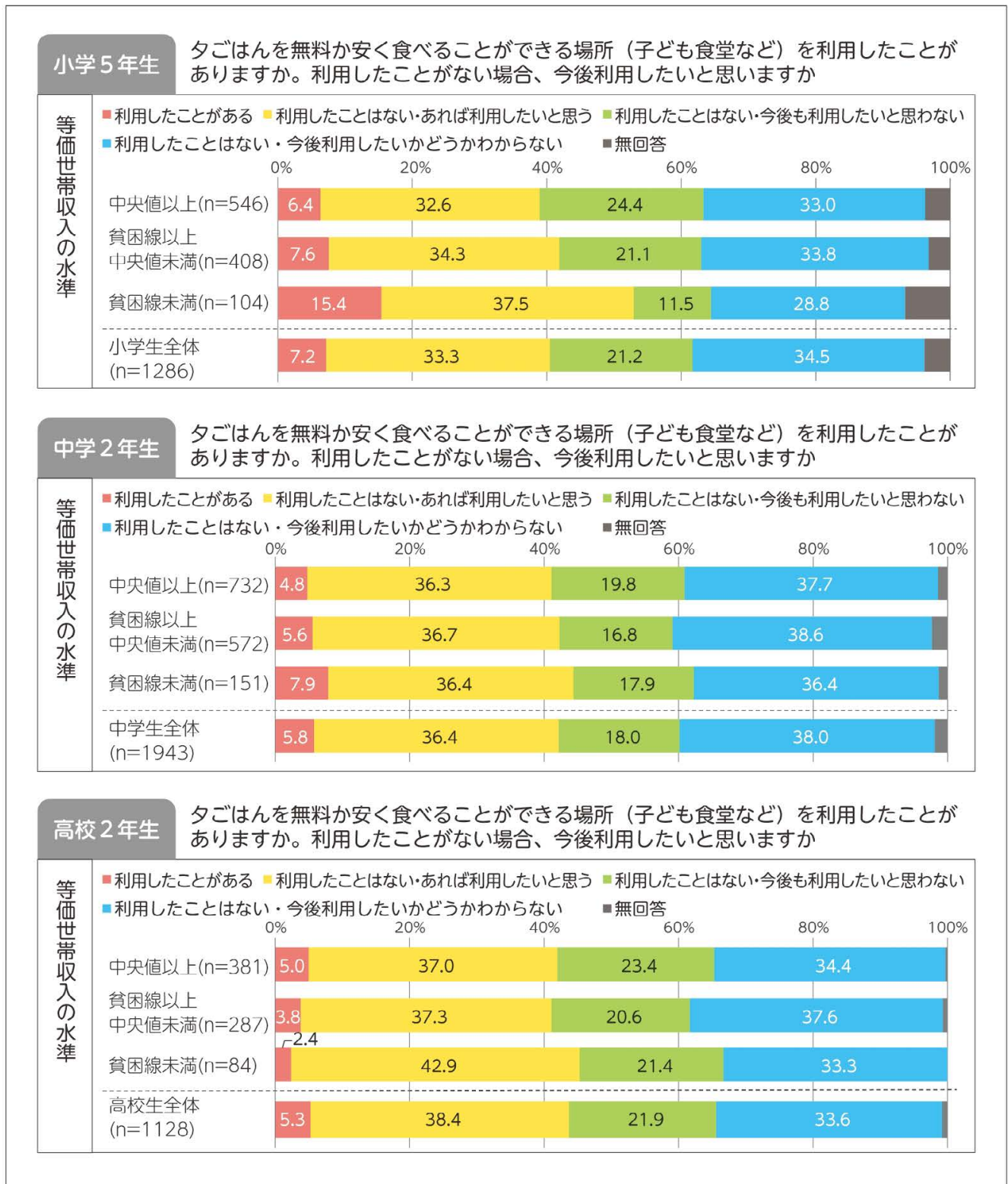


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の小学生、中学生は、他の世帯より、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）を利用したことがある割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用」の関係について、小学生、中学生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）を「利用したことがある」の割合が高くなっており、小学生で15.4%、中学生で7.9%となっています。また、「利用したことはない・あれば利用したいと思う」と答えた割合は、等価世帯収入の水準に関わらず3割以上となっています。

■図表54-1 「等価世帯収入の水準」と「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用」の関係

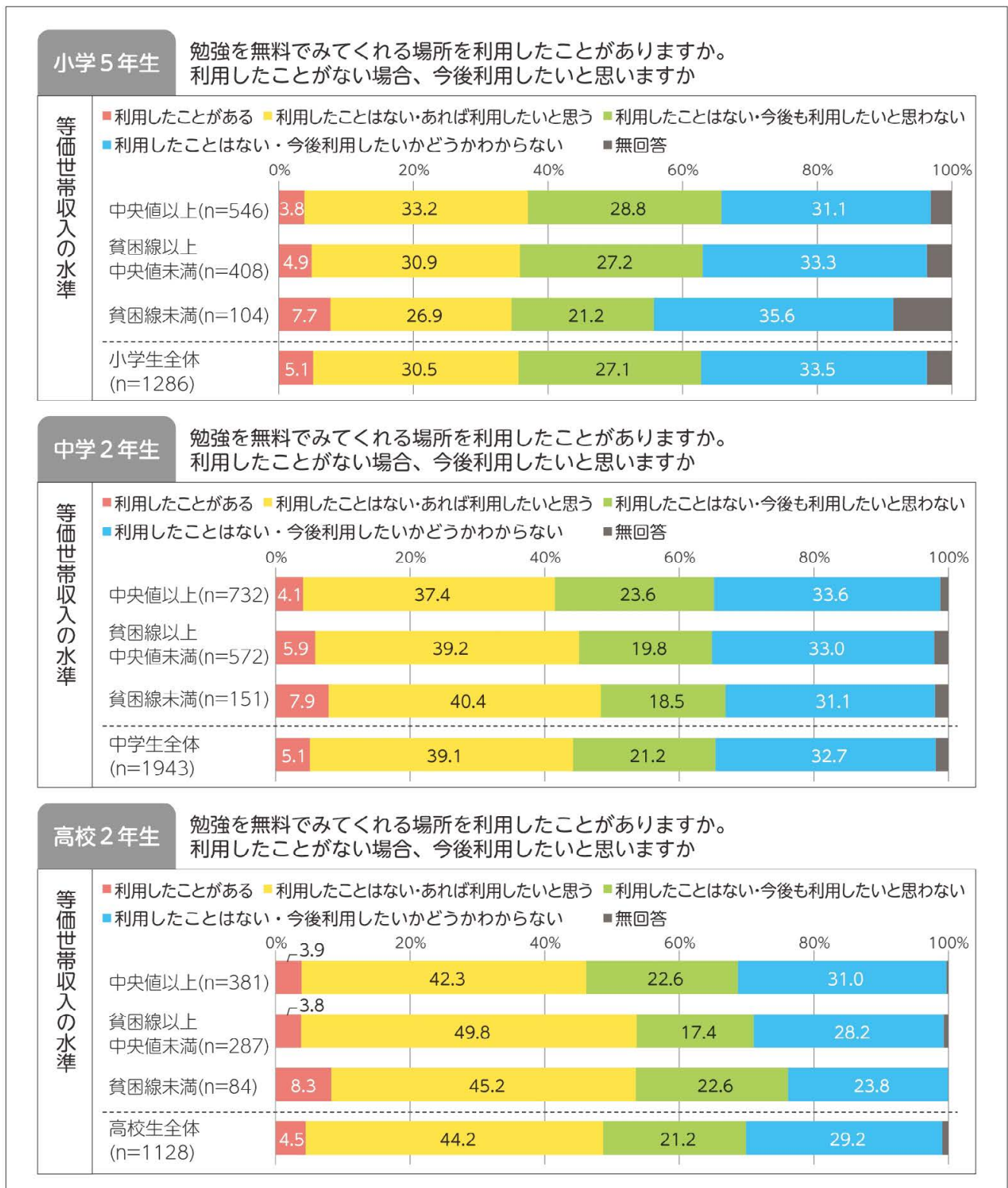


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、勉強を無料でみてくれる場所を利用したことがある割合が高い

「等価世帯収入の水準」と「勉強を無料でみてくれる場所の利用」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、勉強を無料でみてくれる場所を「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、「利用したことがある」または「利用したことはない・あれば利用したいと思う」と答えた割合は、等価世帯収入の水準に関わらず、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっており、貧困線以上中央値未満及び貧困線未満の世帯の高校生では過半数を占めています。

■ 図表54-2 「等価世帯収入の水準」と「勉強を無料でみてくれる場所の利用」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

子ども食堂や勉強を無料でみてくれる場所等の利用による変化は「友だちが増えた」が2割以上

夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）、勉強を無料でみてくれる場所、家や学校以外でなんでも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）を利用したことによる変化について、小学生、中学生、高校生ともに、「特に変化はない」の割合が最も高くなっています。次いで、小学生は、「ほっとする時間が増えた」（28.1%）、「生活の中で楽しみなことが増えた」（25.6%）となっています。一方、中学生、高校生は、次いで「友だちが増えた」（それぞれ22.4%、22.3%）、「勉強する時間が増えた」（それぞれ20.6%、17.9%）の順となっています。小学生は「ほっとできる時間が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が、中学生、高校生より、それぞれ10ポイント以上高くなっています。

■ 図表55 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)、勉強を無料でみてくれる場所、家や学校以外でなんでも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)を利用したことで、どのような変化がありましたか(複数回答)

	小学5年生	中学2年生	高校2年生
	R5年度	R5年度	R5年度
友だちが増えた	24.4	② 22.4	② 22.3
気軽に話せる大人が増えた	18.8	17.0	11.6
生活の中で楽しみなことが増えた	③ 25.6	13.0	11.6
ほっとできる時間が増えた	② 28.1	17.0	13.4
栄養のある食事をとれることが増えた	9.4	5.4	2.7
勉強が分かるようになった	18.8	16.6	13.4
勉強する時間が増えた	11.9	③ 20.6	③ 17.9
その他	8.1	2.2	3.6
特に変化はない	① 30.0	① 36.3	① 33.9
無回答	4.4	6.7	5.4

資料：「三重県子ども条例に基づく調査（子ども調査）」
 ※○で囲んだ数字は、上位3項目の順位を表しています。

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

● 子ども食堂について

調査結果（※ P72）では、小中高と上がるにつれて、子ども食堂の利用率が低くなっていますが、中学生、高校生になって初めて子ども食堂に足を運ぶのはハードルが高いと思います。子ども食堂は小さい子ども向けのイメージが強く、どんな場所なのかを知らないとなかなか行きづらい。一方、小学生から通っていた子どもが高校生になって友だちを連れてくるケースがあり、高校生の利用が増えている子ども食堂もあります。

子ども食堂に通い続ける子どもの中には、課題を抱えた家庭の子どもも多くいますが、課題のあるなしにかかわらず地域の誰もが集える場所であることが大切です。経済的な面だけでなく誰にでもあるさまざまな困りごとを、地域のつながりの中で自然と助け合える環境を作りたいと考えています。助けられるだけでなく助ける側になることで、子どもの自己肯定感も高まります。

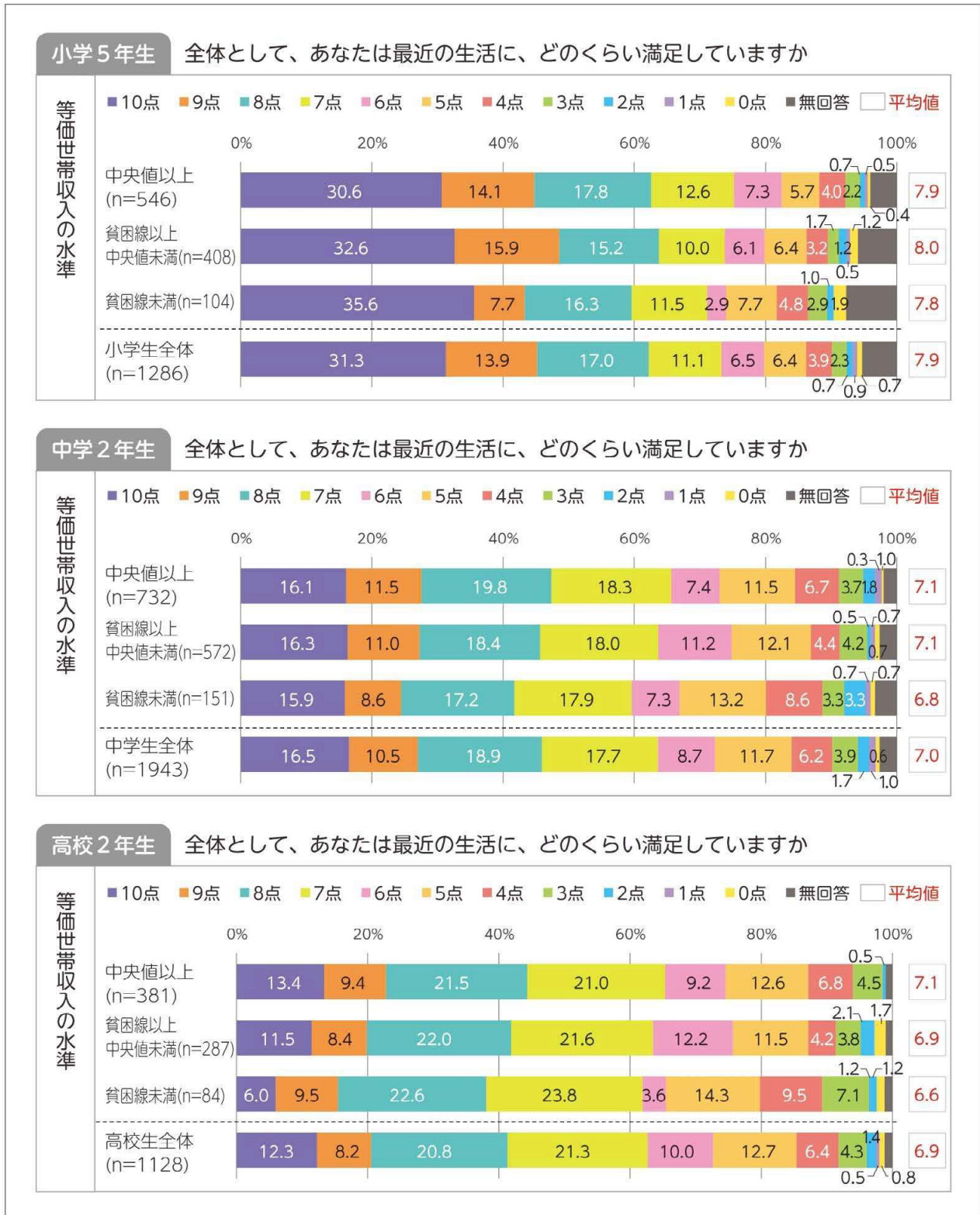
(NPO 法人 太陽の家)

貧困線未満の世帯の子どもの最近の生活満足度の平均値は、他の世帯よりやや低い

「等価世帯収入の水準」と「最近の生活の満足度」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どものは、他の世帯より、最近の生活満足度の平均値がやや低くなっています。

また、10点の割合は小学生では中央値以上の世帯を上回っていますが、中学生ではやや下回り、高校生では2分の1以下になっています。

■ 図表56 「等価世帯収入の水準」と「最近の生活の満足度」の関係

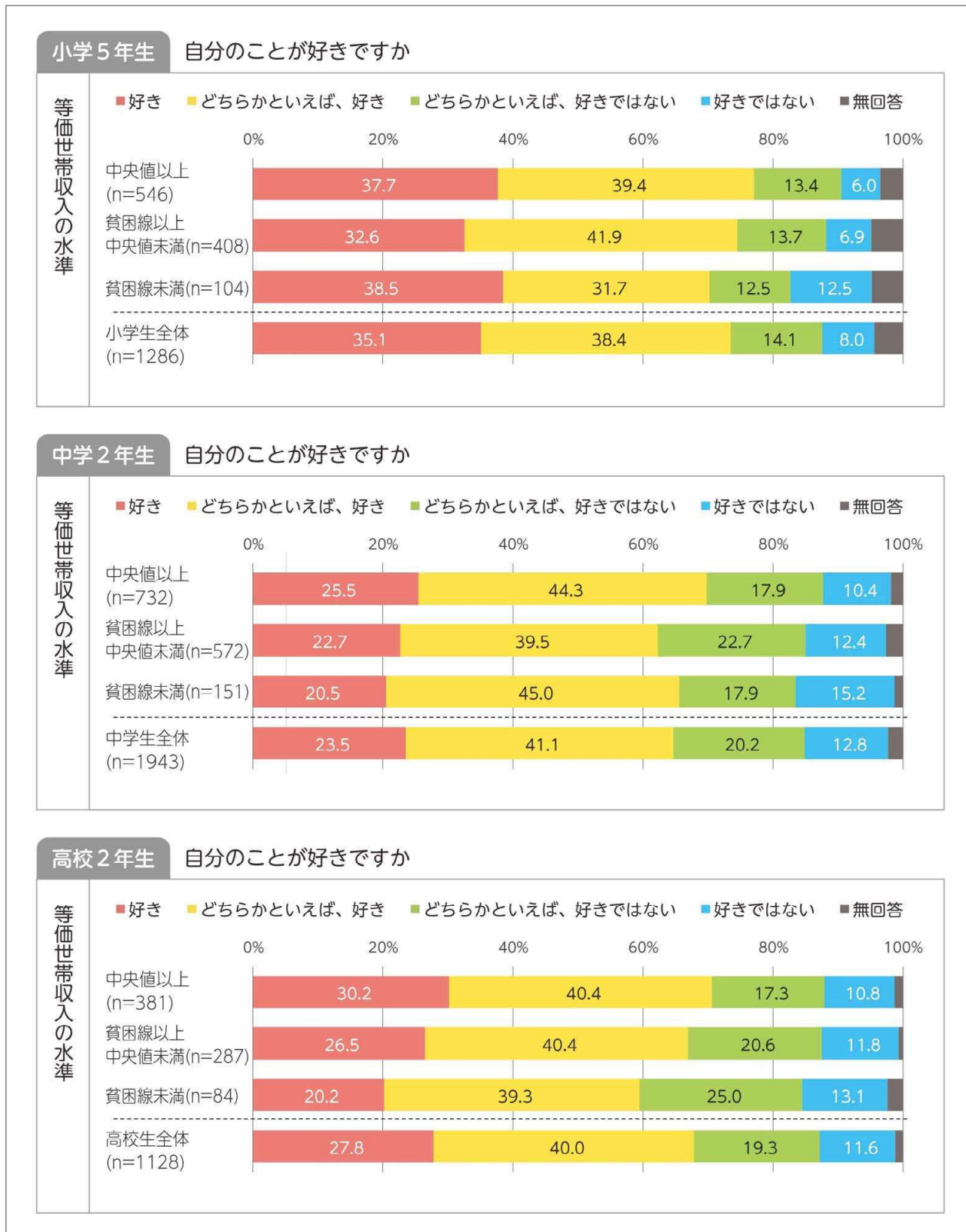


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査・子ども調査〉
 ※ □ で囲んだ数字は、最近の生活満足度の平均値を表しています。

貧困線未満の世帯の小学生、高校生は、他の世帯より、自分のことが好きな割合が低い

「等価世帯収入の水準」と「自分のことが好き」の関係について、自分のことが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合は、貧困線未満の世帯では、小学生は70.2%、中学生は65.5%、高校生は59.5%となっており、小学生、高校生は他の世帯より低くなっています。

■図表57 「等価世帯収入の水準」と「自分のことが好き」の関係

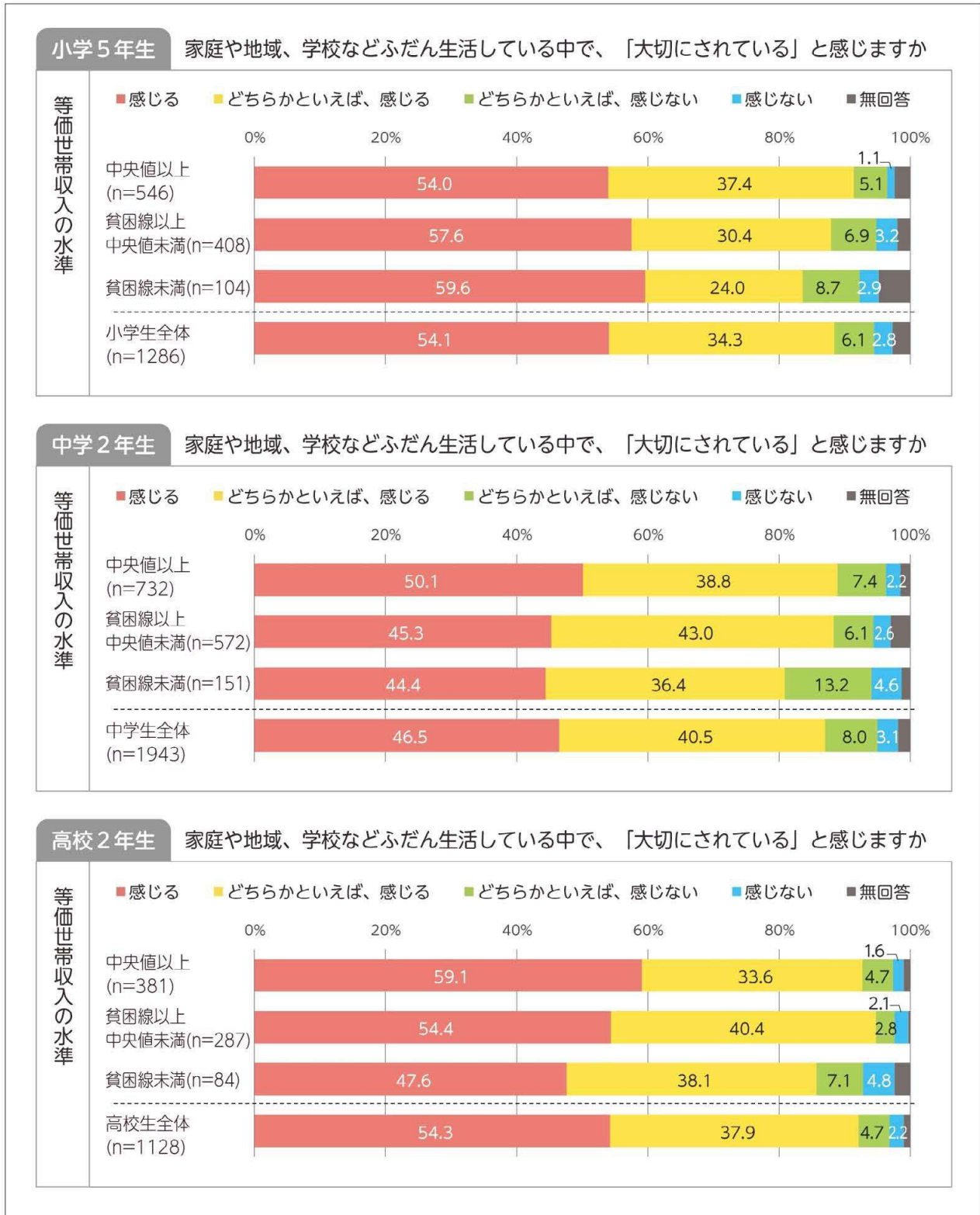


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査・子ども調査〉」

貧困線未満の世帯の子どもは、他の世帯より、大切にされていると感じる割合が低い

「等価世帯収入の水準」と「ふだん生活している中で、『大切にされている』と感じる」の関係について、大切にされていると「感じる」または「どちらかといえば、感じる」と肯定的に答えた割合は、貧困線未満の世帯では、小学生は83.6%、中学生は80.8%、高校生は85.7%となっており、いずれも他の世帯より低くなっています。特に、高校生は「感じる」の割合が47.6%で、中央値以上の世帯より11.5ポイント低くなっています。

■ 図表58 「等価世帯収入の水準」と「ふだん生活している中で、『大切にされている』と感じる」の関係

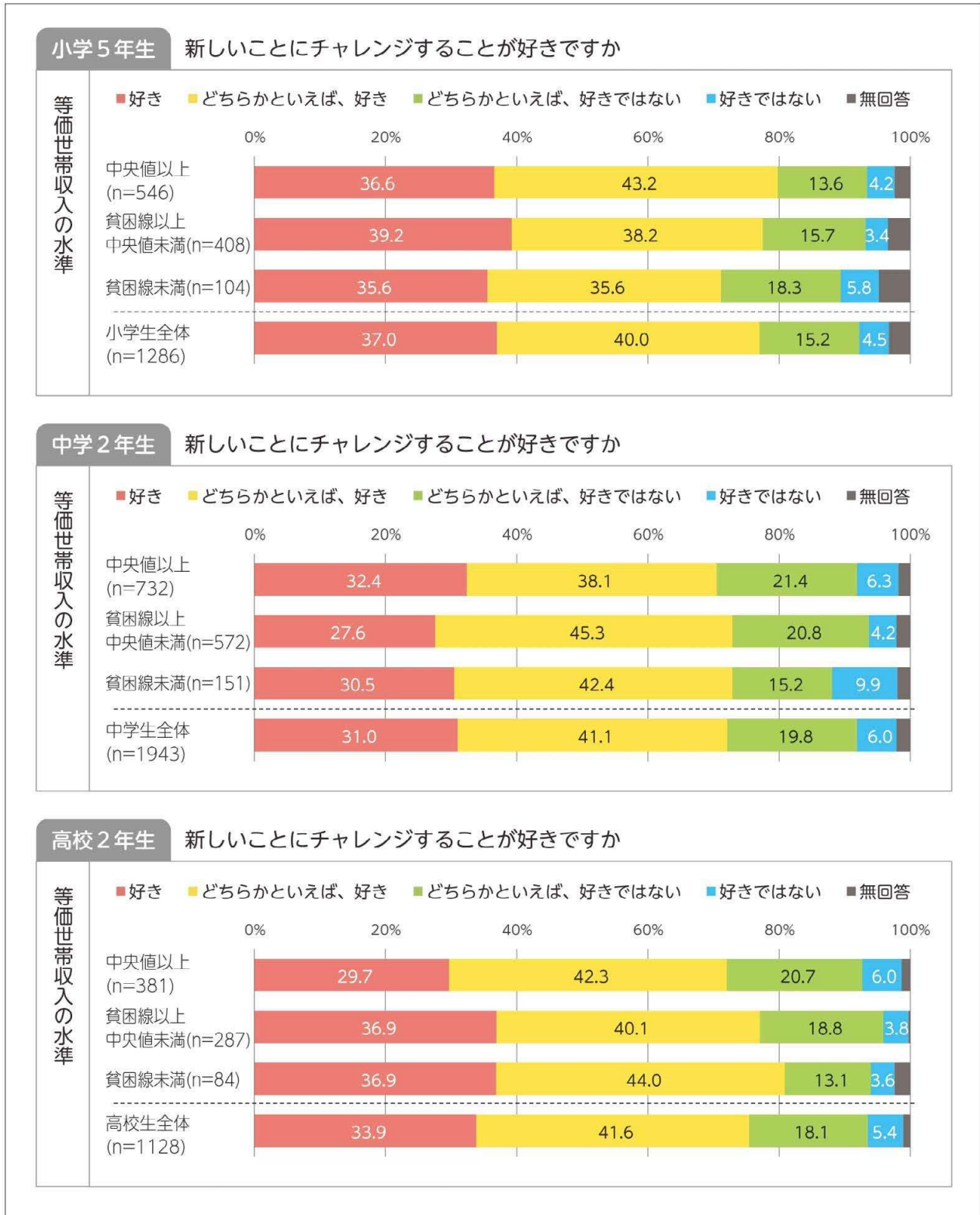


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の小学生は、他の世帯より、新しいことにチャレンジすることが好きな割合が低い、高校生は高い

「等価世帯収入の水準」と「新しいことにチャレンジすることが好き」の関係について、新しいことにチャレンジすることが「好き」または「どちらかといえば、好き」と肯定的に答えた割合は、貧困線未満の世帯では、小学生は71.2%、中学生は72.9%、高校生は80.9%となっており、小学生は他の世帯より低く、高校生は他の世帯より高くなっています。

■ 図表59 「等価世帯収入の水準」と「新しいことにチャレンジすることが好き」の関係

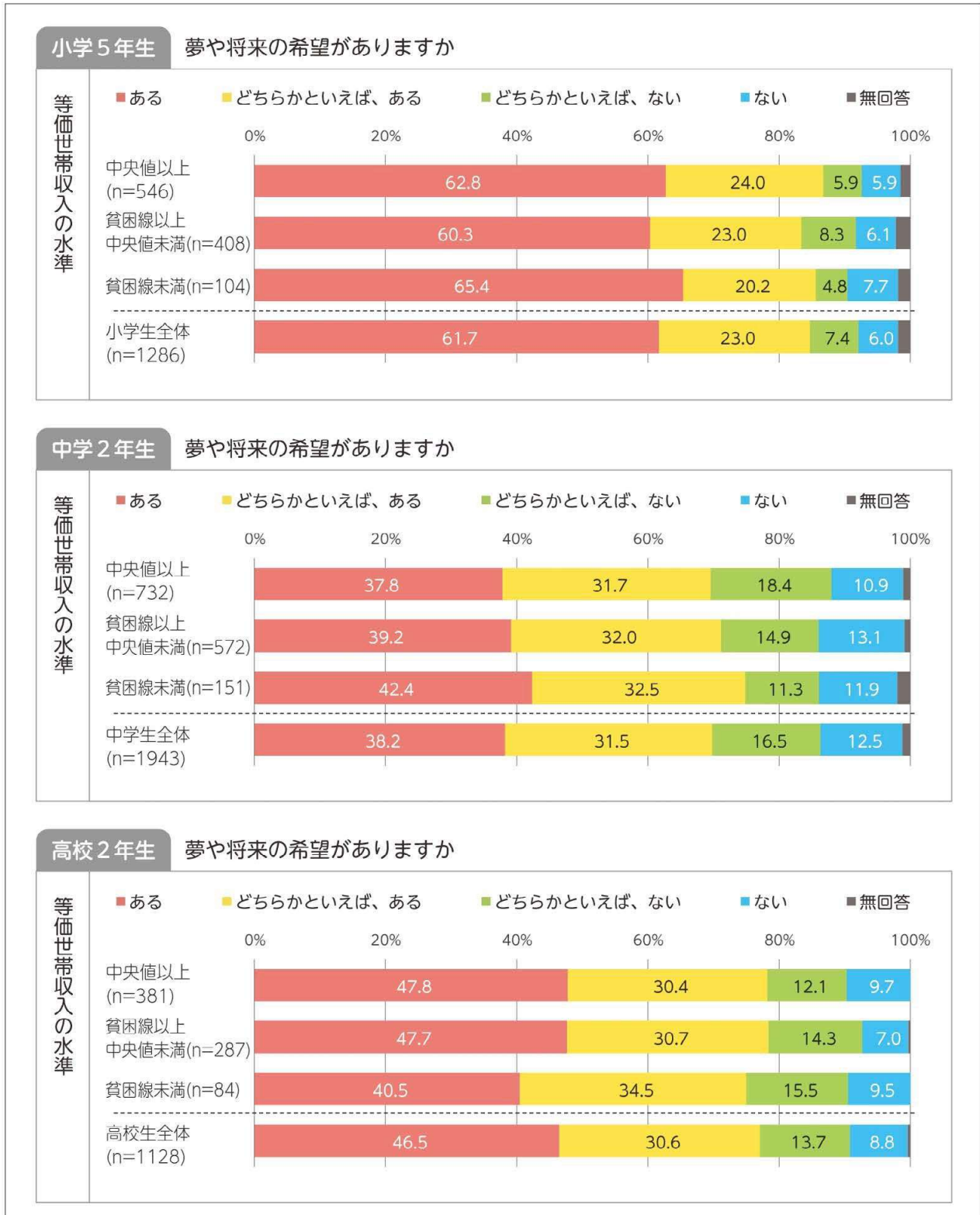


資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の中学生は、他の世帯より、夢や将来の希望がある割合が高いが、高校生は低い

「等価世帯収入の水準」と「夢や将来の希望がある」の関係について、夢や将来の希望が「ある」または「どちらかといえば、ある」と肯定的に答えた割合は、貧困線未満の世帯では、小学生は85.6%、中学生は74.9%、高校生は75.0%となっており、中学生は他の世帯より高く、高校生は他の世帯より低くなっています。

■ 図表60 「等価世帯収入の水準」と「夢や将来の希望がある」の関係



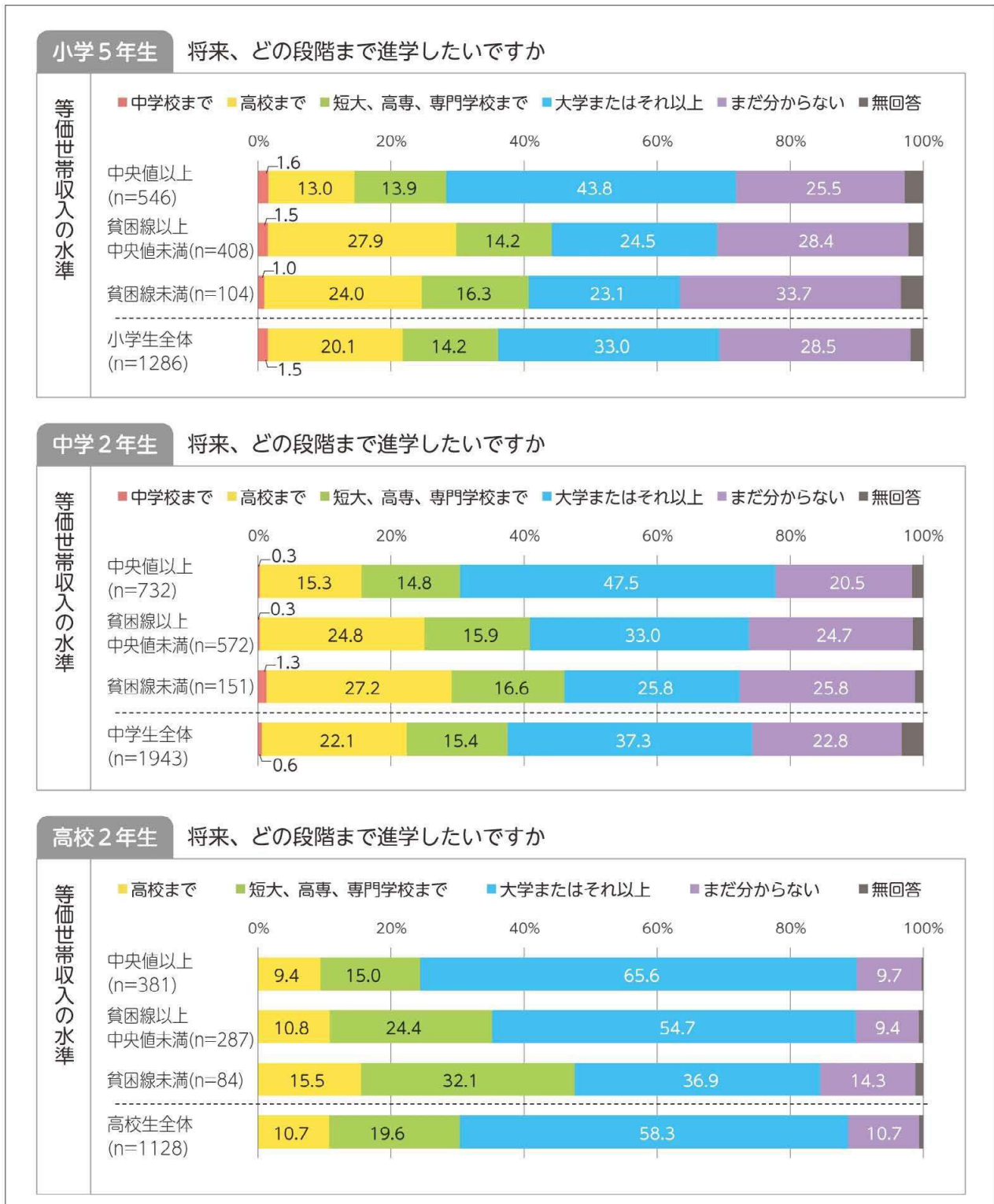
資料：「三重県子ども条例に基づく調査（保護者調査・子ども調査）」

貧困線未満の世帯の子どもは、「大学またはそれ以上」への進学希望が、中央値以上の世帯より20ポイント以上低い

「等価世帯収入の水準」と「将来の進学の段階」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の子どもは、中央値以上の世帯の子どもより、将来の進学の段階について「大学またはそれ以上」の割合が20ポイント以上低くなっています。

貧困線未満の世帯の高校生は、将来の進学の段階について「短大、高専、専門学校まで」の割合が32.1%となり、「大学またはそれ以上」(36.9%)と同程度の割合となっています。

■図表61 「等価世帯収入の水準」と「将来の進学の段階」(子ども)の関係

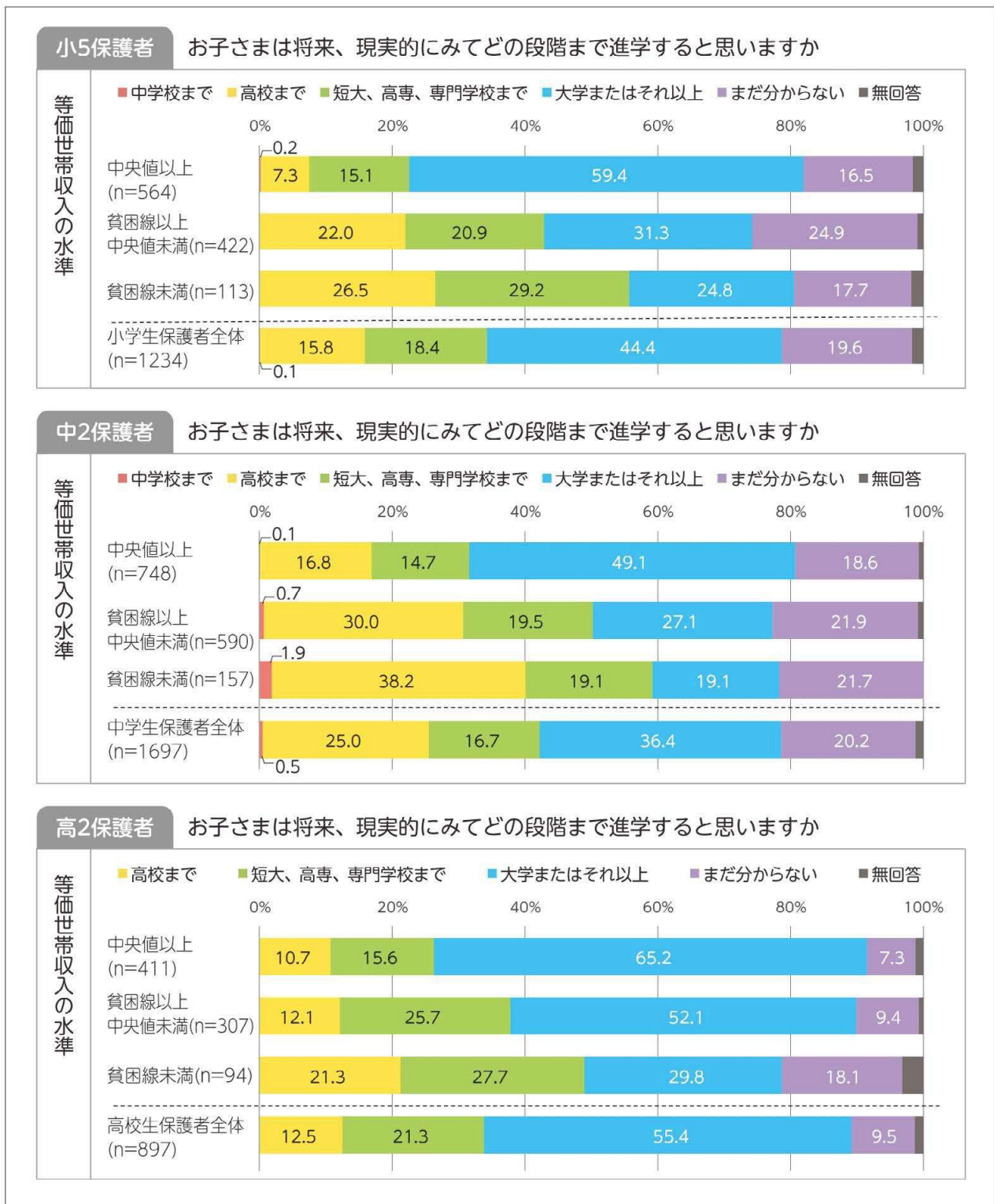


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査・子ども調査〉」

貧困線未満の世帯の保護者は、子どもの進学の段階について「大学またはそれ以上」とする割合が、中央値以上の世帯より 30 ポイント以上低い

「等価世帯収入の水準」と「将来の進学の段階」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに、貧困線未満の世帯の保護者は、中央値以上の世帯の保護者より、将来の進学の段階について「大学またはそれ以上」とする割合が 30 ポイント以上低くなっています。貧困線未満の世帯の高校生の保護者は、将来の進学の段階について「大学またはそれ以上」の割合が 29.8%となっており、子ども本人の希望 36.9% (P. ●) より 7.1 ポイント低くなっています。

■ 図表62 「等価世帯収入の水準」と「将来の進学の段階」(保護者)の関係

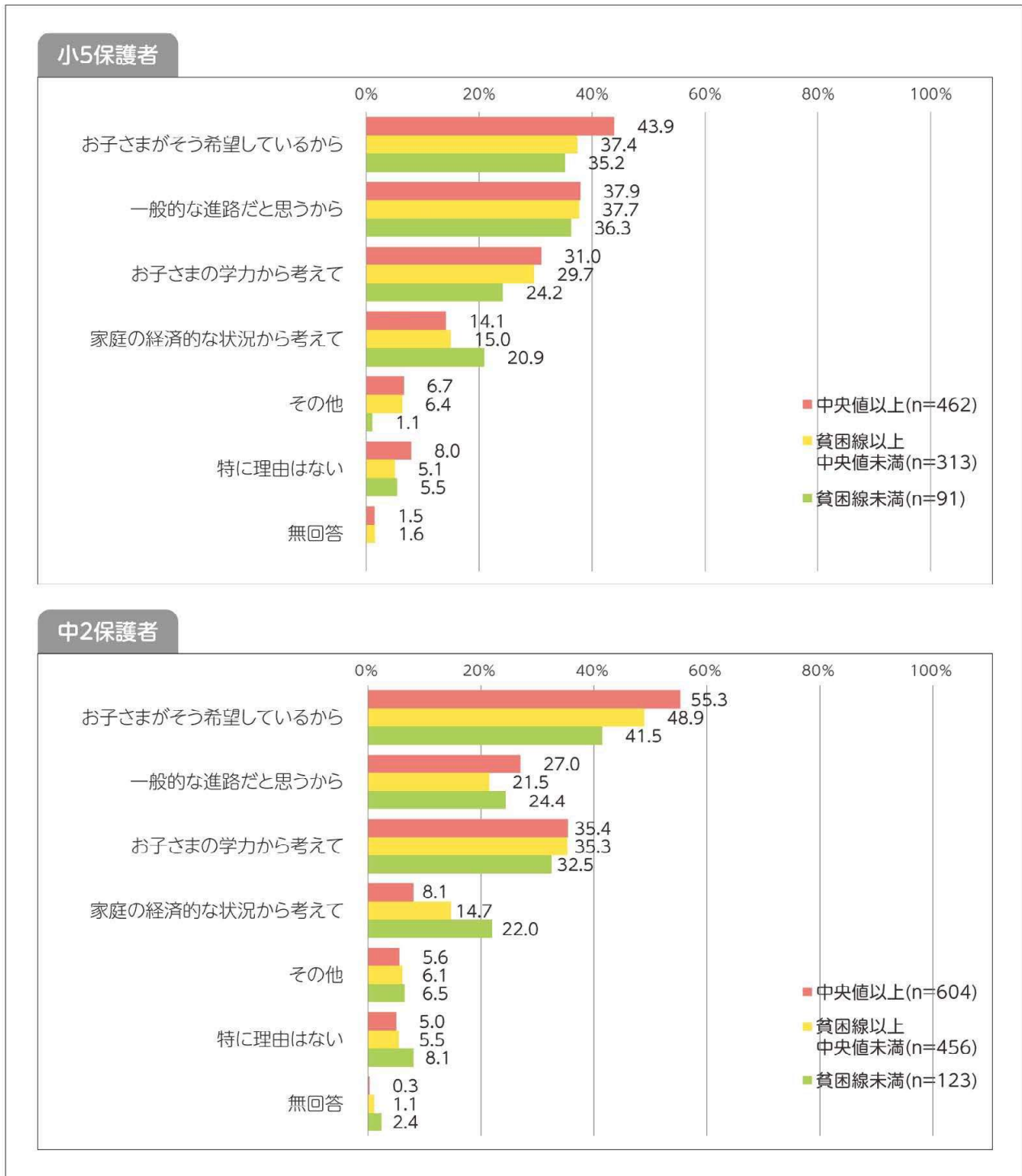


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」

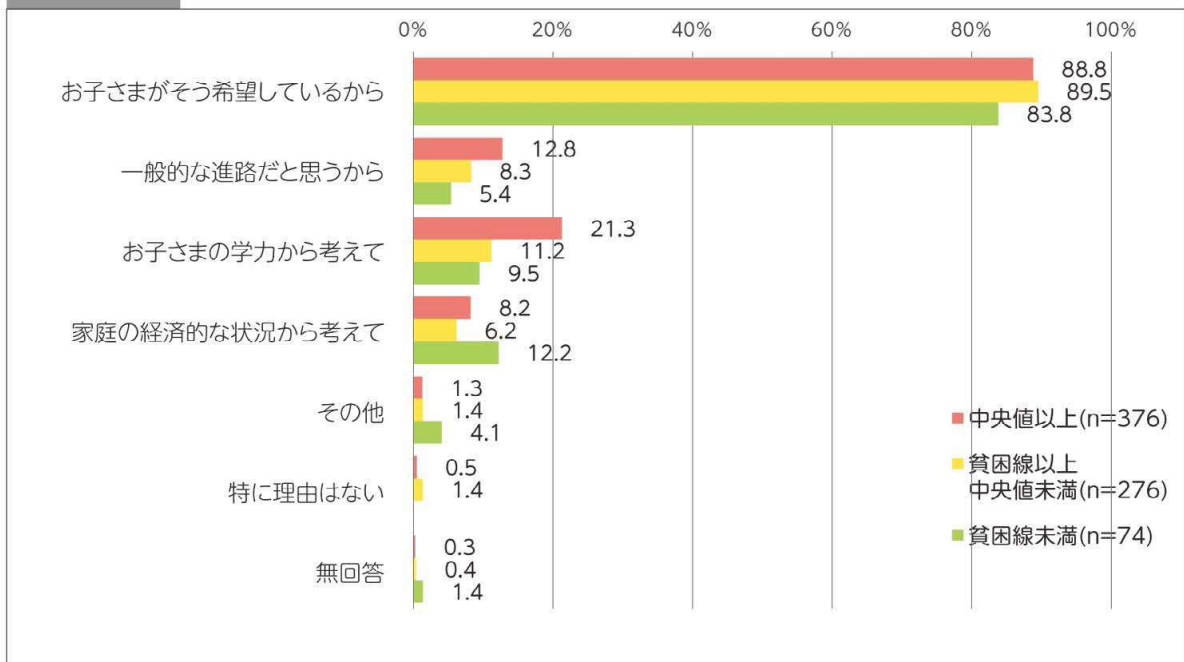
保護者が子どもの将来の進学の間階を答えた理由として、貧困線未満の世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が他の世帯より高い

「等価世帯収入の水準」と「子どもの将来の進学の間階を答えた理由（将来の進学の間階で「まだ分からない」以外を回答した人を対象）」の関係について、小学生、中学生、高校生の保護者ともに、「お子さまがそう希望しているから」の割合が高くなっていますが、貧困線未満の世帯では、小学生で35.2%、中学生で41.5%、高校生で83.8%となっており、いずれも他の世帯より低くなっている一方、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が、小学生で20.9%、中学生で22.0%、高校生で12.2%となっており、いずれも他の世帯より高くなっています。

■ 図表63 「等価世帯収入の水準」と「子どもの将来の進学の間階を答えた理由（将来の進学の間階で「まだ分からない」以外を回答した人を対象）」（保護者）の関係（複数回答）



高2保護者



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉」

貧困線未満の世帯の保護者は、子どもについての不安や悩みとして、「教育費」「生活費」を挙げる割合が中央値以上の世帯より高い

「等価世帯収入の水準」と「子どもについての不安や悩み」の関係について、中央値以上の世帯の小学生の保護者では「子どもの成績や進学」の割合が45.0%で最も高く、次いで「子どもの育て方やしつけ」(35.6%)となっています。一方、貧困線未満の世帯の小学生の保護者では、「教育費」の割合が45.1%で最も高く、次いで「生活費」(38.1%)となっています。

中央値以上の世帯の中学生の保護者では「子どもの成績や進学」の割合が62.3%で最も高く、次いで「子どもの友だち関係」(31.3%)となっています。一方、貧困線未満の世帯の中学生の保護者では、「子どもの成績や進学」の割合が60.5%で最も高く、次いで「教育費」(37.6%)となっています。

中央値以上の世帯の高校生の保護者では「子どもの成績や進学」の割合が63.5%で最も高く、次いで「教育費」(31.1%)となっています。また、貧困線未満の世帯の高校生の保護者も「子どもの成績や進学」の割合が60.6%で最も高く、次いで「教育費」(40.4%)となっています。

貧困線未満の世帯の保護者は、小学生、中学生、高校生ともに、「教育費」「生活費」の割合が中央値以上の世帯より高くなっています。

■ 図表64 「等価世帯収入の水準」と「子どもについての不安や悩み」の関係(複数回答)

小5保護者		あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか												
		子どもの健康	子どもの成績や進学	子どもの友だち関係	子どもの生活態度	子どもの就職	子どもの育て方やしつけ	子どもと保護者との関係	子どもと先生との関係	生活費	教育費	その他	特に悩みはない	無回答
等価世帯収入の水準	中央値以上	18.8	①45.0	③35.3	28.7	8.0	②35.6	7.3	5.0	6.2	19.1	1.4	19.0	0.4
	貧困線以上中央値未満	27.5	①43.4	②43.1	29.1	10.0	③38.9	8.8	10.2	15.9	27.0	1.2	14.5	0.5
	貧困線未満	28.3	31.0	③35.4	34.5	12.4	34.5	12.4	13.3	②38.1	①45.1	1.8	12.4	1.8

中2保護者		あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか												
		子どもの健康	子どもの成績や進学	子どもの友だち関係	子どもの生活態度	子どもの就職	子どもの育て方やしつけ	子どもと保護者との関係	子どもと先生との関係	生活費	教育費	その他	特に悩みはない	無回答
等価世帯収入の水準	中央値以上	21.1	①62.3	②31.3	③25.7	12.3	24.9	7.0	10.7	5.6	23.8	1.5	13.6	0.5
	貧困線以上中央値未満	25.4	①68.0	②38.3	28.6	15.1	28.8	10.8	8.8	16.6	③32.9	1.0	8.5	0.7
	貧困線未満	26.8	①60.5	③36.9	29.3	21.7	25.5	12.7	10.8	23.6	②37.6	1.9	13.4	0.6

高2保護者		あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか												
		子どもの健康	子どもの成績や進学	子どもの友だち関係	子どもの生活態度	子どもの就職	子どもの育て方やしつけ	子どもと保護者との関係	子どもと先生との関係	生活費	教育費	その他	特に悩みはない	無回答
等価世帯収入の水準	中央値以上	23.4	①63.5	③24.1	19.2	21.4	10.7	5.8	6.3	10.5	②31.1	1.0	12.4	0.5
	貧困線以上中央値未満	③28.0	①54.1	23.5	19.5	24.8	13.7	10.1	6.5	14.7	②40.4	1.3	15.3	1.0
	貧困線未満	27.7	①60.6	24.5	16.0	③31.9	16.0	7.4	5.3	23.4	②40.4	1.1	16.0	—

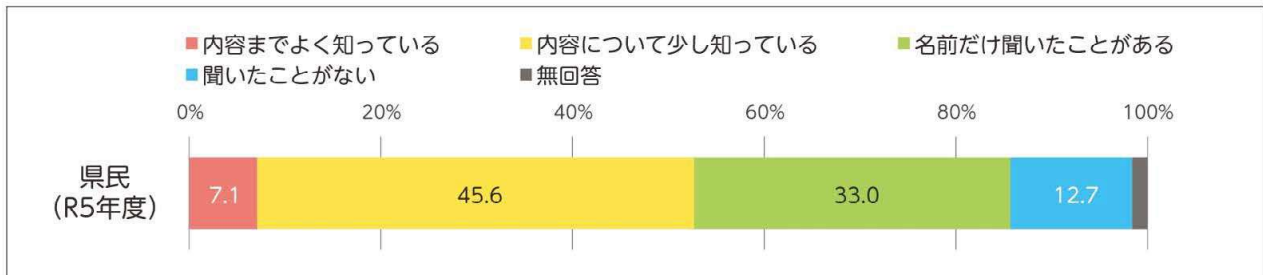
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査・子ども調査〉」

※○で囲んだ数字は、上位3項目を表しています。

子どもの貧困の実態を知っている県民は約5割

日本における子どもの貧困の実態について、「内容までよく知っている」または「内容について少し知っている」と答えた県民の割合は52.7%となっています。

■図表65 子どもが、経済的困難や、経済的困難に起因して発生するさまざまな問題(病気や発達の遅れ、自尊感情や意欲の喪失、学習や進学機会の喪失等)を抱えている状況を「子どもの貧困」と言い、令和3年の全国の子どもの貧困率は11.5%で約9人に1人が貧困状態にあります。特にひとり親世帯では約2人に1人が貧困状態にあります。あなたはこうした日本における子どもの貧困の実態を知っていますか。

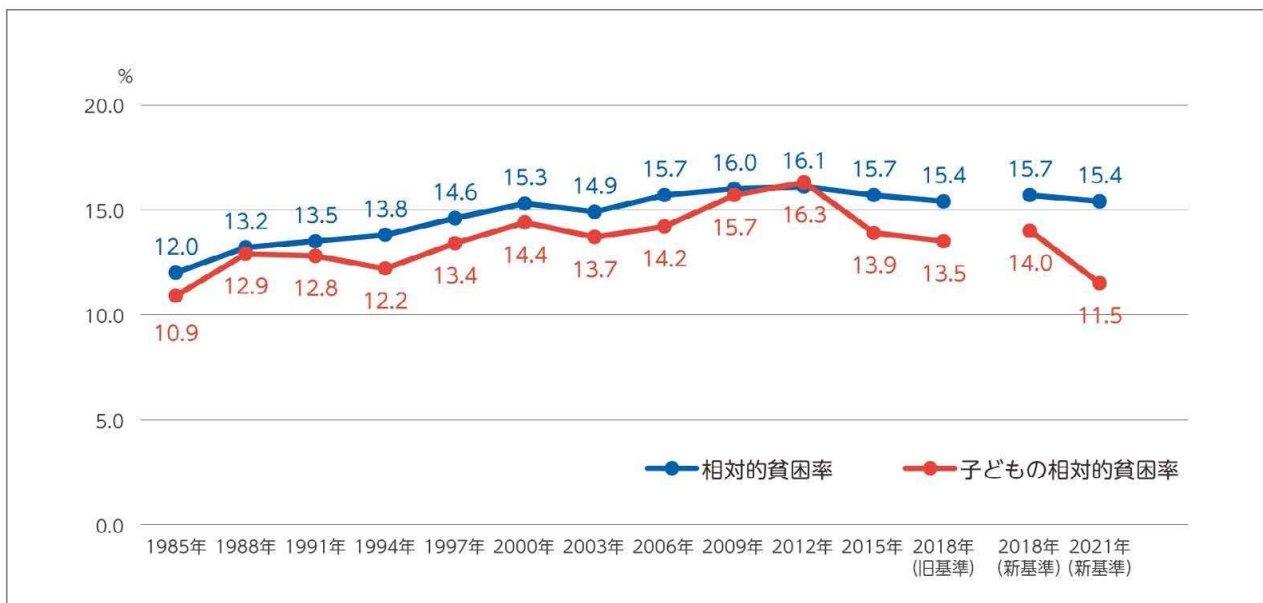


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈県民調査〉」

【参考】子どもの相対的貧困率(全国)は減少傾向

全国における子どもの相対的貧困率はゆるやかな上昇傾向にありましたが、2012年をピークに減少傾向となっています。

■図表66 相対的貧困率の推移(全国)



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」

「国民生活基礎調査」における＜相対的貧困率＞と＜子どもの相対的貧困率＞

＜相対的貧困率＞一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合

※貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額

＜子どもの相対的貧困率＞17歳以下の子ども全体に占める等価可処分所得が貧困線に満たない子どもの割合

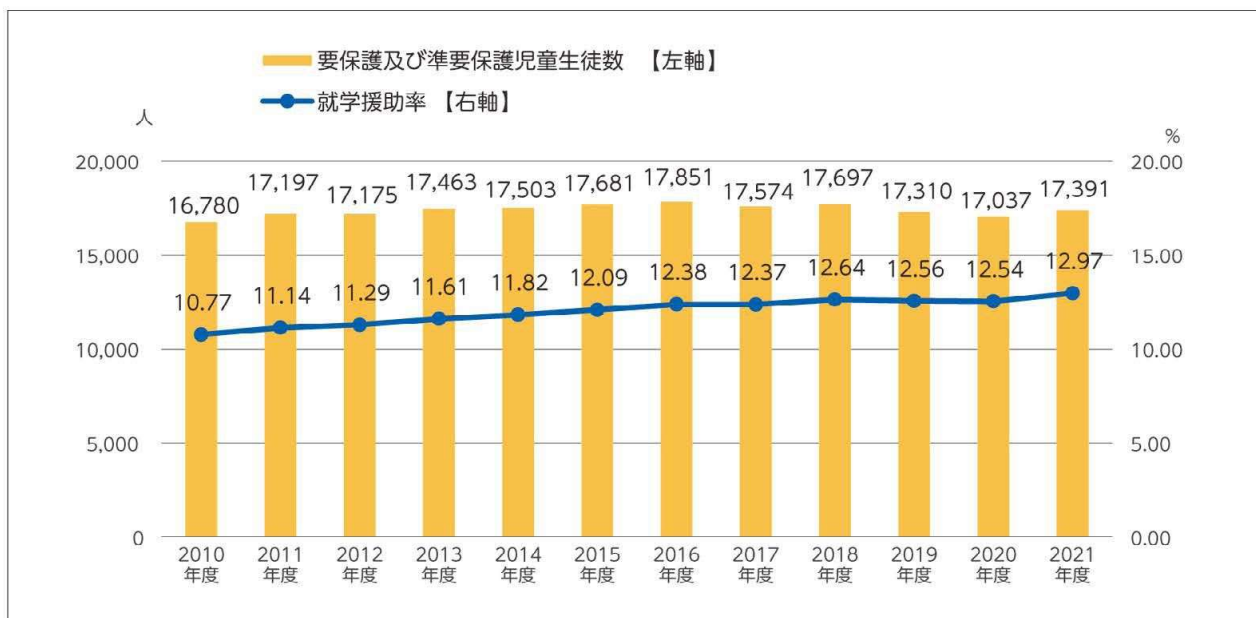
※「新基準」は、2015年に改定されたOECDの所得定義の新たな基準で、従来の可処分所得から更に「自動車税・軽自動車税・自動車重量税」、「企業年金の掛金」及び「仕送り額」を差し引いて算出

※本調査における相対的貧困率（P●）と算出方法が異なるため、比較には注意が必要です。

就学援助率は増加傾向

少子化により児童生徒数が減少傾向にある中、公立小中学校において、経済的な理由により、学用品費や修学旅行費などの援助を受けている要保護及び準要保護児童生徒数は、2011年度以降、17,000人台で推移しており、就学援助率は増加傾向です。2021年度の就学援助率は12.97%で約8人に1人の割合となっています。

■ 図表67 要保護及び準要保護児童生徒数及び就学援助率の推移(三重県)



資料：文部科学省「就学援助実施状況等調査」

※就学援助率とは、要保護及び準要保護児童生徒数を公立小中学校児童生徒数で除して算出したもの

2

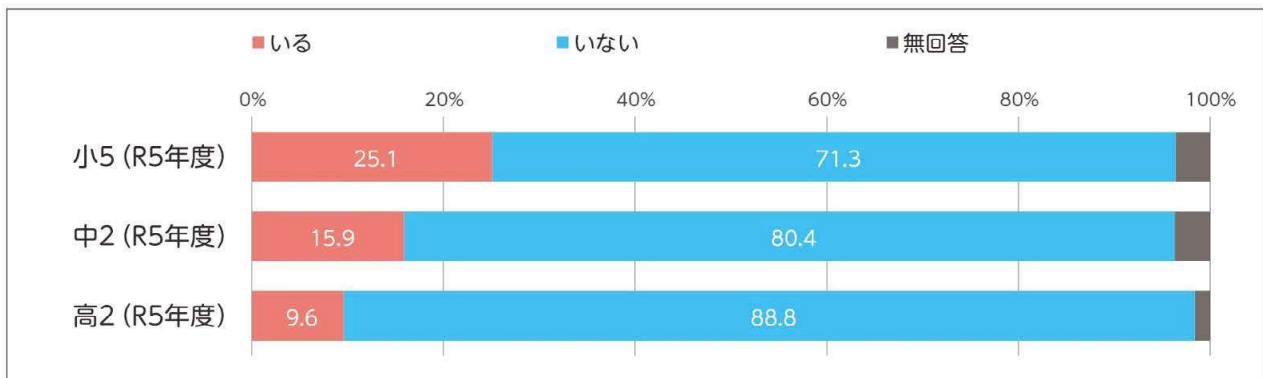
ヤングケアラーに関する状況

家族の中にお世話をしている人がいる割合は小学生が最も高い

家族の中にお世話（ふつう大人が行うような家事や家族の世話）をしている人がいるかについて、「いる」と答えた小学生は25.1%、中学生は15.9%、高校生は9.6%となっています。

なお、全国の小学生、中学生、高校生を対象に行われた調査（「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和2年度、令和3年度））によると、世話をしている家族が「いる」と答えた小学生は6.5%、中学生は5.7%、全日制高校生は4.1%、定時制高校生は8.5%となっています。

■ 図表68 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。）



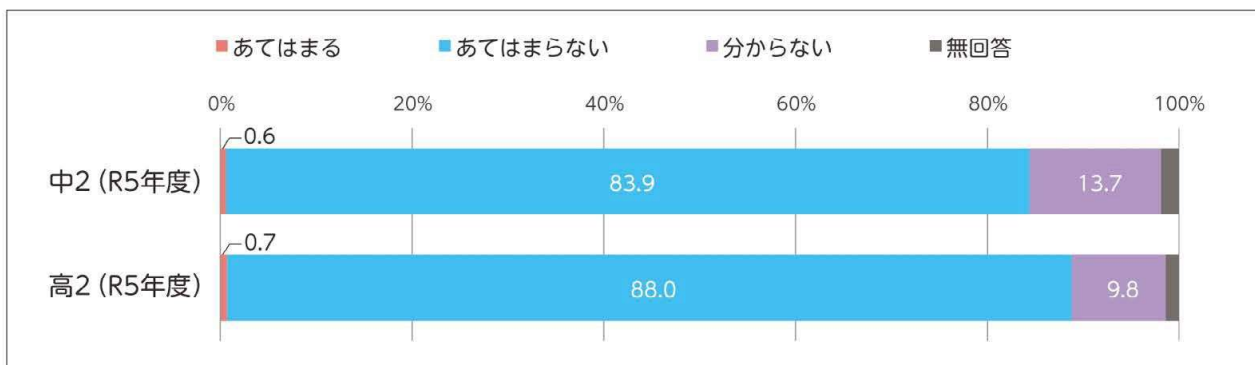
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自身をヤングケアラーと思う中学生、高校生は1%未満

自分自身をヤングケアラーにあてはまると思うかについて、「あてはまる」と答えた中学生は0.6%、高校生は0.7%となっています。

なお、全国の中学生、高校生を対象に行われた調査（「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和2年度））によると、自身がヤングケアラーに「あてはまる」と答えた中学生は1.8%、全日制高校生は2.3%、定時制高校生は4.6%となっています。

■ 図表69 ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」
※回答者は下のイラストを見た上で設問に回答しています。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

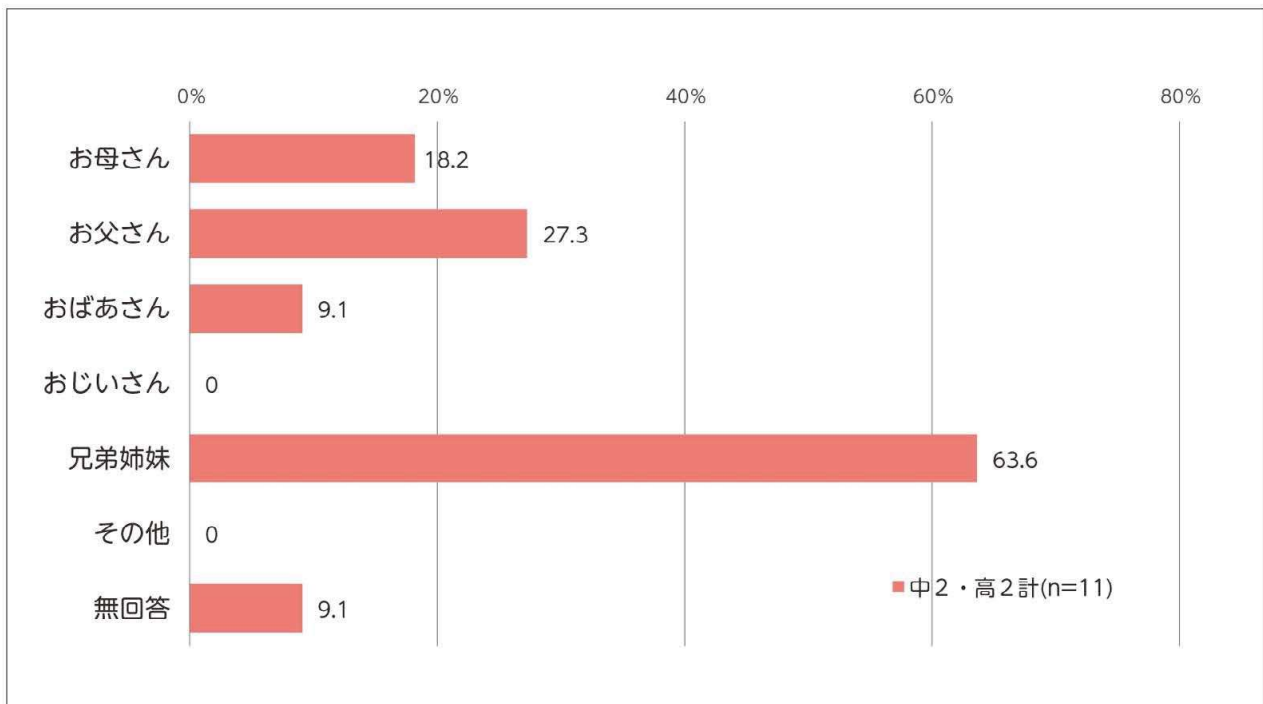
©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

自身をヤングケアラーと思う中学生、高校生がお世話をしている相手は「兄弟姉妹」の割合が最も高い

自身がヤングケアラーにあてはまる、かつ家族の中にお世話をしている人がいると答えた中学生、高校生がお世話をしている相手は「兄弟姉妹」が63.6%で最も高くなっています。

なお、全国の中学生、高校生を対象に行われた調査（「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」(令和2年度)）によると、中学生は「きょうだい」が61.8%で最も高く、次いで「父母」(23.5%)、「祖父母」(14.7%)、全日制高校生は「きょうだい」が44.3%で最も高く、次いで「父母」(29.6%)、「祖父母」(22.5%)、定時制高校生も同様の傾向となっています。

■ 図表70 あなたは誰のお世話をしていますか(世話をしている人がいると回答した中学生・高校生が対象)(複数回答)



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

子どもを支援する取組を行っている NPO の方にお聞きしました。

● ヤングケアラーについて

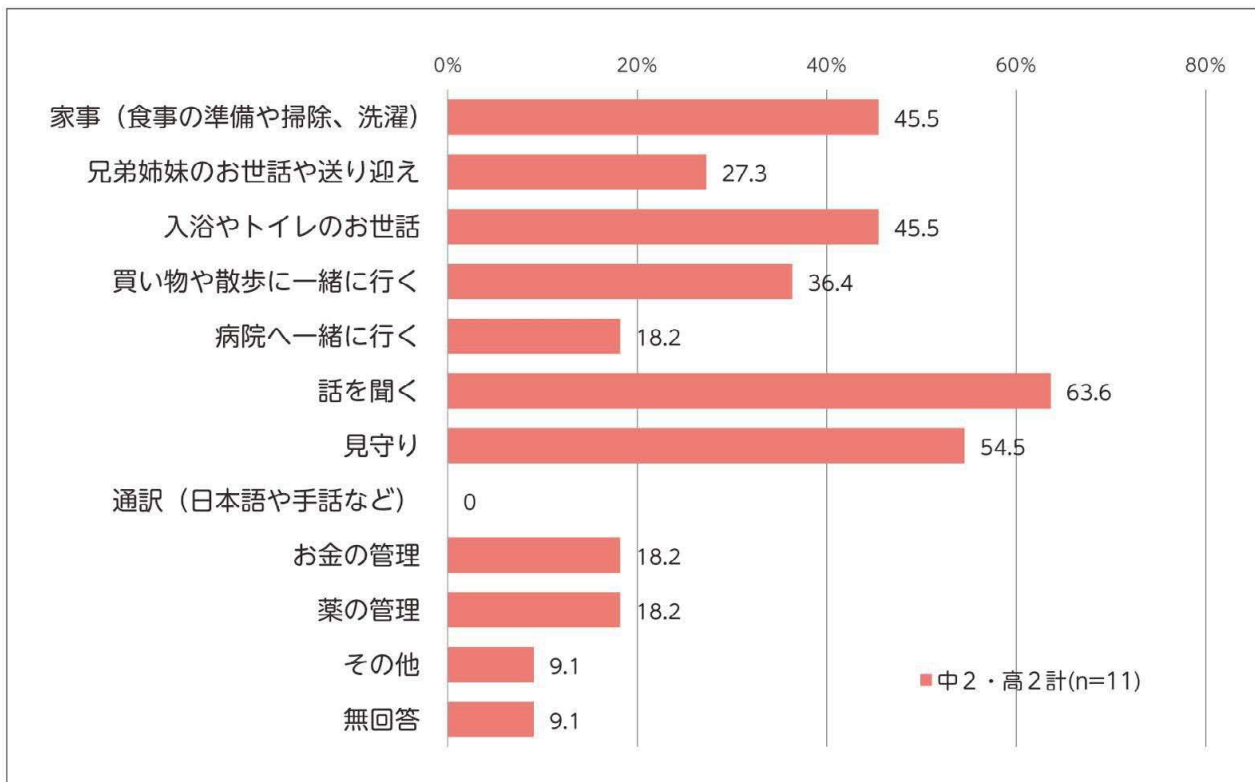
ヤングケアラーの定義づけが難しいと感じています。子どもにとって、妹や弟のお世話をするなど、自分自身がやろうと思ったことに責任を持って取り組むことで到達できる喜び、学びもあると考えています。一方で、要支援家庭をみていると、親がやりたくないと思うことを、子どもが察知して進んでやっているケースがあります。これは、親がやりたくないことを子どもにやらせているだけであり、ヤングケアラーに該当すると捉えています。このようなケースは注視、支援していく必要があると感じています。

(NPO 法人 三重県子ども NPO サポートセンター)

自身をヤングケアラーと思う中学生、高校生がしているお世話の内容は「話を聞く」、「見守り」の割合が高い

自身がヤングケアラーにあてはまる、かつ家族の中にお世話をしている人がいると答えた中学生、高校生が行っているお世話の内容は、「話を聞く」が63.6%で最も高く、次いで「見守り」(54.5%)となっています。

■ 図表71 あなたはどのようなお世話をしていますか(世話をしている人がいると回答した中学生・高校生が対象)(複数回答)



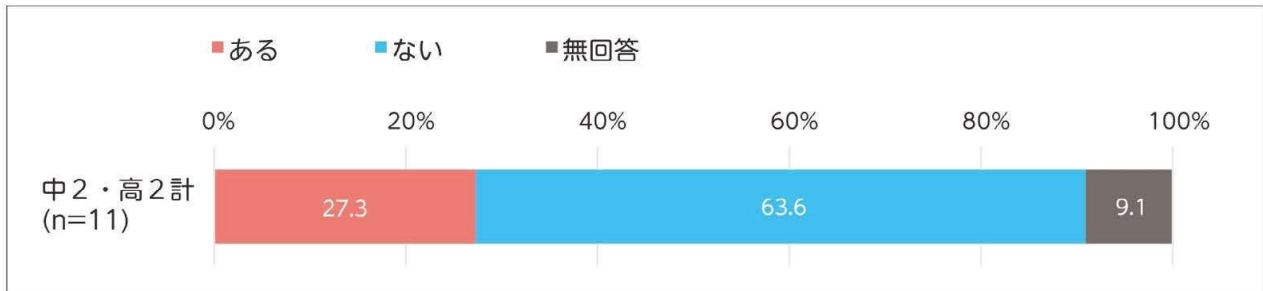
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

自身をヤングケアラーと思う中学生、高校生が誰かに相談したことがある割合は約3割

自身がヤングケアラーにあてはまる、かつ家族の中にお世話をしている人がいると答えた中学生、高校生のうち、お世話をしている家族のことやお世話の悩みについて誰かに相談したことがある割合は27.3%となっています。

なお、全国の中学生、高校生を対象に行われた調査（「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」(令和2年度)）によると、「ある」と答えた中学生は21.6%、全日制高校生は23.5%、定時制高校生は32.3%となっています。

■ 図表72 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか(世話をしている人がいると回答した中学生・高校生のみ)

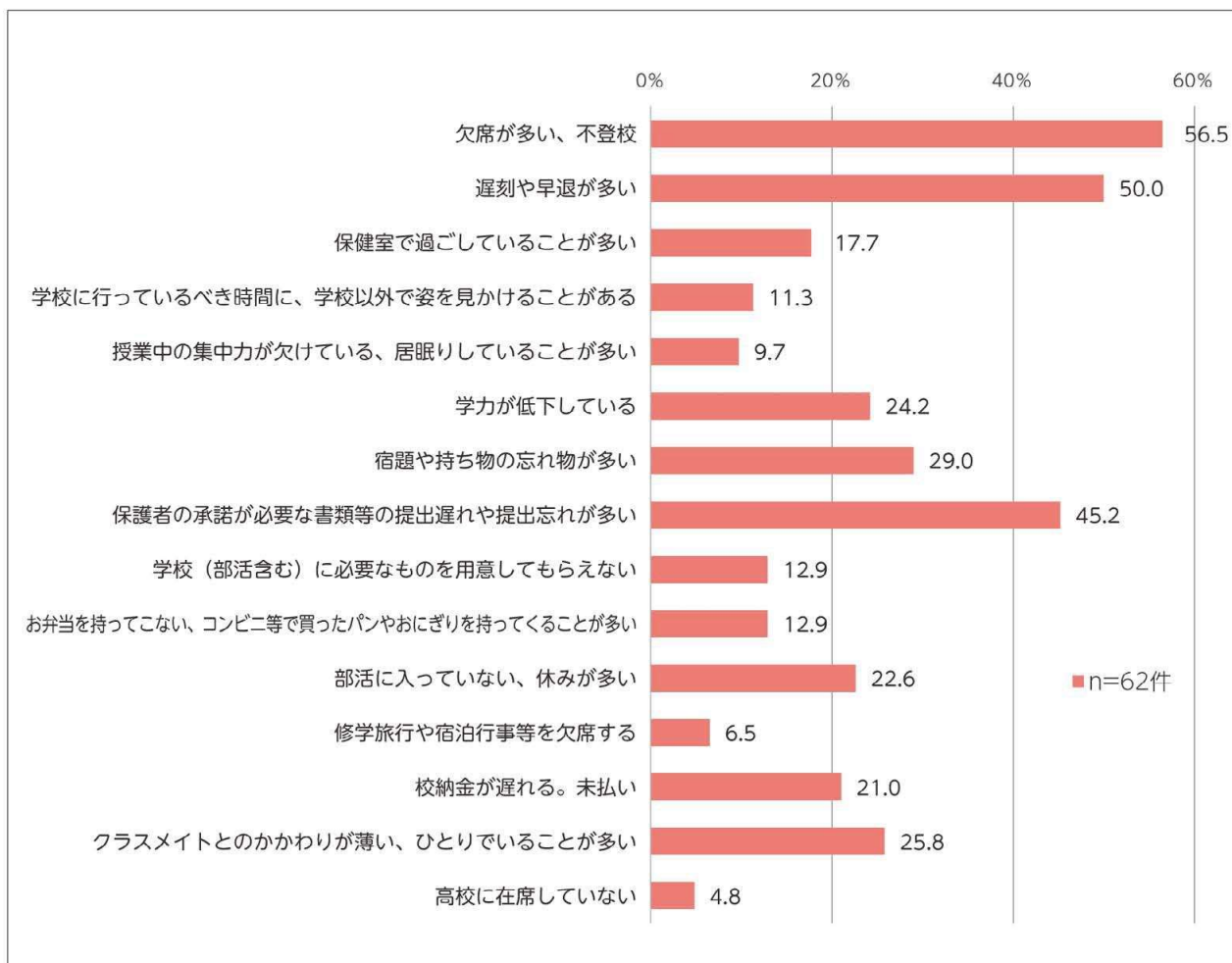


資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

「教育を受ける権利」についてのヤングケアラーの状況は、「欠席が多い、不登校」の割合が最も高い

ヤングケアラーと思われる子どもについて、19市町の要保護児童対策地域協議会に対して行った聞き取り調査では、「教育を受ける権利」の状況について、「欠席が多い、不登校」の割合が56.5%で最も高く、次いで「遅刻や早退が多い」(50.0%)、「保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い」(45.2%)となっています。

■ 図表73 「教育を受ける権利」についてのヤングケアラーの状況(三重県)(複数回答)



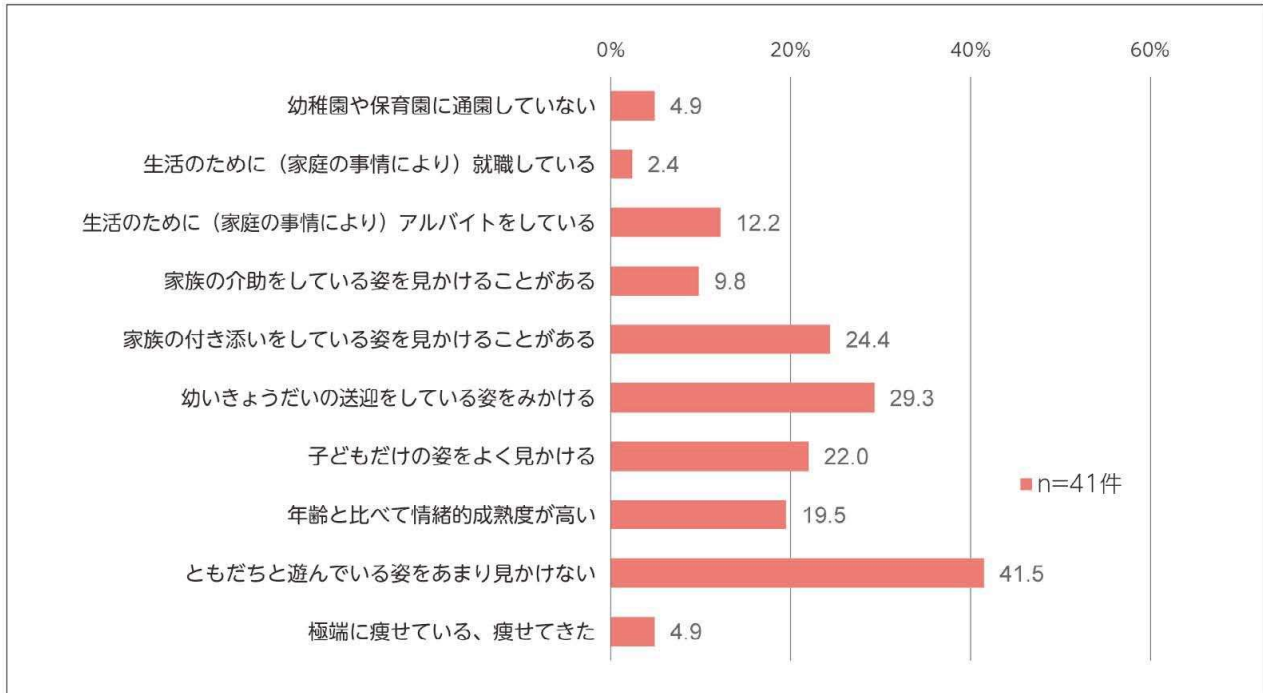
資料：「三重県ヤングケアラー実態調査(令和4年度)」

※聞き取り調査対象75件中、「教育を受ける権利」のいずれかの項目に回答のあった62件を母数として割合を算出

「子どもらしく過ごせる権利」についてのヤングケアラーの状況は、「ともだちと遊んでいる姿をあまり見かけない」の割合が最も高い

ヤングケアラーと思われる子どもについて、19市町の要保護児童対策地域協議会に対して行った聞き取り調査では、「子どもらしく過ごせる権利」の状況について、「ともだちと遊んでいる姿をあまり見かけない」の割合が41.5%で最も高く、次いで「幼いきょうだいの送迎をしている姿をみかける」(29.3%)、「家族の付き添いをしている姿を見かけることがある」(24.4%)となっています。

■ 図表74 「子どもらしく過ごせる権利」についてのヤングケアラーの状況(三重県)(複数回答)



資料：「三重県ヤングケアラー実態調査(令和4年度)」

※聞き取り調査対象75件中、「子どもらしく過ごせる権利」のいずれかの項目に回答のあった41件を母数として割合を算出

3

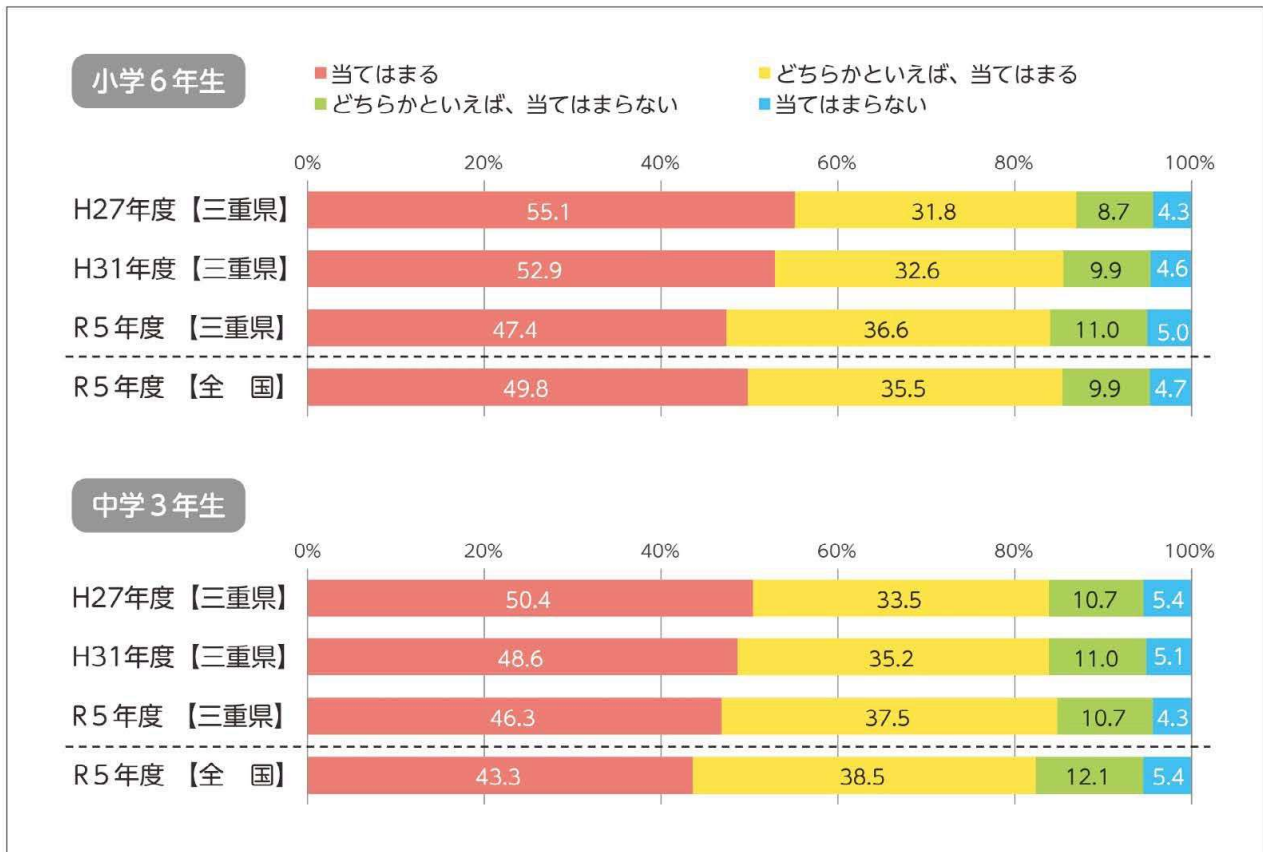
不登校やその他困難な状況にある子どもたち

学校に行くのが楽しいと思う子どもは約8割

学校に行くのは楽しいと思うかについて、「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた小学生は84.0%、中学生は83.8%となっています。「思う」と答えた小学生、中学生の割合はいずれも減少傾向です。

※わかりやすくするため、調査上の選択肢とは異なる表現で説明文を記載しています。

■図表75 学校に行くのは楽しいと思いますか



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

子どもを支援する取組を行っている NPO の方にお聞きしました。

●フリースクールについて

フリースクールは学校ごとにコンセプトや特徴が異なるため、子どもや保護者は複数のフリースクールを体験してから選択することが多く、私たちが運営する「ラピュタすずか」には市外から通っている子どももいます。不登校になる理由が以前とは異なっているように感じます。学校の授業に出ることは難しくても、運動会や卒業式、その練習には参加できる子どももいます。苦しい気持ちで学校に行くことがよいことだとは思いませんが、学校に行きたいとっていて、学校に行けなくなったのであれば、その理由を解消することが大切だと考えます。

(NPO 法人 shining)

学校に行きたくないと感じるときは、「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」の割合が最も高い

学校に行きたくないと感じるときがあるか、またある場合はどのようなときかについて、小学生は「学校に行きたくないと感じることはない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」(25.7%)、「友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき」(10.4%)となっています。中学生、高校生は「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」の割合がそれぞれ39.3%、45.0%で最も高く、次いで「学校に行きたくないと感じることはない」(それぞれ34.3%、29.4%)、「『友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき』以外の理由で友人関係に不安があるとき」(それぞれ16.3%、16.9%)となっています。

「何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき」の割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっています。

■ 図表76 あなたは、学校に行きたくないと感じることがありますか。ある場合、それはどのようなときですか(複数回答)

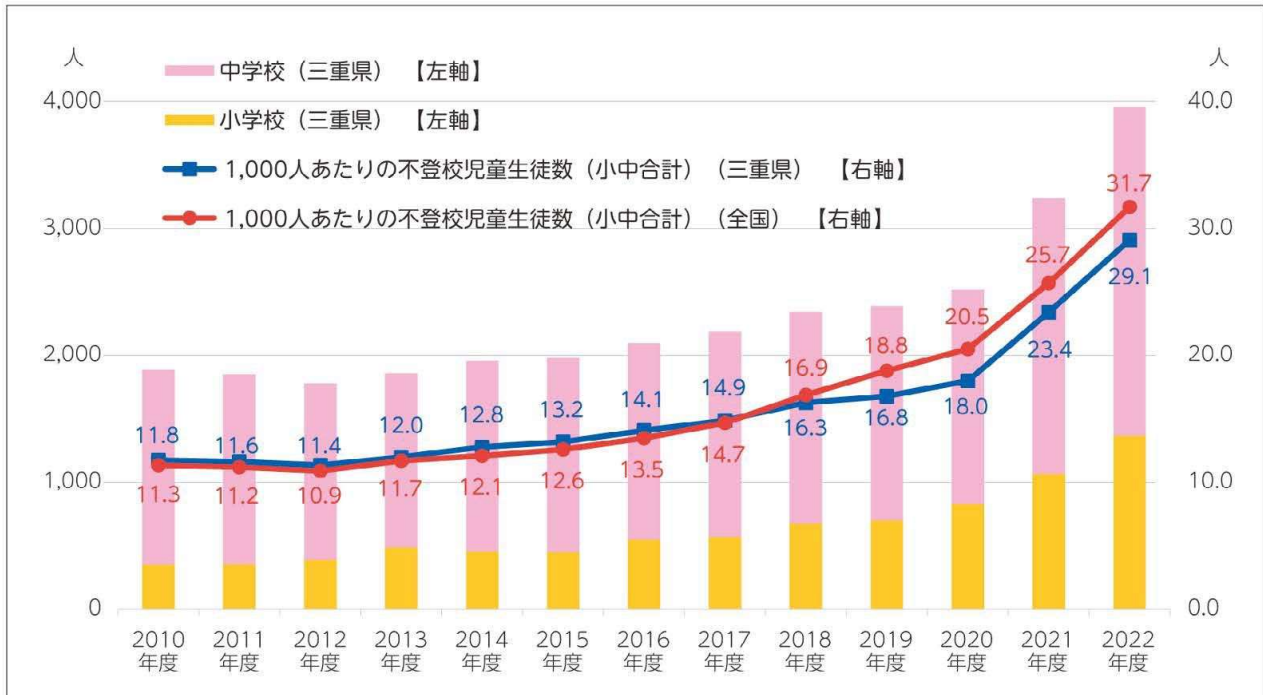
	小学5年生	中学2年生	高校2年生
	R5年度	R5年度	R5年度
友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき	③10.4	7.9	6.2
『友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき』以外の理由で友人関係に不安があるとき	7.6	③16.3	③16.9
学校の先生との関係に不安を感じているとき	3.5	4.8	4.0
授業が分からないとき	9.6	11.9	12.8
進路や将来に不安を感じているとき	3.5	10.1	11.8
クラブ活動(部活動)で悩んでいるとき	0.9	11.6	10.7
学校のきまりに馴染めないとき	2.7	4.0	4.3
新しい学校や学級に馴染めないとき	3.6	7.3	8.8
勉強やクラブ活動(部活動)に必要なものを買ってもらえないとき	0.3	0.6	0.4
家庭の環境が急に変わって不安があるとき	1.4	1.7	1.3
親(保護者)との関係に不安があるとき	1.7	3.1	2.3
家族内の関係がうまくいっていないとき	1.8	3.2	2.8
学校生活以外に興味や関心があるとき	4.2	10.6	11.3
何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき	②25.7	①39.3	①45.0
その他	8.6	7.0	4.7
学校に行きたくないと感じることはない	①45.7	②34.3	②29.4
無回答	8.1	8.6	7.2

資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

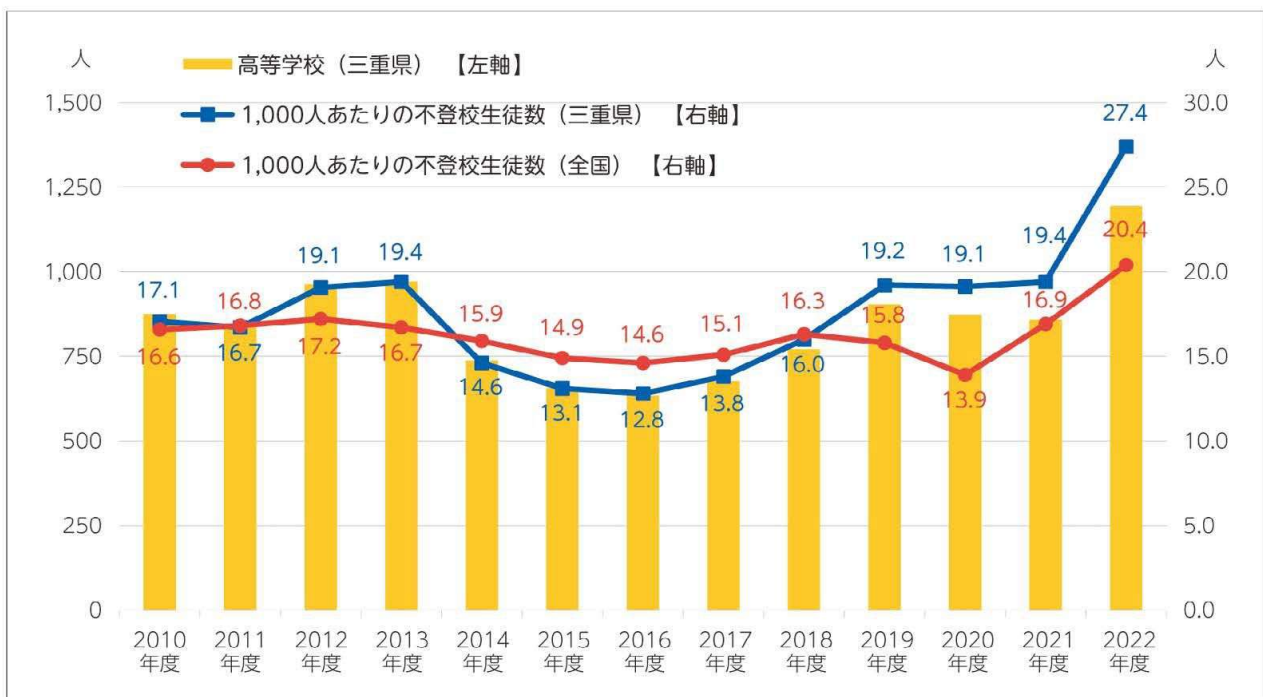
小学校、中学校の不登校児童生徒数は増加

2022年度の不登校児童生徒数は小学校で1,368人、中学校で2,590人となり、いずれも過去最多となっています。1,000人あたりの不登校児童生徒数は29.1人となり、2年前(2020年度)より11.1人増加しており、全国と同様の傾向となっています。また、2022年度の高等学校の不登校生徒数は1,193人で、こちらも過去最多となっています。1,000人あたりの不登校生徒数は27.4人となり、前年度から8.0人増加しており、全国より7.0人多くなっています。

■ 図表77 不登校児童生徒数(小学校・中学校)の推移



■ 図表78 不登校生徒数(高等学校)の推移



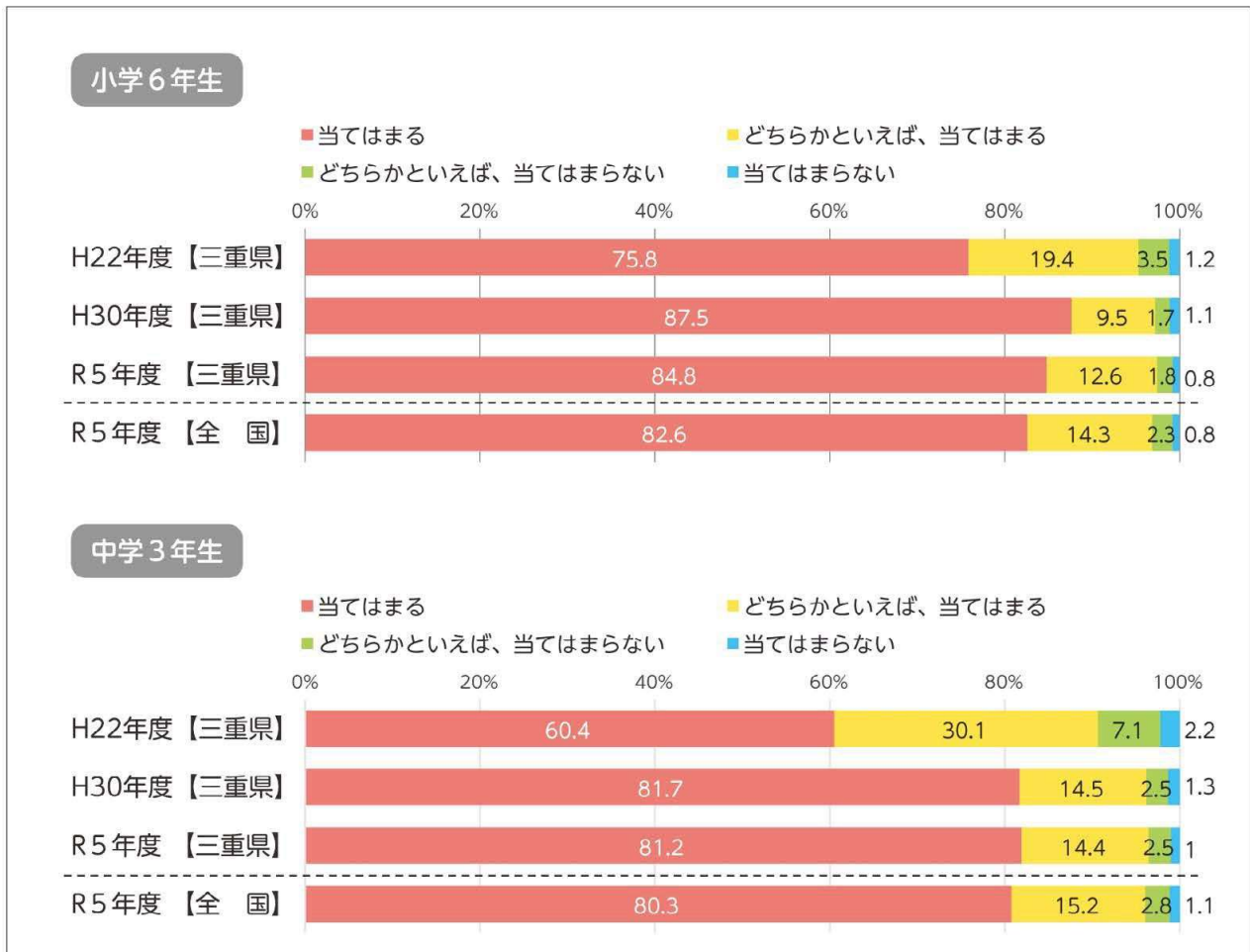
資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」(2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(旧調査名))

小学生、中学生のほとんどが、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている

いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うかについて、「思う」または「どちらかといえば、思う」と肯定的に答えた小学生は97.4%、中学生は95.6%となっています。特に、「思う」と答えた小学生は84.8%、中学生は81.2%となり、平成22年度に比べて、それぞれ9.0ポイント、20.8ポイント高くなっています。

※わかりやすくするため、調査上の選択肢とは異なる表現で説明文を記載しています。

■ 図表79 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

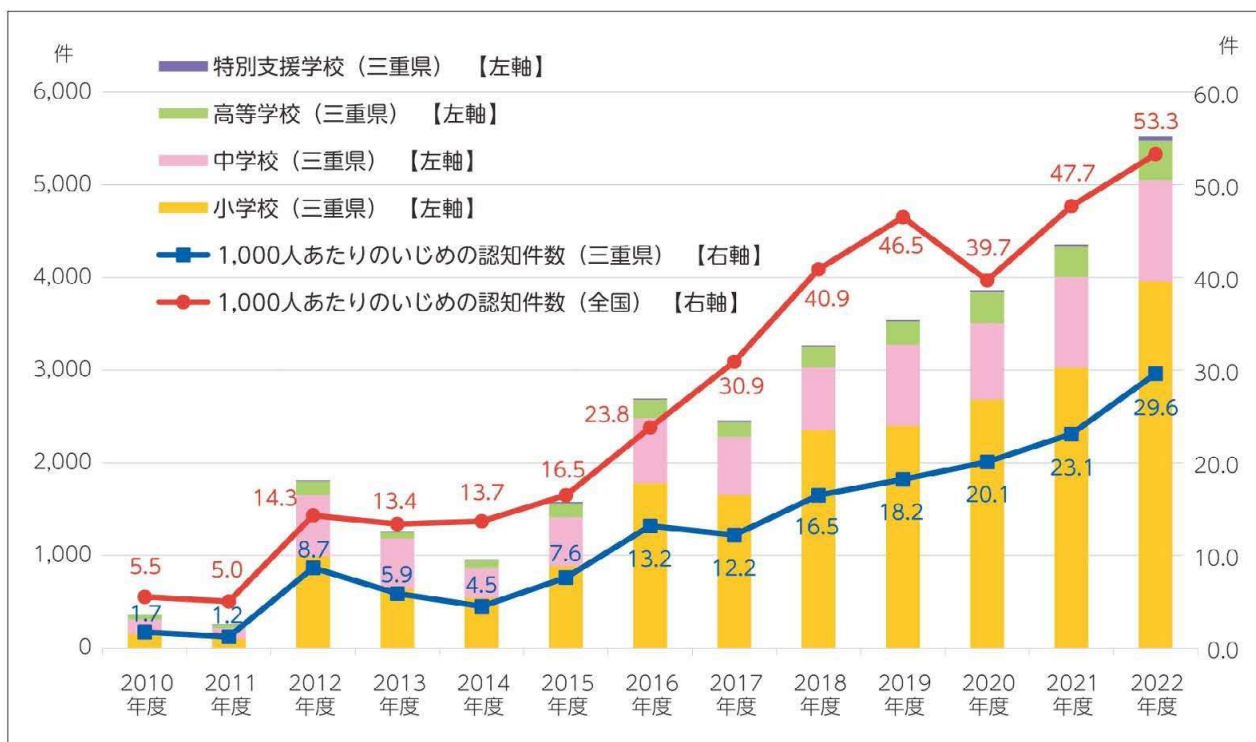


資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

いじめの認知件数は増加

2022年度のいじめの認知件数は小学校が3,958件、中学校が1,095件、高等学校が426件、特別支援学校が39件となり、いずれも前年より増加して過去最多となっています。また、1,000人当たりの認知件数は29.6件となり、5年連続で増加しています。全国と比較すると、23.7件少なくなっています。

■ 図表80 いじめの認知件数の推移

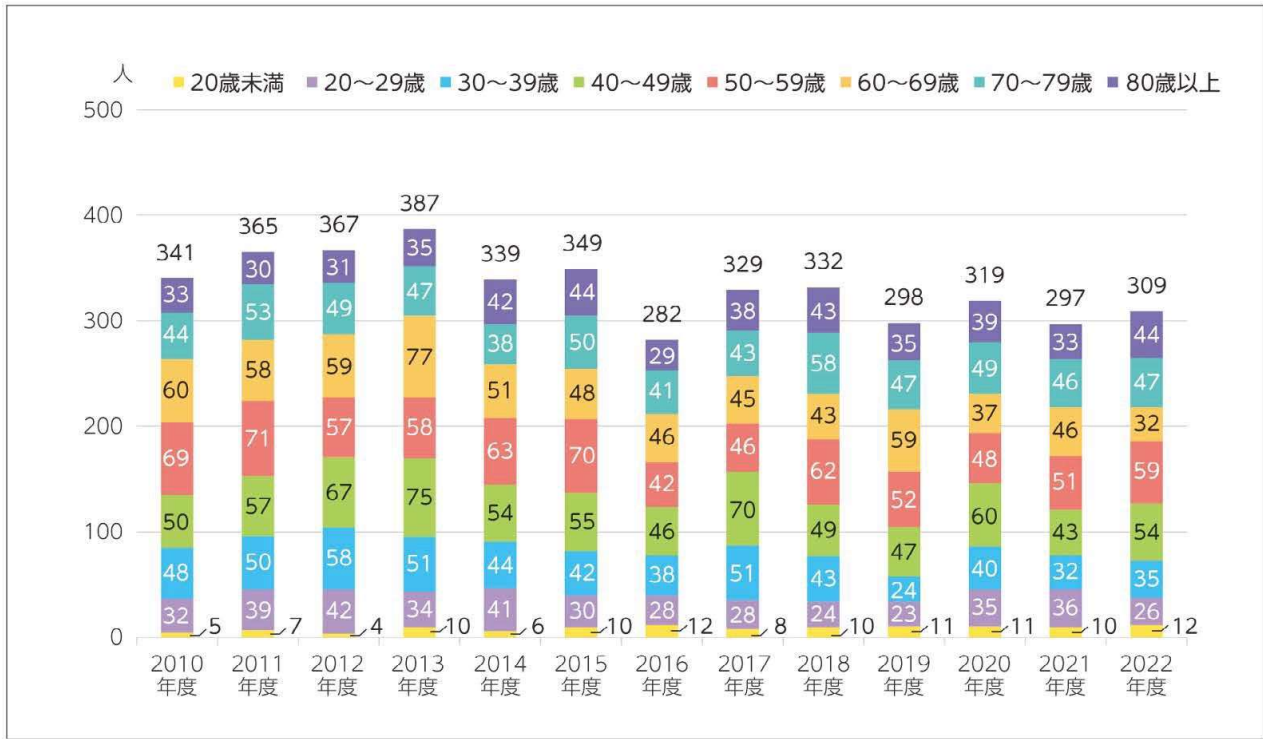


資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」（2015年度以前は、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」（旧調査名））

20歳未満の自殺者数は10人前後で推移

少子化の進行により、子どもの数が減少している中、20歳未満の自殺者数は2013年度以降、10人前後で推移しています。

■ 図表81 年齢別自殺者数(三重県)

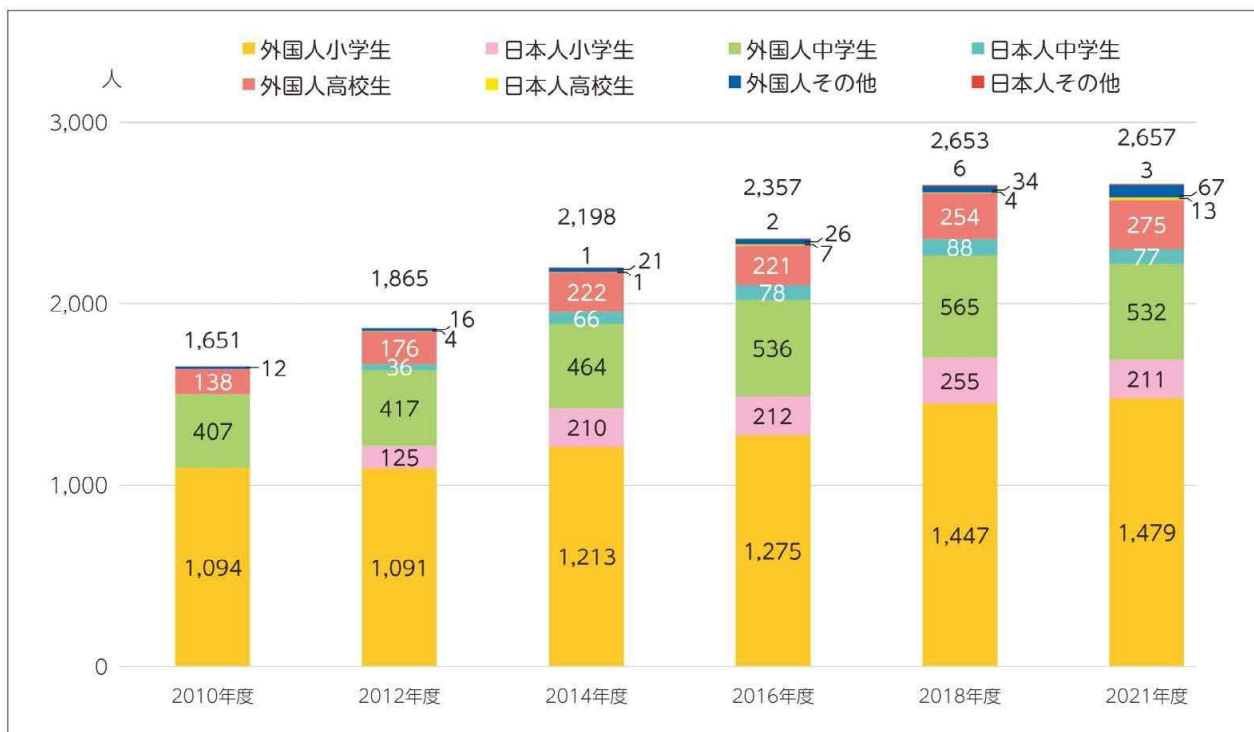


資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

日本語指導が必要な児童生徒数は増加傾向

2021年度の日本語指導が必要な児童生徒数は2,657人となり、増加傾向です。そのうち、外国人小学生が1,479人で過半数を占めています。

■ 図表82 日本語指導が必要な児童生徒数の推移(三重県)



資料：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」
 ※その他は、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校を合算している。
 ※2010年度は、外国人のみが調査対象となり、日本人は含まれていない。

子どもを支援する取組を行っているNPOの方にお聞きしました。

●日本語教育について

外国につながる子どもについて、今は日本生まれの日本育ちの子どもが増えていますが、考えるためのベースとなる言語を習得できていない子どもが増えていると感じています。言語を確立するためには、親子間の会話やふれあいが大切ですが、親が長時間働いていて親子の時間が取れない家庭も少なくありません。

日本で生まれて、日本で育った子どもは、保育園や学校の中で日本語に触れているため、通訳を必要としない子どもも少なくありません。一方で、聞いているのは、学校など限られた範囲で交わされる言葉のため、語彙が少ないことや、日本の文化や習慣等になじみが薄いため言葉の意味を理解できていないことが多いです。

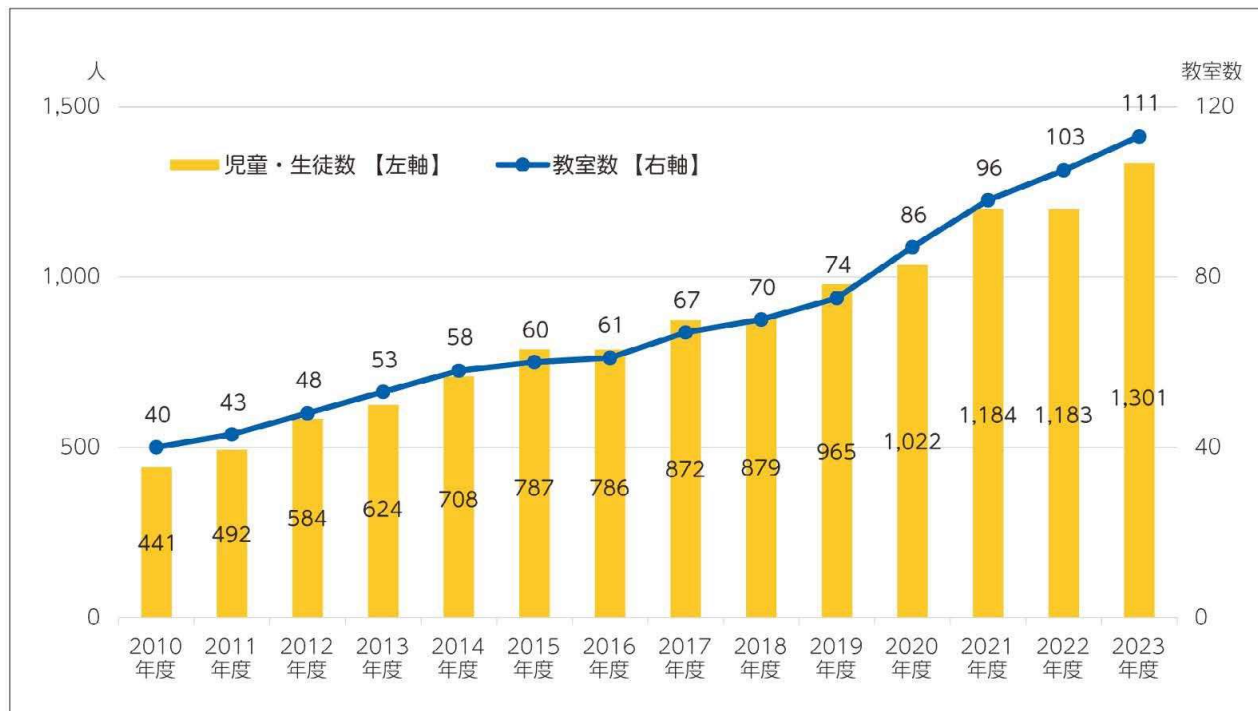
言葉の意味を理解して考える力がないと、学力も伸びません。各自治体では、就学後に日本語を学ぶことができる取組が進んでいますが、就学前に思考のための言語を習得するための支援体制も重要だと考えています。

(NPO 法人 愛伝舎)

通級による指導を受けている児童生徒数と設置教室数は増加

2023年度の公立小中学校における通級による指導を受けている児童生徒数は1,301人、設置教室数は111箇所となり、いずれも増加傾向です。

■ 図表83 公立小中学校における通級による指導を受けている児童生徒数と設置教室数の推移 (三重県)

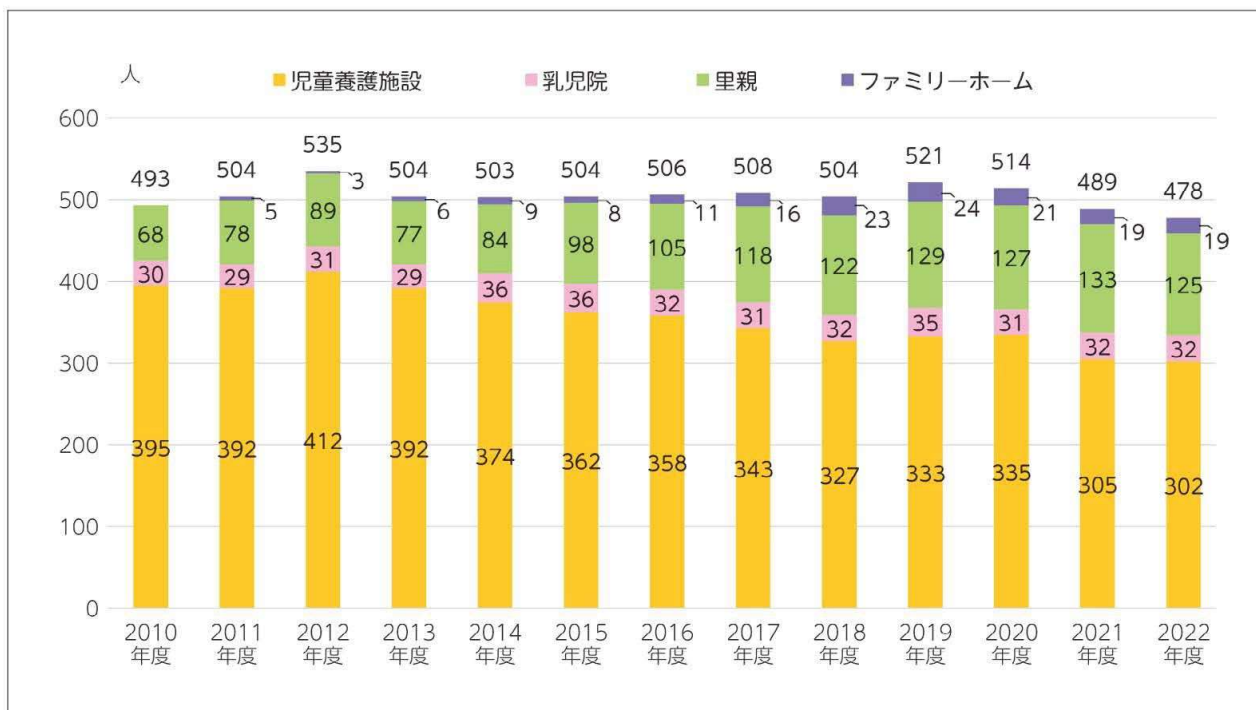


資料：三重県教育委員会

社会的養護を受けている要保護児童数は約 500 人

社会的養護を受けている要保護児童数は、2011 年度以降 500 人台で推移していましたが、2021 年度以降、500 人を下回っています。

■ 図表84 社会的養護を受けている要保護児童数の推移(三重県)

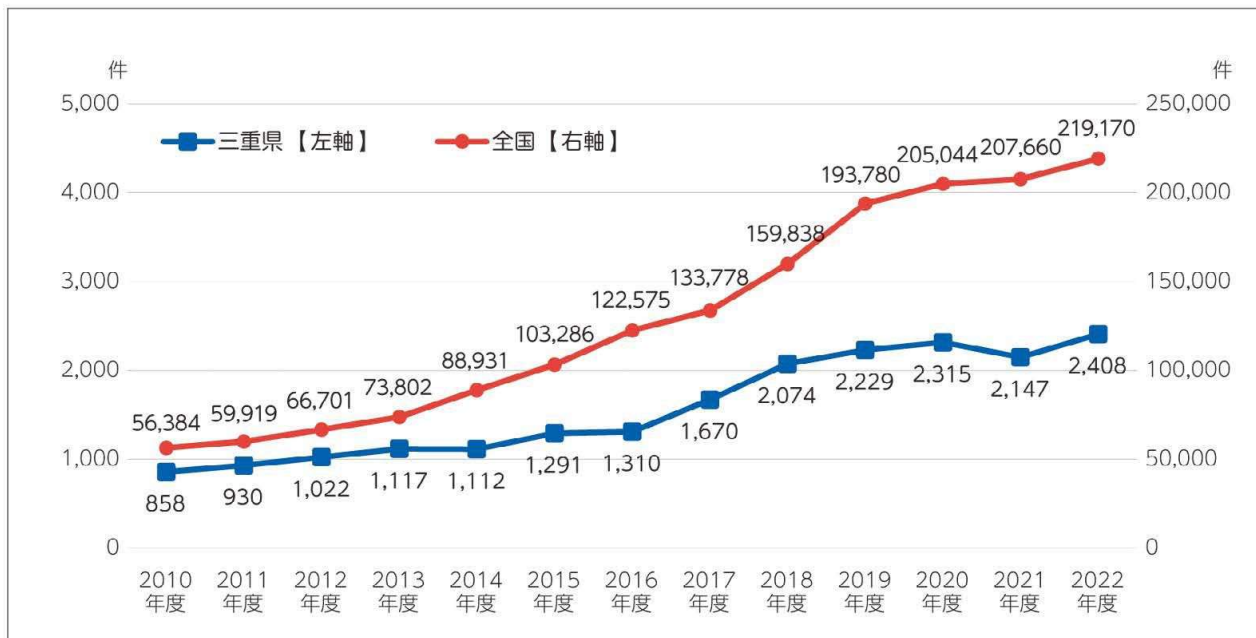


資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

児童虐待相談対応件数は増加

児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加傾向です。三重県では、2022年度に2,408件となり、過去最多となっています。

■ 図表85 児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移



資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

第3章

コロナ禍の影響

第3章「コロナ禍の影響」では、「三重県子ども条例に基づく調査」や既存の調査の結果から、コロナ禍を経て、子どもの体験機会や心身の状況がどのように変化したのかを把握します。

コロナの影響によりできなかったことは「旅行に行くこと」の割合が最も高い

新型コロナウイルス感染症の影響により、やりたかったけれどできなかったことは、小学生、中学生、高校生ともに、「旅行に行くこと」の割合が最も高く、小学生は44.6%、中学生は57.7%、高校生は57.2%となっています。

次いで、小学生は「友だちと会話をしながら給食を食べること」(43.9%)、「友だちと遊ぶこと」(40.7%)、中学生は「友だちと遊ぶこと」(46.2%)、「友だちと会話をしながら給食を食べること」(41.7%)、高校生は「友だちと遊ぶこと」(54.0%)、「祭りや地域の行事に参加すること」(45.4%)となっています。

「友だちと遊ぶこと」、「祭りや地域の行事に参加すること」、「運動会や文化祭など、学校行事に参加すること」、「クラブ活動(部活動)に参加すること」については、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて割合が高くなっており、いずれも高校生は小学生より10ポイント以上高くなっています。

■ 図表86 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響により、やりたかったけれどできなかったことがありますか(複数回答)

	小学5年生	中学2年生	高校2年生
	R5年度	R5年度	R5年度
友だちと遊ぶこと	③40.7	②46.2	②54.0
異なる年齢の子もと一緒に遊んだり、活動したりすること	6.6	10.0	6.4
山や森、川や海など、自然の中で遊ぶこと	12.5	14.1	7.1
家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりすること	13.2	10.2	7.4
旅行に行くこと	①44.6	①57.7	①57.2
祭りや地域の行事に参加すること	29.3	40.3	③45.4
地域のスポーツクラブやサークルで活動すること	6.1	5.5	4.1
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験すること	3.5	4.1	3.2
理科の実験、家庭科の実習、音楽の合奏や合唱などの授業を受けること	10.7	19.6	20.3
運動会や文化祭など、学校行事に参加すること	18.1	19.2	32.2
友だちと会話をしながら給食を食べること	②43.9	③41.7	38.7
クラブ活動(部活動)に参加すること	2.5	9.1	14.1
塾や習い事をする	7.4	3.3	1.6
その他	7.5	2.5	3.9
無回答	9.8	9.9	6.6

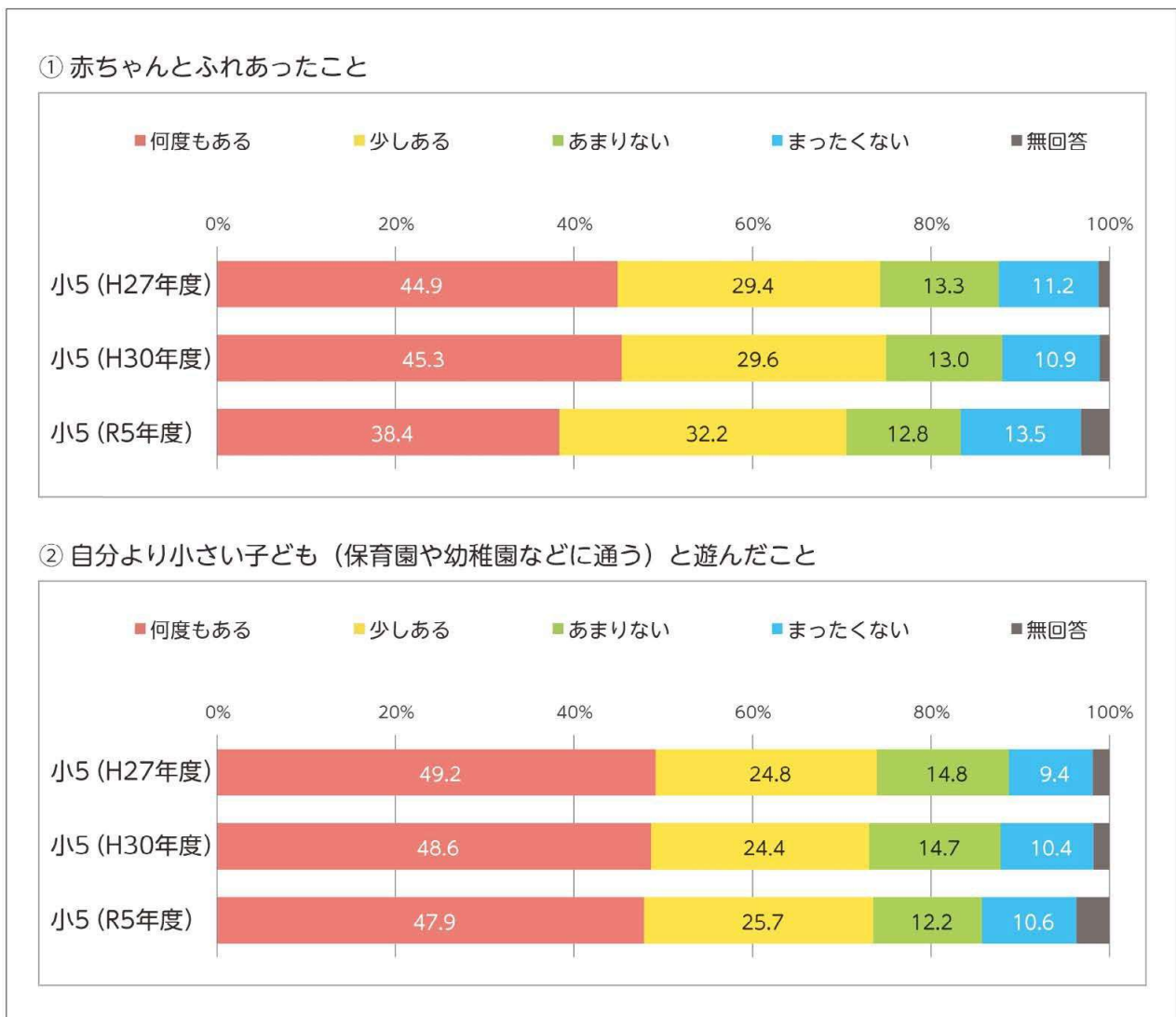
資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

小学生の体験機会は、「赤ちゃんともふれあったこと」、「家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」の割合が減少

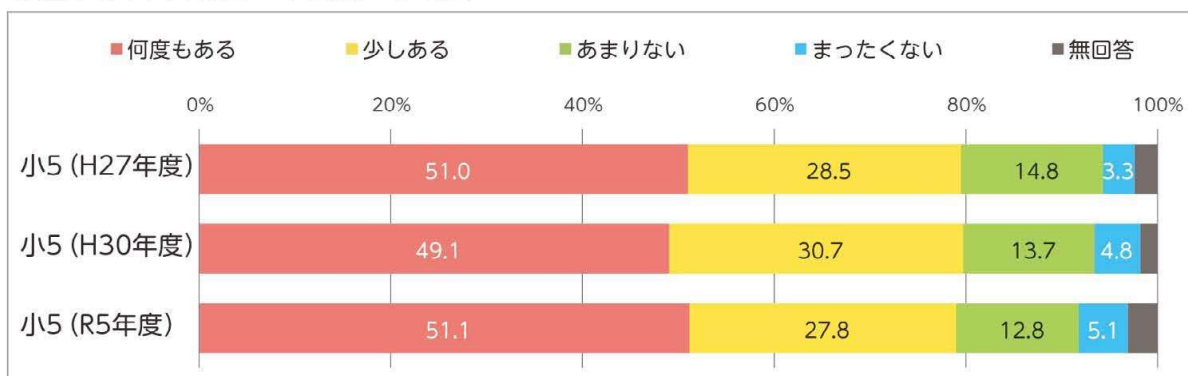
さまざまな体験機会について、「何度もある」または「少しある」と肯定的に答えた小学生の割合は、高い順に、「⑥家の人に勉強を覚えてもらったこと」が86.7%、「⑤家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりしたこと」が82.9%、「④家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」が81.4%、「③山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと」が78.9%、「②自分より小さい子ども（保育園や幼稚園などに通う）と遊んだこと」が73.6%、「①赤ちゃんともふれあったこと」が70.6%となっています。

コロナ禍前の平成30年度と比較すると、「①赤ちゃんともふれあったこと」、「④家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」がそれぞれ4.3ポイント、3.9ポイント低くなっている一方、「⑤家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりしたこと」が6.0ポイント高くなっています。また、「②自分より小さい子ども（保育園や幼稚園などに通う）と遊んだこと」、「③山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと」、「⑥家の人に勉強を覚えてもらったこと」についてはほぼ同じ状況です。

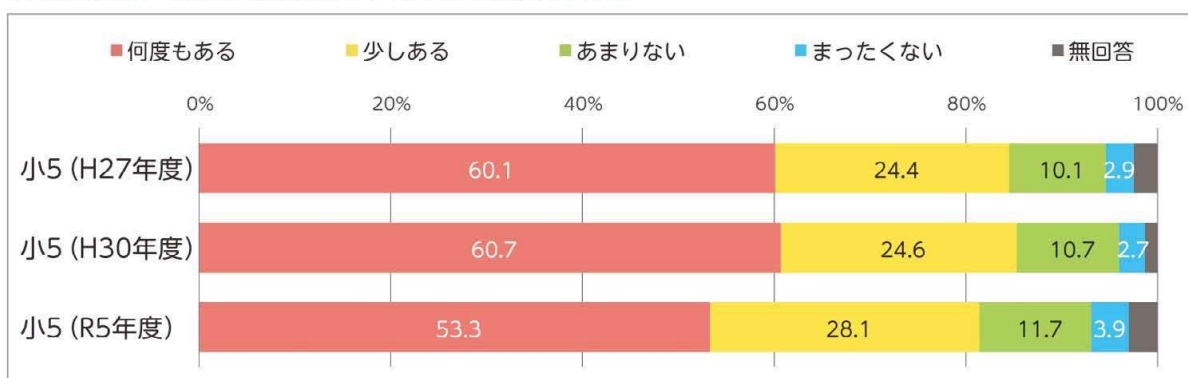
■ 図表87 あなたは、今までに、次のようなことをどのくらいしたことがありますか



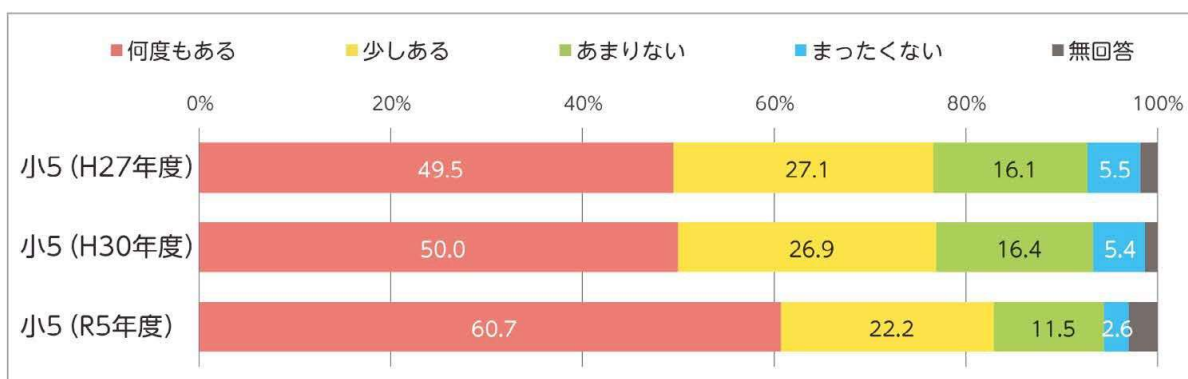
③ 山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと



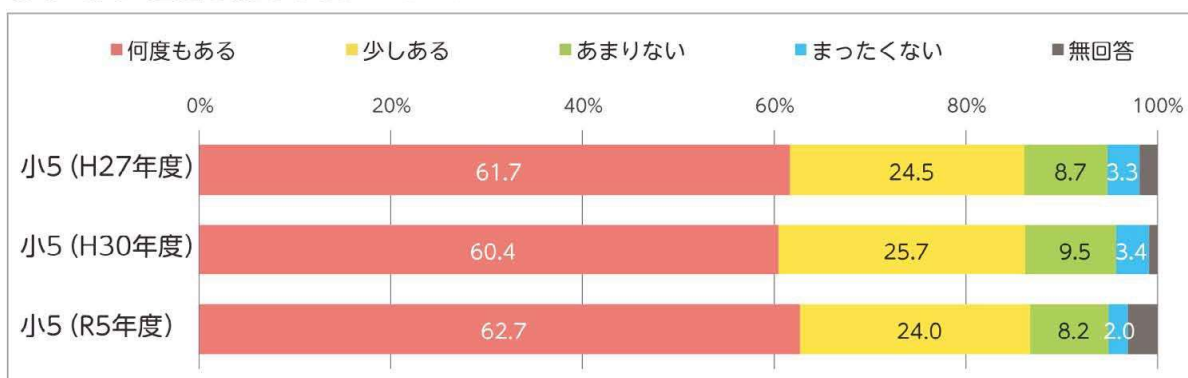
④ 家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと



⑤ 家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりしたこと



⑥ 家の人に勉強を教えてもらったこと



資料：「三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉」

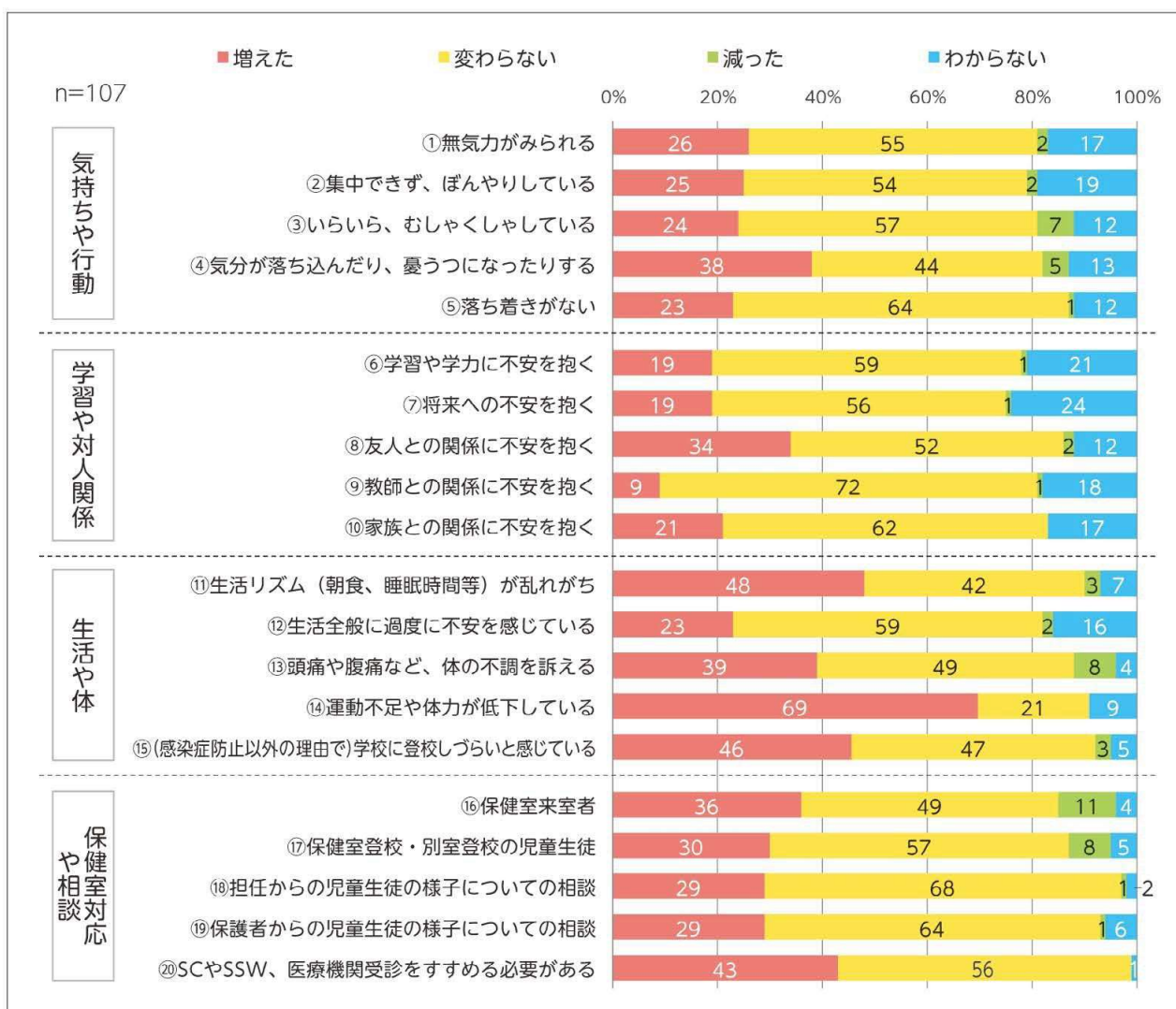
※「家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりしたこと」は平成 27 年度、平成 30 年度は「家の人と一緒にスポーツをしたこと」

新型コロナウイルス感染症の影響と思われる児童生徒の変化について、養護教諭は「運動不足や体力が低下している」、スクールカウンセラーは「(感染症防止以外の理由で) 学校に登校しづらいと感じている」の割合が最も高い

「気持ちや行動」、「学習や対人関係」、「生活や体」、「保健室対応や相談」の4つのカテゴリに関する20項目について、養護教諭がコロナ禍前と現在を比較して児童生徒の変化をどのように感じているか質問したところ、カテゴリ別に増えた割合が最も高い項目は、「気持ちや行動」では「気分が落ち込んだり、憂うつになったりする」(38%)、「学習や対人関係」では「友人との関係に不安を抱く」(34%)、「生活や体」では「運動不足や体力が低下している」(69%)、「保健室対応や相談」では「SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、医療機関受診をすすめる必要がある」(43%)となっています。

また、14項目に絞って、スクールカウンセラーに質問したところ、カテゴリ別に増えた割合が最も高い項目は、「気持ちや行動」では「気分が落ち込んだり、憂うつになったりする」(49%)、「学習や対人関係」では「友人との関係に不安を抱く」(48%)、「生活」では「(感染症防止以外の理由で) 学校に登校しづらいと感じている」(55%)、「相談」では「担任からの児童生徒の様子についての相談」、「保護者からの児童生徒の様子についての相談」(それぞれ35%)となっています。

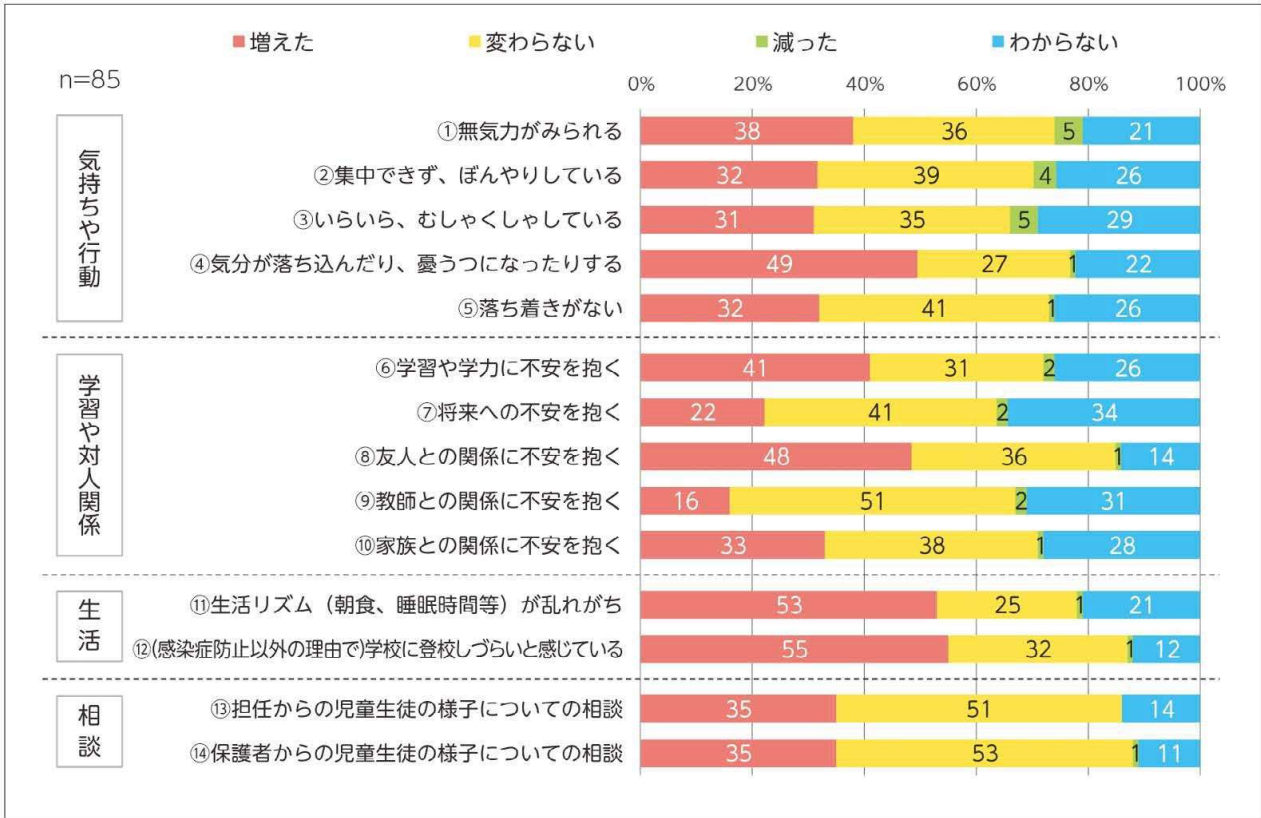
■図表88-1 令和5年度 コロナ禍前(令和元年以前)からの児童生徒の変化(養護教諭対象)



資料：三重県教育委員会

※調査対象は、令和元年度以前から現任校に勤務している養護教諭107人(小中学校配置79人、県立学校配置28人)

■ 図表88-2 令和5年度 コロナ禍前(令和元年以前)からの児童生徒の変化(スクールカウンセラー対象)



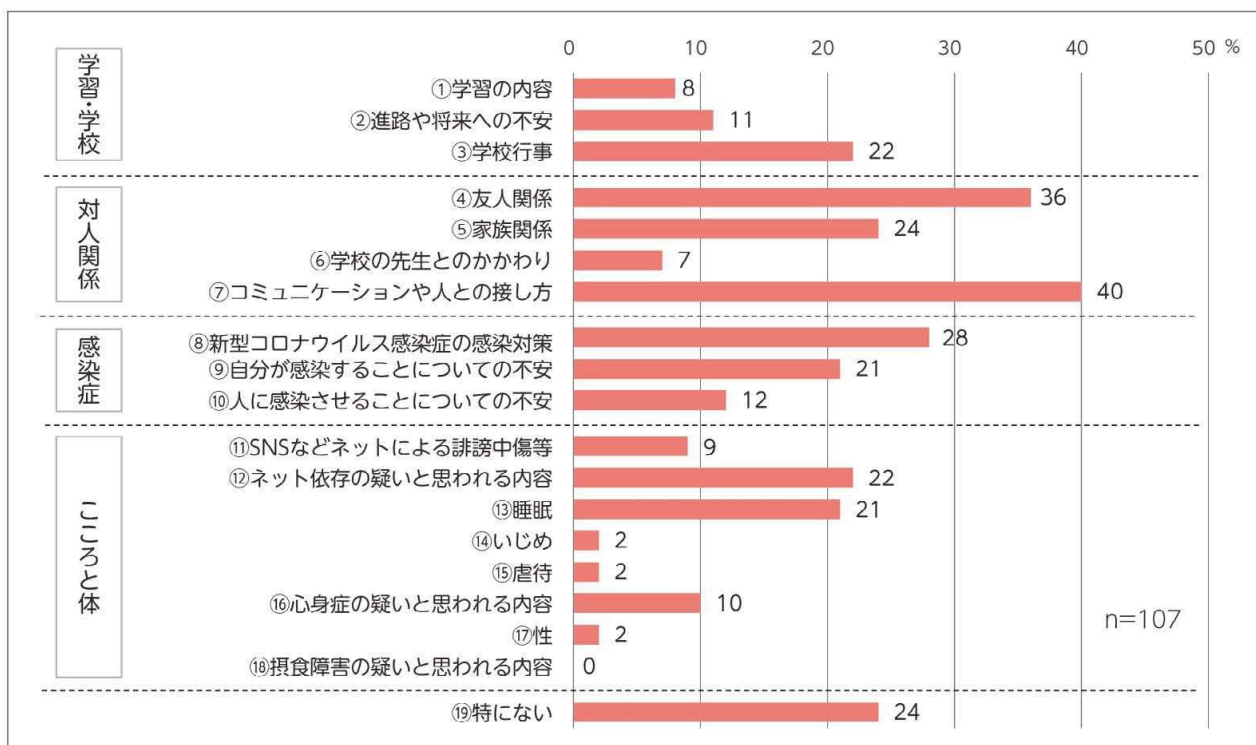
資料：三重県教育委員会

※調査対象は、令和元年度以前から同一校種の学校に配置されているスクールカウンセラー延べ85人(小中学校配置66人、県立学校配置19人)

新型コロナウイルス感染症の影響と思われる児童生徒からの相談は「コミュニケーションや人との接し方」の割合が最も高い

養護教諭が児童生徒から受けた相談の中で、「学習・学校」、「対人関係」、「感染症」、「こころと体」に関する4つのカテゴリに関する18項目について、養護教諭が新型コロナウイルス感染症の影響によって感じているもののうち、多いものを複数選択したところ、「コミュニケーションや人との接し方」の割合が40%で最も高く、次いで「友人関係」(36%)、「新型コロナウイルス感染症の感染対策」(28%)となっています。

■ 図表89 令和5年度 養護教諭が児童生徒から受けた新型コロナウイルス感染症の影響によると思われる相談(複数回答)



資料：三重県教育委員会

※調査対象は、令和元年度以前から現任校に勤務している養護教諭 107 人 (小中学校配置 79 人、県立学校配置 28 人)

三重県子ども条例に 基づく調査の単純集計 結果

三重県子ども条例に基づく調査〈子ども調査〉の結果概要(単純集計)

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
小学5年生	1,286
中学2年生	1,943
高校2年生	1,128
総回答者数	4,357

問1 あなたは、家の人(兄弟姉妹は含みません)と学校などでの出来事について話をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 話している	754	58.6	984	50.6	610	54.1
2 どちらかといえば、話している	379	29.5	598	30.8	272	24.1
3 どちらかといえば、話していない	100	7.8	188	9.7	136	12.1
4 話していない	39	3.0	74	3.8	54	4.8
無回答	14	1.1	99	5.1	56	5.0
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

問2 あなたは、週にどのくらい食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

①朝食

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 毎日食べる(週7日)	1,126	87.6	1,474	75.9	796	70.6
2 週5~6日	89	6.9	243	12.5	165	14.6
3 週3~4日	21	1.6	85	4.4	52	4.6
4 週1~2日、又はほとんど食べない	31	2.4	121	6.2	109	9.7
無回答	19	1.5	20	1.0	6	0.5
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

②夕食

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 毎日食べる(週7日)	1,247	97.0	1,849	95.2	1,069	94.8
2 週5~6日	11	0.9	53	2.7	36	3.2
3 週3~4日	4	0.3	5	0.3	10	0.9
4 週1~2日、又はほとんど食べない	1	0.1	6	0.3	3	0.3
無回答	23	1.8	30	1.5	10	0.9
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 毎日食べる(週7日)	1,182	91.9	1,606	82.7	877	77.7
2 週5~6日	46	3.6	201	10.3	140	12.4
3 週3~4日	23	1.8	72	3.7	68	6.0
4 週1~2日、又はほとんど食べない	7	0.5	28	1.4	34	3.0
無回答	28	2.2	36	1.9	9	0.8
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

- 問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。(あてはまるもの1つに○)

①学校がある日(月～金曜日)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 まったくしない	36	2.8	227	11.7	241	21.4
2 30分より少ない	203	15.8	383	19.7	248	22.0
3 30分以上、1時間より少ない	550	42.8	531	27.3	240	21.3
4 1時間以上、2時間より少ない	323	25.1	494	25.4	235	20.8
5 2時間以上、3時間より少ない	84	6.5	228	11.7	107	9.5
6 3時間以上	71	5.5	59	3.0	54	4.8
無回答	19	1.5	21	1.1	3	0.3
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

②学校がない日(土・日曜日・祝日)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 まったくしない	237	18.4	394	20.3	276	24.5
2 30分より少ない	360	28.0	451	23.2	195	17.3
3 30分以上、1時間より少ない	350	27.2	437	22.5	181	16.0
4 1時間以上、2時間より少ない	161	12.5	366	18.8	172	15.2
5 2時間以上、3時間より少ない	55	4.3	176	9.1	121	10.7
6 3時間以上	85	6.6	82	4.2	170	15.1
無回答	38	3.0	37	1.9	13	1.2
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

- 問4 あなたは、学校の授業が分からないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 いつも分かる	269	20.9	163	8.4	43	3.8
2 だいたい分かる	542	42.1	657	33.8	304	27.0
3 教科によっては分からないことがある	421	32.7	859	44.2	650	57.6
4 分からないことが多い	30	2.3	146	7.5	90	8.0
5 ほとんど分からない	13	1.0	42	2.2	21	1.9
無回答	11	0.9	76	3.9	20	1.8
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

- 問5 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
 (あてはまるもの1つに○)【中学生、高校生のみ対象】

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 参加している	1,737	89.4	810	71.8
2 参加していない	187	9.6	314	27.8
無回答	19	1.0	4	0.4
総回答者数	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問6 前の質問(問5)で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)【中学生、高校生のみ対象】

	項目	中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	入りたいクラブ・部活動がないから	89	47.6	181	57.6
2	塾や習い事が忙しいから	40	21.4	61	19.4
3	費用がかかるから	13	7.0	22	7.0
4	家の事情(家族の世話、家事など)があるから	18	9.6	21	6.7
5	一緒に入る友だちがいないから	23	12.3	28	8.9
6	その他	45	24.1	58	18.5
	無回答	13	7.0	18	5.7
	総回答者数	187	100.0	314	100.0

■ 問7 あなたは、学校に行きたくないと感じることがありますか。ある場合、それはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	友人やクラスメイトから嫌なことをされたとき	134	10.4	154	7.9	70	6.2
2	1以外の理由で友人関係に不安があるとき	98	7.6	317	16.3	191	16.9
3	学校の先生との関係に不安を感じているとき	45	3.5	94	4.8	45	4.0
4	授業が分からないとき	123	9.6	232	11.9	144	12.8
5	進路や将来に不安を感じているとき	45	3.5	197	10.1	133	11.8
6	クラブ活動(部活動)で悩んでいるとき	12	0.9	225	11.6	121	10.7
7	学校のきまりに馴染めないとき	35	2.7	77	4.0	48	4.3
8	新しい学校や学級に馴染めないとき	46	3.6	142	7.3	99	8.8
9	勉強やクラブ活動(部活動)に必要なものを買ってもらえないとき	4	0.3	12	0.6	5	0.4
10	家庭の環境が急に変わって不安があるとき	18	1.4	33	1.7	15	1.3
11	親(保護者)との関係に不安があるとき	22	1.7	60	3.1	26	2.3
12	家族内の関係がうまくいっていないとき	23	1.8	63	3.2	32	2.8
13	学校生活以外に興味や関心があるとき	54	4.2	206	10.6	127	11.3
14	何となくやる気を感じなかったり、気持ちに不安があったりするとき	330	25.7	764	39.3	508	45.0
15	その他	110	8.6	136	7.0	53	4.7
16	学校に行きたくないと感じることはない	588	45.7	666	34.3	332	29.4
	無回答	104	8.1	168	8.6	81	7.2
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問8 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響により、やりたかったけれどできなかったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	友だちと遊ぶこと	523	40.7	898	46.2	609	54.0
2	異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりすること	85	6.6	194	10.0	72	6.4
3	山や森、川や海など、自然の中で遊ぶこと	161	12.5	273	14.1	80	7.1
4	家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりすること	170	13.2	198	10.2	83	7.4
5	旅行に行くこと	573	44.6	1,121	57.7	645	57.2
6	祭りや地域の行事に参加すること	377	29.3	784	40.3	512	45.4
7	地域のスポーツクラブやサークルで活動すること	78	6.1	107	5.5	46	4.1
8	農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験すること	45	3.5	80	4.1	36	3.2
9	理科の実験、家庭科の実習、音楽の合奏や合唱などの授業を受けること	138	10.7	380	19.6	229	20.3
10	運動会や文化祭など、学校行事に参加すること	233	18.1	374	19.2	363	32.2
11	友だちと会話をしながら給食を食べること	565	43.9	811	41.7	437	38.7
12	クラブ活動(部活動)に参加すること	32	2.5	177	9.1	159	14.1
13	塾や習い事をする	95	7.4	64	3.3	18	1.6
14	その他	97	7.5	49	2.5	44	3.9
	無回答	126	9.8	193	9.9	74	6.6
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問9 あなたが楽しいと感じるのはどんなときですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	一人で好きなことをしているとき	730	56.8	1,468	75.6	867	76.9
2	家族と話をしたり、食事をしたりして一緒に過ごしているとき	740	57.5	942	48.5	548	48.6
3	友だちと仲良くしているとき	1,061	82.5	1,619	83.3	973	86.3
4	塾や習い事をしているとき	378	29.4	263	13.5	78	6.9
5	サークル活動や地域の行事などに参加しているとき	188	14.6	275	14.2	108	9.6
6	よい成績がとれたとき	629	48.9	986	50.7	504	44.7
7	授業がよく分かったり、先生の話に興味を持っておもしろいとき	475	36.9	751	38.7	328	29.1
8	自分の意見や考えを発表して、先生や友だちにほめられたとき	404	31.4	488	25.1	218	19.3
9	クラスや学校の行事・活動などで自分の意見が生かされたとき	300	23.3	419	21.6	215	19.1
10	クラブ活動(部活動)をしているとき	344	26.7	882	45.4	432	38.3
11	スマートフォンや携帯ゲーム機などでゲームをしているとき	828	64.4	1,412	72.7	683	60.5
12	テレビやSNS、動画などを視聴しているとき	688	53.5	1,474	75.9	842	74.6
13	読書をしているとき	431	33.5	586	30.2	293	26.0
14	外で遊んでいるとき	755	58.7	1,016	52.3	517	45.8
15	その他	68	5.3	80	4.1	22	2.0
16	楽しいと感じるときはない	2	0.2	2	0.1	2	0.2
	無回答	39	3.0	44	2.3	9	0.8
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問10 あなたが辛い気持ちになるのはどんなときですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	自分と家族との関係がうまくいっていないとき	283	22.0	526	27.1	340	30.1
2	親(保護者)同士の関係がうまくいっていないとき	145	11.3	289	14.9	191	16.9
3	【1・2以外】で、家族内の関係がうまくいっていないとき	67	5.2	118	6.1	66	5.9
4	友だちと仲良くできないとき	522	40.6	870	44.8	533	47.3
5	授業がよく分からないとき	287	22.3	606	31.2	374	33.2
6	テストの点や成績が悪いとき	487	37.9	1,119	57.6	644	57.1
7	受験や進路のことでうまくいかないとき	81	6.3	416	21.4	442	39.2
8	自分の意見を聞いてもらえないとき	273	21.2	451	23.2	263	23.3
9	クラブ活動(部活動)の練習などが厳しいとき	79	6.1	413	21.3	225	19.9
10	勉強やクラブ活動(部活動)に必要なものを買ってもらえないとき	31	2.4	76	3.9	34	3.0
11	自分の容姿(外見)のことで悩むとき	186	14.5	523	26.9	351	31.1
12	いじめられたとき	280	21.8	294	15.1	122	10.8
13	その他	65	5.1	75	3.9	25	2.2
14	辛い気持ちになったことはない	224	17.4	198	10.2	104	9.2
	無回答	71	5.5	88	4.5	18	1.6
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問11 あなたは、困ったことや悩みがあるとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	親(保護者)	927	72.1	1,133	58.3	691	61.3
2	兄弟姉妹	253	19.7	396	20.4	253	22.4
3	おじいさん、おばあさん	163	12.7	187	9.6	61	5.4
4	親せき	61	4.7	92	4.7	25	2.2
5	友だち	658	51.2	1,214	62.5	813	72.1
6	学校の先生	411	32.0	506	26.0	187	16.6
7	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	39	3.0	68	3.5	28	2.5
8	児童福祉施設の先生・スタッフ	9	0.7	14	0.7	3	0.3
9	フリースクールのスタッフ	2	0.2	4	0.2	0	0.0
10	塾や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ	39	3.0	83	4.3	48	4.3
11	近所の知り合いの人	23	1.8	17	0.9	5	0.4
12	専門の相談機関(病院や児童相談所など)	17	1.3	19	1.0	10	0.9
13	電話やメールでの相談	31	2.4	60	3.1	15	1.3
14	インターネット(掲示板など)での相談	17	1.3	75	3.9	34	3.0
15	その他	18	1.4	18	0.9	8	0.7
16	誰にも相談しない	114	8.9	255	13.1	126	11.2
	無回答	77	6.0	97	5.0	32	2.8
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問12 あなたがほっとする場所はどんなところですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	自分の家で、一人で過ごせる場所	718	55.8	1,614	83.1	1,000	88.7
2	自分の家で、家族と過ごす場所	891	69.3	1,013	52.1	562	49.8
3	学校	325	25.3	418	21.5	149	13.2
4	友だちの家	345	26.8	520	26.8	163	14.5
5	おじいさんやおばあさんの家	481	37.4	534	27.5	169	15.0
6	図書館	243	18.9	281	14.5	102	9.0
7	公園	185	14.4	204	10.5	64	5.7
8	学習塾	72	5.6	94	4.8	35	3.1
9	児童館、公民館	49	3.8	21	1.1	3	0.3
10	子ども食堂、勉強を無料でみてくれる場所	19	1.5	8	0.4	3	0.3
11	習い事の教室、スポーツクラブ	179	13.9	150	7.7	20	1.8
12	フリースクール	5	0.4	6	0.3	1	0.1
13	コンビニエンスストア	65	5.1	142	7.3	30	2.7
14	ゲームセンター、カラオケボックス	175	13.6	269	13.8	91	8.1
15	ファストフードの店、ファミリーレストラン	89	6.9	163	8.4	49	4.3
16	その他	54	4.2	70	3.6	22	2.0
17	特になし	31	2.4	41	2.1	20	1.8
	無回答	18	1.4	23	1.2	5	0.4
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問13 あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(①～③それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

① (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	利用したことがある	93	7.2	112	5.8	60	5.3
2	利用したことはない・あれば利用したいと思う	428	33.3	707	36.4	433	38.4
3	利用したことはない・今後も利用したいと思わない	272	21.2	350	18.0	247	21.9
4	利用したことはない・今後利用したいかどうか分からない	444	34.5	738	38.0	379	33.6
	無回答	49	3.8	36	1.9	9	0.8
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

② 勉強を無料でみてくれる場所

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	利用したことがある	66	5.1	100	5.1	51	4.5
2	利用したことはない・あれば利用したいと思う	392	30.5	759	39.1	499	44.2
3	利用したことはない・今後も利用したいと思わない	349	27.1	412	21.2	239	21.2
4	利用したことはない・今後利用したいかどうか分からない	431	33.5	636	32.7	329	29.2
	無回答	48	3.7	36	1.9	10	0.9
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

© (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)
1	利用したことがある	41	3.2	56	2.9	26	2.3
2	利用したことはない・あれば利用したいと思う	255	19.8	425	21.9	257	22.8
3	利用したことはない・今後も利用したいと思わない	400	31.1	604	31.1	363	32.2
4	利用したことはない・今後利用したいかどうか分からない	536	41.7	823	42.4	474	42.0
	無回答	54	4.2	35	1.8	8	0.7
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

前の質問 (問 13) で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

■ 問14-① そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)
1	友だちが増えた	39	24.4	50	22.4	25	22.3
2	気軽に話せる大人が増えた	30	18.8	38	17.0	13	11.6
3	生活の中で楽しみなことが増えた	41	25.6	29	13.0	13	11.6
4	ほっとできる時間が増えた	45	28.1	38	17.0	15	13.4
5	栄養のある食事をとれることが増えた	15	9.4	12	5.4	3	2.7
6	勉強が分かるようになった	30	18.8	37	16.6	15	13.4
7	勉強する時間が増えた	19	11.9	46	20.6	20	17.9
8	その他	13	8.1	5	2.2	4	3.6
9	特に変化はない	48	30.0	81	36.3	38	33.9
	無回答	7	4.4	15	6.7	6	5.4
	総回答者数	160	100.0	223	100.0	112	100.0

■ 問14-② そこを利用して、改善してほしいと思うところがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)	回答数 (人)	比率 (%)
1	実施日を増やしてほしい	40	25.0	40	17.9	21	18.8
2	実施する時間帯を長くしてほしい	14	8.8	34	15.2	15	13.4
3	実施場所を増やしてほしい	17	10.6	18	8.1	14	12.5
4	自宅から近い場所で実施してほしい	33	20.6	39	17.5	32	28.6
5	自分に関わってくれるスタッフの人数を増やしてほしい	10	6.3	9	4.0	5	4.5
6	(もっと) 勉強を教えてほしい	11	6.9	36	16.1	8	7.1
7	(もっと) 体験の機会を増やしてほしい	23	14.4	11	4.9	1	0.9
8	その他	25	15.6	30	13.5	13	11.6
	無回答	36	22.5	66	29.6	19	17.0
	総回答者数	160	100.0	223	100.0	112	100.0

■ 問15 あなたは、小学生の頃までに、次のようなことをどのくらいしたことがありますか。
 (A~Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

Ⓐ赤ちゃんとふれあったこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	494	38.4	598	30.8	388	34.4
2	少しある	414	32.2	709	36.5	404	35.8
3	あまりない	164	12.8	291	15.0	197	17.5
4	まったくない	173	13.5	295	15.2	125	11.1
	無回答	41	3.2	50	2.6	14	1.2
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

Ⓑ自分より小さい子ども(保育所や幼稚園などに通う)と遊んだこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	616	47.9	802	41.3	545	48.3
2	少しある	330	25.7	569	29.3	356	31.6
3	あまりない	157	12.2	336	17.3	141	12.5
4	まったくない	136	10.6	188	9.7	74	6.6
	無回答	47	3.7	48	2.5	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

Ⓒ山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	657	51.1	944	48.6	678	60.1
2	少しある	358	27.8	568	29.2	302	26.8
3	あまりない	165	12.8	277	14.3	107	9.5
4	まったくない	66	5.1	108	5.6	29	2.6
	無回答	40	3.1	46	2.4	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

Ⓓ家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	685	53.3	1,035	53.3	767	68.0
2	少しある	362	28.1	540	27.8	258	22.9
3	あまりない	151	11.7	251	12.9	74	6.6
4	まったくない	50	3.9	73	3.8	18	1.6
	無回答	38	3.0	44	2.3	11	1.0
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

㊦家の人と一緒に遊んだり、スポーツをしたりしたこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	780	60.7	1,025	52.8	736	65.2
2	少しある	286	22.2	508	26.1	243	21.5
3	あまりない	148	11.5	274	14.1	121	10.7
4	まったくない	34	2.6	94	4.8	20	1.8
	無回答	38	3.0	42	2.2	8	0.7
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

㊦家の人に勉強を教えてもらったこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	806	62.7	809	41.6	488	43.3
2	少しある	309	24.0	568	29.2	315	27.9
3	あまりない	105	8.2	374	19.2	227	20.1
4	まったくない	26	2.0	146	7.5	87	7.7
	無回答	40	3.1	46	2.4	11	1.0
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

㊦家で料理(ご飯を炊く、包丁を使うなど)をしたこと

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	何度もある	677	52.6	772	39.7	485	43.0
2	少しある	403	31.3	682	35.1	374	33.2
3	あまりない	131	10.2	325	16.7	198	17.6
4	まったくない	47	3.7	128	6.6	61	5.4
	無回答	28	2.2	36	1.9	10	0.9
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問16 あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活している中で、「大切にされている」と感じますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	感じる	696	54.1	904	46.5	612	54.3
2	どちらかといえば、感じる	441	34.3	786	40.5	427	37.9
3	どちらかといえば、感じない	78	6.1	156	8.0	53	4.7
4	感じない	36	2.8	61	3.1	25	2.2
	無回答	35	2.7	36	1.9	11	1.0
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問17 あなたは、親(保護者)などの大人は、「自分のことをわかってくれている」と思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	思う	749	58.2	875	45.0	549	48.7
2	どちらかといえば、思う	364	28.3	686	35.3	422	37.4
3	どちらかといえば、思わない	88	6.8	231	11.9	97	8.6
4	思わない	45	3.5	119	6.1	48	4.3
	無回答	40	3.1	32	1.6	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問18 あなたが自分のことを決めるとき、親(保護者)などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	いつも聞いてくれる	875	68.0	1,258	64.7	792	70.2
2	ときどき聞いてくれる	319	24.8	546	28.1	277	24.6
3	あまり聞いてくれない	40	3.1	79	4.1	36	3.2
4	まったく聞いてくれない	12	0.9	26	1.3	11	1.0
	無回答	40	3.1	34	1.7	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問19 あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	服そう	465	36.2	973	50.1	644	57.1
2	習い事	443	34.4	555	28.6	247	21.9
3	学習塾	167	13.0	377	19.4	211	18.7
4	家に帰る時間	227	17.7	619	31.9	463	41.0
5	テレビ、ゲーム	505	39.3	918	47.2	445	39.5
6	寝る時間	341	26.5	820	42.2	497	44.1
7	進学したい学校	235	18.3	879	45.2	665	59.0
8	クラブ活動(部活動)	175	13.6	701	36.1	427	37.9
9	アルバイト	164	12.8	495	25.5	374	33.2
10	就職先	174	13.5	567	29.2	436	38.7
11	付き合う友だち	287	22.3	846	43.5	597	52.9
12	携帯電話・スマートフォン	331	25.7	898	46.2	485	43.0
13	趣味の活動	292	22.7	907	46.7	563	49.9
14	学校の決まり	104	8.1	304	15.6	183	16.2
15	祭りなどの地域の行事	206	16.0	374	19.2	168	14.9
16	子どもにかかわる社会の決まり(ルールなど)	62	4.8	177	9.1	114	10.1
17	その他	28	2.2	24	1.2	5	0.4
18	自分で決めたいと思うことはない	179	13.9	138	7.1	60	5.3
	無回答	65	5.1	70	3.6	26	2.3
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問20 あなたは、自分のことが好きですか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	好き	451	35.1	457	23.5	314	27.8
2	どちらかといえば、好き	494	38.4	799	41.1	451	40.0
3	どちらかといえば、好きではない	181	14.1	393	20.2	218	19.3
4	好きではない	103	8.0	249	12.8	131	11.6
	無回答	57	4.4	45	2.3	14	1.2
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問21 あなたは、新しいことにチャレンジすることが好きですか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	好き	476	37.0	603	31.0	382	33.9
2	どちらかといえば、好き	514	40.0	798	41.1	469	41.6
3	どちらかといえば、好きではない	195	15.2	385	19.8	204	18.1
4	好きではない	58	4.5	117	6.0	61	5.4
	無回答	43	3.3	40	2.1	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。)(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	いる	323	25.1	309	15.9	108	9.6
2	いない	917	71.3	1,562	80.4	1,002	88.8
	無回答	46	3.6	72	3.7	18	1.6
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

前の質問(問22)で「1 いる」と答えた人にお聞きします。

■ 問23-① あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	お母さん	138	42.7	148	47.9	38	35.2
2	お父さん	91	28.2	99	32.0	22	20.4
3	おばあさん	81	25.1	59	19.1	14	13.0
4	おじいさん	52	16.1	41	13.3	7	6.5
5	兄弟姉妹	216	66.9	170	55.0	57	52.8
6	その他	16	5.0	8	2.6	8	7.4
	無回答	9	2.8	22	7.1	11	10.2
	総回答者数	323	100.0	309	100.0	108	100.0

■ 問23-② あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	153	47.4	174	56.3	53	49.1
2	兄弟姉妹のお世話や送り迎え	81	25.1	46	14.9	20	18.5
3	入浴やトイレのお世話	59	18.3	56	18.1	20	18.5
4	買い物や散歩と一緒にいく	93	28.8	95	30.7	25	23.1
5	病院へ一緒にいく	29	9.0	26	8.4	7	6.5
6	話を聞く	120	37.2	106	34.3	29	26.9
7	見守り	127	39.3	96	31.1	34	31.5
8	通訳(日本語や手話など)	4	1.2	10	3.2	2	1.9
9	お金の管理	26	8.0	17	5.5	6	5.6
10	薬の管理	19	5.9	12	3.9	4	3.7
11	その他	23	7.1	13	4.2	1	0.9
	無回答	21	6.5	29	9.4	15	13.9
	総回答者数	323	100.0	309	100.0	108	100.0

■ 問23-③ あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	ある	93	28.8	52	16.8	19	17.6
2	ない	213	65.9	226	73.1	78	72.2
	無回答	17	5.3	31	10.0	11	10.2
	総回答者数	323	100.0	309	100.0	108	100.0

■ 問24 ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思われますか。(あてはまるもの1つに○)【中学生、高校生のみ対象】

	項目	中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	11	0.6	8	0.7
2	あてはまらない	1,630	83.9	993	88.0
3	分からない	266	13.7	111	9.8
	無回答	36	1.9	16	1.4
	総回答者数	1,943	100.0	1,128	100.0

※回答者はヤングケアラーに関するイラスト(P●参照)を見た上で設問に回答

■ 問25 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(あてはまるもの1つに○)【中学生、高校生のみ対象】

項目	中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 聞いたことがあり、内容もよく知っている	439	22.6	419	37.1
2 聞いたことはあるが、よく知らない	435	22.4	195	17.3
3 聞いたことはない	1,045	53.8	508	45.0
無回答	24	1.2	6	0.5
総回答者数	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問26 あなたは、近所の人とあいさつをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 いつもしている	629	48.9	1,042	53.6	505	44.8
2 ときどきしている	494	38.4	726	37.4	470	41.7
3 あまりしていない	104	8.1	96	4.9	93	8.2
4 していない	31	2.4	58	3.0	55	4.9
無回答	28	2.2	21	1.1	5	0.4
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問27 あなたは、将来、自分が育った地域で住みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 住みたい	509	39.6	321	16.5	144	12.8
2 どちらかといえば、住みたい	507	39.4	812	41.8	458	40.6
3 どちらかといえば、住みたくない	169	13.1	566	29.1	368	32.6
4 住みたくない	74	5.8	212	10.9	149	13.2
無回答	27	2.1	32	1.6	9	0.8
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問28 あなたは、住んでいる地域で、どんなことに取り組んでみたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 地域の歴史や文化について勉強する	217	16.9	266	13.7	141	12.5
2 農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	225	17.5	267	13.7	145	12.9
3 地域の大人と意見交換などをする	54	4.2	95	4.9	76	6.7
4 地域の行事を計画する	165	12.8	259	13.3	168	14.9
5 地域のスポーツクラブやサークルで活動する	179	13.9	315	16.2	211	18.7
6 お年寄りや昔遊びなどで交流する	154	12.0	162	8.3	74	6.6
7 異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	286	22.2	412	21.2	261	23.1
8 町の美化活動をする	204	15.9	265	13.6	171	15.2
9 防災活動など地域の安全を守るための活動をする	174	13.5	174	9.0	112	9.9
10 いろいろな国の人と交流する	177	13.8	207	10.7	163	14.5
11 その他	15	1.2	15	0.8	9	0.8
12 特にしたいことはない	467	36.3	827	42.6	431	38.2
無回答	44	3.4	65	3.3	20	1.8
総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問29 あなたには、夢や将来の希望がありますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	ある	794	61.7	743	38.2	525	46.5
2	どちらかといえば、ある	296	23.0	612	31.5	345	30.6
3	どちらかといえば、ない	95	7.4	321	16.5	154	13.7
4	ない	77	6.0	243	12.5	99	8.8
	無回答	24	1.9	24	1.2	5	0.4
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問30 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	中学校まで	19	1.5	11	0.6	—	—
2	高校まで	258	20.1	430	22.1	121	10.7
3	短大、高専、専門学校まで	182	14.2	300	15.4	221	19.6
4	大学またはそれ以上	425	33.0	725	37.3	658	58.3
5	まだ分からない	366	28.5	443	22.8	121	10.7
	無回答	36	2.8	34	1.7	7	0.6
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

■ 問31 前の質問(問30)で1~4と答えた場合、その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	希望する学校や職業があるから	474	53.6	723	49.3	696	69.6
2	自分の成績から考えて	137	15.5	246	16.8	150	15.0
3	親がそう言っているから	98	11.1	280	19.1	118	11.8
4	兄・姉がそうしているから	40	4.5	120	8.2	59	5.9
5	まわりの先輩や友だちがそうしているから	24	2.7	68	4.6	73	7.3
6	家にお金がないと思うから	28	3.2	53	3.6	36	3.6
7	早く働く必要があるから	48	5.4	50	3.4	25	2.5
8	その他	87	9.8	89	6.1	49	4.9
9	特に理由はない	158	17.9	270	18.4	107	10.7
	無回答	19	2.1	52	3.5	19	1.9
	総回答者数	884	100.0	1,466	100.0	1,000	100.0

■ 問32 あなたは、自分の将来について、次のように思いますか。(A、Bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)【高校生のみ対象】

※結婚や妊娠、出産などについては、個人の考えや価値観が尊重されることが大前提です。

①いつかは結婚がしたい

	項目	高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)
1	とても思う	621	55.1
2	少し思う	283	25.1
3	あまり思わない	123	10.9
4	思わない	88	7.8
	無回答	13	1.2
	総回答者数	1,128	100.0

②いつかは子どもがほしい

	項目	高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)
1	とても思う	523	46.4
2	少し思う	290	25.7
3	あまり思わない	164	14.5
4	思わない	124	11.0
	無回答	27	2.4
	総回答者数	1,128	100.0

- 問33 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	0点	9	0.7	12	0.6	9	0.8
2	1点	9	0.7	19	1.0	6	0.5
3	2点	12	0.9	33	1.7	16	1.4
4	3点	30	2.3	76	3.9	49	4.3
5	4点	50	3.9	120	6.2	72	6.4
6	5点	82	6.4	228	11.7	143	12.7
7	6点	83	6.5	169	8.7	113	10.0
8	7点	143	11.1	343	17.7	240	21.3
9	8点	218	17.0	367	18.9	235	20.8
10	9点	179	13.9	204	10.5	93	8.2
11	10点	403	31.3	321	16.5	139	12.3
	無回答	68	5.3	51	2.6	13	1.2
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

- 問34 あなたは、「三重県子ども条例」のことを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	名前も内容も知っている	22	1.7	34	1.7	21	1.9
2	名前だけは知っている	207	16.1	437	22.5	325	28.8
3	まったく知らない	1,031	80.2	1,449	74.6	770	68.3
	無回答	26	2.0	23	1.2	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

- 問35 「子どもの権利条約」や「三重県子ども条例」には、子どもの権利が守られなければならないと書かれています。子どもの権利には大きく分けて4つの権利(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)があります。あなたはこの4つの権利について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	名前も内容も知っている	68	5.3	128	6.6	160	14.2
2	名前だけは知っている	295	22.9	630	32.4	419	37.1
3	まったく知らない	894	69.5	1,168	60.1	537	47.6
	無回答	29	2.3	17	0.9	12	1.1
	総回答者数	1,286	100.0	1,943	100.0	1,128	100.0

三重県子ども条例に基づく調査〈保護者調査〉の結果概要（単純集計）

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
小5保護者	1,234
中2保護者	1,697
高2保護者	897
総回答者数	3,828

問1 お子さまとあなたの続柄は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	父親	97	7.9	157	9.3	85	9.5
2	母親	1,132	91.7	1,523	89.7	802	89.4
3	祖父	0	0.0	1	0.1	1	0.1
4	祖母	4	0.3	12	0.7	2	0.2
5	その他	0	0.0	0	0.0	3	0.3
	無回答	1	0.1	4	0.2	4	0.4
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

問2 お子さまが通っている学校は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	小学校(小学部)	1,234	100.0	—	—	—	—
2	中学校(中学部)	—	—	1,697	100.0	—	—
3	高等学校(高等部)	—	—	—	—	897	100.0
	無回答	—	—	—	—	—	—
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

問3 お子さまと同居し、生計を同一にしているご家族の人数(あなたやお子さまを含む)を教えてください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さまがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	2人	22	1.8	32	1.9	36	4.0
2	3人	126	10.2	206	12.1	123	13.7
3	4人	549	44.5	710	41.8	363	40.5
4	5人	303	24.6	414	24.4	220	24.5
5	6人	99	8.0	134	7.9	63	7.0
6	7人	29	2.4	55	3.2	23	2.6
7	8人	9	0.7	21	1.2	5	0.6
8	9人	2	0.2	0	0.0	1	0.1
9	10人以上	2	0.2	2	0.1	1	0.1
	無回答	93	7.5	123	7.2	62	6.9
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問4 前問(問3)で回答した「ご家族」には、お子さまから見てどの関係の方が含まれますか。
(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	母親	1,119	90.7	1,545	91.0	808	90.1
2	父親	1,053	85.3	1,406	82.9	720	80.3
3	祖父母	120	9.7	248	14.6	135	15.1
4	兄弟姉妹	991	80.3	1,342	79.1	691	77.0
5	その他	11	0.9	28	1.6	12	1.3
	無回答	95	7.7	125	7.4	62	6.9
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問5 あなたは、お子さまと学校などでの出来事について話をしていますか。
(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	話している	738	59.8	772	45.5	418	46.6
2	どちらかといえば、話している	412	33.4	700	41.2	353	39.4
3	どちらかといえば、話していない	73	5.9	199	11.7	109	12.2
4	話していない	11	0.9	19	1.1	15	1.7
	無回答	0	0.0	7	0.4	2	0.2
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問6 お子さまは、「自分のことが好きだと思っている」と思いますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	「好き」だと思う	638	51.7	637	37.5	332	37.0
2	「どちらかといえば、好き」だと思う	524	42.5	863	50.9	492	54.8
3	「どちらかといえば、好きではない」と思う	65	5.3	162	9.5	62	6.9
4	「好きではない」と思う	6	0.5	25	1.5	7	0.8
	無回答	1	0.1	10	0.6	4	0.4
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問7 あなたは、お子さまが、家庭や地域、学校など、ふだん生活している中で、「大切にされている」と感じますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	感じる	695	56.3	823	48.5	439	48.9
2	どちらかといえば、感じる	514	41.7	805	47.4	430	47.9
3	どちらかといえば、感じない	19	1.5	52	3.1	25	2.8
4	感じない	4	0.3	8	0.5	0	0.0
	無回答	2	0.2	9	0.5	3	0.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問8 あなたは、お子さまがほっとする場所はどこなところだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	自分の家で、一人で過ごせる場所	712	57.7	1,294	76.3	753	83.9
2	自分の家で、家族と過ごす場所	1,113	90.2	1,350	79.6	666	74.2
3	学校	320	25.9	445	26.2	255	28.4
4	友だちの家	180	14.6	257	15.1	126	14.0
5	おじいさんやおばあさんの家	598	48.5	540	31.8	228	25.4
6	図書館	76	6.2	51	3.0	39	4.3
7	公園	74	6.0	36	2.1	14	1.6
8	学習塾	25	2.0	55	3.2	40	4.5
9	児童館、公民館	24	1.9	8	0.5	1	0.1
10	子ども食堂、勉強を無料でみてる場所	4	0.3	3	0.2	1	0.1
11	習い事の教室、スポーツクラブ	210	17.0	167	9.8	26	2.9
12	フリースクール	1	0.1	2	0.1	0	0.0
13	コンビニエンスストア	2	0.2	22	1.3	16	1.8
14	ゲームセンター、カラオケボックス	33	2.7	66	3.9	37	4.1
15	ファストフードの店、ファミリーレストラン	22	1.8	43	2.5	28	3.1
16	その他	30	2.4	41	2.4	17	1.9
17	特にないと思う	1	0.1	6	0.4	0	0.0
18	分からない	4	0.3	19	1.1	9	1.0
	無回答	12	1.0	13	0.8	7	0.8
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問9 あなたとお子さまとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(A~Eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

Ⓐ毎日、お子さまとあいさつをしている

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	1,123	91.0	1,435	84.6	717	79.9
2	どちらかといえば、あてはまる	81	6.6	194	11.4	130	14.5
3	どちらかといえば、あてはまらない	15	1.2	46	2.7	24	2.7
4	あてはまらない	3	0.2	8	0.5	16	1.8
	無回答	12	1.0	14	0.8	10	1.1
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

Ⓑテレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	470	38.1	346	20.4	41	4.6
2	どちらかといえば、あてはまる	442	35.8	590	34.8	178	19.8
3	どちらかといえば、あてはまらない	206	16.7	465	27.4	315	35.1
4	あてはまらない	103	8.3	281	16.6	352	39.2
	無回答	13	1.1	15	0.9	11	1.2
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

◎お子さまに本や新聞を読むように勧めている

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	340	27.6	242	14.3	99	11.0
2	どちらかといえば、あてはまる	444	36.0	603	35.5	248	27.6
3	どちらかといえば、あてはまらない	278	22.5	515	30.3	294	32.8
4	あてはまらない	157	12.7	322	19.0	240	26.8
	無回答	15	1.2	15	0.9	16	1.8
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

◎お子さまが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	568	46.0	733	43.2	392	43.7
2	どちらかといえば、あてはまる	372	30.1	574	33.8	286	31.9
3	どちらかといえば、あてはまらない	218	17.7	265	15.6	149	16.6
4	あてはまらない	63	5.1	112	6.6	58	6.5
	無回答	13	1.1	13	0.8	12	1.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

◎お子さまから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	あてはまる	499	40.4	671	39.5	362	40.4
2	どちらかといえば、あてはまる	474	38.4	573	33.8	331	36.9
3	どちらかといえば、あてはまらない	194	15.7	297	17.5	136	15.2
4	あてはまらない	54	4.4	141	8.3	56	6.2
	無回答	13	1.1	15	0.9	12	1.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問10 あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか。
(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	いつも聞いている	856	69.4	1,240	73.1	749	83.5
2	ときどき聞いている	342	27.7	417	24.6	129	14.4
3	あまり聞いていない	19	1.5	20	1.2	9	1.0
4	まったく聞いていない	3	0.2	5	0.3	2	0.2
	無回答	14	1.1	15	0.9	8	0.9
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問11 あなたは、どのようなことについて、お子さまの意見を尊重したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	服そう	898	72.8	1,180	69.5	630	70.2
2	習い事	982	79.6	1,050	61.9	397	44.3
3	学習塾	466	37.8	811	47.8	397	44.3
4	家に帰る時間	215	17.4	359	21.2	270	30.1
5	テレビ、ゲーム	366	29.7	480	28.3	241	26.9
6	寝る時間	241	19.5	428	25.2	276	30.8
7	進学したい学校	781	63.3	1,317	77.6	743	82.8
8	クラブ活動(部活動)	761	61.7	1,356	79.9	651	72.6
9	アルバイト	413	33.5	504	29.7	325	36.2
10	就職先	539	43.7	732	43.1	473	52.7
11	付き合う友だち	731	59.2	1,033	60.9	558	62.2
12	携帯電話・スマートフォン	202	16.4	450	26.5	265	29.5
13	趣味の活動	668	54.1	924	54.4	452	50.4
14	学校の決まり	280	22.7	403	23.7	210	23.4
15	祭りなどの地域の行事	453	36.7	632	37.2	256	28.5
16	子どもにかかわる社会の決まり(ルールなど)	361	29.3	486	28.6	220	24.5
17	その他	5	0.4	11	0.6	6	0.7
18	特になし	12	1.0	25	1.5	14	1.6
	無回答	12	1.0	18	1.1	12	1.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問12 あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	子どもの健康	287	23.3	411	24.2	232	25.9
2	子どもの成績や進学	528	42.8	1,096	64.6	535	59.6
3	子どもの友だち関係	472	38.2	587	34.6	215	24.0
4	子どもの生活態度	365	29.6	467	27.5	171	19.1
5	子どもの就職	114	9.2	246	14.5	212	23.6
6	子どもの育て方やしつけ	444	36.0	437	25.8	117	13.0
7	子どもと保護者との関係	105	8.5	157	9.3	72	8.0
8	子どもと先生との関係	99	8.0	164	9.7	58	6.5
9	生活費	162	13.1	206	12.1	117	13.0
10	教育費	299	24.2	477	28.1	310	34.6
11	その他	19	1.5	21	1.2	9	1.0
12	特に悩みはない	203	16.5	198	11.7	124	13.8
	無回答	9	0.7	13	0.8	7	0.8
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問13 あなたは、お子さまのことを理解していると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	思う	307	24.9	315	18.6	163	18.2
2	どちらかといえば、思う	864	70.0	1,241	73.1	663	73.9
3	どちらかといえば、思わない	52	4.2	118	7.0	56	6.2
4	思わない	5	0.4	14	0.8	9	1.0
	無回答	6	0.5	9	0.5	6	0.7
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

※回答者はヤングケアラーに関するイラスト(P●参照)を見た上で設問に回答

■ 問14 家族・親族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	いる	24	1.9	30	1.8	10	1.1
2	いない	1,151	93.3	1,554	91.6	831	92.6
3	分からない	56	4.5	108	6.4	52	5.8
	無回答	3	0.2	5	0.3	4	0.4
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問15 前問(問14)で、「2 いない」「3 分からない」と回答した方にお聞きします。友人、知人やその子ども、子どものクラスメイトなどに「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	いる	37	3.1	49	2.9	31	3.5
2	いない	571	47.3	703	42.3	408	46.2
3	分からない	573	47.5	878	52.8	431	48.8
	無回答	26	2.2	32	1.9	13	1.5
	総回答者数	1,207	100.0	1,662	100.0	883	100.0

■ 問16 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	524	42.5	691	40.7	406	45.3
2	学校に相談窓口があること	760	61.6	970	57.2	460	51.3
3	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	300	24.3	419	24.7	229	25.5
4	【2、3以外】の専門機関に相談窓口があること	139	11.3	185	10.9	94	10.5
5	対面での相談が可能であること	290	23.5	386	22.7	186	20.7
6	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	675	54.7	1,053	62.1	549	61.2
7	24時間いつでも相談が可能であること	565	45.8	847	49.9	481	53.6
8	相談する際の手順や判断基準が分かりやすいこと	551	44.7	713	42.0	385	42.9
9	相談がどのような支援につながるかが分かりやすいこと	532	43.1	760	44.8	403	44.9
10	「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること	266	21.6	374	22.0	192	21.4
11	その他	47	3.8	53	3.1	22	2.5
12	特にあてはまるものはない	33	2.7	53	3.1	21	2.3
	無回答	76	6.2	124	7.3	58	6.5
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問17 お子さまは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○、ただし、高校2年生の保護者の方は2～5について、あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	中学校まで	1	0.1	8	0.5	—	—
2	高校まで	195	15.8	424	25.0	112	12.5
3	短大・高専・専門学校まで	227	18.4	283	16.7	191	21.3
4	大学またはそれ以上	548	44.4	618	36.4	497	55.4
5	まだ分からない	242	19.6	343	20.2	85	9.5
	無回答	21	1.7	21	1.2	12	1.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問18 前問(問17)で1～4と答えた場合、その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	お子さまがそう希望しているから	392	40.4	682	51.2	702	87.8
2	一般的な進路だと思うから	356	36.7	330	24.8	87	10.9
3	お子さまの学力から考えて	289	29.8	456	34.2	126	15.8
4	家庭の経済的な状況から考えて	149	15.3	160	12.0	63	7.9
5	その他	58	6.0	73	5.5	12	1.5
6	特に理由はない	70	7.2	74	5.6	8	1.0
	無回答	13	1.3	14	1.1	4	0.5
	総回答者数	971	100.0	1,333	100.0	800	100.0

■ 問19 あなたは次のようなことをどの程度していますか。
 (A、Bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

① 授業参観や運動会などの学校行事への参加

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	よく参加している	1,059	85.8	986	58.1	266	29.7
2	ときどき参加している	143	11.6	519	30.6	321	35.8
3	あまり参加していない	20	1.6	135	8.0	176	19.6
4	まったく参加していない	1	0.1	45	2.7	125	13.9
	無回答	11	0.9	12	0.7	9	1.0
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

② PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	よく参加している	288	23.3	335	19.7	84	9.4
2	ときどき参加している	466	37.8	608	35.8	242	27.0
3	あまり参加していない	342	27.7	517	30.5	318	35.5
4	まったく参加していない	126	10.2	226	13.3	241	26.9
	無回答	12	1.0	11	0.6	12	1.3
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問20 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	とても重要だと思う	554	44.9	718	42.3	342	38.1
2	やや重要だと思う	538	43.6	783	46.1	431	48.0
3	あまり重要ではないと思う	94	7.6	118	7.0	71	7.9
4	重要ではないと思う	10	0.8	30	1.8	14	1.6
5	分からない	33	2.7	41	2.4	34	3.8
	無回答	5	0.4	7	0.4	5	0.6
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問21 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	強いほうだと思う	101	8.2	188	11.1	85	9.5
2	どちらかといえば、強いほうだと思う	483	39.1	645	38.0	343	38.2
3	どちらかといえば、弱いほうだと思う	500	40.5	642	37.8	370	41.2
4	弱いほうだと思う	143	11.6	211	12.4	94	10.5
	無回答	7	0.6	11	0.6	5	0.6
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問22 あなたは、子育てをするにあたって、地域でどのような支えがあると良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	321	26.0	514	30.3	250	27.9
2	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	386	31.3	595	35.1	302	33.7
3	子育てに関する情報を提供する活動	402	32.6	586	34.5	272	30.3
4	子育て家庭の家事・育児を支援する活動	416	33.7	535	31.5	263	29.3
5	急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	456	37.0	556	32.8	286	31.9
6	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	809	65.6	1,046	61.6	505	56.3
7	子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	176	14.3	269	15.9	120	13.4
8	子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	235	19.0	296	17.4	167	18.6
9	その他	23	1.9	40	2.4	20	2.2
10	特になし	64	5.2	88	5.2	61	6.8
11	分からない	58	4.7	92	5.4	49	5.5
	無回答	12	1.0	11	0.6	6	0.7
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

■ 問23 あなたはあなた自身のことについて、どのように思いますか。
(A~Cそれぞれについて、○は1つずつ)

①自分を肯定的に評価するほうだ

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	そう思う	145	11.8	167	9.8	77	8.6
2	どちらかといえば、そう思う	615	49.8	851	50.1	458	51.1
3	どちらかといえば、そう思わない	387	31.4	519	30.6	281	31.3
4	そう思わない	79	6.4	136	8.0	67	7.5
	無回答	8	0.6	24	1.4	14	1.6
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

②自分に満足している

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	そう思う	145	11.8	160	9.4	65	7.2
2	どちらかといえば、そう思う	600	48.6	769	45.3	439	48.9
3	どちらかといえば、そう思わない	369	29.9	551	32.5	278	31.0
4	そう思わない	110	8.9	190	11.2	105	11.7
	無回答	10	0.8	27	1.6	10	1.1
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

③自分のことが好きだ

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	そう思う	196	15.9	228	13.4	112	12.5
2	どちらかといえば、そう思う	649	52.6	870	51.3	465	51.8
3	どちらかといえば、そう思わない	296	24.0	422	24.9	232	25.9
4	そう思わない	82	6.6	150	8.8	77	8.6
	無回答	11	0.9	27	1.6	11	1.2
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

- 問24 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(A～Cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「1 頼れる人がいる」場合、それは誰ですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

①子育てに関する相談

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	頼れる人がいる	1,166	94.5	1,548	91.2	809	90.2
2	いない	36	2.9	74	4.4	43	4.8
3	そのことでは人に頼らない	23	1.9	51	3.0	35	3.9
	無回答	9	0.7	24	1.4	10	1.1
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

子育てに関する相談について、頼れる人

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	家族・親族	1,092	93.7	1,423	91.9	740	91.5
②	友人・知人	782	67.1	1,041	67.2	496	61.3
③	近所の人	157	13.5	137	8.9	55	6.8
④	職場の人	343	29.4	477	30.8	236	29.2
⑤	民生委員・児童委員	14	1.2	6	0.4	5	0.6
⑥	相談・支援機関や福祉の人	77	6.6	99	6.4	30	3.7
⑦	その他	13	1.1	21	1.4	7	0.9
	無回答	1	0.1	7	0.5	2	0.2
	総回答者数	1,166	100.0	1,548	100.0	809	100.0

②重要な事柄の相談

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	頼れる人がいる	1,150	93.2	1,512	89.1	794	88.5
2	いない	38	3.1	75	4.4	46	5.1
3	そのことでは人に頼らない	26	2.1	78	4.6	38	4.2
	無回答	20	1.6	32	1.9	19	2.1
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

重要な事柄の相談について、頼れる人

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	家族・親族	1,105	96.1	1,452	96.0	758	95.5
②	友人・知人	458	39.8	611	40.4	308	38.8
③	近所の人	19	1.7	33	2.2	8	1.0
④	職場の人	115	10.0	171	11.3	87	11.0
⑤	民生委員・児童委員	4	0.3	2	0.1	1	0.1
⑥	相談・支援機関や福祉の人	20	1.7	30	2.0	12	1.5
⑦	その他	7	0.6	14	0.9	5	0.6
	無回答	5	0.4	6	0.4	7	0.9
	総回答者数	1,150	100.0	1,512	100.0	794	100.0

◎いざという時のお金の相談

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	頼れる人がいる	990	80.2	1,260	74.2	651	72.6
2	いない	79	6.4	162	9.5	96	10.7
3	そのことでは人に頼らない	139	11.3	234	13.8	130	14.5
	無回答	26	2.1	41	2.4	20	2.2
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

いざという時のお金の相談について、頼れる人

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	家族・親族	977	98.7	1,239	98.3	639	98.2
②	友人・知人	61	6.2	72	5.7	37	5.7
③	近所の人	4	0.4	6	0.5	0	0.0
④	職場の人	16	1.6	22	1.7	8	1.2
⑤	民生委員・児童委員	2	0.2	0	0.0	1	0.2
⑥	相談・支援機関や福祉の人	12	1.2	16	1.3	5	0.8
⑦	その他	8	0.8	14	1.1	5	0.8
	無回答	5	0.5	4	0.3	4	0.6
	総回答者数	990	100.0	1,260	100.0	651	100.0

■ 問25 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※ 2022年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)
- ・内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金は除く)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	50万円未満	5	0.4	10	0.6	5	0.6
2	50~100万円未満	3	0.2	18	1.1	5	0.6
3	100~150万円未満	14	1.1	26	1.5	11	1.2
4	150~200万円未満	26	2.1	31	1.8	19	2.1
5	200~250万円未満	22	1.8	39	2.3	29	3.2
6	250~300万円未満	32	2.6	56	3.3	41	4.6
7	300~350万円未満	48	3.9	63	3.7	36	4.0
8	350~400万円未満	44	3.6	85	5.0	43	4.8
9	400~450万円未満	66	5.3	84	4.9	39	4.3
10	450~500万円未満	85	6.9	129	7.6	69	7.7
11	500~600万円未満	166	13.5	223	13.1	109	12.2
12	600~700万円未満	156	12.6	208	12.3	111	12.4
13	700~800万円未満	124	10.0	178	10.5	81	9.0
14	800~900万円未満	102	8.3	158	9.3	104	11.6
15	900~1,000万円未満	85	6.9	122	7.2	57	6.4
16	1,000万円以上	212	17.2	178	10.5	113	12.6
	無回答	44	3.6	89	5.2	25	2.8
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

- 問26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(A～Eそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

①就学援助 ※経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	現在利用している	89	7.2	165	9.7	115	12.8
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	39	3.2	57	3.4	51	5.7
3	利用したことがない	1,051	85.2	1,404	82.7	688	76.7
	無回答	55	4.5	71	4.2	43	4.8
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

就学援助を利用したことがない理由

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	918	87.3	1,161	82.7	583	84.7
②	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	7	0.7	19	1.4	10	1.5
③	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	6	0.6	13	0.9	6	0.9
④	利用したいが、手続きが分からなかったり、利用しにくかったりするから	7	0.7	17	1.2	2	0.3
⑤	それ以外の理由	14	1.3	52	3.7	22	3.2
	無回答	99	9.4	142	10.1	65	9.4
	総回答者数	1,051	100.0	1,404	100.0	688	100.0

②生活保護 ※病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	現在利用している	2	0.2	6	0.4	3	0.3
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	9	0.7	24	1.4	18	2.0
3	利用したことがない	1,140	92.4	1,548	91.2	791	88.2
	無回答	83	6.7	119	7.0	85	9.5
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

生活保護を利用したことがない理由

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	996	87.4	1,293	83.5	671	84.8
②	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5	0.4	17	1.1	10	1.3
③	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1	0.1	4	0.3	2	0.3
④	利用したいが、手続きが分からなかったり、利用しにくかったりするから	2	0.2	9	0.6	3	0.4
⑤	それ以外の理由	20	1.8	61	3.9	21	2.7
	無回答	116	10.2	164	10.6	84	10.6
	総回答者数	1,140	100.0	1,548	100.0	791	100.0

◎生活困窮者の自立支援相談窓口

※お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	現在利用している	1	0.1	5	0.3	3	0.3
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	11	0.9	21	1.2	18	2.0
3	利用したことがない	1,139	92.3	1,550	91.3	785	87.5
	無回答	83	6.7	121	7.1	91	10.1
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	987	86.7	1,269	81.9	656	83.6
②	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	10	0.9	25	1.6	11	1.4
③	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3	0.3	7	0.5	7	0.9
④	利用したいが、手続きが分からなかったり、利用しにくかったりするから	6	0.5	8	0.5	3	0.4
⑤	それ以外の理由	18	1.6	73	4.7	25	3.2
	無回答	115	10.1	168	10.8	83	10.6
	総回答者数	1,139	100.0	1,550	100.0	785	100.0

◎児童扶養手当 ※所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	現在利用している	125	10.1	209	12.3	103	11.5
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	32	2.6	61	3.6	69	7.7
3	利用したことがない	1,018	82.5	1,353	79.7	675	75.3
	無回答	59	4.8	74	4.4	50	5.6
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

児童扶養手当を利用したことがない理由

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	899	88.3	1,142	84.4	582	86.2
②	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1	0.1	9	0.7	5	0.7
③	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1	0.1	3	0.2	3	0.4
④	利用したいが、手続きが分からなかったり、利用しにくかったりするから	3	0.3	8	0.6	3	0.4
⑤	それ以外の理由	16	1.6	54	4.0	18	2.7
	無回答	98	9.6	137	10.1	64	9.5
	総回答者数	1,018	100.0	1,353	100.0	675	100.0

⑤母子家庭等就業・自立支援センター

※ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1	現在利用している	5	0.4	9	0.5	7	0.8
2	現在利用していないが、以前利用したことがある	19	1.5	36	2.1	21	2.3
3	利用したことがない	1,126	91.2	1,527	90.0	783	87.3
	無回答	84	6.8	125	7.4	86	9.6
	総回答者数	1,234	100.0	1,697	100.0	897	100.0

母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがない理由

	項目	小5保護者		中2保護者		高2保護者	
		回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
①	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	953	84.6	1,226	80.3	641	81.9
②	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	17	1.5	28	1.8	28	3.6
③	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	6	0.5	12	0.8	4	0.5
④	利用したいが、手続きが分からなかったり、利用しにくかったりするから	8	0.7	9	0.6	1	0.1
⑤	それ以外の理由	30	2.7	85	5.6	27	3.4
	無回答	112	9.9	167	10.9	82	10.5
	総回答者数	1,126	100.0	1,527	100.0	783	100.0

三重県子ども条例に基づく調査〈県民調査〉の結果概要（単純集計）

※比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入していることから、百分率の合計が100%にならない場合があります。

	回答数(人)
県民（総回答者数）	1,390

■ 問1 あなたは現在、おいくつですか。 （あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	29歳以下	104	7.5
2	30～39歳	148	10.6
3	40～49歳	214	15.4
4	50～59歳	232	16.7
5	60～69歳	259	18.6
6	70歳以上	424	30.5
	無回答	9	0.6
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問2 あなたは現在、18歳未満の方と一緒に暮らしていますか。（あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	はい	387	27.8
2	いいえ	995	71.6
	無回答	8	0.6
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問3 あなたは、近所の子どもとあいさつをしていますか。（あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	いつもしている	387	27.8
2	ときどきしている	534	38.4
3	あまりしていない	242	17.4
4	していない	210	15.1
	無回答	17	1.2
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問4 あなたは、近所の子どもをほめたことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	よくある	150	10.8
2	ときどきある	410	29.5
3	あまりない	386	27.8
4	ない	427	30.7
	無回答	17	1.2
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問5 あなたは、近所の子どもを注意したことはありますか。 （あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	よくある	25	1.8
2	ときどきある	211	15.2
3	あまりない	474	34.1
4	ない	662	47.6
	無回答	18	1.3
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問6 あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか。 （あてはまるもの1つに○）

	項目	県民	
		回答数(人)	比率(%)
1	思う	241	17.3
2	どちらかといえば、思う	642	46.2
3	どちらかといえば、思わない	233	16.8
4	思わない	108	7.8
5	分からない	151	10.9
	無回答	15	1.1
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問7 あなたは、一般に今の子どもたちの特徴をどのように感じますか。

(A~Jのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

① 元気がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	924	66.5
2	いいえ	346	24.9
	無回答	120	8.6
	総回答者数	1,390	100.0

② 他人に対する思いやりがある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	668	48.1
2	いいえ	545	39.2
	無回答	177	12.7
	総回答者数	1,390	100.0

③ 意欲的である

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	543	39.1
2	いいえ	658	47.3
	無回答	189	13.6
	総回答者数	1,390	100.0

④ 夢がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	585	42.1
2	いいえ	616	44.3
	無回答	189	13.6
	総回答者数	1,390	100.0

⑤ 責任感がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	418	30.1
2	いいえ	765	55.0
	無回答	207	14.9
	総回答者数	1,390	100.0

⑥ 誠実である

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	689	49.6
2	いいえ	491	35.3
	無回答	210	15.1
	総回答者数	1,390	100.0

⑦ 個性がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	913	65.7
2	いいえ	325	23.4
	無回答	152	10.9
	総回答者数	1,390	100.0

⑧ 忍耐力がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	199	14.3
2	いいえ	980	70.5
	無回答	211	15.2
	総回答者数	1,390	100.0

⑨ 自立心がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	389	28.0
2	いいえ	798	57.4
	無回答	203	14.6
	総回答者数	1,390	100.0

⑩ 社会に関心がある

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	はい	306	22.0
2	いいえ	876	63.0
	無回答	208	15.0
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問8 あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	思う	639	46.0
2	どちらかといえば、思う	570	41.0
3	どちらかといえば、思わない	51	3.7
4	思わない	24	1.7
5	分からない	97	7.0
	無回答	9	0.6
	総回答者数	1,390	100.0

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

※回答者はヤングケアラーに関するイラスト(P●参照)を見た上で設問に回答

■ 問9 家族・親族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	いる	33	2.4
2	いない	1,165	83.8
3	分からない	177	12.7
	無回答	15	1.1
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問10 前問(問9)で、「2 いない」「3 分からない」と回答した方にお聞きします。友人、知人やその子ども、子どものクラスメイトなどに「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	いる	58	4.3
2	いない	711	53.0
3	分からない	557	41.5
	無回答	16	1.2
	総回答者数	1,342	100.0

■ 問11 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	615	44.2
2	学校に相談窓口があること	716	51.5
3	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	439	31.6
4	【2、3以外】の専門機関に相談窓口があること	221	15.9
5	対面での相談が可能であること	434	31.2
6	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	792	57.0
7	24時間いつでも相談が可能であること	703	50.6
8	相談する際の手順や判断基準が分かりやすいこと	588	42.3
9	相談がどのような支援につながるかが分かりやすいこと	660	47.5
10	「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること	422	30.4
11	その他	86	6.2
12	特にあてはまるものはない	33	2.4
	無回答	172	12.4
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問12 子どもが、経済的困難や、経済的困難に起因して発生するさまざまな問題(病気や発達の遅れ、自尊心や意欲の喪失、学習や進学機会の喪失等)を抱えている状況を「子どもの貧困」と言い、令和3年の全国の子どもの貧困率は11.5%で約9人に1人が貧困状態にあります。特にひとり親世帯では約2人に1人が貧困状態にあります。あなたはこうした日本における子どもの貧困の実態を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	内容までよく知っている	98	7.1
2	内容について少し知っている	634	45.6
3	名前だけ聞いたことがある	459	33.0
4	聞いたことがない	177	12.7
	無回答	22	1.6
	総回答者数	1,390	100.0

■ 問13 「三重県子どもの貧困対策計画」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	内容までよく知っている	10	0.7
2	内容について少し知っている	90	6.5
3	名前だけ聞いたことがある	258	18.6
4	聞いたことがない	1,019	73.3
	無回答	13	0.9
	総回答者数	1,390	100.0

- 問14 三重県では、子ども食堂やフードパントリー、子ども向け体験教室、学習支援教室、相談場所や地域交流の場など、家でも学校でもなく、子どもたちが気軽に集える場所である「子どもの居場所」づくりの取組を進めています。この取組について知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	内容までよく知っている	28	2.0
2	内容について少し知っている	297	21.4
3	名前だけ聞いたことがある	473	34.0
4	聞いたことがない	575	41.4
	無回答	17	1.2
	総回答者数	1,390	100.0

- 問15 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	とても重要だと思う	822	59.1
2	やや重要だと思う	449	32.3
3	あまり重要ではないと思う	39	2.8
4	重要ではないと思う	11	0.8
5	分からない	63	4.5
	無回答	6	0.4
	総回答者数	1,390	100.0

- 問16 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか。(あてはまるもの1つに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	強いほうだと思う	108	7.8
2	どちらかといえば、強いほうだと思う	434	31.2
3	どちらかといえば、弱いほうだと思う	535	38.5
4	弱いほうだと思う	306	22.0
	無回答	7	0.5
	総回答者数	1,390	100.0

問17 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが現在参加している活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	23	1.7
2	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	22	1.6
3	子育てに関する情報を提供する活動	20	1.4
4	子育て家庭の家事・育児を支援する活動	20	1.4
5	急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	32	2.3
6	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	98	7.1
7	子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	23	1.7
8	子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	11	0.8
9	その他	45	3.2
10	参加している活動はない	1,161	83.5
	無回答	27	1.9
	総回答者数	1,390	100.0

問18 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが今後参加したい活動(現在参加している活動を継続する場合も含む)はありますか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	99	7.1
2	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	93	6.7
3	子育てに関する情報を提供する活動	87	6.3
4	子育て家庭の家事・育児を支援する活動	98	7.1
5	急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	120	8.6
6	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	240	17.3
7	子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	84	6.0
8	子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	77	5.5
9	その他	82	5.9
10	参加したいが、どのような活動がよいか分からない	454	32.7
11	参加したいと思わない	427	30.7
	無回答	56	4.0
	総回答者数	1,390	100.0

問19 前前問(問17)で「10 参加している活動はない」を選択した人にお聞きします。参加していない(参加できない)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	項目	県民	
		回答数(人)	比率 (%)
1	仕事や家事などで忙しくて時間が無い	414	35.7
2	子どもを他人と関わらせることに対する保護者の抵抗感などの風潮がある	102	8.8
3	活動に関する情報がないため、関わる機会がない	361	31.1
4	活動自体に興味がない	51	4.4
5	子どもが好きではない	34	2.9
6	その他	188	16.2
7	特に理由はない	185	15.9
	無回答	124	10.7
	総回答者数	1,161	100.0

三重県子ども条例

平成二十三年三月二十三日
三重県条例第五号

子どもは、一人ひとりかけがえのない存在である。そして、子どもには生まれながらに豊かに育つための権利がある。それは、安心して生きること、虐待やいじめそしてあらゆる暴力や差別から守られること、自らの力を発揮して成長すること、そして、思いや意見が尊重されることである。子ども一人ひとりが人として大切にされ、豊かに育つことができるよう子どもの権利が守られなければならない。

全ての子どもには自ら育つ力と多くの可能性があり、子どもは自分が受け止められ、認められていると実感することで自己肯定感を高めることができる。また、子どもは、家庭や学校を始めとする地域社会での経験を通して、人との様々な関わりや多様な価値観に触れることで、人を思いやる心や自らの課題を乗り越える力を身に付けることができる。そして、次の世代を大切に育てることのできる大人へと育っていく。そのために、人と人との強い絆で結ばれた地域社会を形成し、子ども一人ひとりが力を発揮して育つことができる社会へと向かうことが求められている。

私たちは、児童の権利に関する条約の理念にのっとり、子どもの権利が尊重される社会の実現を目指すこととする。そのため、私たちは相互に連携し、協働して、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに取り組むことを決意し、この条例を制定する。

(目的)

第一条 この条例は、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりについて、基本理念を定め、並びに県の責務並びに保護者、学校関係者等、事業者、県民等及び市町の役割を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、これを総合的に推進し、もって子どもの権利が尊重される社会の実現に資することを目的とする。

(定義)

第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 一 子ども 十八歳未満の者をいう。
- 二 保護者 親権を行う者、未成年後見人その他の者で子どもを現に監護するものをいう。
- 三 学校関係者等 教育、福祉その他子どもの育成に関連する分野の事務に従事する者をいう。

(基本理念)

第三条 子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりは、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- 一 子どもを権利の主体として尊重すること。
- 二 子どもの最善の利益を尊重すること。
- 三 子どもの力を信頼すること。

(県の責務)

第四条 県は、前条に規定する基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

- 2 県は、前項の施策を策定し、及び実施するに当たっては、次条から第九条までに規定する役割に配慮するものとする。
- 3 県は、第十条の規定により、連携し、及び協働して行われる取組を支援するものとする。

(保護者の役割)

第五条 保護者は、基本理念にのっとり、子どもを大切に育てる責務を有することを認識するとともに、子どもが力を発揮して育つことができるよう努めるものとする。

(学校関係者等の役割)

第六条 学校関係者等は、基本理念にのっとり、子どもの安全の確保並びに子どもが安心して学び、及び育つことができる環境づくりに努めるものとする。

(事業者の役割)

第七条 事業者は、基本理念にのっとり、保護者が子どもを豊かに育てるために必要な雇用環境の整備に努めるとともに、地域において子どもの育ちを見守り、及び支える取組の推進に努めるものとする。

(県民等の役割)

第八条 県民及び子どもに関わる団体は、基本理念にのっとり、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関心を持ち、理解を深めることによって、子どもの育ちを見守り、及び支えるよう努めるものとする。

(市町の役割)

第九条 市町は、基本理念にのっとり、子どもの育ちを見守り、及び支える施策の推進に努めるものとする。

(連携及び協働)

第十条 保護者、学校関係者等、事業者、県民及び子どもに関わる団体並びに市町は、前五条に規定する役割を果たすに当たっては、相互に連携し、及び協働するよう努めるものとする。

(施策の基本となる事項)

第十一条 県は、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに関する施策の策定及び実施に当たっては、次に掲げる事項の確保を旨とするものとする。

- 一 子どもの権利について、子ども自身が知り、及び学ぶ機会並びに県民が学ぶ機会を提供すること。
- 二 子どもに係る施策に関して、子どもが意見を表明する機会を設け、参加を促すとともに、子どもの意見を尊重すること。
- 三 子どもが、自らの力を発揮して育つことができるよう、主体的に取り組む様々な活動を支援すること。
- 四 子どもの育ちを見守り、及び支えるための人材の育成を行うとともに、保護者、学校関係者等、事業者、県民及び子どもに関わる団体並びに市町が行う活動の促進が図られるよう、環境の整備を行うこと。

(相談への対応)

第十二条 県は、子どもからの相談に対応する窓口を設置し、国その他の関係機関と連携した適切な対応を行うものとする。

(広報及び啓発)

第十三条 県は、子どもの育ちについての県民の関心及び理解を深めるとともに、県民が行う子どもの育ちを見守り、及び支える活動を促進するため、必要な広報及び啓発を行うものとする。

(調査)

第十四条 知事は、子どもの生活に関する意識、実態その他のこの条例に基づき県が行う施策の推進に必要な事項を調査し、その結果を公表するものとする。

(年次報告)

第十五条 知事は、毎年、この条例に基づき県が行う施策の実施状況を評価し、これを年次報告として取りまとめ、公表するとともに、施策への反映に努めるものとする。

附 則

この条例は、平成二十三年四月一日から施行する。



この白書の作成にあたっては、次の方に監修をお願いし、
貴重なご意見をいただきました。厚く御礼申し上げます。

水落 正明（南山大学教授）
（敬称略）



みえの子ども白書2024

発行 三重県
発行年月 令和6年（2024年）3月
編集 三重県子ども・福祉部 少子化対策課
〒514-8570
三重県津市広明町13番地
TEL 059-224-2404 FAX 059-224-2270
E-mail shoshika@pref.mie.lg.jp



三重県

